

2025年 [令和 7 年]

業績集

The collection of achievements



けいじゅヘルスケアシステム
Keiju Healthcare System

けいじゅヘルスケアシステム

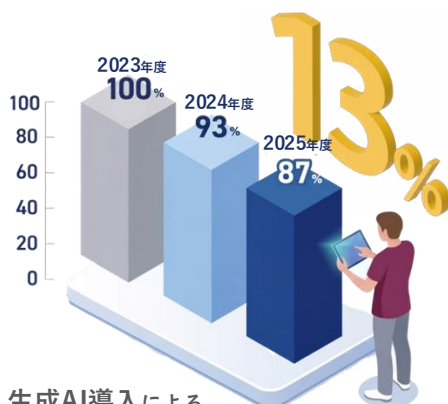
AI元年

導入から活用へ
AI Access for All



1
世界初

スマートウォッチを
活用した入院患者向け
実証試験開始



生成AI導入による
看護記録業務時間の短縮

2023年度（生成AI未導入）を100%とした場合の
1日あたりの記録時間削減割合。恵寿総合病院 看護部調べ。

AI読影
実施件数

30,000 胸部XP



AI最適配車
オンデマンド送迎サービス
「楽のり君」スタート



法人内 業務用iPhone配備

パス適用率
99%



医療の質を担保

EK活動
報告件数

Everyday
Everybody
Everything
KAIZEN



2024年度 (554件) 2025年度

100% 達成



震災復興工事完了
約2年間の軌跡

けいじゅ
フェスティバル
2025



第5回日本サービス大賞
地方創生大臣賞を受賞

2025年度けいじゅヘルスケアシステム業績集発刊にあたって

2024年1月1日に発生した能登半島地震は、能登地域に未曾有の被害をもたらした。けいじゅヘルスケアシステムもグループ全体で大きな被害を受けたが、旗艦施設である恵寿総合病院本館は、免震構造に加え、平時より整備してきたBCM（Business Continuity Management）に基づき、「災害でも医療を止めない病院」として機能し続けた。そして、その機能を核として、グループ内各施設の復旧と運営継続を力強く支援することができた。

特に、能登北部の各施設群においては、他法人の病院・介護福祉施設が遠隔地コミュニティへの全面退避を余儀なくされる中、グループの支援のもと現地にとどまり続け、中長期的に災害関連死を出さなかったことは特筆すべき成果である。極限状態の中で地域住民を支え続けた職員一人ひとりの献身と使命感を、私は心から誇りに思っている。

さらに、2025年12月末をもって、一部春季施工を待つ箇所を除き、震災からの復旧工事をほぼ完了することができた。これら一連の対応は、2025年度においても地方紙・全国紙・業界紙などで「次なる大規模災害への教訓」として数多く取り上げられた。また、前年度に続き、第5回日本サービス大賞「地方創生大臣賞」、第26回日本免震構造協会賞など、権威ある賞を受賞したことは、我々の取り組みが社会的にも高く評価された証である。

しかし、われわれの挑戦は震災対応だけにとどまらない。2022年に開設した入退院管理センターは、患者の入退院、転院、在宅移行を統合的に管理する仕組みとしてスタートしたが、その後、病院内の病床管理に加え、グループ内の介護・福祉施設との連携管理へと進化した。さらに、2025年4月には地域包括ケアセンターを開設し、在宅における医療・介護・リハビリテーション機能までを包含する体制を整備した。これにより、急性期医療から在宅までを一体的にマネジメントする、全国的にも先進的な地域包括ケアシステムへと発展したのである。

DXへの取り組みも、「AI元年～導入から活用へ」という方向性のもと、大きく前進した。情報共有とデータ活用による業務効率化、さらには働き方改革の推進による時間外労働の削減が加速した。しかもそれは、一部門・一部署に限定された取り組みではなく、すべての職種・業務にAIを浸透させる挑戦であった。まさに、「AI Access for All（3A）」を掲げ、AIを一部の専門家だけのものではなく、全職員が使いこなす実装段階へと入った一年であったと言える。

前年度に導入した業務用スマートフォンは、恵寿総合病院のみならず、恵寿金沢病院や各介護施設へと展開され、情報共有と業務効率化に大きく寄与した。生成AIの活用により、診療サマリーや紹介状・返書作成業務の負担軽減と時間外勤務の削減が進み、AI読影支援は胸部X線画像だけでも年間30,000件に及んだ。また、RPA（Robotic Process Automation）は130体まで拡大し、年間約12,000時間の業務削減効果を生み出した。さらに、本年度は介護車両・送迎車両にAIオンデマンド送迎サービスを導入し、地域交通と介護サービスの効率化にも新たな可能性を示した。

2025年度は、震災復興に加え、物価・人件費高騰という極めて厳しい経営環境に直面した一年でもあった。そのような中であつても安定した経営を維持できたのは、「地域と共に」という理念（モットー）のもと、「もっと良いサービスを、もっと効率的に」を掲げた年度方針『MOTTO』を、全職員が実践してくれた賜物である。ここに改めて深い感謝を表したい。

最後に、私は2025年6月、公益社団法人全日本病院協会会長に就任した。能登だけではなく、日本全体が人口減少、少子化、生産年齢人口の縮小、そして「高齢者の高齢化」という構造変化に直面している。私は今、日本の医療は「制度疲労の臨界点」にあり、部分修正ではなく、制度設計そのものの再構築、すなわちパラダイムシフトが必要な局面にあると考えている。能登で経験した現実と課題意識を、日本全体を俯瞰する視点へと昇華させ、未来の医療・介護の最適解を提言していくこともまた、われわれに課せられた社会的使命であると認識したい。



2026年6月吉日

けいじゅヘルスケアシステム 理事長

神野 正博

いつでも 誰でも たやすく

安心して診療を受けられる病院にする。

人命尊重、心身の健康第一の立場に立ち、職員が一体となって地域住民の健康維持（予防、診療、リハビリテーション、介護）に努めると共に、地域の中核医療施設として、社会、経済、文化の発展向上に貢献します。

信頼の心

私達は、患者・利用者の皆様の権利を尊重し、信頼される質の高い医療により、地域に貢献します。

思いやりの心

私達は、思いやりのある病院・施設づくりに努めます。

健全な経営

私達は、収支構造の安定した病院・施設を維持します。

職員の健康と幸せ

私達は、董仙会の発展を通じ、職員の健康と幸せを築きます。

目次

発行にあたって
創業精神・基本理念
目次

第1章

法人概要・組織図

8	董仙会 概要・施設・沿革
9	董仙会 組織図
10	董仙会 本部会議・委員会・人員の構成
11	董仙会 人員の推移
12	恵寿総合病院 概要・組織図
13	恵寿総合病院 会議・委員会・施設資格
14	恵寿総合病院 施設基準等
15	恵寿金沢病院 概要・組織図・会議・委員会
16	恵寿金沢病院 施設基準等・学会認定施設
17	徳充会 概要・施設・沿革
18	徳充会 組織図・会議・委員会
19	徳充会 人員の推移

第2章

法人方針・事業報告

22	2025年度 けいじゅヘルスケアシステム方針
23	TQM発表大会
24	事例研究大会
25	新聞掲載
27	来訪者一覧
29	董仙会中期計画 2024-2026
32	事業報告

第3章

医療部門 診療統計・医療の質

	恵寿総合病院
92	外来患者数
93	年代別（男女別）外来患者数・救急外来患者数
94	紹介患者数
95	入院患者数
96	年代別（男女別）新入院患者数
	平均在院日数・病床稼働率
98	手術件数
99	MDC別
100	疾病分類別患者数・年代別死亡退院患者数
101	疾病分類（中分類）別上位疾病
102	悪性新生物の国際疾病別退院数及び内死亡数
103	48時間以内死亡患者数
	2025年度死亡要因上位件数（中分類）
104	Quality Indicator

105	恵寿金沢病院
106	外来患者数・年代別（男女別）外来患者数
107	救急外来患者数・紹介患者数
108	入院患者数・平均在院日数・病床稼働率
109	年代別（男女別）新入院患者数・手術件数
110	疾病分類別患者数・年代別死亡退院患者数
111	疾病分類（中分類）別上位疾病
	48時間以内死亡患者数
	2025年度死亡要因上位件数（中分類）
112	Quality Indicator

113	クリニック
	鳥屋診療所・恵寿鳩ヶ丘クリニック

第4章

介護・福祉部門 利用統計・介護の質

116	利用統計
117	各施設 Quality Indicator

第5章

研究・業績

130	論文・著書・インタビュー等
139	学会発表
146	講師・座長・パネリスト等
166	資格取得
172	公職
179	メディア出演

第6章

KEIJU MONTHLY LETTER

184	2025年度 KEIJU MONTHLY LETTER
-----	-----------------------------

第7章

トピックス（社会貢献）

198	董仙会トピックス
200	徳充会トピックス（社会貢献）



2025年4月10日 ローソンと災害時における物資調達に関する協定を締結

第 1 章
概要
組織図

社会医療法人財団 董仙会 概要

所在地	石川県七尾市富岡町94番地
Tel	0767-52-3211（代表）
Fax	0767-52-3218（代表）
理事長	神野 正博
職員数	1,295名
入院ベッド数	475床
入所ベッド数	309床
総ベッド数	784床

董仙会 各施設概要

七尾地域

- 恵寿総合病院
〒926-8605 石川県七尾市富岡町94番地
- 地域包括ケアセンター
〒926-0866 石川県七尾市富岡町95番地
恵寿総合病院 訪問看護ステーション
訪問リハビリステーション恵寿
ケアマネステーション恵寿
福祉用具レンタルステーション恵寿
医療福祉ショップめぐみ
- 介護老人保健施設 和光苑
〒926-0853 石川県七尾市津向町卜部107番地
- けいじゅデリカサプライセンター
〒929-2121 石川県七尾市田鶴浜町ち部33
- 七尾看護専門学校
〒926-0854 石川県七尾市なぎの浦156

中能登地域

- 鳥屋診療所 いきいき
〒929-1704 石川県鹿島郡中能登町末坂2部60番地1
- 在宅複合施設 ほのぼの
〒929-1704 石川県鹿島郡中能登町末坂2部33番地

穴水地域

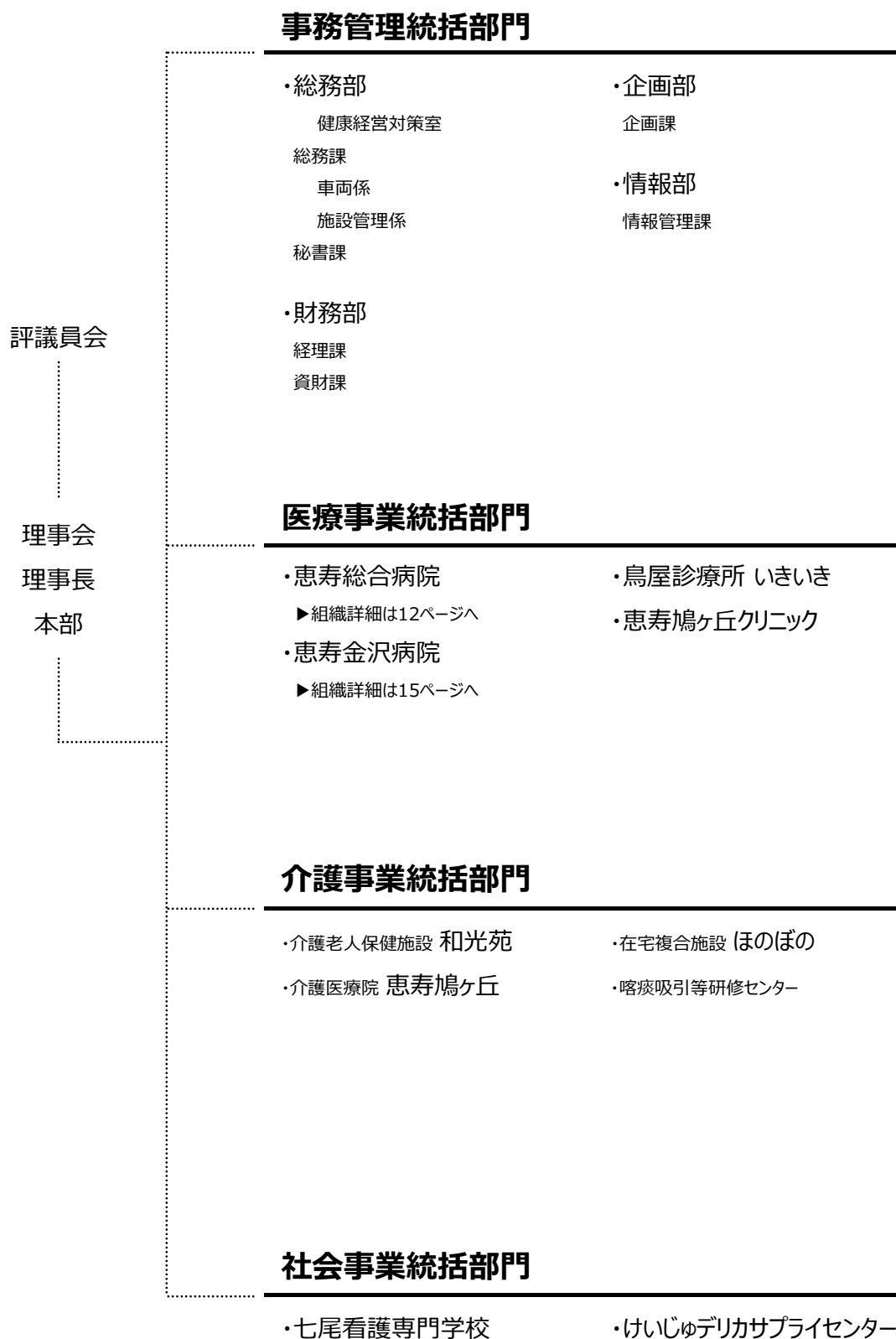
- 恵寿鳩ヶ丘クリニック
- 介護医療院 恵寿鳩ヶ丘
〒927-0023 石川県鳳珠郡穴水町字麦ヶ浦15、39番8

金沢地域

- 恵寿金沢病院
- けいじゅ金沢訪問看護ステーション
〒920-0910 石川県金沢市下新町6番26号

董仙会 沿革

- 1934年 神野病院創立 初代病院長 神野 正隣（まさちか）
- 1964年 第2代病院長に神野 正一就任
- 1967年 第1病棟新築
恵寿病院と改称。医療法人財団 董仙会を設立（初代理事長 神野 正一）
- 1980年 第3病棟新築（454床）
- 1982年 恵寿総合病院と改称
- 1984年 田鶴浜町の依頼で田鶴浜診療所開設
社会福祉法人 徳充会を開設（初代理事長 神野 正一）
- 1988年 鳥屋町（現中能登町）の依頼で鳥屋診療所開設
- 1989年 老人保健施設「和光苑」開設（新築として県初）
- 1993年 第3代病院長に神野 正博就任
老人保健施設「鶴友苑」開設
- 1995年 第2代董仙会理事長に神野 正博就任
- 1997年 医療情報システム（オーダリングシステム）運用開始
- 1999年 鳥屋町（現中能登町）在宅複合施設「ほのぼの」運営受託
特別医療法人認可
- 2000年 穴水町に恵寿鳩ヶ丘病院開設（143床）
第5病棟新築
全国初の医療・介護コールセンターとして、けいじゅサービスセンター開設
董仙会・徳充会を総称し「けいじゅヘルスケアシステム」と呼称
全国初となる院内24時間コンビニエンスストアオープン
- 2001年 けいじゅ在宅総合サービスセンター開設
- 2002年 電子カルテシステム運用開始
- 2003年 セントラルキッチン「けいじゅデリカサプライセンター」開設
厚生労働省臨床研修指定病院（基幹型）認定
病院内に病児保育室「あんず」設置
- 2007年 けいじゅPET-CTセンター開設
- 2008年 職員宿舎「ピオラ」「コニファー」新築
第4代病院長に山本 達就任
社会医療法人認可 11/1より改称（全国9番目）
- 2009年 恵寿鳩ヶ丘病院を介護療養型老人保健施設に転換（名称：恵寿鳩ヶ丘）
- 2011年 社会福祉法人徳充会・第二代理事長に神野 正博就任
石川県地域がん診療連携協力病院に指定
- 2013年 恵寿総合病院本館（223床）新築
恵寿総合病院80周年記念式典開催
- 2014年 電子カルテシステム更新
（MicrosoftVDIによる、同時接続ユーザー世界最大）
第5代病院長に山本 健就任
金沢市に「恵寿金沢病院」開設（89床）
- 2015年 高齢者複合施設「ローレルハイツ恵寿」開設
病院外から電子カルテの閲覧、操作可能なりリモートアクセスシステム開始
- 2016年 恵寿総合病院「外国人患者受入れ医療機関認証制度」(JMIP)取得
サービス産業生産性協議会(SPRING)より「第1回日本サービス大賞 総務大臣賞」受賞
- 2017年 パーソナルヘルスレコード（PHR）カルテコを開始
「第59回全日本病院学会 in 石川」開催（学会長 神野正博）
（公社）日本デザイン振興会より「2017年度グッドデザインベスト100・特別賞[未来づくり]」受賞
厚生労働省より「グッドキャリア企業アワード2017 イノベーション賞」受賞
- 2018年 介護療養型老人保健施設 恵寿鳩ヶ丘を「介護医療院」に転換
恵寿総合病院訪問看護ステーションを開設
国際病院連盟賞最高位賞特別賞を受賞
- 2019年 第6代病院長に鎌田 徹就任
AI問診を導入
- 2020年 けいじゅ健康保険組合設立
- 2021年 人生100年時代活躍プロジェクト（定年制廃止）を開始
- 2022年 介護部を設立
- 2023年 業務用iPhone520台を導入
紹介受診重点医療機関に指定
- 2024年 令和6年能登半島地震被災
日本一働きやすい病院アワード大賞・病院広報アワード特別賞&優秀賞受賞
創立90周年・けいじゅフェスティバル開催 以後毎年開催
神野正博理事長が第20回ヘルシー・ソサイエティ賞 医師部門受賞
いしかわ健康経営優良企業知事表彰・ホワイト500認定
- 2025年 運動器の健康・日本賞受賞
鶴友苑・田鶴浜診療所 震災のため閉所・恵寿ローレルクリニック閉院
第26回日本免震構造協会賞 -2025-普及賞 受賞
スマートウォッチによる世界初の実証試験開始
和光苑・ローレルハイツ恵寿「介護職員の働きやすい職場環境づくり」
厚生労働大臣表彰 奨励賞受賞
キッザニアいしかわ「介護技能グランプリ」で受賞
「2024年1月1日 能登半島地震 災害でも医療を止めないレジリエンス力」
が第5回日本サービス大賞 地方創生大臣賞を受賞
- 2026年 日本経営財団賞受賞
市民公開講座「認知症の最前線 ～治療とケアをつなぐチームアプローチ」開催
READYFOR ファンドレイジングクラウドファンディング インパクトアワード2026
特別賞「審査員賞」受賞
ハラクエール2026（福利厚生表彰・認証制度）「福利厚生推進法人」に認証



董仙会 会議・委員会・プロジェクト・タスクフォース

会議

- ・人事委員会
- ・経営会議
- ・けいじゅヘルスケアシステム運営会議
- ・倫理委員会

プロジェクト

- ・震災復興プロジェクト
- ・人事評価プロジェクト
- ・キャリアデザインプロジェクト
- ・iPhone導入

委員会

- ・個人情報管理委員会
- ・広報委員会
- ・福利厚生委員会
- ・健康委員会
- ・病院・施設委員会
- ・給食戦略委員会
- ・クリーン&5S委員会
- ・金沢収益改善委員会
- ・TQM・EK活動委員会
- ・EM (Energy Management) 委員会
- ・リクルート委員会
- ・介護収益改善委員会

タスクフォース

- ・金沢病院建築タスクフォース
- ・BCM タスクフォース
- ・データ経営タスクフォース
- ・RPAタスクフォース
- ・カルテコタスクフォース
- ・外国人職員受入タスクフォース

董仙会 主な人員の構成



医師

83名

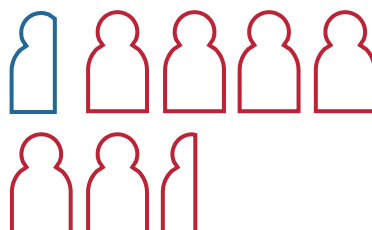
男75 女8



看護師

368名

男41 女327



介護
福祉士

166名

男28 女138



董仙会 人員の推移

凡例… 男性の人数 / 女性の人数

職種	2023.4.1			2024.4.1			2025.4.1		
	恵寿総合	他施設	合計	恵寿総合	他施設	合計	恵寿総合	他施設	合計
医師	56 / 5	17 / 3	73 / 8	58 / 7	18 / 3	76 / 10	59 / 6	16 / 2	75 / 8
薬剤師	7 / 7	2 / 3	9 / 10	7 / 5	3 / 3	10 / 8	8 / 8	3 / 3	11 / 11
臨床検査技師	10 / 20	1 / 4	11 / 24	12 / 21	0 / 6	12 / 27	10 / 20	0 / 7	10 / 27
診療放射線技師	11 / 7	1 / 4	12 / 11	17 / 7	2 / 4	19 / 11	16 / 7	1 / 4	17 / 11
理学療法士	33 / 22	10 / 8	43 / 30	33 / 22	16 / 9	49 / 31	37 / 23	10 / 8	47 / 31
作業療法士	8 / 16	3 / 7	11 / 23	8 / 18	3 / 8	11 / 26	8 / 17	4 / 6	12 / 23
言語聴覚士	1 / 5	0 / 0	1 / 5	0 / 5	0 / 0	0 / 5	0 / 5	0 / 0	0 / 5
臨床工学技士	9 / 5	0 / 0	9 / 5	10 / 7	0 / 0	10 / 7	9 / 4	0 / 0	9 / 4
視能訓練士	2 / 0	0 / 0	2 / 0	2 / 0	0 / 0	2 / 0	2 / 0	0 / 0	2 / 0
公認心理師	0 / 3	0 / 0	0 / 3	0 / 4	0 / 0	0 / 4	0 / 4	0 / 0	0 / 4
管理栄養士	0 / 11	1 / 10	1 / 21	0 / 12	1 / 9	1 / 21	1 / 15	0 / 8	1 / 23
救急救命士	2 / 1	0 / 0	2 / 1	5 / 1	0 / 0	5 / 1	5 / 1	0 / 0	5 / 1
義肢装具士	0 / 0	0 / 0	0 / 0	0 / 0	0 / 0	0 / 0	0 / 0	0 / 0	0 / 0
社会福祉士	1 / 13	1 / 7	2 / 20	2 / 12	2 / 7	4 / 19	0 / 10	2 / 3	2 / 13
健康運動指導士	0 / 0	0 / 1	0 / 1	0 / 0	0 / 1	0 / 1	0 / 0	0 / 0	0 / 0
保健師	0 / 4	0 / 0	0 / 4	0 / 6	0 / 0	0 / 6	0 / 6	0 / 0	0 / 6
助産師	0 / 11	0 / 0	0 / 11	0 / 13	0 / 0	0 / 13	0 / 11	0 / 0	0 / 11
看護師	32 / 222	5 / 136	37 / 358	35 / 224	3 / 121	38 / 345	38 / 224	3 / 103	41 / 327
准看護師	2 / 20	0 / 26	2 / 46	2 / 20	0 / 24	2 / 44	2 / 19	0 / 16	2 / 35
介護福祉士	2 / 18	26 / 125	28 / 143	4 / 30	24 / 108	28 / 138	6 / 49	22 / 89	28 / 138
介護職員	0 / 36	12 / 42	12 / 78	1 / 34	10 / 33	11 / 67	3 / 27	7 / 28	10 / 55
介護支援専門員	0 / 0	3 / 17	3 / 17	0 / 0	3 / 16	3 / 16	1 / 9	0 / 4	1 / 13
看護補助者	1 / 2	0 / 2	1 / 4	0 / 1	0 / 2	0 / 3	2 / 17	0 / 1	2 / 18
事務員	31 / 108	12 / 29	43 / 137	28 / 120	11 / 28	39 / 148	29 / 119	8 / 21	37 / 140
運転手	6 / 0	7 / 0	13 / 0	5 / 0	5 / 0	10 / 0	6 / 0	9 / 0	15 / 0
警備員	2 / 0	5 / 0	7 / 0	1 / 0	3 / 0	4 / 0	2 / 0	1 / 0	3 / 0
その他	11 / 22	7 / 8	18 / 30	16 / 36	7 / 6	23 / 42	10 / 35	6 / 10	16 / 45
小計	227 / 558	113 / 432	340 / 990	246 / 605	111 / 388	357 / 993	254 / 636	92 / 313	346 / 949
合計	785	545	1,330	851	499	1,350	890	405	1,295

恵寿総合病院 概要

所在地 石川県七尾市富岡町94番地
開設者 社会医療法人財団 董仙会
理事長 神野 正博
病院長 鎌田 徹
病床数 386床

副病院長 川北 慎一郎
岡田 由恵
山崎 雅英
診療部長 能登 正浩
診療副部長 金田 朋也（医局長）
看護部長 阪口 智恵
介護部長 内田 かおり
事務部長 森下 毅
名誉病院長 山本 健
顧問 宮本 正治 平井 文彦
東 壮太郎

恵寿総合病院 病院長

組織図

診療部

- ・外科消化器乳腺外科
- ・小児科
- ・内科
- ・眼科
- ・消化器内科
- ・耳鼻咽喉科
- ・心臓血管外科
- ・泌尿器科
- ・循環器内科
- ・麻酔科
- ・脳神経外科
- ・皮膚科
- ・脳神経内科
- ・リハビリテーション科
- ・整形外科
- ・放射線科
- ・呼吸器外科
- ・救急科
- ・形成外科美容外科
- ・心療内科
- ・産婦人科
- ・病理診断科
- ・家庭医療科
- ・病棟管理センター
- ・緩和ケア科

健康管理部

- ・健康管理センター

看護部

- ・看護管理センター
- ・看護秘書管理センター

介護部

- ・介護管理センター

事務部

- ・けいじゅサービスセンター
- ・医療事務センター

各種センター

- ・データセンター
- ・薬剤管理センター
- ・入退院管理センター
- ・栄養管理センター
- ・救急センター
- ・検査管理センター
- ・手術センター
- ・臨床工学センター
- ・血液浄化センター
- ・医療安全管理センター
- ・PET・CTリニアックセンター
- ・感染制御センター
- ・内視鏡センター
- ・臨床研修センター
- ・放射線センター
- ・看護師特定行為研修センター
- ・リハビリテーションセンター
- ・北陸緑内障センター
- ・リハ教育研修センター
- ・地域包括ケアセンター

恵寿総合病院 会議・委員会

会議

- ・ 恵寿総合病院管理会議
- ・ 恵寿総合病院運営会議
- ・ 病院改善会議
- ・ 医療事故緊急会議

委員会

- ・ 倫理委員会
- ・ 院内医療事故調査委員会
- ・ 救急部運営委員会
- ・ 看護師特定行為研修管理委員会
- ・ 臨床栄養委員会
- ・ 脳卒中地域連携バス管理委員会
- ・ リハビリテーション運営委員会
- ・ 図書委員会
- ・ 医療技術部門連携連絡委員会
- ・ 認知症対策プロジェクト委員会
- ・ 診療情報提供委員会
- ・ 診療情報管理委員会
- ・ 電子バス委員会
- ・ DPC評価委員会
- ・ 化学療法委員会
- ・ 緩和ケア委員会
- ・ がん診療連携推進委員会
- ・ 中央手術部運営委員会
- ・ 医療ガス安全管理委員会
- ・ 臨床研修管理委員会
- ・ 臨床研修プログラム委員会
- ・ 臨床研修運営委員会
- ・ 恵寿総合病院医学雑誌編集委員会
- ・ 臓器提供委員会
- ・ 法的脳死判定委員会
- ・ 医療安全管理委員会
- ・ 感染防止対策委員会
- ・ 治験審査委員会
- ・ 呼吸療法委員会
- ・ 診療材料委員会
- ・ 薬事審議委員会
- ・ 救命救急実行委員会
- ・ 集中治療運営委員会
- ・ 輸血療法委員会
- ・ 臨床検査適正化委員会
- ・ 透析機器安全管理委員会
- ・ 糖尿病委員会
- ・ 外来運営委員会
- ・ 放射線安全委員会
- ・ 安全衛生委員会
- ・ 防災委員会
- ・ 病床管理運営委員会
- ・ 褥瘡予防対策委員会
- ・ 地域医療支援病院運営委員会
- ・ 地域医療従事者研修委員会
- ・ フレイル対策委員会
- ・ 広報委員会
- ・ 外国人患者対応委員会
- ・ コミュニティ推進委員会
- ・ 感染リンク委員会
- ・ 業務KAIZEN委員会

恵寿総合病院 施設資格

- ・ 健康保険医療機関
- ・ 国民健康保険療養取扱機関
- ・ 労災保険指定取扱機関
- ・ 日本医療機能評価機構認定病院
- ・ ISO9001(品質マネジメントシステム)認定施設
- ・ 地域医療支援病院
- ・ 二次救急指定病院
- ・ 石川県地域がん診療連携協力病院
- ・ 臨床研修指定病院（基幹型）
- ・ 看護師特定行為研修指定研修機関（9区分20行為、在宅・慢性期領域パッケージ）
- ・ 外国人患者受入れ拠点病院（JMIP）
- ・ 在宅療養後方支援病院
- ・ 新型コロナウイルス感染症重点医療機関
- ・ 指定自立支援医療機関
- ・ 人間ドック指定病院
- ・ 日本人間ドック学会機能評価認定施設・保健指導実施認定施設
- ・ 生活習慣病予防健診実施機関
- ・ 労災保険二次健康診断等医療機関
- ・ 指定小児慢性特定疾病医療機関
- ・ 指定養育医療機関
- ・ 母体保護法指定医療機関
- ・ 産科医療補償制度加入分娩機関
- ・ 生活保護法指定医療機関
- ・ 結核予防法指定医療機関
- ・ 難病指定医療機関
- ・ 短期入院協力病院（NASVA）
- ・ 原子爆弾被爆者一般疾病医療機関
- ・ 第1種協定指定医療機関
- ・ 第2種協定指定医療機関

恵寿総合病院 学会認定施設

- ・ 日本外科学会外科専門医制度修練施設
- ・ 日本消化器外科学会専門医修練施設
- ・ 日本消化器病学会専門医制度認定施設
- ・ 日本消化器内視鏡学会認定指導連携施設
- ・ 日本内科学会認定内科専門医教育関連施設
- ・ 日本胆道学会認定指導医制度指導施設
- ・ 日本肝臓学会特別連携施設
- ・ 日本血液学会認定研修施設
- ・ 日本肺癌学会教育認定施設
- ・ 日本糖尿病学会認定教育施設
- ・ 日本循環器学会認定循環器専門医研修関連施設
- ・ 日本腎臓学会研修施設認定
- ・ 日本呼吸器学会関連施設認定
- ・ 日本救急医学会認定救急科専門医指定施設
- ・ 日本リハビリテーション医学会認定研修施設
- ・ 日本呼吸器内視鏡学会関連施設
- ・ 日本整形外科学会認定医研修施設
- ・ 日本がん治療認定医機構認定研修施設
- ・ 日本乳癌学会認定施設
- ・ 日本産婦人科学会専門研修連携施設指定
- ・ 日本麻酔科学会認定研修施設
- ・ 日本眼科学会専門医制度研修施設
- ・ 日本泌尿器科学会専門医教育施設
- ・ 日本作業療法士協会作業療法士臨床実習指導施設
- ・ 日本輸血・細胞治療学会輸血機能評価認定制度（I&A制度）
- ・ 日本臨床栄養代謝学会NST稼働施設
- ・ 日本核医学会PET撮像施設認証（I）
- ・ 日本認知症学会教育施設

恵寿総合病院 施設基準等

基本診療料

- ・情報通信機器を用いた診療に係る基準
- ・医療DX推進体制整備加算
- ・一般病棟入院基本料 急性期一般入院料2
- ・障害者施設等入院基本料 10対1入院基本料
- ・総合入院体制加算3
- ・救急医療管理加算
- ・超急性期脳卒上加算
- ・診療録管理体制加算1
- ・医師事務作業補助体制加算 15対1
- ・急性期看護補助体制加算 25対1、夜間50対1
※夜間看護体制加算 ※看護補助体制充実加算1
- ・特殊疾患入院施設管理加算
- ・療養環境加算
- ・重症者等療養環境特別加算
- ・無菌治療室管理加算1
- ・無菌治療室管理加算2
- ・リハビリテーション・栄養・口腔連携体制加算
- ・栄養サポートチーム加算
- ・医療安全対策加算1 ※医療安全対策地域連携加算1
- ・感染対策向上加算1 ※指導強化加算
- ・患者サポート体制充実加算
- ・重症患者初期支援充実加算
- ・報告書管理体制加算
- ・ハイリスク妊娠管理加算
- ・ハイリスク分娩等管理加算
- ・呼吸ケアチーム加算
- ・後発医薬品使用体制加算1
- ・バイオ後続品使用体制加算
- ・病棟薬剤業務実施加算1
- ・データ提出加算2 (イ)
- ・入退院支援加算1
※入院時支援加算 ※地域連携診療計画加算 ※総合機能評価加算
- ・認知症ケア加算2
- ・せん妄ハイリスク患者ケア加算
- ・精神疾患診療体制加算
- ・排尿自立支援加算
- ・地域医療体制確保加算
- ・協力対象施設入所者入院加算
- ・ハイケアユニット入院医療管理料1 ※早期栄養介入管理加算
- ・小児入院医療管理料5
- ・回復期リハビリテーション病棟入院料1 ※体制強化加算1
- ・地域包括ケア病棟入院料2 ※看護職員配置加算
※看護補助者配置加算 ※看護補助体制充実加算2
- ・短期滞在手術等基本料1

特掲診療料

- ・外来栄養食指導料の注3に規定する基準
- ・心臓ペースメーカー指導管理料の注5に掲げる遠隔モニタリング加算
- ・糖尿病合併症管理料
- ・がん性疼痛緩和指導管理料
- ・がん患者指導管理料Ⅰ
- ・がん患者指導管理料Ⅱ
- ・がん患者指導管理料Ⅲ
- ・糖尿病透析予防指導管理料 ※高度腎機能障害患者指導加算
- ・乳腺炎重症化予防・ケア指導料
- ・婦人科特定疾患治療管理料
- ・一般不妊治療管理料
- ・二次性骨折予防継続管理料1
- ・二次性骨折予防継続管理料2
- ・二次性骨折予防継続管理料3
- ・慢性腎臓病透析予防指導管理料
- ・院内トリアージ実施料
- ・夜間休日救急搬送医学管理料の注3に規定する救急搬送看護体制加算
- ・外来腫瘍化学療法診療料1
- ・連携充実加算
- ・ニコチン依存症管理料
- ・開放型病院共同指導料
- ・ハイリスク妊娠共同管理料 (Ⅰ)
- ・がん治療連携計画策定料
- ・がん治療連携指導料
- ・外来排尿自立指導料
- ・ハイリスク妊娠婦連携指導料1
- ・肝炎インターフェロン治療計画料
- ・薬剤管理指導料
- ・検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料

- ・医療機器安全管理料1
- ・在宅医療DX情報活用加算
- ・在宅療養後方支援病院
- ・在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料の注2に規定する遠隔モニタリング加算
- ・持続血糖測定器加算
(間歇注入シリンジポンプと連動しない持続血糖測定器を用いる場合)
- ・遺伝学的検査
- ・BRCA1/2遺伝子検査
- ・HPV核酸検出及びHPV核酸検出 (簡易ジェノタイプ判定)
- ・検体検査管理加算 (Ⅱ)
- ・遺伝性腫瘍カウンセリング加算
- ・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
- ・時間内歩行試験
- ・胎児心エコー法
- ・ヘッドアップティルト試験
- ・神経学的検査
- ・コンタクトレンズ検査料Ⅰ
- ・小児食物アレルギー負荷検査
- ・ポジトロン断層撮影
- ・ポジトロン断層撮影 (アミロイドPETイメージング剤を用いた場合に限る)
- ・ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影
- ・ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影 (アミロイドPETイメージング剤を用いた場合に限る)
- ・CT撮影及びMRI撮影
- ・抗悪性腫瘍剤処方管理加算
- ・外来化学療法加算1
- ・無菌製剤処理料
- ・心大血管疾患リハビリテーション料 (Ⅰ)
- ・脳血管疾患リハビリテーション料 (Ⅰ)
- ・運動器リハビリテーション料 (Ⅰ)
- ・呼吸器リハビリテーション料 (Ⅰ)
- ・がん患者リハビリテーション料
- ・療養生活継続支援加算
- ・静脈圧迫処置 (慢性静脈不全に対するもの)
- ・人工腎臓 (慢性維持透析を行った場合1)
- ・導入期加算2
- ・透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算
- ・下肢末梢動脈疾患指導管理加算
- ・ストーマ合併症加算
- ・緊急整備固定加算及び緊急挿入加算
- ・脳刺激装置植込術及び脳刺激装置交換術
- ・緑内障手術 (流出路再建術 (眼内法) 及び水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術)
- ・緑内障手術 (濾過胞再建術 (needle法))
- ・乳がんセンチネルリンパ節加算2及びセンチネルリンパ節生検 (単独)
- ・食道縫合術 (穿孔、損傷) (内視鏡によるもの) 内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術 (内視鏡によるもの)、結腸瘻閉鎖術 (内視鏡によるもの)
- ・尿管腸瘻閉鎖術 (内視鏡によるもの) 腎 (腎盂) 腸瘻閉鎖術 (内視鏡によるもの)
- ・膀胱腸瘻閉鎖術 (内視鏡によるもの) 及び膀胱腸瘻閉鎖術 (内視鏡によるもの)
- ・経皮的冠動脈形成術 (特殊カテーテルによるもの)
- ・経皮的中心隔心筋焼灼術
- ・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
- ・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術 (リードレスペースメーカー)
- ・大動脈バルーンパンピング法 (IABP法)
- ・腹腔鏡下リンパ節群郭清術 (側方)
- ・内視鏡的逆流防止粘膜切除術
- ・体外衝撃波碎石破砕術
- ・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
- ・体外衝撃波腎・尿管結石破砕術
- ・周術期栄養管理実施加算
- ・輸血管理料 (Ⅱ)
- ・輸血適正使用加算
- ・貯血式自己血輸血管理体制加算
- ・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
- ・胃瘻造設時嚥下機能評価加算
- ・麻酔管理料 (Ⅰ)
- ・病理診断管理加算1
- ・悪性腫瘍病理組織標本加算

入院時食事療養費・その他の届け出

- ・入院食事療養 (Ⅰ)・入院時生活療養 (Ⅰ)
- ・看護職員処遇改善評価料40
- ・外来・在宅ベースアップ評価料 (Ⅰ)
- ・入院ベースアップ評価料
- ・酸素の購入単価

恵寿金沢病院 概要

所在地 石川県金沢市下新町6番26号
Tel 076-220-9192
Fax 076-223-7378
病院長 大竹 茂樹
病床数 89床

事務部長 森田 均
看護部長 前大道 綾子

組織図

診療部

・内科
・血液疾患・骨髄腫センター
・血栓・止血・血管病センター
・外科・乳腺科・緩和ケア科
・整形外科
・耳鼻咽喉科
・リハビリテーション科
理学療法課
作業療法課
恵寿訪問リハビリテーション事業所「けいじゅ金沢」

・放射線科
・臨床検査科
・薬剤科
・臨床栄養科
・人間ドックセンター

看護部

・病棟
・外来課
・手術室課

・人間ドックセンター課
・金沢訪問看護ステーション

事務部

・管理課
・医事課
診療情報管理室

・地域連携医療福祉相談課
・人間ドックセンター課

各種センター

・医療安全管理センター
・感染制御センター

恵寿金沢病院 病院長

恵寿金沢病院 会議・委員会

・運営会議	・臨床検査適正化委員会	・手術室運営委員会	・DPCコーディング委員会
・倫理委員会	・輸血療法委員会	・情報セキュリティ委員会	・負担軽減委員会
・診療情報管理委員会	・医療放射線安全管理委員会	・環境保護委員会	・医療機器安産管理委員会
・院内感染対策委員会	・治験審査委員会	・クリティカルパス委員会	・リスクマネジメント部会
・医療安全管理委員会	・褥瘡対策委員会	・化学療法運営委員会	・感染対策（ICTチーム）部会
・保険診療委員会	・病床運営委員会	・軽症救急委員会	・身体的拘束最小化チーム会
・薬事委員会	・防災対策委員会	・安全衛生委員会	
・栄養委員会	・広報委員会	・医療事故調査委員会	
・医療ガス安全管理委員会	・患者サポート委員会	・医療機器委員会	

恵寿金沢病院 施設基準等

基本診療料

急性期一般入院料1
医療DX推進体制整備加算
救急医療管理加算
診療録管理体制加算3
医師事務作業補助体制加算1
無菌治療室管理加算1・2
感染対策向上加算2
患者サポート体制充実加算
後発医薬品使用体制加算1
病棟薬剤業務実施加算1
データ提出加算2
入退院支援加算1
認知症ケア加算2
せん妄ハイリスク患者ケア加算
短期滞在手術基本料1

特掲診療料（加算/指導料/管理料）

がん性疼痛緩和指導管理料
がん患者指導管理料イ・ロ
外来腫瘍化学療法診療料1
薬剤管理指導料
遺伝学的検査
骨髄微小残存病変量測定
検体検査管理加算（Ⅱ）
時間内歩行試験
CT撮影及びMRI撮影
外来化学療法加算1

特掲診療料（検査/画像/処置/手術など）

無菌製剤処理料
脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅲ）
運動器リハビリテーション料（Ⅰ）
がん患者リハビリテーション料
医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術
輸血管理料（Ⅱ）
輸血適正使用加算
外来・在宅ベースアップ評価料（Ⅰ）
入院ベースアップ評価料
酸素購入単価

施設資格

健康保険医療機関
労災保険指定取扱機関
生活保護法指定取扱機関
結核予防法指定取扱機関
労災保険二次健診等給付医療機関
救急病院
難病法の指定医療機関
児童福祉法に基づく指定小児慢性特定疾病医療機関
日本医療機能評価機構認定医療機関
新型コロナウイルス感染症協力病院
身体障害者福祉法指定医療機関

恵寿金沢病院 学会認定施設

日本血液学会専門研修教育施設

社会福祉法人

徳充会 概要

所在地	石川県七尾市青山3部22番
Tel	0767-57-3309
Fax	0767-57-1531
理事長	神野 正博
職員数	354名
総ベッド数	458床

徳充会 沿革

- 1984年 社会福祉法人「徳充会」設立
- 1985年 重度身体障害者更生援護施設「青山彩光苑」開設
- 1989年 身体障害者療護施設「青山彩光苑」開設
ショートステイ事業開始
- 1993年 療護施設50床増床
- 1994年 在宅障害者デイサービス事業開始
- 1997年 青山彩光苑ワークセンター田鶴浜開設
バリアフリーホームセレーナ青山開設
- 1999年 特別養護老人ホーム「エレガンテナぎの浦」開設
ケアハウス「アンジェリナぎの浦」開設
- 2003年 「さいこうえんの障害者生活支援センター」開設
- 2004年 青山彩光苑穴水ライフサポートセンター開設
- 2006年 デイサービスセンターもみの木苑開設
ヘルパーステーションもみの木苑開設
- 2007年 特別養護老人ホーム「エレガンテたつるはま」開設
デイサービスセンターふれあいの里開設
- 2011年 健康増進センターアスロンを指定管理者として運営開始
- 2012年 障害者生活支援センターを七尾市袖ヶ江町に移転
- 2013年 石川県精育園を指定管理者として運営開始
- 2015年 エレガンテナぎの浦 増床
ローレルハイツ恵寿ケアハウス（一般、特定）開設
ローレルハイツ恵寿サービス付高齢者住宅 開設
ヘルパーステーションローレルに名称変更
- 2016年 相談支援キララ 石川県精育園内へ移転し、スマイルと統合
- 2018年 自立ホーム穴水を自立ホームけいじゅに名称変更し穴水町此木へ移転
ヘルパーステーション銀河開設
相談支援キララを自立ホームけいじゅ内に移転
- 2019年 人生100年時代活躍プロジェクト（Foot活、脳活）を始動
- 2021年 青山彩光苑ライフサポートセンター個室増築
- 2022年 障害者生活支援センターを青山彩光苑リハビリテーションセンター内移転
- 2024年 「デイサービスセンターふれあいの里」事業廃止
地域密着型介護老人福祉施設「エレガンテたつるはま」事業廃止
- 2025年 さいこうえんの障害者生活支援センター
「地域活動支援センター」（市町受託事業）事業廃止

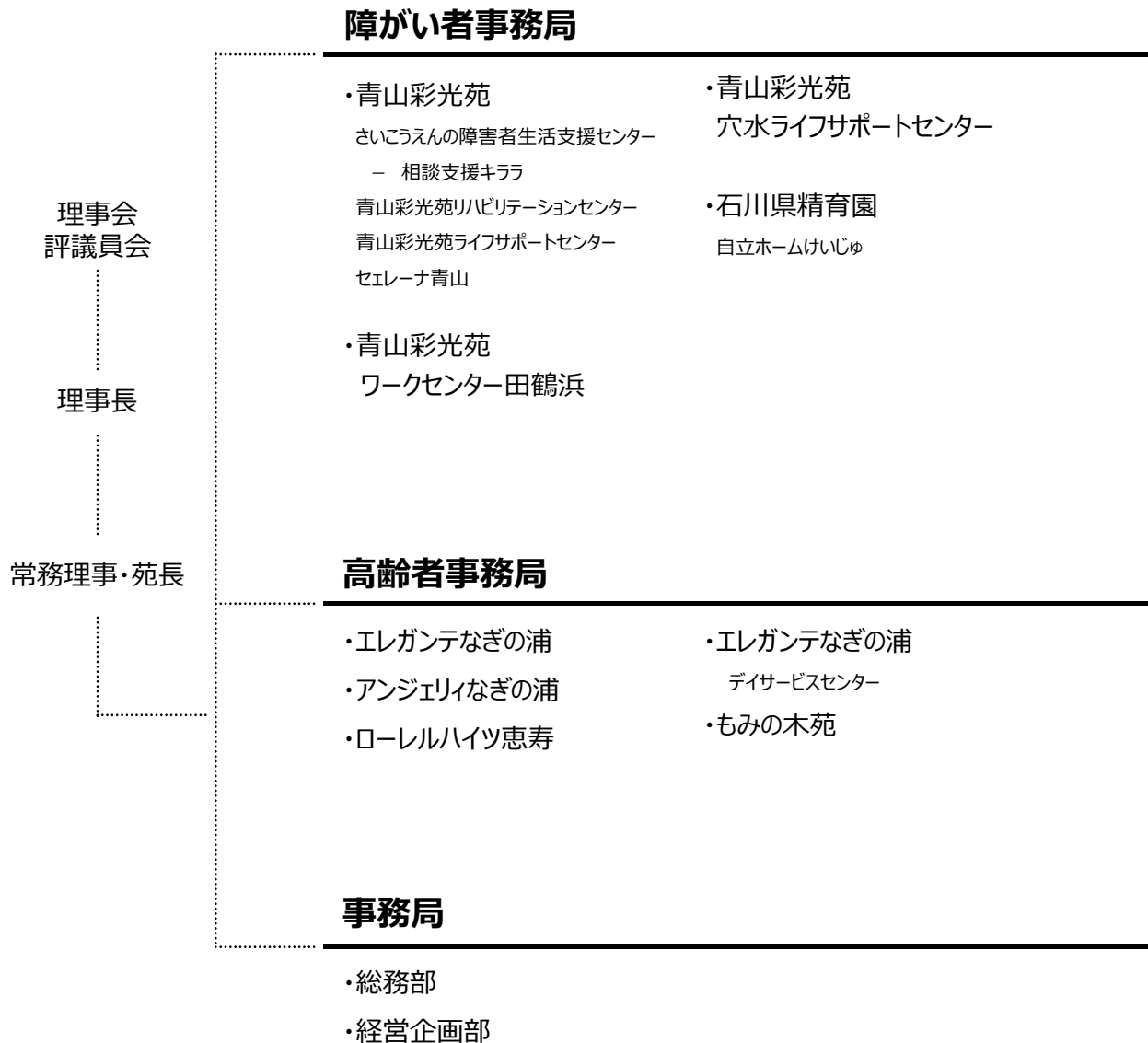
徳充会 各施設概要

障がい者事業

- 青山彩光苑リハビリテーションセンター
- 青山彩光苑ライフサポートセンター
- セレーナ青山
- さいこうえんの障害者生活支援センター
- さいこうえん障害者就業・生活支援センター
〒926-0831 石川県七尾市青山町3部22番
- 青山彩光苑穴水ライフサポートセンター
〒927-0023 石川県鳳珠郡穴水町字麦ヶ浦15-39番地12
- 青山彩光苑ワークセンター田鶴浜
〒929-2116 石川県七尾市吉田町昭部6-1
- 石川県精育園＜指定管理＞
〒927-0021 石川県鳳珠郡穴水町七海6-50
- 自立ホームけいじゅ
- ヘルパーステーション銀河
- 相談支援キララ
〒927-0053 石川県鳳珠郡穴水町此木11-24

高齢者事業

- 特別養護老人ホーム エレガンテナぎの浦
- ケアハウス アンジェリナぎの浦
〒926-0853 石川県七尾市津向町ト部107番地4
- 高齢者複合施設 ローレルハイツ恵寿
- ヘルパーステーション ローレル
〒926-0866 石川県七尾市富岡町95番地
- デイサービスセンター もみの木苑
〒929-2121 石川県七尾市田鶴浜町リ部27番地



徳充会 会議・委員会

- ・部長会議
- ・コンプライアンス委員会
- ・事例研究大会委員会
- ・障がい者部門会議
- ・教育研修委員会
- ・高齢者部門会議
- ・福利厚生委員会

徳充会 人員の推移

凡例… 男性の人数 / 女性の人数

職種	2023.4.1	2024.4.1	2025.4.1
医師	0 / 0	0 / 0	0 / 0
理学療法士	1 / 6	2 / 6	1 / 6
作業療法士	1 / 1	1 / 1	1 / 1
あん摩マッサージ指圧師	1 / 0	1 / 0	1 / 0
管理栄養士	0 / 7	0 / 7	0 / 6
健康運動士	0 / 0	0 / 0	0 / 0
社会福祉士	11 / 15	10 / 14	11 / 18
精神保健福祉士	1 / 0	1 / 0	0 / 0
看護師	2 / 30	1 / 27	0 / 24
准看護師	0 / 13	0 / 11	0 / 8
介護福祉士	65 / 162	61 / 161	55 / 139
介護職員	22 / 54	19 / 38	13 / 28
介護支援専門員	1 / 4	1 / 4	1 / 3
社会福祉主事	1 / 1	1 / 2	0 / 2
事務員	6 / 13	6 / 14	6 / 11
運転手	11 / 0	4 / 0	4 / 0
その他	6 / 10	5 / 11	5 / 10
小計	129 / 316	113 / 296	98 / 256
合計	445	409	354



2025年6月10日 第26回日本免震構造協会賞 -2025-普及賞 受賞

第 2 章
法人報告
事業報告

2025年度けいじゅヘルスケアシステム方針

継続的基本方針

1. 患者・利用者に信頼される医療機関・介護施設となる
2. 地域社会から必要とされる医療機関・介護施設となる
3. 経営の健全性を維持する
4. 恵寿フィロソフィの周知・浸透

単年度方針

日本社会のターニングポイントである2025年が、ついに来た。国の多くの施策が、このすべての団塊の世代が後期高齢者となる2025年の危機感への対応として検討されてきた。古くは社会保障国民会議から医療計画、地域医療構想、介護保険事業計画も然りだ。

誰もが経験したことのない超少子高齢社会が現実化してきた。いわば社会構造における災害かもしれない。認知症を含めた高齢者に伴う疾患や要介護者の増加、それを支える人口の減少と働き方改革は、ある意味、災害だ。さらに、私たちは、2024年1月1日に能登半島地震を体験した。全国でも地震、津波、水害などの実際の自然災害も激甚化し多発している。

これらの災害から地域とわれわれの病院を守るためには、旧来の成功モデルは全く成り立たないと心得なくてはならない。すなわち、旧来の体制に固執すれば衰退があるのみなのだ。新たな仕組みに果敢に挑戦するというターニングポイントの年とすべきだろう。私たちは、**この時代と社会への危機感と、ここで踏ん張る覚悟**が求められているのだ。

そこで、2025年度方針を
危機感と覚悟を持って



MOTTO

とする。MOTTO に二つの意味を込める。

mottoはイタリア語で、「言葉」や「スローガン」「信念」を意味する。すなわち「思い」「価値観」とも読めるだろう。法人全体のミッションとビジョンと通って個人や所属する組織が外すことができない「思い」とは？信念のない個人や組織は、進歩がない。守るべきもの、自分たちがやらねばならない「モットー」を明らかにしよう。

その上で、今の仕事やサービス、それに伴う顧客の、職員の満足感を「もっと motto」引き上げよう！もっと先を見据えて、今やらねばならないことは、明日ではなく、このターニングポイントの年としよう。

TQM発表大会（董仙会）

前期 第30回 2025年9月27日 七尾市文化ホール

セッション1 経営の質向上、健康経営の浸透、KAIZEN

部署	テーマ
福祉用具レンタルステーション恵寿、医療福祉ショップめぐみ	MOTTO みんなにめぐみをしてもらうための取り組み～販売件数の増加につなげる～
本院 管理課、医事課、データセンター	施設基準管理の共有化
総務部 健康経営対策室、健康管理センター、感染制御センター	董仙会職員ワクチンプログラムの構築
1位 恵寿金沢病院 臨床検査課	呼吸機能検査、MOTTO分かりやすく MOTTO効率的に

セッション2 職員の適正配置、強靱なBCM/BCPの策定更新

部署	テーマ
本院 放射線課、臨床検査課、内視鏡課	MOTTOよくなる！多職種協働で挑む持続可能な内視鏡業務
1位 本院 外来課	外来改革！フレキシブル運用による生産性の最大化
本部 総務部	育児介護休業法改正に伴う就業規則の整備
和光苑	誰でもすぐ使えるアクションカードの整備 ～アクションカードを用いたシミュレーションの実践～
本部 財務部 資材課、本院 臨床栄養課	BCP ～災害時の食事提供の見直し～

セッション3 医療介護PFMの完成、医療・介護の質向上、地域連携・マーケティングの強化

部署	テーマ
1位 本院 5病棟5階	看護師・介護福祉士との協働による褥瘡・スキンケア予防；専門性連携による個別ケアの深化
恵寿金沢病院 薬剤課、放射線課	造影検査 MOTTO安全に
本院 手術センター課、医療安全管理課	術前から行う患者の安全強化に向けた取り組み～入室方法を見直し誤認防止の再強化を目指す～
本院 リハビリテーションセンター	入院経頭蓋磁気刺激療法の始動としくみ作り

後期 第31回 2026年2月28日 七尾市文化ホール

セッション1 KAIZEN、けいじゅ救急搬送サービスの進化、医療収入の増加

部署	テーマ
恵寿金沢病院 看護部外来	外国人へMOTTO親切な外来へ
本院 血液浄化センター、臨床工学課	MOTTO改善しよう！業務改善による、本来業務への集中と業務の質向上をめざす
本院 薬剤課	続 持参薬運用のしくみ改革 -手順簡略化と代行入力を通して薬物治療の質向上を目指して-
本院 救急救命課	選ばれる理由がある！けいじゅ救急搬送サービスの実績と成長戦略
1位 恵寿金沢病院 ドックセンター	MOTTO満足 MOTTOオプション もっとMOTTO増収

セッション2 ユマニチュードの定着、医療・介護の質向上、医療介護PFMの完成

部署	テーマ
ほのぼの	虐待の芽を摘もう ～「もっと」言い合える職場を目指して～
恵寿金沢病院 看護部病棟、リハビリ課	みんな笑顔に ～院内デイケア スタートの取り組み～
恵寿金沢病院 医事課、管理課	ベクトルを束にして挑む part2 teamで医療の質向上をめざし、施設基準・加算算定を管理
本院 3病棟2階、外来	「“安心”をつなぐ、見守りリレー」～タスクシフト・シェアで生まれるゆとりと質～
1位 本院 入院管理センター、地域包括ケアセンター	地域PFMの構築 ～無限に繋がる支援の輪：インフィニティリング～

セッション3 自ら進みでる風土、医療・介護の質向上、強靱なBCM/BCPの策定更新、地域との共生

部署	テーマ
本院 事務部、地域連携課、診療情報管理室	事務部門におけるタスクシフト・タスクシェアの拡大 -業務量の可視化を起点とした、部門横断の業務分散と体制整備-
本部 財務部 経理課	補助金の管理体制の再構築
恵寿金沢病院（地域連携課・リハビリテーション科・臨床栄養課）、けいじゅ金沢訪問看護ステーション	MOTTO 地域とつながろう！ ～知ってもらってから始まる共生の一步～
1位 本院 5病棟3階（地域包括ケア病棟）、入院管理センター	地域包括ケア病棟から安心を届ける ～在宅と直入院の連携～
介護医療院 恵寿鳩ヶ丘	「がんぼう鳩ヶ丘～地域に向けてのアピール戦略～」

事例研究大会（徳充会）

2026年2月18日開催 大会テーマ：「危機感と覚悟を持って MOTTO」

	所属	発表者	テーマ
	青山彩光苑ライフサポートセンター	近藤 由香理	介護ソフト導入決定！ ～職員の声から業務の効率化を目指して～
	青山彩光苑ワークセンター田鶴浜	池田 まや	水耕事業から洗濯事業へ ～最高齢の挑戦～
	徳充会 本部事務局	中川 昂也 島田 高史	MOTTO効率よく ～AIを活用した業務負担の軽減～
優秀賞	青山彩光苑リハビリテーションセンター	佐竹 綾乃	「働きたい」を支えるために ～青山リハだからできること～
優秀賞	さいこうえんの障害者生活支援センター	越田 美喜子	地域生活支援拠点等事業 ～拠点コーディネーターとして手探りの9ヶ月間～
	石川県精育園	川島 大和	強みをMOTTO！ ～障害特性を生かした支援～
	青山彩光苑穴水ライフサポートセンター	幸崎 吉敏 久岡 タ子	食べたいを叶える ～デリソフターを使用した食支援～
	エレガンテナぎの浦 在宅部門	庵 実里	「脳らぼ」支援を通して ～笑顔と感動を届けるために～
	ローレルハイツ特定ケアハウス	清水 潤智	人員不足解消のための取り組み ～危機感をもって新たなる挑戦～
	エレガンテナぎの浦 入所部門	山崎 智美	日常生活を前向きに ～笑顔を増やそう大作戦～
最優秀賞	デイサービスセンター もみの木苑	柿島 善浩	もみの木計算検定への取り組み ～MOTTOやりがいのある余暇時間に～

新聞掲載（董仙会）

日付	内容	施設	掲載媒体
2025.4.2	新任式 恵寿総合病院/医療を担う決意 けいじゅヘルスケア	董仙会	北國新聞/北陸中日新聞
2025.4.11	食料提供で災害時協定 恵寿総合病院とローソン	董仙会	北國新聞
2025.4.15	介護施設送迎 AIで管理	董仙会	北國新聞
2025.4.22	ミャンマー人職員 初の介護福祉士/ミャンマー女性 介護福祉士に	恵寿総合病院	北國新聞/北陸中日新聞
2025.4.25	「Foot活」でもくろむ復活 石川県立大教授ら 健康づくり全国団体最高賞	董仙会	毎日新聞
2025.4.28	外国人の介護職 資格取得支援し定着化を	董仙会	北國新聞
2025.5.17	園児が看護の仕事体験 七尾・恵寿総合病院	恵寿総合病院	北國新聞
2025.5.20	七尾市長と語る「未来」ラジオななお24日から新番組 初回は恵寿理事長	董仙会	北國新聞
2025.5.25	免震構造で栄誉の受賞 七尾市の恵寿総合病院	董仙会	日本設備工業新聞
2025.6.6	スマートウォッチで健康管理 恵寿総合病院 13日から実証	恵寿総合病院	北國新聞
2025.6.6	中能登で元氣アップ教室	鳥屋診療所	北國新聞
2025.6.11	七尾・恵寿総合病院 ロボ、AIで働きやすく	恵寿総合病院	北國新聞
2025.6.11	新会長候補に神野理事長 全日本病院協会	董仙会	北國新聞
2025.6.12	能登半島地震 “ほぼ無傷” 恵寿総合病院（石川）	恵寿総合病院	福井新聞
2025.6.13	能登の恵寿総合病院、入院患者に腕時計型端末 血圧など把握	恵寿総合病院	日本経済新聞
2025.6.14	スマートウォッチで患者見守り 七尾・恵寿総合病院	恵寿総合病院	北國新聞
2025.6.29	新会長に恵寿の神野氏 全日本病院協会 県内から初選出	董仙会	北國新聞
2025.7.5	被災直後の栄養状態 論文に 七尾の栄養士・小蔵さん	恵寿総合病院	北國新聞
2025.7.8	日本免震構造協から普及賞「地震で医療止めず」評価	董仙会	北國新聞
2025.7.8	脳卒中の後遺症で新たな治療法導入	恵寿総合病院	北國新聞
2025.7.11	まひ解消へ新治療導入 七尾・恵寿総合病院が県内初	恵寿総合病院	北國新聞
2025.7.13	ずっと、能登と。復興を考える 平時の医療を災害時も	恵寿総合病院	北陸中日新聞
2025.7.23	自前の救急車 患者に好評 119より気軽に 搬送サービス利用堅調	恵寿総合病院	北國新聞
2025.7.28	小丸山小にプール開放 七尾 恵寿総合病院、ノアクラブ	恵寿総合病院	北國新聞
2025.7.29	高校生が看護体験	恵寿総合病院	北國新聞
2025.7.29	無料送迎サービス刷新 乗降116カ所に AIで効率化	恵寿総合病院	北國新聞
2025.8.21	「医者卵」が病院DXに理解 恵寿総合病院を訪問	恵寿総合病院	北國新聞
2025.8.27	介護技能 3部門で競う けいじゅヘルスケア	董仙会 / 徳充会	北國新聞
2025.8.28	能登再興 新技術吸収、変革の好機 インフラ・医療、導入相次ぐ	董仙会	日本経済新聞
2025.9.1	恵寿総合病院 準決勝へ進出 七尾、軟式野球大会	恵寿総合病院	北陸中日新聞
2025.9.2	ラジオななお フェスティバル13日開催を紹介 恵寿総合病院	恵寿総合病院	北國新聞
2025.9.6	介護予防教室4人修了 中能登町	鳥屋診療所	北國新聞
2025.9.14	子どもたちが医者さん体験 / 人形で内視鏡手術体験コーナー人気	恵寿総合病院	北國新聞/北陸中日新聞
2025.9.17	救急患者の対応 米医師に学ぶ 七尾・恵寿総合病院	恵寿総合病院	北國新聞
2025.9.27	七尾・恵寿病院「カラダ年齢」職員が測定	恵寿総合病院	北國新聞
2025.9.28	現場改善の取り組み発表 七尾で董仙会	董仙会	北國新聞
2025.10.10	働きやすい環境で厚労大臣奨励賞 七尾の2施設	和光苑 / ローレル	北國新聞
2025.10.19	トップが語る DXで効率的な医療	恵寿総合病院	読売新聞
2025.10.22	乳がん早期受診 恵寿病院で啓発 七尾、ティッシュ配布	恵寿総合病院	北國新聞
2025.11.12	介護 身近に感じて 七尾・恵寿病院で啓発	恵寿総合病院	北國新聞
2025.11.13	恵寿総合病院で介護啓発	恵寿総合病院	北陸中日新聞
2025.11.19	糖尿病デー啓発 七尾に青色の照明 ローレルハイツ恵寿	恵寿総合病院	北國新聞
2025.11.25	穴水・恵寿鳩ヶ丘でケアフェスタ	恵寿鳩ヶ丘	北國新聞

日付	内容	施設	掲載媒体
2025.11.30	董仙会内定者が先輩職員と交流 七尾で集い	董仙会	北國新聞
2025.12.5	介護予防教室 9人に修了証書 中能登町	鳥屋診療所	北國新聞
2025.12.6	膝がん検診 注目の「眼力」 七尾・恵寿病院 金大が協力	恵寿総合病院	北國新聞
2025.12.10	恵寿病院に地方創生大臣賞 第5回日本サービス大賞	恵寿総合病院	北國新聞
2025.12.13	きらきら ハンドベルの音色 七尾の園児 高齢者施設で披露	和光苑	北陸中日新聞
2026.1.6	自衛消防隊が七尾で放水訓練/新年互礼会と出初め式	董仙会	北國新聞/北陸中日新聞
2026.1.14	防災新時代 阪神大震災31年 免震広めた 神戸の2棟 能登でも効果	恵寿総合病院	読売新聞
2026.1.16	ラジオななお 恵寿病院が来月 認知症医療講座	恵寿総合病院	北國新聞
2026.1.26	複眼 地域の医療を守るか	董仙会	日本経済新聞
2026.2.3	一般病院の7割が赤字 診療報酬適切な配分を	恵寿総合病院	北陸中日新聞
2026.2.9	認知症の最新知見 チーム医療を紹介 恵寿総合病院が講座	恵寿総合病院	北國新聞
2026.2.10	アルツハイマー最新治療法解説 七尾で金大教授	恵寿総合病院	北陸中日新聞
2026.2.14	苦境の病院 支援へ一歩 診療報酬改定	恵寿総合病院	読売新聞
2026.2.25	七尾・恵寿総合病院 CFアワード特別賞 震災後の行動力評価	恵寿総合病院	北國新聞
2026.3.11	百歳 / 瀬那さん100歳おめでとう	恵寿鳩ヶ丘	北國新聞/北陸中日新聞
2026.3.19	陛下 医療功労者と面会	恵寿金沢病院	読売新聞
2026.3.27	介護現場の改善策紹介	恵寿鳩ヶ丘	北國新聞

新聞掲載（徳充会）

日付	内容	施設	掲載媒体
2025.8.27	介護技能 3部門で競う けいじゅヘルスケア	董仙会 / 徳充会	北國新聞
2025.9.3	被災障害者施設建て替え移転	石川県精育園	北國新聞
2025.9.12	穴水の精育園「移転が必要」	石川県精育園	北陸中日新聞
2025.10.10	働きやすい環境で厚労大臣奨励賞 七尾の2施設	和光苑 / ローレル	北國新聞
2025.10.15	あの時わたしは64	さいこうえんの障害者生活支援センター	読売新聞
2025.11.18	被災の穴水「精育園」移転へ初会合	石川県精育園	北陸中日新聞
2025.11.29	被災者全員戻れる日を	石川県精育園	北陸中日新聞
2025.12.8	障害者週間に合わせた苑内イベント	穴水ライフサポートセンター	北陸中日新聞
2026.1.7	県「精育園」移転先 穴水駅西の町有地候補	石川県精育園	北陸中日新聞
2026.3.15	ネイルケア講習会	石川県精育園	北國新聞/北陸中日新聞
2026.3.17	検討委で県が整備計画案	石川県精育園	北國新聞/北陸中日新聞

来訪者一覧（董仙会）

日付	見学者	見学内容
2025.4.23	建築研究所 JICA研修旅行 計18名	能登半島地震 建築関係
2025.5.9	社会医療法人博愛会 菅間記念病院 計5名	サービスセンター、SPD
2025.6.2	近森病院 1名	医療DX、生成AI
2025.7.4	藤沢湘南台病院 計8名	医療DX、生成AI
2025.7.7	福井大学医学部附属病院 計2名	看護DX、PFM
2025.7.8	京都きづ川病院 計6名	医療DX、生成AI、業務用iPhone活用
2025.8.1	手稲溪仁会病院 計2名	医療DX、データセンター、業務用iPhone活用
2025.8.5	一宮西病院 計7名	BCP、震災対応
2025.8.7	自治医科大学附属病院 計5名	業務用iPhone活用、生成AI
2025.8.12	医療法人財団大浦会 計6名	医療DX
2025.8.19	北信総合病院 計10名	医療DX、生成AI、恵寿セルケアチーム
2025.8.20	地域医療の未来を考えるスタディツアー 計14名	医療DX、震災対応
2025.8.29	済生会新潟病院 計5名	生成AI
2025.9.13	神戸学院大学現代社会学部社会防災学科 計10名	震災対応、BCP・BCM
2025.9.16	安房地域医療センター 計12名	生成AI、業務用iPhone活用、震災対応
2025.10.2	石川県議会厚生文教委員会 計15名	医療DX、震災対応
2025.10.8	ドイツ・フェルカー校 計15名	リハビリテーションセンター
2025.10.16	神奈川県庁 黒岩 祐治県知事 他9名	医療DX、震災対応
2025.10.20	金沢市立病院 計3名	救急搬送サービス
2025.10.21	松任石川中央病院 計2名	救急搬送サービス
2025.10.21	社会医療法人財団池友会 福岡和白病院 計5名	医療DX
2025.10.28	旭川市議会議員 1名	医療DX
2025.10.31	近森リハビリテーション病院 計2名	回復期リハビリテーション病棟
2025.11.4	JA広島総合病院 計3名	医療DX
2025.11.4	いずみ記念病院 計4名	医療DX
2025.11.7	丸ノ内プラチナ大学逆参勤交代コース 計22名	震災復興における地域医療
2025.11.17	構造設計研究会 計15名	震災対応、免震構造
2025.11.17	織田病院 1名	医療DX
2025.11.19	七尾市議会議員・子育て支援課 計3名	病児保育室あんず
2025.11.25	社会医療法人 創和会 計4名	医療DX、生成AI、業務用iPhone活用
2025.12.2	社会医療法人 寿楽会 大野記念病院 計5名	医療DX、生成AI、業務用iPhone活用
2025.12.8	株式会社日本設備工業新聞社 1名	震災対応
2025.12.8	久留米大学病院 1名	震災対応

日付	見学者	見学内容
2026.1.16	京都岡本記念病院 計3名	リハビリテーションセンター
2026.1.19	奈良東病院グループ 計7名	医療DX、オフィスリンク
2026.1.19	済生会富山病院 計5名	医療DX、オフィスリンク
2026.1.20	医療法人 錦秀会 計14名	医療DX、生成AI、業務用iPhone活用
2026.1.21	IMSグループ 計5名	医療DX、RPA
2026.2.3	小松市民病院 計5名	医療DX、生成AI、業務用iPhone活用
2026.2.10	深谷中央病院 計3名	医療DX、生成AI、業務用iPhone活用
2026.2.17	医療法人社団 美心会 黒沢病院 計4名	医療DX、データセンター
2026.2.17	社会医療法人財団 松原愛育会 松原病院 計5名	医療DX、生成AI、業務用iPhone活用
2026.2.27	京都私立病院協会 計9名	医療DX、生成AI、業務用iPhone活用
2026.3.3	丸子中央病院 計4名	入退院管理センター
2026.3.3	七尾市保育士会看護部会 計2名	病児保育室あんず
2026.3.17	医療法人社団 輝生会 計5名	医療DX、生成AI、業務用iPhone活用

来訪者一覧（徳充会）

日付	来訪者	見学内容
2025.12.28	俊友会合唱団	【エレガントなぎの浦】合唱ボランティア

■ 基本戦略と概念図

創業精神

いつでも、誰でも、たやすく、安心して、診療を受けられる病院にする。

基本理念

信頼の心
思いやりの心
健全な経営
職員の健康と幸せ

Mission

ミッション

創業精神・基本理念に基づいたスローガン
先端医療から福祉まで「生きる」を応援します

Vision

ビジョン

継続的基本方針：中期計画(3年毎)

Value

バリュー

戦略テーマ

戦略マップ

スコアカード

アクションプラン

BSC

単年度基本方針：短期計画（毎年）

- ・ 戦略目標
- ・ 成功要因（CSF）
- ・ 評価指標（KPI）
- ・ 現状値・目標値
- ・ アクションプラン
- ・ 中期・期末達成度
- ・ 評価

新型コロナ禍に果敢に挑み続けた3年間を経て、地域と患者・利用者を守り抜く姿勢は、医療・介護人として目を見張る活躍であり、仲間を気遣う温かな風土が定着した。医療介護は労働集約型（事業活動の大部分を人間の労働力に頼る割合が多い産業）ではあるが、テクノロジー（ICT/AI/Robot）の進歩を活用し、労働力を補い、温かな風土と共に全国の見本となろう！

【図1】董仙会Mission/Vision/Value

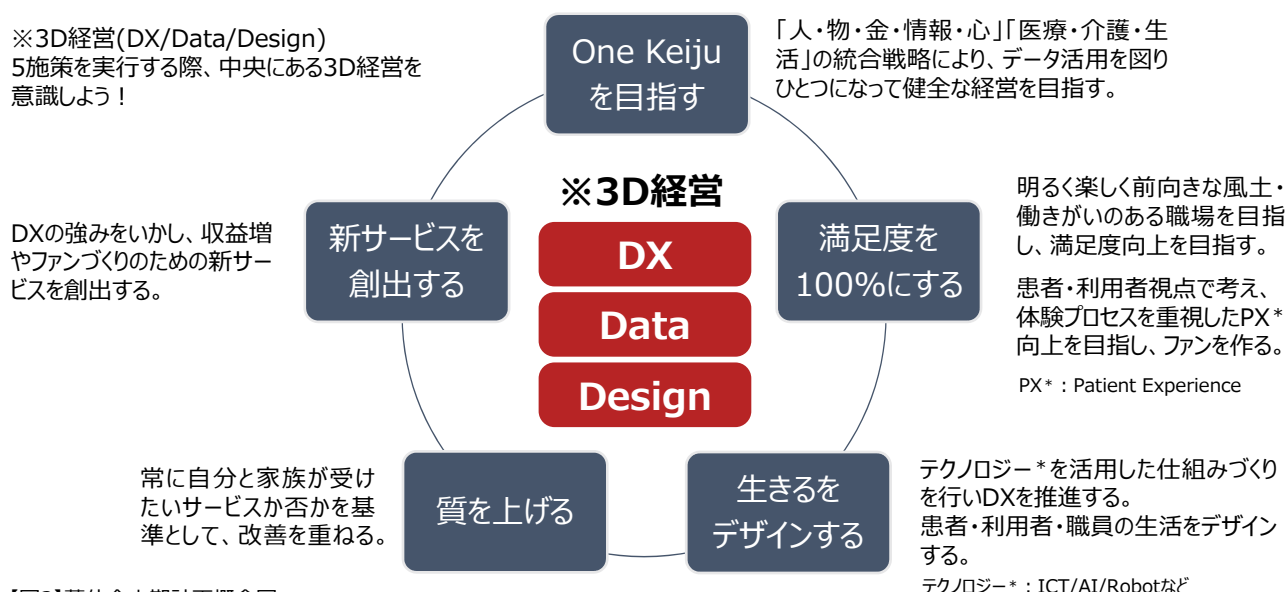
1. 基本戦略

2018-2021・2021-2023中期計画を踏襲するが優先順位を変えた下記の5施策を基本戦略とする。

- One Keijuを目指す
- 満足度を100%にする
- 生きるをデザインする
- 質を上げる
- 新サービスを創出する

2. 概念図

※3D経営(DX/Data/Design)
5施策を実行する際、中央にある3D経営を意識しよう！



【図2】董仙会中期計画概念図

■ 実施計画

私たちの やるべきこと

医療介護の質の向上と経営の安定を図る。

投資としては、施設の大規模改修、新金沢病院建築、先端医療・介護機器の導入である。

重要業績達成指標（KGI）

2024年度：医業収入155→150億円に修正

2025年度：医業収入156→151億円に修正

2026年度：医業収入157→152億円に修正

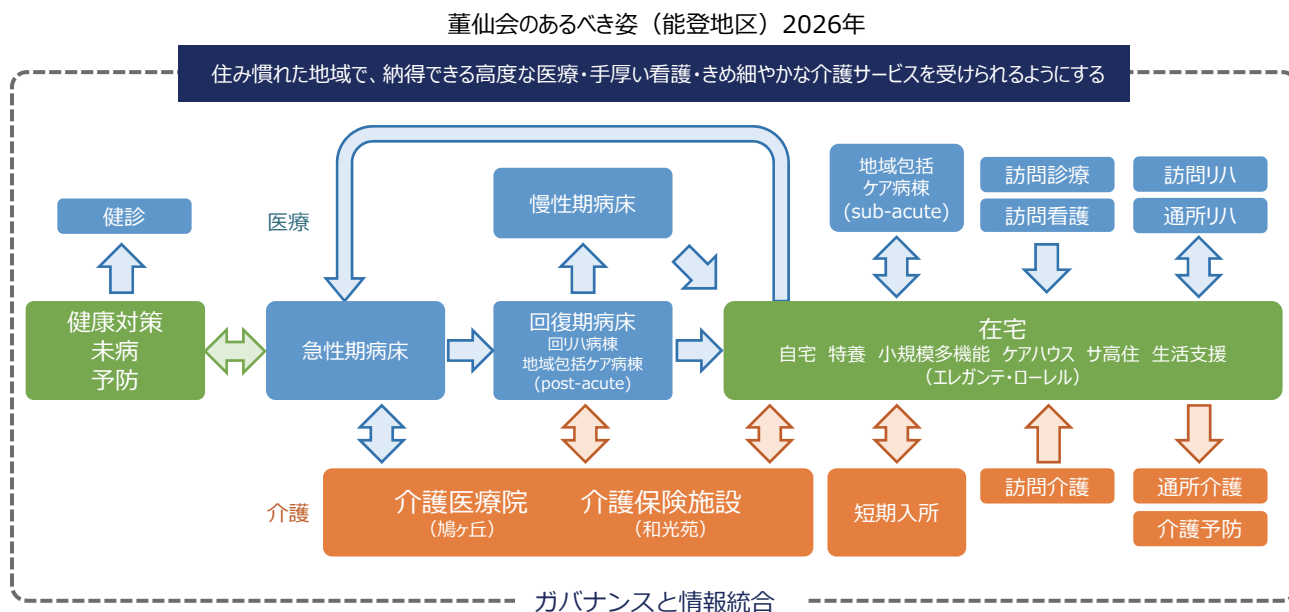
継続的 基本方針	2024年 弱み・脅威の 改善・克服戦略 単年度方針 <u>ATM:明るく楽しく前向きに</u>	2025年 強み・機会の 積極・差別化戦略 単年度方針 <u>MOTTO</u>	2026年 積極・差別化戦略 改善・克服戦 単年度方針 <u>WITH ー 仲間と、地域と、未来と。</u>
One Keijuを 目指す	Dataを活かす 【本院・金沢】夜勤人員の見直し 【本院】恵寿セルケア方式とiPhoneの効率化 【本院・金沢・介護】訪問・通所サービスの見直し 【金沢・介護】不採算部門の改善 【本院・介護】医療介護PFMの構築 【共通】医業収入155億	Dataを活かす 【必須】経営の質向上（医業収入の増加） 【本院・金沢】新夜勤体制構築（看護・介護の協働） 【本院】恵寿セルケア方式の完成 【本院・金沢・介護】訪問・通所サービスの集約・強化 【金沢・介護】新規事業へむけて採算性の強化 【本院・介護】医療介護PFMの完成 【共通】職員の適正配置（人数・適所適材）	【必須】経営の質向上（医業収入の増加・コスト管理） 【共通】THANKS文化の浸透（サンクスギフト） 【共通】職員の適正配置（職種横断で適所適材） 【共通】職員の定着促進・離職防止・リクルート強化 【共通】医療介護PFMの強化 【共通】入所・通所・訪問サービスの強化 【本院・金沢】恵寿セルケア方式の強化（多職種協働） 【本院・金沢】診療報酬改定に対応した体制の構築 【本院】病院機能評価受審に向けた準備
満足度を 100%にする	DX/Data/Design 【本院・金沢】医療の質改善 【本部】施設の老朽化対策 【介護】ロボットの導入 【本院】待ち時間対策と運用・ポケメド活用 【共通】ペーパーレス化（同意書など）の遅れ	DX/Data/Design 【本院・金沢】診療内容の充実・強化 【本部】施設の改修 【介護】ロボットの活用・MaaS事業展開 【本院】待ち時間対策強化・ポケメド活用 【共通】ペーパーレス化の達成 【共通】健康経営の浸透	【共通】ファン・マーケティング（ファンづくり・共創）（信頼の心） 【共通】ユマニチュードの浸透（思いやりの心） 【共通】健康経営の浸透（健康経営優良法人） 【共通】福利厚生の充実（福利厚生優良/推進法人） 【共通】心理的安全性の向上（ハラスメントゼロ） 【本院・金沢】待ち時間対策・外来運用見直し・フローの合理化 【本院・金沢】診療内容の充実・強化 【本院・介護】MaaSの浸透（医療介護送迎サービス）
生きるを デザインする	Designによる仕組みづくり 【本部】人財育成・人事評価制度の見直し 【共通】中堅リーダー教育（恵寿MBAコース他） 【共通】院内副業の開始 【共通】くれない族の存在	Designによる仕組みづくり 【本部】新人事評価制度開始 【本院】院内副業の開始 【共通】人財育成教育体制の充実 【共通】中堅リーダー活躍 【共通】自ら進みでる風土づくり（自立と自律の心）	【共通】人財育成教育の体制充実 【共通】自律的なスキルアップ（アップスキリングとリスキリング） 【共通】中堅リーダーの育成・活躍 【共通】法人内副業（スキルシェア）の定着 【本部】新・人事評価制度の浸透
質を上げる	DX/Data/Design 【本院】脳疾患・泌尿器科リクルート 【本院】地域との新たな関係構築（恵寿フェスティバル他） 【共通】BCM/BCPの年次改編 【共通】EK活動の開始・TQM活動の活発化 【共通】ユマニチュードの拡散	DX/Data/Design 【必須】医療介護マネジメントEラーニングでの学習成長 【本院】診療科の充実 【共通】医療・介護の質向上 【共通】地域連携・マーケティングの強化 【共通】地域との共生（恵寿フェス・市民公開講座等） 【共通】強靱なBCM/BCPの策定更新 【共通】KAIZEN（EK活動の定着・TQM活動の進展） 【共通】ユマニチュードの定着 【共通】全部署モニターのフル活用（業務の可視化）	【必須】医療介護マネジメントEラーニングでの学習成長 【共通】医療・介護の質向上 【共通】地域連携・地域との共生/共創 【共通】KAIZEN文化の強化（EK活動・TQM活動） 【共通】全部署モニターフル活用による業務KAIZEN 【共通】強靱なBCM/BCPの策定更新 【共通】ペーパーレス化の拡充 【本院・金沢】クリニカルパスの質向上 【本院・金沢】医療安全文化の醸成 【本院】診療科の充実
新サービスを 創出する	DXの強みを生かす 【本院】オンライン診療の実施 【本院】AI問診の拡大 【本院】けいじゅ救急搬送サービスの体制構築 【金沢】病院機能の再構築（集患・部門・スピード） 【共通】RPAの積極的展開 【共通】生成AIの導入 【共通】iPhoneの導入と活用 【共通】クラウドファンディングの導入	DXの強みを生かす 【本院】オンライン診療の拡大 【本院】AI問診の活用 【本院】けいじゅ救急搬送サービスの進化 【金沢】病院機能の再構築（集患・部門・採算） 【共通】RPAの活用 【共通】生成AIの活用 【共通】iPhone業務の効率化 【共通】新たなDXの導入	【共通】新たなICTの導入・DXの活用 【共通】AIの活用拡大（生成AI・AIエージェント等） 【共通】業務用iPhoneの活用拡大 【本部】ERP・EAI（業務統合・システム連携）の促進 【本院】ウェアラブルデバイスの活用（HUAWEI等） 【本院】けいじゅ救急搬送サービスの進化 【金沢】病院機能の強化（集患・部門） 【介護】テクノロジー（ロボット）・インカムの活用拡大

■あるべき姿（能登・金沢地区）

医療
介護
生活

1. 能登地区方針

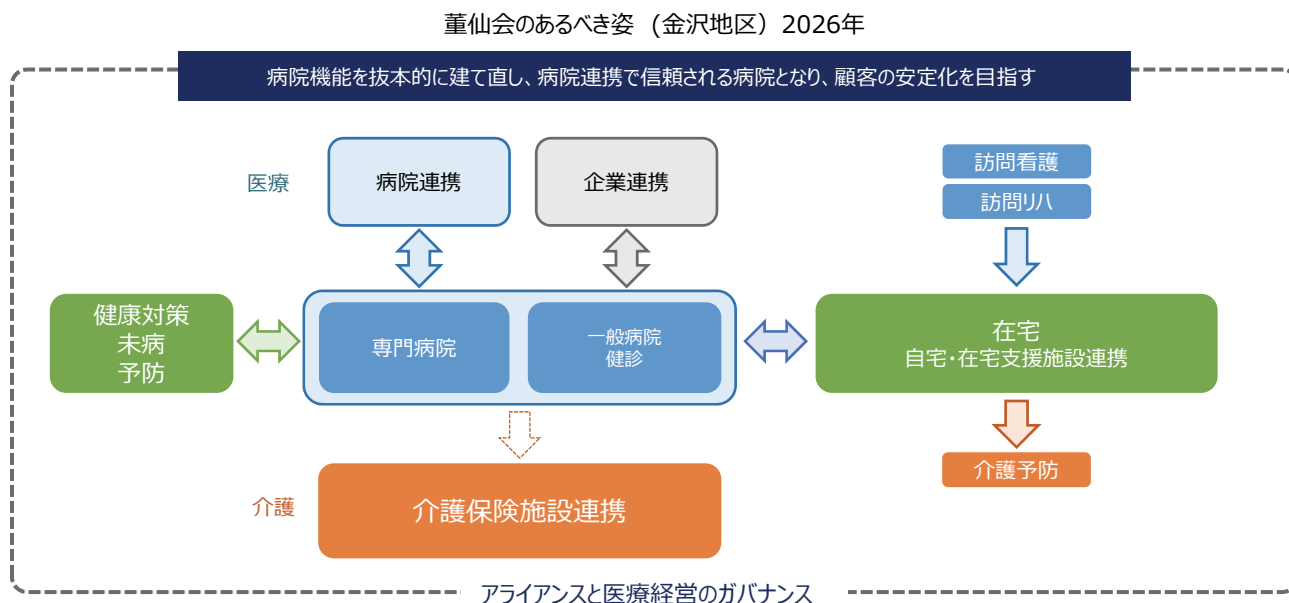
【図3】董仙会のあるべき姿（能登地区）の中では、急性期医療から生活支援までまずPFM（Patient Flow Management）を完成することである。本院ではデータに基づくPFMが2023年度確立したため、今後施設間への拡散が期待される。特に鳩ヶ丘・和光苑・鶴友苑は本院からの利用者受け入れが重要である。また施設では夜間医療が手薄になるため、急変時は本院での受け入れが重要である。訪問系サービス・通所事業は効率化の課題があり、機能を十分に果たし切れていない。地域包括ケアステーションという考えのもとサービス提供日などの集約を図り効率化を進め、併せてサービスの質向上を図ることが肝要である。選択と集中である。



【図3】董仙会のあるべき姿（能登地区）

2. 金沢地区方針

【図4】董仙会のあるべき姿（金沢地区）の中では、病院機能の抜本的建て直しが急務である。紹介元の大学病院・県中などからの信頼を得られるにはどうすることが必要なのかゼロベースで院内における議論から始めなければならない。またデータに基づき1日あたりの新入院患者数を達成できるように医師が中心となり体制再構築を行うべきである。NTT関係会社の健康を預かる病院として、未病・予防などの健康対策に注力されたい。新病院構想を受け、健診業務・外来運用など「昭和の病院」からの脱却を図りたい。



【図4】董仙会のあるべき姿（金沢地区）

董仙会本部 事務管理統括部門

董仙会本部

■ 常務理事	■ 理事長補佐	■ 本部長
神野 厚美	神野 正隆	進藤 浩美

■ 2025年度のトピックス

地震復旧補助金は原状復旧が原則であるが、以前の状態を再現できない3病棟の復旧工事について申請や説明に多大な時間を要した。下記が3病棟メイン工事である。

	既存の状態（被害）	復旧
空調換気	① 5病棟の2基の蒸気ボイラーが損傷。地下配管で3病棟に冷温水を送り冷房、暖房不可能。 ② 3病棟の蒸気式外気処理空調機2基が損傷。	① 5病棟のボイラーを更新しても、地下配管の損傷あり、エアコンに変更。 ② 5病棟の蒸気ボイラー更新しなければ蒸気式使用困難。電気式に変更。不足分は小型交換機を設置。
給湯	③ ①のボイラーが損傷し、3病棟屋上の貯湯槽も損傷、給湯困難。	③ 応急で産科系統をガス温水器設置、恒久的に電気温水器、貯湯槽は1階屋外設置。
給水	④ 本館の受水槽より、ポンプで3病棟屋上の市水、井水の水槽に送水していたが、ポンプも水槽も損傷。	④ 本館より直接加圧給水ポンプにて3病棟に送水。井水量不足予防で節水型便器に変更。

■ 事業報告

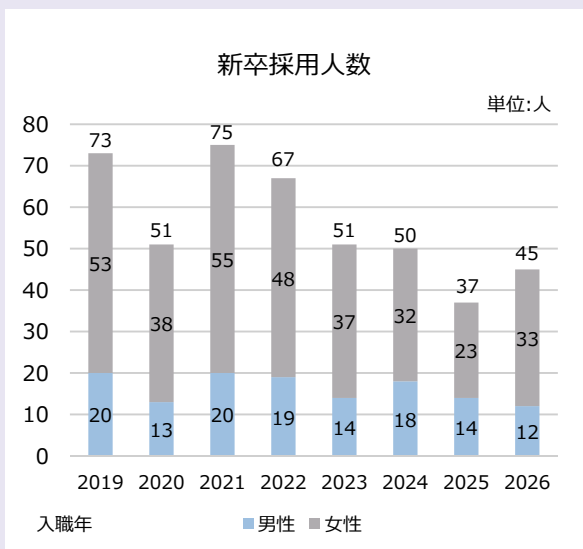
- ① 受賞：災害でも医療を止めないレジリエンス力が評価され第5回日本サービス大賞地方創生大臣賞を受賞。福利厚生推進法人に初認定、例年に続き健康経営優良法人に認定。和光苑では介護職員の働きやすい職場環境づくり厚生労働大臣表彰奨励賞を受賞。
- ② 新人事評価制度：評価基準を見直し、E-learningを活用して職員への浸透を目指した。
- ③ 人材育成：必須研修にWaculbaゼミを導入。ファシリテーターはMBA1期生が担当した。E-learning必修講座の履修率が95.4%まで上がった。
- ④ システム：新システム情報基盤をリプレイスし、拡張性・自由度を増強。金沢病院へのiPhone導入により、全体保有台数は750台に。新アプリ導入用の規程を整備。HUAWEIのスマートウォッチと電子カルテの連携実証を実施。総務部人事システムをクラウドに移行完了。
- ⑤ MaaS：SpareのAIプラットフォームを使用して、定時＆オンデマンド相乗り送迎サービスの「楽のり君」と和光苑とエレガテナぎの浦での協働送迎を開始した。
- ⑥ 地域包括ケアセンターを新設し、ケアマネ、訪問看護、訪問リハ、ヘルパー、福祉用具レンタルの各ステーションが協働できるようにした。

総務部

■部長

松田 久良

■2025年度のトピックス



■事業報告

- ① 新卒採用は早期に対応を心掛け、修学資金制度を充実させるなど、人材確保の強化、採用時期の早期化に対する対策が奏功し、昨年度実績を超える実績の新卒を採用することができた。
- ② 育児・介護にかかわる制度改正があり、それに対応するだけでなく、董仙会として現場の実情に適合するように就業規則を改正を行った。また、その改正ポイントをTQM大会で発表して職員に対して周知徹底を図った。
- ③ 人事システムをクラウド化して新システムを導入し、職員の人事労務に関する多くの申請を電子化し、職員の利便を図ると同時に総務事務のペーパーレス化、生産性向上を実現した。
- ④ 健康経営対策も積極的に行い、健康経営優良法人2026の取得につながった。また、福利厚生制度も充実させ、福利厚生推進法人ハタラクエール2026を取得した。
- ⑤ 新たに導入したE-learning研修受講システム「Waculba」の運用を充実させ、職員へ新たなコンテンツを提供し、4Qに分けて必須講座を指定、受講勧奨を組織的に行った結果、通期の必須講座の受講率が95.4%の高水準となった。

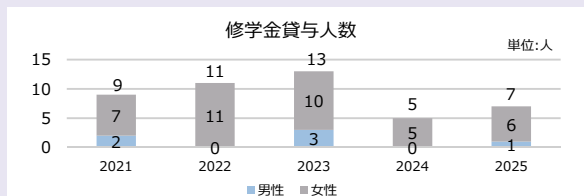
総務部 総務課

■課長

中川 豪、小間 剛

■2025年度のトピックス

新卒採用を強化すべく修学資金貸与者について2025年度から対象を全職種への貸与に拡大した。



■事業報告

- ① 震災で休止していた「楽の君」を2025年7月28日より再開した。時刻表による定時運行とAIを活用したオンデマンド運行で利便性を図った。
- ② 震災被害による施設の修繕は、細かな修繕はあるものの、大規模な修繕は2025年度末で完了した。

総務部 秘書課

■課長

一谷 真澄

■2025年度のトピックス

2025年6月28日付で神野理事長が全日本病院協会会長に就任したことに伴い、秘書課の業務範囲が拡大した。

業務	件数
理事長宛メールの管理 秘書課管理メール件数	8,799件/年（4月～3月）
来客応対件数	89件/年（4月～3月）
名刺管理システムの導入 名刺取り込み件数	2,219件（7月～3月）

※名刺管理システム導入により、スマートフォンでの名刺閲覧が可能となった。

■事業報告

- ① 月・火曜日の対面打合せに加え、金曜日にオンライン打合せを新設。週前半の協議内容について翌週まで待たずに確認・調整が行えるようになり、理事長業務への対応の即時性が向上した。
- ② 秘書業務の言語化・見える化を推進し、秘書課業務に関するマニュアル（108ページ）を新たに作成した。

財務部

■ 部長

安井 智美

■ 2025年度のトピックス

能登半島地震の復旧工事が終了し、災害復旧費国庫補助金の実地調査が行われた。調査当日以降の膨大な質問事項への対応と、次の施設の資料準備を並行して行う必要があり、厳しい日程であった。補助金の査定額が決定し、交付申請並びに事業実績報告の提出終了をもって、一連の補助金関連業務に区切りがついた。

施設名	実地調査日程
鳩ヶ丘	9月11日～9月12日
田鶴浜診療所	10月7日～10月8日
鶴友苑	10月7日～10月8日
恵寿総合病院	11月11日～11月13日
和光苑	11月20日 ※1日目で終了

■ 事業報告

① 証票の電子化

国税関係書類（請求書・領収書等）の電子化を進め、過去2年分も含めて100%を達成した。これにより保管スペースの圧縮や検索など各種処理時間の短縮も実現した。また、月初に集中する資財課の請求書処理業務の内、スキャナ保存業務を経理課とタスクシェアする事で、業務の分散化を図った。

② 財務部の動線見直し

本部の修繕改修に伴う一時的な引越しを利用し、5Sの実施と業務フローの見直しを行った。経理課と資財課が各々で管理していた、資料や物品を共有する事により省スペース化や業務の効率化を実現した。また、資財課物品供給室の場所を移動した事に伴い、納品から保管までの動線の短縮と事務スペースのサテライト化による伝票処理時間の短縮も図った。

③ 本院3病棟3階の修理と改修

震災時に非常食や各種資機材の保管スペースとして利用していたが、工事開始にあたり移動が必要であった。保管場所の確保は勿論、重量物や電子機器が大量にあり対応に苦慮した。

財務部 経理課

■ 課長

河合 隆志

■ 2025年度のトピックス

スキャナ保存元年 過去2年分の証憑の電子化100%



■ 事業報告

- ① スキャナ保存元年：これまで物理的な管理が必須であった国税関係書類（領収書・請求書等）の電子化を開始した。省スペース化及び外部監査における証憑提示のスピードアップを実現させた。
- ② BCP：従来の紙媒体による管理には災害時における消失リスクが存在しているため、そのリスク低減に向けた確かな一歩を踏み出した。

財務部 資財課

■ 課長

延田 宗久

■ 2025年度のトピックス

患者用非常食に引き続き、法人全体の職員用非常食整備を実施した。同時に、全施設で災害食体験も実施した。

施設・地区	体験した防災食
本院	UAA食品 美味しい防災食 豚汁
金沢	本物ごはん カレー・チャーハン・五目御飯
和光苑	ひだまりパン プレーン
恵寿鳩ヶ丘	アルファ化米 山菜おこわ・野菜と果物が溶け込んだカレー
鳥屋地区	ひだまりパン プレーン

■ 事業報告

- ① 鳩ヶ丘・和光苑への見守り機器導入、既存見守り機器を含め一括して業務用iPhoneでの見守り体制構築。
- ② 介護施設のおむつ値上げ提示に対し、おむつ使用の実態調査と使用方法の見直しを行う事で値上げ分を吸収した。
- ③ アスクルの長期間供給停止（サイバー攻撃）に対応。
- ④ 物品供給室を移動し、サテライト業務体制を構築した。

企画部

■ 常務理事

神野 厚美

■ 部長

神野 彩

■ 2025年度のトピックス

- 「日本サービス大賞」を受賞し、当法人の震災時の対応が全国レベルで評価された。
- 董仙会BCMを大幅に改定し、事業継続力を強化した「Ver.5.0」として発刊した。
- 年間508件の制作物作成を可視化し、広報業務の規模を定量化。AI活用・DX推進・データ分析を通じて業務効率と品質を向上させ、ブランド強化を推進した。

項目	内容
日本サービス大賞	2017年総務大臣賞に引き続き、今回の地方創生大臣賞は2回目の大臣賞受賞となった。
董仙会BCM改訂	能登半島地震における経験知や教訓を全面的に盛り込み、内容を一新。各災害ごとの、非常時における法人のあるべき姿を明確にし、より実践的で充実した内容とした。

■ 事業報告

- AIを活用した画像・動画作成・エージェント・アプリ開発など新技術導入を積極的に推進し、制作・広報の内製化と品質向上を実現。
- 4月に「ぼっぼちゃん」デザインをリニューアル。また、シール・マグネット・カレンダー・不織布バッグ・ペン・うまい棒等、多数のオリジナルノベルティを新規制作した。
- 年間の制作依頼件数は、法人内30以上の部署・施設から合計278件にのぼった（初回制作119件／印刷87件／増刷・修正46件（HP修正を除く））。これに、企画部独自の制作活動230件を加えた総計508件の制作業務に対応。
- Microsoft Formsと連携した未完了タスクを自動変換するアプリをWeb公開。いずれも専用URLから利用できる環境を整え、属人的な業務を標準化し、生産性向上と進捗管理の見える化に努めた。
- デジタルコンテンツ拡充：Monthly Medical Report、メディア掲載ページ、アプリ実装（オプション検査ナビゲーター）等のHPコンテンツを新設。MEO施策によりGoogleクチコミ点数2.8→3.4へ向上。LINE公式も運用継続。

情報部 情報管理課

■ 部長

小澤 竹夫

■ 2025年度のトピックス

導入・更新 システム一覧	情報システムインフラ基盤更改
	HUAWEIのウェアラブルデバイス実証実験
	電子サインシステム導入
	AI画像補助診断システム導入
	マンモレポシステム導入
	施設間接続ネットワーク更改
	鳩ヶ丘無線ネットワーク構築
	遠隔読影システム更改

■ 事業報告

- 仮想システムをはじめとする董仙会の情報システム基盤を更改し、仮想マシンはWindows11で構築した。システム更改により、従来よりも仮想システムのパフォーマンスが上がった。
- 電子サインシステムを導入し、電子カルテシステムのペーパーレス化を促進した。
- HUAWEIのウェアラブル端末の実証実験が終了し、今年度に本格導入を予定している。

事務管理統括部門
董仙会本部 委員会・プロジェクト

給食戦略委員会

- 委員長 ■副委員長
神野 厚美 進藤 浩美

■2025年度のトピックス

サテライトキッチンの厨房職員確保の困難さから、盛り付け業務をセントラルキッチンに集約していく方向を検討し、穴水地区で実現した。

また、セントラルキッチンの有効性を生かし、給食体制の維持を主眼として業務改善を行っている。

→①完全調理品の検討

■事業報告

- ① 株式会社日本通商と未来型給食提供検討、ポイントは製造済副食の冷凍、ディスプレイにて人手不足対策
- ② 91周年創立記念日（丼フェス）実施
- ③ 本院産科病棟夜食提供方法の変更（菓子等より軽食に変更）、加熱は各自好みの時間帯で電子レンジ使用、デイルームに電子レンジ設置
- ④ 鶴友苑厨房機器撤去、和光苑西サテライト5S実施

クリーン&5S委員会

- 委員長 ■副委員長
神野 厚美 進藤 浩美

■2025年度のトピックス

4月	鶴友苑・田鶴浜診療所・ローレルクリニック 閉鎖後5S
5月	地域包括ケアセンター開設準備、ケアマネ・訪問看護・訪問リハ引越しと5S
6月	阿良町倉庫のカルテ、検体を新規購入つじが浜倉庫に移動 復興支援隊に一本杉カルテをつじが浜倉庫へ移動依頼
7月	復興支援隊に図書室・こばと倉庫等の5Sと草刈りを依頼
8月	本院5病棟ポータブルトイレ棚の5S
10月	瓜生倉庫の5S
12月	鳩ヶ丘フィルム倉庫・プレハブ倉庫の5S
2月	本部 3病棟3階への引越しと5S
3月	本部 3病棟1階への引越しと5S、病院事務部 3病棟3階への引越しと5S 3病棟地下資材課出し倉庫の引越し、職員ロッカー集約・引越し

■事業報告

- ① オリックス委託での今年度トピックスは、病棟床下コンセント収納部、救急センター・手術センターの天井と床、職員更衣室のロッカー上のメンテナンスである。
- ② 天井のカビ対策として、5年間持続のカビ防止塗装を救急センターで試し、ER自動ドア反応調整も実施した。
- ③ コンセント、アダプターの焦げ交換多数あり、全部署モニターでトラッキング現象についての理解力アップを図った。

広報委員会

- 委員長
神野 彩
- 常務理事
神野 厚美

■ 2025年度のトピックス

広報委員会での報告内容を基に、プレスリリースの発信およびHP上のコンテンツ拡充を行った。また、今年度も複数の受賞実績を獲得し、組織ブランドの強化につなげた。

活動	
受賞数	9タイトル
プレスリリース発信	プレスリリース（北陸）：36回 プレスリリース（全国）：2回

■ 事業報告

受賞順:病院広報アワード2025 優秀賞（経営者部門）／Success of the Year Award by GHC／介護職員の働きやすい職場環境づくり厚生労働大臣表彰 奨励賞（和光苑、ローレル）／日本サービス大賞 地方創生大臣賞／日本経営財団賞／WORLD'S BEST HOSPITAL2026（恵寿金沢）／READYFORインパクトアワード2026「審査員賞」／日本のサービスイノベーション2025

TQM・EK活動委員会

- 委員長
森下 毅
- 副委員長
安井 智美

■ 2025年度のトピックス

今年度のテーマは「MOTTO」。優秀賞は以下のとおり。

前期	活動テーマ
セッション1	呼吸機能検査、MOTTO分かりやすくMOTTO効率的に
セッション2	外来改革！フレキシブル運用による生産性の最大化
セッション3	看護師・介護福祉士との協働による褥瘡・スキンケア予防：専門性連携による個別ケアの深化
後期	活動テーマ
セッション1	MOTTO満足 MOTTOオプションもっとMOTTO増収
セッション2	地域PFMの構築 ～無限に繋がる支援の輪：インフィニティリング～
セッション3	地域包括ケア病棟から安心を届ける～在宅と直入院の連携～

■ 事業報告

- 2025年度のTQM活動は、28件の活動報告があった。前期の発表大会を2025年9月27日（土）に、後期の発表大会を2026年2月28日（土）に開催した。タスクシェア・シフトを目的とした内容が目立った。
- EK活動報告件数は941件となり、前年度554件から大きく増加した。KAIZEN文化の浸透が顕著になってきている。

個人情報管理委員会

- 委員長
進藤 浩美

■ 2025年度のトピックス

iPhoneに新たに導入したアプリケーション

導入アプリ	目的	導入先
Copilot	業務効率化	全職員
Waculba	人財育成	全職員
THANKS GIFT	コミュニケーション活性化	全職員
HOKUTO	医師臨床支援	医師
眠りSCAN	介護の見守り支援	和光苑・鳩ヶ丘
ネオスクエア	介護の見守り支援	介護施設
トイレDIARY	介護の見守り支援	和光苑

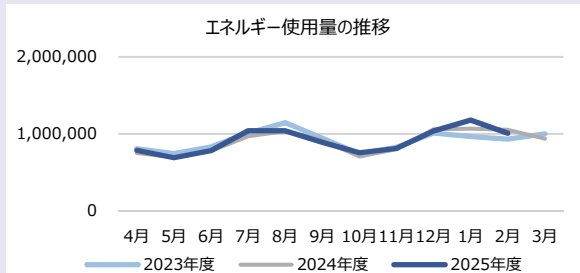
■ 事業報告

- 董仙会個人情報マネジメントシステムを変更した。
- iPhone運用管理規程を改定した。
- プライバシーポリシーにおいて、改正個人情報保護法の政令第10条（1）に該当する「保有個人データの安全管理のために講じた措置」が曖昧だったため、新たに、「10.安全管理のために講じた措置について」の項目を追加した。

EM（Energy Management）委員会

- エネルギー管理企画推進者
森下 毅

■ 2025年度のトピックス



■ 事業報告

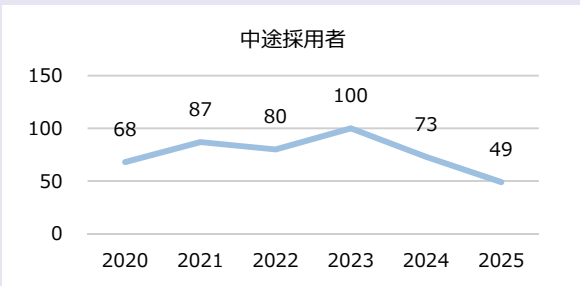
- 光熱費モニターを活用し、月ごとのエネルギー使用量をモニター監視を行った。
- 昨年度から、エネルギー効率の悪い旧式ボイラーなどを交換・廃止している。また、古い照明機器のLED化も順次進めている。
- 電気使用量は前年対比で2.5%と微増した。節電についての啓発を行っていく。

リクルート委員会

■委員長

松田 久良

■ 2025年度のトピックス



■事業報告

- ① 能登半島地震後の人口減少などの要因により、人材不足が深刻化した。被災者雇用維持の観点から、地元企業からの出向やアルバイト、震災復興応援ナースなどを積極的に受け入れたが、中途採用者は低調な結果となった。
- ② 医療の質向上のため、経験豊富な救急科、放射線科、泌尿器科の医師を各科1名ずつ採用した。

福利厚生委員会

■委員長

松田 久良

■ 2025年度のトピックス

福利厚生推進法人ハタラクエール2026を取得した。



■事業報告

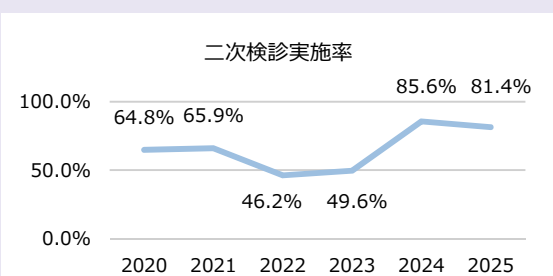
- ① こども参観日：恵寿総合病院だけでなく、和光苑、鳩ヶ丘にも拡大して開催した。
- ② 七尾港まつり：震災後再開の港まつりに200名参加。
- ③ サンクスギフト：職員同士で感謝を伝えるアプリ「THANKS GIFT」を導入した。
- ④ 日本病院会倶楽部：日本病院会のサービスの利用を開始した。

健康経営対策委員会

■委員長

松田 久良

■ 2025年度のトピックス



■事業報告

- ① 健康診断・特定健診定期健康診断：計画どおり実施し、未受診者への個別対応を徹底した。
- ② 特定保健指導・二次検診特定保健指導：早期介入を重視し、受診率の維持・向上に努めた。二次検診は昇級制度との連動や上司を含めた働きかけにより、受診の定着を促進した（81.4%）。
- ③ 外部評価：健康経営優良法人2026を取得した。

人事評価プロジェクト

■リーダー

神野 正隆

■副リーダー

神野 厚美、進藤 浩美、松田 久良

■ 2025年度のトピックス

見直した評価基準：成果評価、総合評価割合、昇級基準

	成果評価 5段階	%
S	目標を大幅に上回る結果	150% < 達成度
A	目標を上回る結果	100% < 達成度 ≤ 150%
B	目標をほぼ達成した結果	90% < 達成度 ≤ 100%
C	目標を下回る結果	60% < 達成度 ≤ 90%
D	目標を大幅に下回る結果	達成度 ≤ 60%

■事業報告

- ① 初めてnavigatorシステムを使用し、2024年度成果評価、行動評価、2025年度成果目標提出を実施した。
- ② Navigatorの成果評価結果を活用してヒアリングを実施した。
- ③ 2024年度結果をまとめ、人事委員会で検討。分析結果から評価基準を見直し、周知のE-learningを作成し、ブラッシュアップを行った。

キャリアデザインプロジェクト

■リーダー ■副リーダー
神野 厚美 進藤 浩美

■ 2025年度のトピックス

今年度、見直し更新したE-learningコンテンツ

コンテンツ名
基本理念とMission、中期計画、今期計画、董仙会の概要、倫理綱領、採用時オリエンテーション1・2、就業規則、人事評価規程1・2、服装規程、著作権
コンテンツ名（健康経営）
喫煙と禁煙、あなたの体重をデザインする、介護保険制度入門、睡眠、更年期障害

■ 事業報告

- ① 年間24の研修会を実施。今年度は6班編成でプログラムを企画。Waculbaゼミを利用したグループワーク実施を目指し、ファシリテーターは恵寿MBA修了生が担当。
- ② E-learning必須講座履修は、2026年3月末全体受講率は95.4%と昨年の89.8%をさらに上回った。
- ③ ブック『キャリアデザインプロジェクト2026 Ver.7』を発刊した。

iPhone導入プロジェクト

■リーダー ■副リーダー
進藤 浩美 小澤 竹夫

■ 2025年度のトピックス

けいじゅヘルスケアシステムiPhone導入台数

導入年	董仙会	徳充会	合計
2023.4	本院周囲・予備519	ローレル1	520
2024.10	和光苑28、鳩ヶ丘27 鶴友苑21、ほのぼの11 本院11	ローレル11、エレなぎ21	130
2025.10	金沢病院・予備80		80
2025.12	本院予備21	エレなぎ3、もみの木6	30
合計	718	42	760

■ 事業報告

- ① 2025年度は、金沢病院にiPhoneを80台導入した。固定電話の削減は67台から29台までにとどまり、今後仕組みを変え、さらにPBXの軽量化を図る。不通場所があり、アクセスポイントを5台追加した。
- ② 鳩ヶ丘で、院内ネットワークの構築を実施した。未構築の介護施設のiPhoneのセキュリティ対策として、BONXアプリ導入の場合、Outlookアプリを削除した。

復興補助金タスクフォース

■リーダー ■副リーダー
進藤 浩美 安井 智美

■ 2025年度のトピックス

災害復興補助金申請 申請必要書類
●協議書（全ての工事内容・見積金額・工事時期を記載） ●個表（見積の内容、数量・単価・金額を記載） ●見積、図面・損傷写真（見積ごと） ●損傷証明書（機械類） ●見積1社理由（見積ごと） ●隣接する施設の費用按分と根拠書類（例 鶴友苑と診療所の間の工事は、診療所、エレなぎ、もみの木が隣接、費用按分と根拠資料）
査定 → 査定額確定
●印刷（厚労省分、財務局分、上記書類全て） ●見積項目ごと査定（例：病院の場合、アスファルト舗装は配管工事面積以外は査定）
報告書提出 → 交付決定通知、交付確定通知
●注文書・請求書・請求書・完成後図面・完成写真・工事完了報告書（見積ごと） 精算交付申請書
●申請書 ●収入支出決算書抄本 ●口座振込依頼 ●請求書

■ 事業報告

- ① 恵寿総合病院、鳩ヶ丘、和光苑、鶴友苑、田鶴浜診療所の5施設について地震復興補助金を申請した。
- ② 地震による介護施設の損傷した備品、設備の災害復興補助金は、鳩ヶ丘、和光苑、鶴友苑、ケアマネステーションの4施設分を申請した。
- ③ 病床機能再編支援給付金、病床機能転換補助金を申請した。

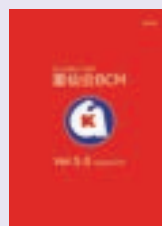
BCMタスクフォース

■部門代表者
神野 厚美、神野 彩

■ 2025年度のトピックス

BCM Ver.5.0 表紙

参考資料（職員証明書）



■ 事業報告

- ① 2024年能登半島地震において、功を奏したBCM4.0に震災時の対応を付記し、大幅に改訂した。非常時における危機管理統括本部設営から各班の役割まで詳細をリスクごとに再定義を行った。連絡体制も各班ごとに明記し、職員が行動を起こしやすいようにした。
- ② 参考資料として、切り取って使える資料を掲載し、早急な対策も可視化した。

医療事業統括部門 恵寿総合病院

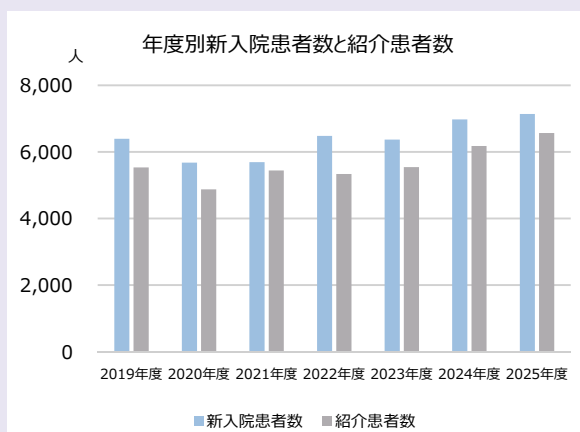
恵寿総合病院

■ 病院長

鎌田 徹

■ 2025年度のトピックス

地域住民や他医療機関からの信頼度を示す重要指標である新入院患者数と紹介患者数は、新型コロナや能登半島地震の影響を受けた2020年度と2023年度は低下したが、その後は回復し、2025年度はいずれも過去最高を記録した。



■ 事業報告

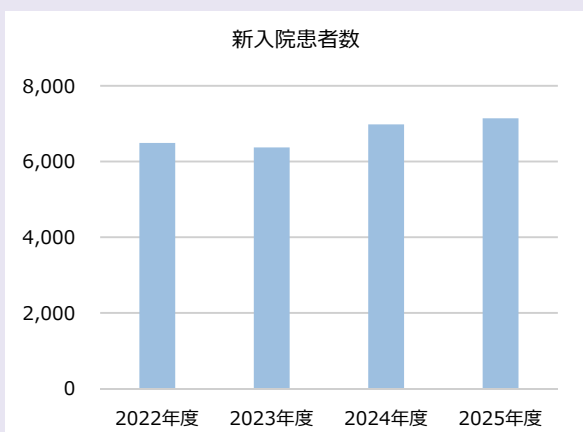
- ① 病院指標等について（↑:前年比上昇、↓:同低下）
病床稼働率、平均在院日数、急性期の医療・看護必要度Ⅱは、83.6%↑、11.0日↓、①21.5%↑②31.9%↑だった。救急車受入台数、新入院患者数、全身麻酔件数は1,862台↑、7,138人↑、863件↓、紹介・逆紹介数は6,568件↑、7,978件↑だった。
- ② 新たな取組・イベント・受賞などについて
4月新リニアック稼働。6月HUAWEI製スマートウォッチを用いた世界初の入院患者向け実証試験開始。7月rTMS（反復経頭蓋磁気刺激）導入、七尾港まつり総踊り200名参加。9月けいじゅフェスティバル開催、急性期入院基本料1を2に変更、CSIRT（サイバーセキュリティ対応チーム）発足。12月日本サービス大賞（地方創生大臣賞）受賞。1月JMIP認証。2月市民公開講座（認知症）開催、けいじゅ救急搬送サービス受付対応時間延長。
- ③ 今後に向けて
医療安全を基本とし、職員満足度を高めながら、医療・看護・介護の質と利用者へのサービス向上に努める必要がある。DXやユマニチュード等の取組をさらに推進し、当院の課題である外来患者満足度を高める。

診療部

- 診療部長 ■診療副部長
能登 正浩 金田 朋也

■2025年度のトピックス

昨年度に引き続き新入院患者数の増加を第1目標とした。年間累計では、前年度を2.3%増加し過去最高を更新した。電子カルテシステムにも生成AIが搭載され、退院サマリーの作成等の作業効率が格段に向上した。



■事業報告

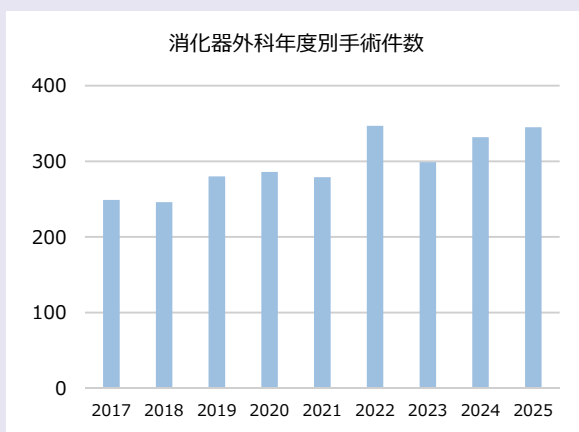
- ① 新入院患者数の目標を570人/月とした。年度平均で595人/月となり目標を達成となった。
- ② 手術件数は、前年度比101.4%と増加した。全身麻酔件数は、前年度比で10.5%減少したものの、過去で2番目の件数であった。
- ③ 恵寿ローレルクリニックが閉院となり、クリニックのかかりつけ患者を本院外来の各診療科で継続して診療することとなった。結果、外来患者数は4.5%の増加となった。
- ④ 生成AIを活用推進を継続した。電子カルテシステムにも生成AI機能を搭載し、退院サマリー作成等の作業効率は向上し、記載率アップにも寄与している。AIによる胸部単純X線画像診断支援の実運用に加え、頭部CTや頭部MRIにおいても実証実験を行った。
- ⑤ 医師一人当たりの平均残業時間は、前年度比で9%減少した。
- ⑥ 9月に開催したけいじゅフェスティバルにも、多くの医師が参加し、体験ブースでのレクチャーやミニコンサートで会場を盛り上げた。

消化器外科

- 所属医師
能登 正浩、荒木 崇博、梅村 太一

■2025年度のトピックス

2025年度は手術件数が345件であった。2024年度より13件増加し、過去9年では2番目に多い件数であった。



■事業報告

- ① 消化器外科の昨年度の手術件数は345件であり、過去9年間では2022年度に次ぐ2番目に多い件数だった。全麻件数は280件であり、2022年度から大幅に増加した後、震災のあった2023年度を除くとほぼ同等の件数で推移している。
- ② 手術時間・在院日数についての検討でも、2022年以前と比較し2022年以降は大幅に改善を認め、その状態を維持している。
- ③ 今後、能登地域の人口減少に伴い手術件数の減少が懸念されるが、その対策として特別なアクションで何とかしようとするのではなく、目の前の患者に対して満足度の高い診療を提供していくことが、紹介を含む外来患者数、手術件数の安定につながると考えている。今まで通り、地域に即した満足度の高い医療の提供を目指して診療を継続したいと考えている。

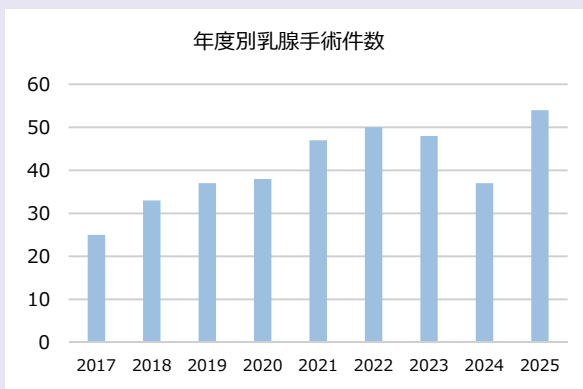
乳腺外科

■所属医師

鎌田 徹、高井 優輝

■2025年度のトピックス

2024年度は震災の影響を受け、業績が一時的に落ち込んでいたが、2025年度においては概ね年間を通じて業績が大きく回復し、月々の売り上げも順調に推移した。特に、乳腺手術の症例数が過去最高の54例に達し、その成果が業績向上に大きく貢献したものと考えられた。



■事業報告

- ① 今年度において乳癌患者の集患という意味では、乳腺外科への紹介件数の減少や、当院ドック乳癌検診受診者数の減少（婦人科医師の減少により女性の受診者数が減少する曜日があった）など、乳腺科の業績向上には不利な要素も認められたが、結果として乳癌手術症例数は過去最高件数であった。要因として、これまで紹介のなかった病院からの紹介があったり、インターネットを通じて当院を選んでいただいたりしたケースなどの経験を踏まえると、徐々に能登地域における恵寿総合病院乳腺外科の知名度や評判が高まっているのではないかとと思われる。
- ② 今年度は、保険適応となっている吸引式乳腺組織生検（VAB）を導入し、コア針生検（CNB）では診断が難しい石灰化病変や不明瞭なしこりなどのケースで使用した。一度に複数の組織を採取することが可能なため、何度も針の出し入れをする必要がなく、診断精度の高い検査となる。また、放射線技師1名が日本乳がん検診精度管理中央機構の乳房超音波試験に合格した。今後も多職種協働で乳癌診療の精度向上に努めていきたい。

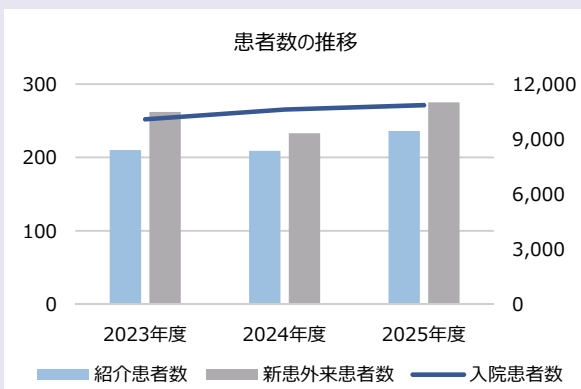
血液内科

■所属医師

山崎 雅英、中川 紀温

■2025年度のトピックス

金沢大学血液内科、恵寿金沢病院とも連携し、最先端で患者に最も適した医療を行った。「血液がん地域連携セミナー in 能登」「穴水総合病院血液疾患勉強会」などを通じて能登唯一の血液内科専門医・指導医常勤施設として、能登地区の血液疾患診療を支えた。



■事業報告

- ① 金沢大学血液内科、恵寿金沢病院と連携し、CAR-T療法、造血幹細胞移植など、最先端で患者に最適な医療を提供した。
- ② 自院で非ホジキンリンパ腫や多発性骨髄腫に対し、二重特異性抗体療法など、新規治療を導入した。
- ③ 能登唯一の血液内科専門医・指導医常勤施設として、「血液がん地域連携セミナー in 能登」「穴水総合病院血液疾患勉強会」などを通じて能登地区の血液疾患診療連携を推進した。
- ④ その結果、紹介患者数（210名（2023年度）→209名（2024年度）→236名（2025年度））、逆紹介患者数（281名→219名→345名）、新患外来患者数（262名→233名→275名）、入院患者数（10,080名→10,609名→10,849名）と能登半島地震にもかかわらず順調に増加している。
- ⑤ 学術活動も積極的に行った。（論文1報、学会発表9件、講師・座長15件）

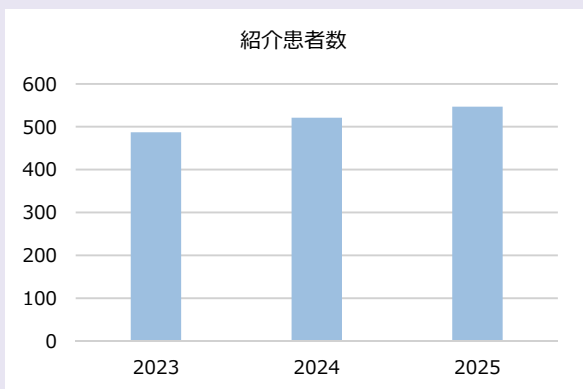
呼吸器内科

■所属医師

松岡 寛樹、中井 知帆香、掛下 和幸

■2025年度のトピックス

- ① 日本呼吸器学会専門医（1名）、日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医（2名）、日本肺癌学会暫定指導医（1名）が新たに誕生、肺癌教育認定施設に承認された。
- ② 紹介患者数はここ3年で最多となった。



■事業報告

- ① 地域連携（紹介・逆紹介）を推進した。
- ② 新規紹介患者は徐々に増加傾向であり、今年度も専門的な医療の質の向上を目指し、さらなる増加を狙う。
- ③ 肺癌教育認定施設に承認されたため、新たに新設された日本肺癌学会専門医の取得を目指し、能登地区の肺癌診療においてより中心的な役割を担う。
- ④ 間質性肺炎患者の早期発見・治療のため、簡易なパンフレットを作成し、能登地区の医療機関に配布し、紹介しやすい環境づくりを行う。
- ⑤ 2026年に金沢大学附属病院に呼吸器先端医療センターが開設、当院へ新たに金沢大学附属病院から呼吸器外科医師の非常勤勤務が決定したこともあり、同病院との連携の強化および患者情報共有を緊密に行い、患者にとって最適な治療をスムーズに行う。
- ⑥ 今後は呼吸器内科の増員を要望するとともに、限られた人材での効率的な業務遂行を目指していきたい。

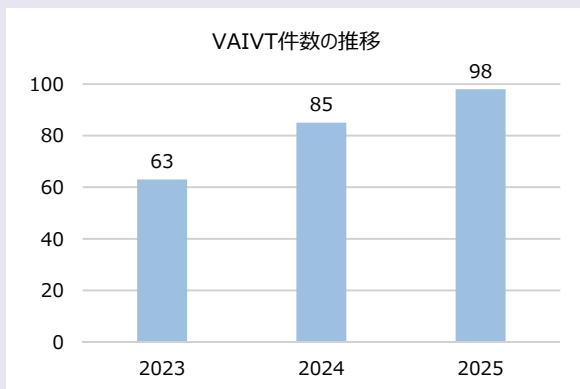
腎臓内科

■所属医師

岡田 圭一郎、矢部 友久、山口 貴之

■2025年度のトピックス

シャント血管内治療（VAIVT）件数の増加や長時間透析の拡大により、血管アクセス管理および透析の質向上を推進し、専門性の高い診療体制の強化が図られている。



■事業報告

- ① 腎臓内科では、新入院患者数は346件（前年比0.3%減）と横ばいで推移し、安定した入院受け入れ体制を維持した。
- ② 紹介件数は200件（前年比13.4%減）、初診患者数は266人（前年比8.6%減）と減少し、新規患者の流入は低下傾向であった。
- ③ シャントトラブルに対する血管内治療（VAIVT）は2024年度85件、2025年度98件（前年比15.3%増）と増加した。また、2025年度より奥能登地域からの受け入れを開始し、3件の実績を得た。
- ④ 血液浄化センターでは、4時間以上5時間未満の透析件数は12,596件（前年比77.9%増）と増加した。5時間以上の透析件数も890件（前年比70.2%増）と増加し、長時間透析の実施体制の強化と質的向上が認められた。これらにより、血管アクセス管理および透析医療の質向上が推進されている。
- ⑤ 今後は地域連携の強化による新規患者確保が課題である。

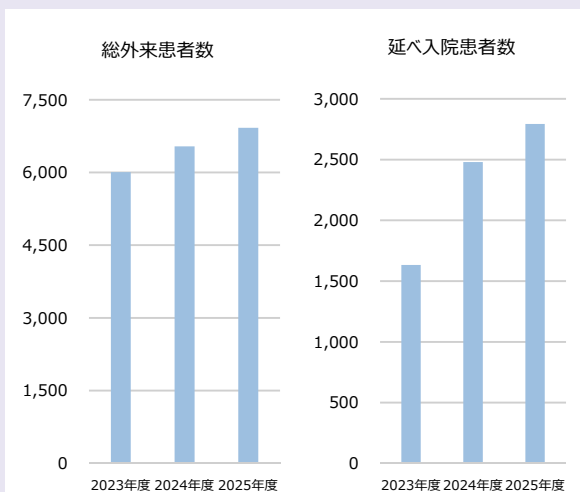
代謝内分泌内科

■所属医師

宮本 正治、塩谷 昌大

■2025年度のトピックス

常勤専門医の確保が困難な中、地域枠の専攻医派遣を得て、診療機能を維持できた。

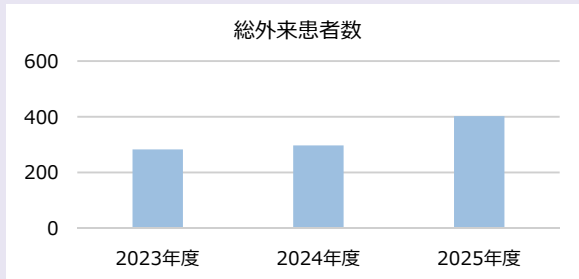


■事業報告

- ① 常勤医の退職が迫る中、病院等の努力で金沢大学代謝内分泌内科より地域枠の医師派遣を得られ、診療機能を維持できた。短期間で医師交代する中、スタッフ、患者の負担があったと思うが、事故なく診療継続できた。
- ② 糖尿病入院患者のケースカンファレンスを継続開催し、病棟看護師はじめ糖尿病チームで疾患のみでなく、患者背景を視野に入れた問題点を共有し、治療にあたる体制を維持・強化した。
- ③ 安全かつ効率的に糖尿病診療が行えるよう、糖尿病委員会の活動を継続した。
- ④ 総外来患者数、延べ入院患者数、逆紹介患者数は微増したが、紹介患者数、新患者数は減少した。かかりつけ医とのつながりを深める努力が求められる。
- ⑤ 糖尿病以外の内分泌疾患としてバセドウ病や甲状腺機能低下などの甲状腺疾患が増加しつつある。
- ⑥ 以前は当院耳鼻咽喉科に紹介して手術した症例はほぼなかったが、甲状腺腫瘍・バセドウ病の手術症例が少しずつ増えてきている。今後、力を入れていきたい分野である。

膠原病内科

■2025年度のトピックス



■事業報告

- ① 非常勤医師による診療体制となっており、日本リウマチ学会 リウマチ専門医により、専門的な自己免疫疾患（関節リウマチ、全身性エリテマトーデス、シェーグレン症候群、血管炎症候群など）の診療を行った。
- ② 外来総患者数は、前年度比で35.4%増加した。当院内科医師（血液内科等）とも連携して対応をしている。

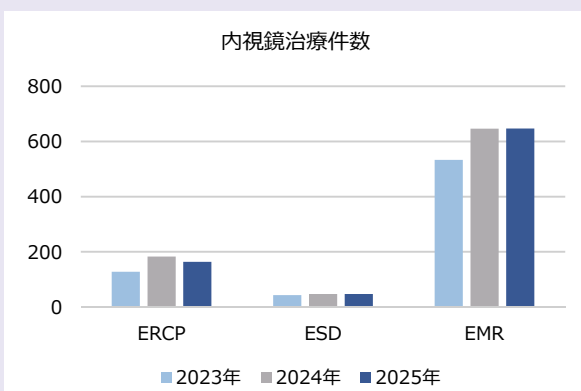
消化器内科

■所属医師

神野 正隆、藤原 秀、吉尾 隆利、上野 和音

■2025年度のトピックス

内視鏡総件数・内視鏡治療件数（以下）は共に前年と比較し横ばいであった。「膵がんMRI検診」からの早期膵がんの拾い上げにも積極的に取り組み、精査（EUS/EUS-FNA/SPACE）件数も増加した。



■事業報告

- ① 健診・外来における内視鏡検査のニーズに応え、直近5年は右肩上がりのトレンドだが前年比ではやや減少した。当日内視鏡も件数制限を設けず対応しており、総件数は9,382件（前年9,576件）。
- ② 24時間365日受入体制で、能登北部・中部医療圏からの紹介を中心に即対応し、速やかに治療を行っている。ERCP164件（前年183件）、ESD47件（前年47件）、EMR647件（前年646件）といずれも前年同等。内視鏡処置完遂率も95%以上を維持している。
- ③ 早期膵癌の拾い上げ・精査にも注力し、EUS/EUS-FNA:31/17件（前年25/11件）、連続膵液細胞診（SPACE）も16件といずれも増加した。
- ④ 紹介886件（前年796件）、逆紹介1,357件（前年1,257件）共に経時的に増加。能登最後の砦として断らない医療を継続しつつ、かかりつけ医との連携強化のため、積極的な逆紹介に引き続き注力している。
- ⑤ パス利用率は年間を通じほぼ100%で推移し、治療の標準化や医師・看護師・メディカルスタッフの業務負担軽減、生産性・効率性向上に寄与した。
- ⑥ データ分析（自病院・ベンチマーク分析等）結果を踏まえ、最適治療を心掛け、指標の改善を行った。

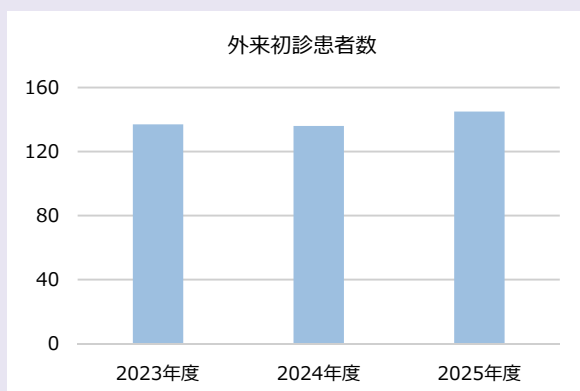
心臓血管外科

■所属医師

西澤 永晃

■2025年度のトピックス

外来初診患者数が増加した。診療体制の縮小があり、心臓大血管手術は現在金沢医科大学病院と連携して行っている。末梢動脈手術、下肢静脈瘤手術は継続している。表在静脈瘤は切除に加え、一部レーザー焼灼による手術に切り替えて行っている。



■事業報告

- ① 患者数実績
外来初診患者数：145人（前年比106.6%）
外来総患者数：2,528人（前年比97.3%）
新入院患者数：151人（前年比92.6%）
総入院患者数：1,892人（前年比66.7%）
外来初診患者数は増加。短期入院患者割合が増加したため、総入院患者数は減少となった。
- ② 手術実績
手術件数は158件（前年比101%）
下肢静脈瘤手術が大半を占める。続いて、透析関係（シャント増設等）が多い。動脈手術は金沢医科大学病院や、金沢医科大学氷見市民病院との連携で対応している。
- ③ 昨年度に引き続き、能登半島地震の影響による、深部静脈血栓症予防の啓発や、これまでの臨床結果をもとに、関連する学会や研修会において発表・報告を行った。第1回DVT検査技師育成研修会を開催した。

循環器内科

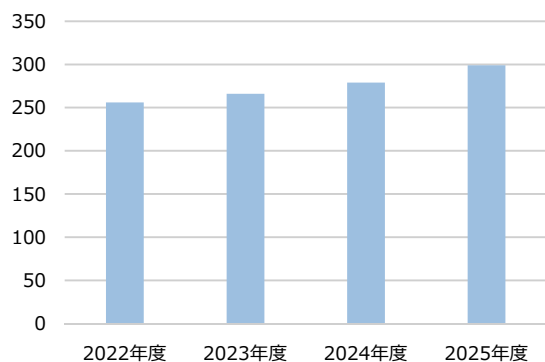
■所属医師

金田 朋也、真弓 卓也、道谷 直樹

■2025年度のトピックス

- ① 初診外来患者数が299人、紹介件数が588件と、直近4年間でともに最多だった。
- ② 日本心臓リハビリテーション学会指導士が誕生した。

初診外来患者数



■事業報告

- ① 患者数は増加傾向を示した。
総外来患者数：8,602人（前年比108%）
初診外来患者数：299人（前年比107%）
延べ入院患者数：8,510人（前年比98%）
新入院患者数：583人（前年比103%）
- ② 手術件数は、207件（前年比105%）で微増した。
経皮的冠動脈形成術 129件（前年比91%）
ペースメーカ植込み術 28件（前年比116%）
リードスペースメーカ植え込み術を導入し、低侵襲となったことで件数の増加に寄与した。
四肢血管治療 30件（前年比300%）
2023年度の件数が少なかった反動か、2024年度は著増した。
- ③ 珠洲総合病院の出張外来を継続している。能登北部の地域医療に今後も貢献していく。

脳神経外科

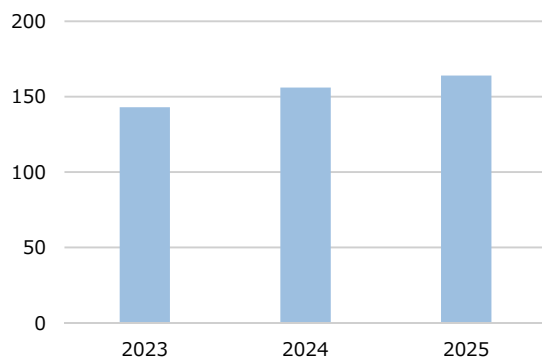
■所属医師

岡田 由恵、東 壮太郎

■2025年度のトピックス

東 壮太郎医師が頭痛学会専門医を取得した。

紹介患者数

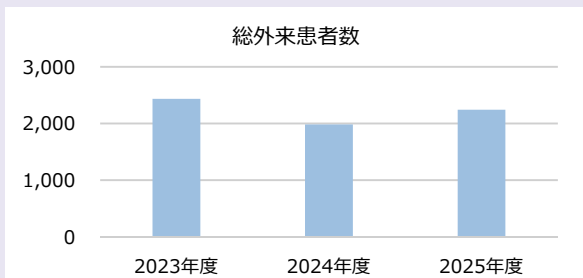


■事業報告

- ① 新入院患者数：141人
手術件数：6件（慢性硬膜下血腫6例）
tPA症例：6例
- ② 平均在院患者数は24人。
- ③ 能登総合病院をはじめとして、金沢大学病院、県立中央病院、金沢医科大学病院の脳神経外科で、超急性期治療終了後症例の転院受け入れ依頼に対し、回復期リハビリ病棟と調整して受け入れている。
- ④ 血栓回収術を含む緊急手術が必要な症例に関しては、能登総合病院、金沢大学病院、県立中央病院、等と連携し、迅速に対応できる体制をとっている。
- ⑤ 脳腫瘍、未破裂脳動脈瘤等で、高度な治療が必要な症例に関しては金沢大学脳神経外科と連携して、対応している。
- ⑥ 術後の受け入れについては、当院からの紹介のみでなく、能登総合病院からの紹介症例も受け入れている。
- ⑦ 金沢大学脳神経外科から専門医を外来応援に派遣していただき、症例のコンサルテーションを行っている。

脳神経内科

■ 2025年度のトピックス



■ 事業報告

- ① 非常勤医師による診療体制となっている。診療日は水曜日および金曜日（いずれも午前中）となっている。
- ② 初診患者数、総外来患者数ともに、前年度実績を上回った。画像などの検査件数も増加した。
- ③ 市民公開講座として、金沢大学脳神経内科の小野賢二郎教授に認知症をテーマに講演を行っていただいた。

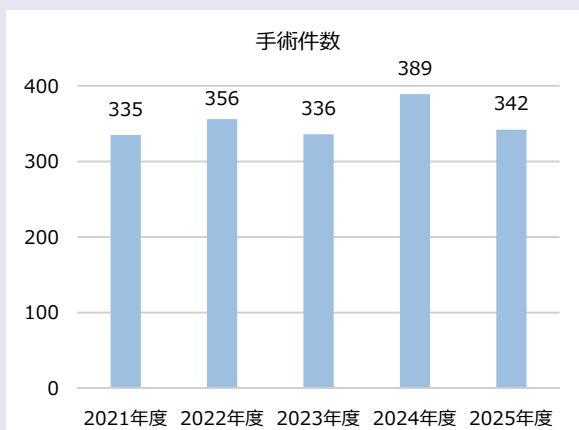
整形外科

■ 所属医師

森永 敏生、稲谷 弘幸、浅井 一希、岸田 晟利、
上出 貴洋

■ 2025年度のトピックス

手術は、昨年同様、変形性膝関節症に対する人工関節置換術、骨切り術、関節鏡視下手術に力を入れた。また大腿骨近位部骨折に対し、可及的早期に手術を行うように努力した。

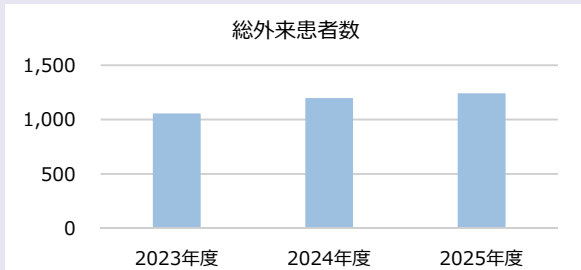


■ 事業報告

- ① 4月から稲谷医師と上出医師が着任し、4人体制に戻った。3月で退職した浅井医師が留学を経て11月から再就職となった。それに伴い、岸田医師が10月で退職となった。
- ② 初診患者数は877人で前年878人とほぼ同数であった。
- ③ 新入院患者数は617人で、前年614人とほぼ同数であった。
- ④ 紹介件数は439件（前年423件）、逆紹介件数は486件（前年484件）と、前年と比較してともに少し増加した。
- ⑤ 珠洲、輪島、宇出津、穴水、富来の5病院からの紹介患者数は30人（前年34人）であった。
- ⑥ 手術件数は342件（前年比12%減）であった。前年度多かった震災関連の外傷症例が減少したことが要因と考えられる。
- ⑦ 今年度も定期的にカンファレンスを実施し、看護師のみならず薬剤師、理学・作業療法士、放射線技師、MSW等のスタッフとの連携を重視して診療した。
- ⑧ 今年度も骨粗鬆症リエゾンチームの活動として、2次性骨折予防活動を展開した。全職員に対する研修を実施した。

呼吸器外科

■ 2025年度のトピックス



■ 事業報告

- ① 非常勤医師による診療体制（毎週火曜の午後）
- ② 総外来患者数は1,242人で、前年実績より3.7%増加した。
- ③ 手術症例については、主に金沢医科大学病院と連携して行った。

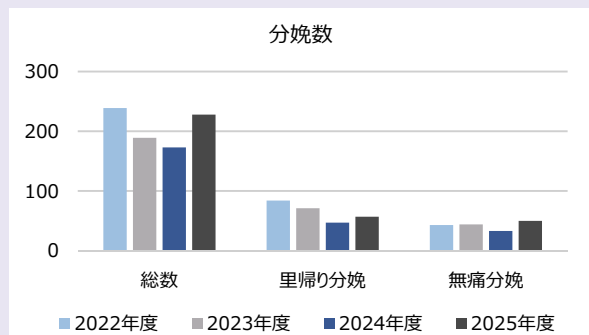
産婦人科

■ 所属医師

新井 隆成、安田 豊

■ 2025年度のトピックス

- ① 減少傾向にあった分娩数は、能登地域の分娩取扱施設が二つのみとなった影響により増加した。
- ② 震災の影響で減少した里帰り分娩の割合は回復しておらず、復興途上であることを示す一つの指標と言える。
- ③ 分娩管理における全国的ニーズである無痛分娩数が増加している。

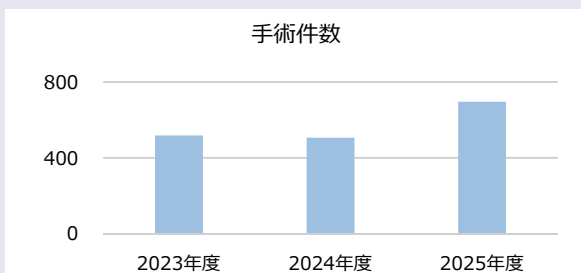


■ 事業報告

- ① 能登全地域の分娩取り扱い施設は、当院と能登総合病院の2施設となった。
- ② 能登北部からのお産を安全に守る対策である「避難入院」「産後ケア」「出産サポート119」の受け入れ対応を行っている。
- ③ 全国的にニーズが高まっている無痛分娩件数は過去最高の件数となった。麻酔科との連携によるオンデマンドの無痛分娩体制は、能登の妊産婦が安心してお産に臨める重要な要素となっている。
- ④ 安全なお産を守るために強化しているrisk based managementによって、分娩管理の問題を原因とした新生児搬送がほぼ“ゼロ”状態に維持されており、「能登のお産は安全」という結果が能登復興の一助になることを願いたい。
- ⑤ 患者安全を第一に対策を継続しておこなっている婦人科手術は、若手の育成を強化することによって実績を上げている。

形成外科・美容外科

■ 2025年度のトピックス



■ 事業報告

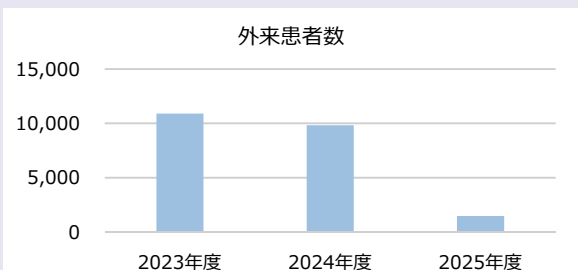
- ① 手術件数（外来手術を含む）690件で、前年度比35%と大きく増加した。入院症例については、昨年に引き続き皮膚科とも連携を密にした。
- ② 初診外来患者数は622人となり、前年度比では46%の増加。紹介患者数も倍増となった。

総合診療科（家庭医療）

■所属医師

吉岡 哲也

■2025年度のトピックス



■事業報告

- ① ローレルクリニックの閉院により、恵寿総合病院においての診療に変更し、非常勤での対応となった。したがって、外来患者数は減少したが、ローレルクリニックに通院していた患者のほとんどは、恵寿総合病院の他の診療科もしくは鳥屋診療所で継続してフォローアップをしている。
- ② 臨床研修医の教育の場としての機能を果たした。

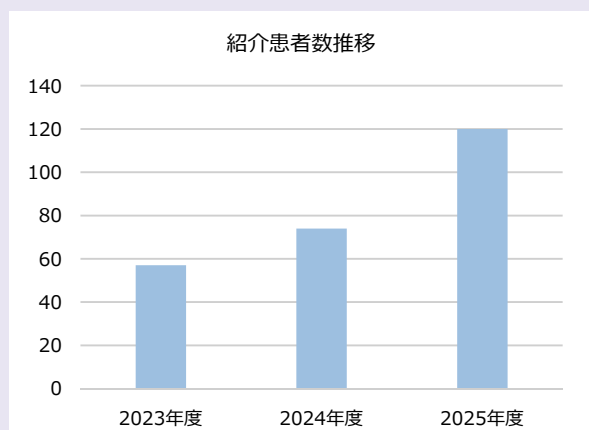
小児科

■所属医師

柳瀬 卓也、中谷 茂和、清水 一秀

■2025年度のトピックス

- ① 日本小児科学会専門医2名
- ② 紹介患者数が前年に比して増加した。
- ③ 専門外来患者数が前年に比して増加した。



■事業報告

- ① 例年に比して地域のクリニックと綿密に連携した結果として紹介患者の大幅な増加を実現した。
- ② 全体の外来受診者数は減少傾向にあるが金沢大学、金沢医科大学より専門医を派遣していただいている各専門外来（アレルギー、神経、内分泌）および当科常勤医の心臓外来は増加傾向にある。特にアレルギー外来受診者はアレルギー外来の存在が認知されてきた影響か患者数が増加している。
- ③ 金沢大学、金沢医科大学など高次医療機関と密に連携し、スムーズに紹介できている。
- ④ 能登総合病院と連携して能登中部の夜間救急を実施して地域医療に貢献している。
- ⑤ 七尾市・中能登町の乳児検診に医師を派遣し、七尾市・中能登町の乳幼児の健康増進に寄与している。
- ⑥ 小児科医による常時の拘束体制を敷いており、緊急帝王切開や出産後の新生児の異常に対応し新生児医療に貢献している。
- ⑦ 能登中部の小児科医と緊密に連携し、休診日の小児休日診療を各クリニックと分担して担うことで、能登中部の小児科診療に貢献している。

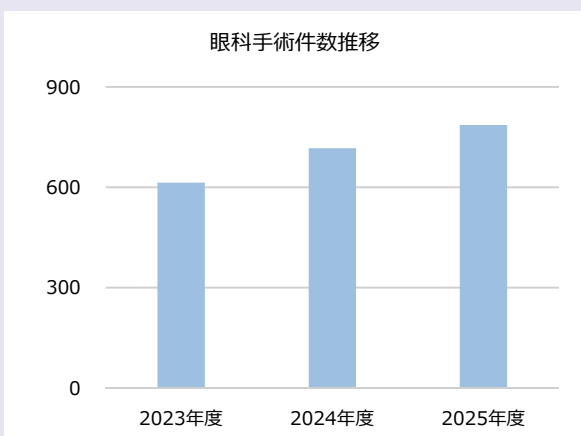
眼科

■所属医師

馬渡 嘉郎、杉山 和久

■2025年度のトピックス

2025年度の手術件数は786件で、昨年を上回る件数となった。他医療機関との円滑な連携を軸に、最新設備の活用を通じて、質の高い外来・入院診療体制の継続・維持に努めた。



■事業報告

- ① 本年度は眼科診療体制の拡充として、最新の光干渉断層計「Glauvas」に加え、超広角走査レーザー検眼鏡「Optos California」を導入した。これにより、網膜の詳細な解析から眼底周辺部の広範なスクリーニングまで、より多角的かつ高精度な診断が可能となった。
- ② 地域医療連携を軸に、患者ニーズに寄り添い、最新の知見に基づいた眼科医療を提供できるよう努力した。
- ③ 手術では白内障手術を中心に、眼瞼下垂症手術、眼瞼内反症手術、緑内障手術、硝子体手術等に力を入れ、低侵襲で最新の手技を心掛けている。
- ④ 外来診療では特に緑内障の薬物治療の方法論にこだわり、患者負担の少ない投薬、通院の仕方を提供できるよう心掛けている。
- ⑤ 緑内障治療においては、低侵襲の緑内障手術を実施している。通院や点眼の負担を軽減するため、患者個々のライフスタイルに合わせた加療と手術の組み合わせを積極的に提案している。

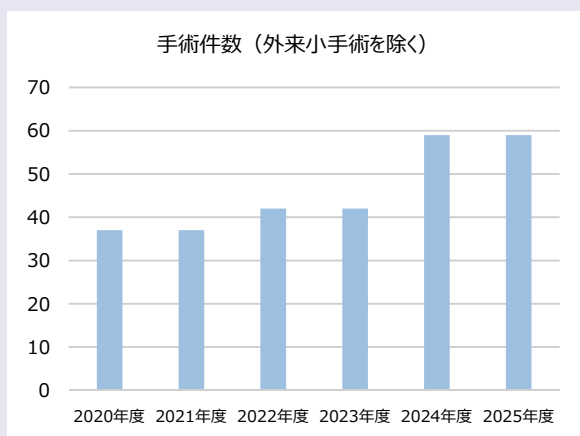
耳鼻咽喉科

■所属医師

山田 和宏

■2025年度のトピックス

手術件数（外来小手術を除く）は昨年度と同数であった。特に甲状腺腫瘍の手術件数は徐々に増えてきている。

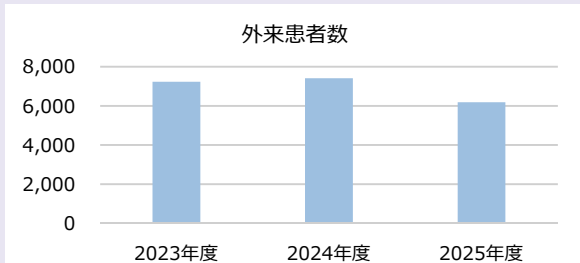


■事業報告

- ① 2025年度患者数・手術件数
外来患者数：6,232人
初診患者数：403人
紹介件数：256件
新入院患者数：119人
手術件数（外来小手術を含む）：172件
- ② 新入院患者数が増加した。
86人（2023年度）→113人（2024年度）→119人（2025年度）
- ③ アレルギー性鼻炎の患者に対し、内服薬や点鼻薬といった保存的治療以外に、外来日帰り手術の下甲介粘膜焼灼術（アルゴンプラズマ凝固）も提案し、治療の選択の幅を広げている。
- ④ わかりづらい耳鼻咽喉科の疾患について、患者に十分に理解していただけるよう、耳・鼻・咽喉頭の解剖図や模型を用いるなど、丁寧な説明を心がけている。
- ⑤ 引き続き、院内他科や各部署、金沢大学附属病院耳鼻咽喉科などの高次医療機関と連携をはかり、安全で適切な医療を提供するよう努めたい。

泌尿器科

■ 2025年度のトピックス



■ 事業報告

- ① 非常勤医師による診療体制となり、外来のみの診療となった。手術適応症例等は金沢医科大学病院と連携して対応した。外来患者数は前年度と比べて減少した。
- ② 2026年度より常勤医師が着任するため、外来診療のみならず、入院治療や手術にも積極的に対応し、能登の泌尿器科診療の質を上げていく。

麻酔科

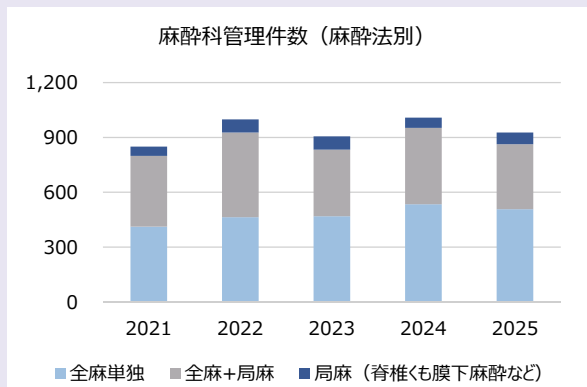
■ 所属医師

長谷川 公一、櫛田 康彦、神野 彩

■ 2025年度のトピックス

麻酔科管理件数は減少した。奥能登地区からの紹介、緊急手術が増加している。

- ① 麻酔科管理手術件数 927件（前年度1,008件）
- ② 無痛分娩施行数 49件（前年度33件）
- ③ 緩和ケア対診件数 48件（前年度41件）



■ 事業報告

- ① 麻酔科管理件数
前年度比減少した。奥能登地区からの紹介、緊急手術が増加している。
- ② 麻酔時間
件数減少により総時間数は減少したが、内視鏡手術など高度で長時間の手術も増え、1件あたりの麻酔時間数は増加している。
- ③ 緊急手術割合
35%と高い割合を維持している。3名の麻酔科医を有効に配置し、滞りなく緊急手術に対応した。また、夜間休日の拘束体制を維持した。
- ④ 無痛分娩取扱数
前年度比増加し、全分娩数の21%を取り扱った。紹介や遠方よりの受診も見受けられるようになった。当院分娩数は増加しており、能登地区における周産期医療への貢献のため、今後も母体管理体制を整え安全性と質を高め、ニーズに応えていけるよう努力したい。
- ⑤ 緩和ケアチーム対応患者数
前年度より増加した。多職種や在宅医療と協力しながら患者・ご家族が少しでも満足できるよう質の高い対応をしていきたい。

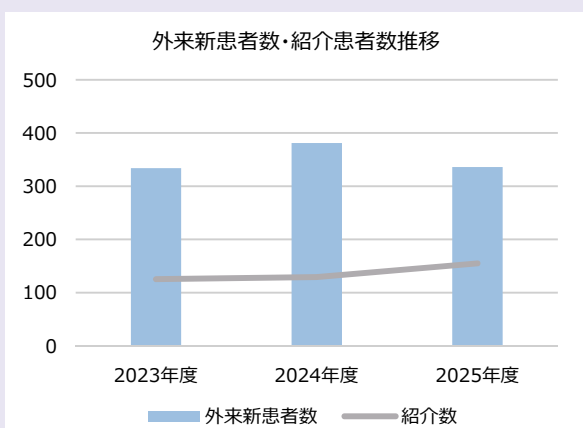
皮膚科

■所属医師

内山 恵理

■2025年度のトピックス

外来新患者数336人、紹介患者数155人で新患者数は減少したが紹介数は昨年より増加した。



■事業報告

- ① 新患者数は昨年度より減少した。
(334→381→336)
- ② 紹介患者数は2023年度から2025年度にかけて順調に増加した。(125→129→155)
- ③ 乾癬に対する分子標的薬については、維持投与は継続し、新規導入や薬剤変更が必要な場合は関連施設と連携し、速やかな製剤導入・変更を行っている。
- ④ iPhoneを用いた写真撮影で、入院患者の褥瘡の状態や皮膚障害の状態を共有することで迅速な検査・診断・治療を開始できた。これにより業務の効率化と医療の質向上が図られた。
- ⑤ 褥瘡委員会と褥瘡回診を通じて、院内スタッフの褥瘡に対するアセスメントが向上した。多職種と協力し、質の高い対応をしていく。

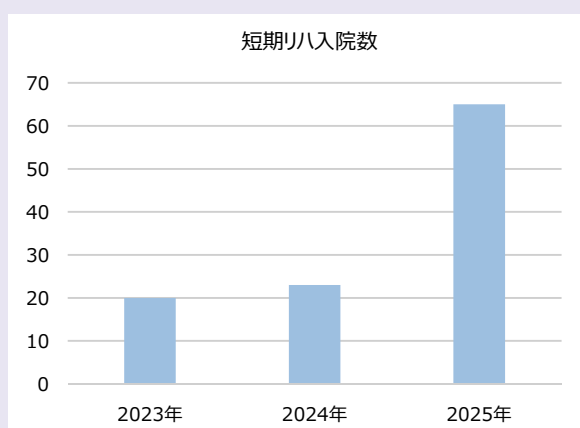
リハビリテーション科

■所属医師

川北 慎一郎、平井 文彦、小竹 源紀、和田 洸也

■2025年度のトピックス

7月にrTMS（反復経頭蓋磁気刺激）を導入し、3月までに50例施行。ボツリヌス治療を含めた短期リハ入院は70例と増加した。アミロイドPETを11例行い、そのうち8例に抗アミロイドβ抗体薬投与を新たに開始し、継続している。

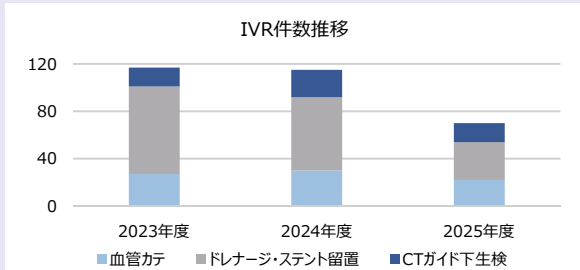


■事業報告

- ① 年間のリハビリテーション処方数は3,850例であり、年々増加している。リハ科入院数は188例と過去最高で、回復期リハビリ病棟転院は昨年より6例増え、112例であった。
- ② rTMSは7月導入で50例施行、富山や金沢からの入院治療が13例みられた。ボツリヌス治療は97例とやや増加し、25例入院した。
- ③ 早期AD治療外来紹介は23例でアミロイドPETを11例実施、抗体薬投与を8例に行った。うち5例はドナネマブであった。認知症ケア回診はのべ100例を超え、抑制減少にも貢献した。
- ④ 能登脳卒中連携協議会活動として脳卒中講演会、データ報告、ケアマネ勉強会、摂食・嚥下・栄養勉強会、症例検討会などを実施した。また、市民公開講座をrTMSやMCIをテーマにして5回開催した。

放射線科

■ 2025年度のトピックス



■ 事業報告

- ① 血管カテーテル検査・治療件数：22件 前年比73%
- ② ドレナージ・ステント留置等件数：62件 前年比52%
- ③ CTガイド下生検：16件 前年比70%
- ④ CT件数：15,463件 前年比97%
- ⑤ MRI件数：4,386件 前年比98%
- ⑥ マンモグラフィー検査件数：3,063件 前年比96%
- ⑦ 骨密度検査件数：1,493件 前年比106%
- ⑧ 検診胃透視件数：655件 前年比101%
- ⑨ 2026年度より常勤医師が着任するため、画像読影及びIVR治療の件数及び質の向上、また放射線技師のスタッフ教育も充実していく。

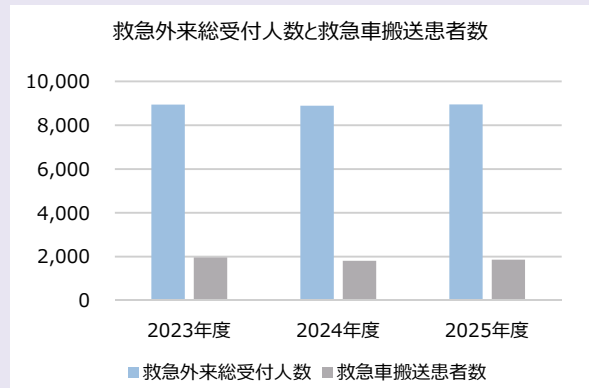
救急科

■ 所属医師

吉本 昭、米田 高宏

■ 2025年度のトピックス

救急搬送患者数は昨年度（1,809人）に比して1,862人と微減にとどまった。地域に根付く総合病院として、年間救急車受入不能件数の6件（前年度5件）は地域医療に非常に貢献している証といえる。またけいじゅ救急搬送サービスも少しずつ増加傾向にある。



■ 事業報告

- ① 救急搬送患者数は1,862人（前年度1,810人）
- ② 救急外来受診数は8,951人（同8,990人）
- ③ 救急搬入患者の年間入院は1,062人（入院率としては58%）だった。（同53%）
- ④ けいじゅ救急搬送サービス利用患者数は220件、入院率は68%と確実に増えており、軽症救急患者の搬送に貢献できている。
- ⑤ 救急医学会専門医、麻酔科学会専門医、集中治療専門医、感染症指導医を維持・更新できている。
- ⑥ 救急車受け入れ不能件数は年間6件と前年5件と横ばいであった。
- ⑦ CT・MRIの読影レポート結果確認率100%であり、さらに必要に応じて患者に報告し受診を促したり、入院・外来主治医に直接届くような仕組みを継続できている。
- ⑧ 研修医のER研修を2025年12月より固定している。
- ⑨ 救急科への紹介患者数は219件と、前年103件から倍増している。
- ⑩ 逆紹介件数は222件だった。（同182件）
- ⑪ 昨年度は学会発表ができていなかったが、来年度は救急医学会で発表予定であり、研修医や救命士にも積極的に発表を勧めていく。

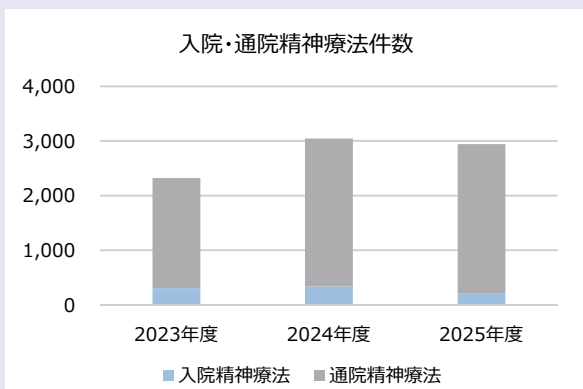
心療内科（精神科）

■所属医師

丸山 晃弘

■2025年度のトピックス

今年度より常勤医師が2名から1名体制となったが、入院・通院精神療法件数は概ね昨年度並みを維持した。また、外来患者数は昨年度比で約2割増加した。公認心理師（4名）と連携し、入院患者への対応にも注力している。



■事業報告

- ① 医師数の減員に加え、外来診療日も昨年度より1日少なかったが、外来患者数は月平均264人から320人へと大きく増加した。
- ② 2025年度の初診患者における主な傷病は以下のとおりである。（※重複あり）
 - ・気分・感情障害（うつ病、双極性障害等）：43名
 - ・神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害（パニック障害、不安障害、適応障害等）：40名
 - ・睡眠障害：34名
 - ・認知症疾患（アルツハイマー型認知症含む）：10名もの忘れ外来の休止により認知症関連の受診は減少した一方で、気分・感情障害（うつ病、双極性障害等）は昨年度の2倍超となった。
- ③ 臨床心理課（公認心理師4名）と密に連携し、必要に応じて心療内科における心理カウンセリングや心理検査を受けられる体制を整備している。加えて、がん患者への心理的支援にも積極的に取り組んでいる。
- ④ 総合病院としての強みを活かし、他診療科、看護師、リハビリテーションスタッフ等の多職種と連携し、患者の治療にあたっている。

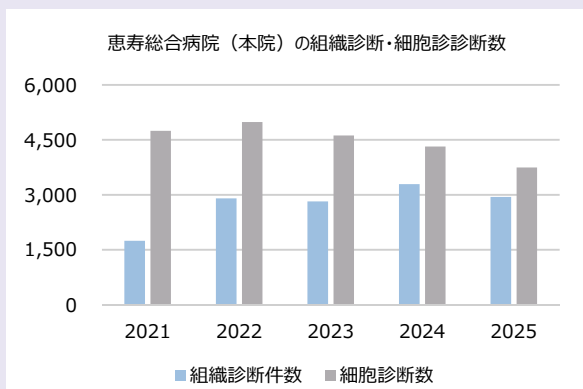
病理診断科

■所属医師

上田 善道

■2025年度のトピックス

病理医2名（常勤、非常勤各1名）、技師4名、うち細胞診スクリーナー3名（本年度1名が新たに資格を取得）体制となった。恵寿総合病院本院の病理診断、術中迅速、細胞診に加え、アルプ病理との連携で、恵寿金沢病院ならびに能登地区連携病院の病理診断を行った。



■事業報告

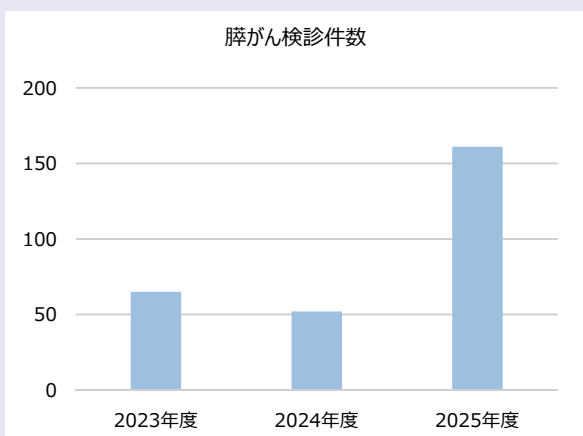
- ① 病理組織2,940件（▽353）、術中迅速44件（△14）、細胞診3,744件（▽574）、病理解剖2件の診断を行った（図は最近5年間の病理・細胞診診断数の推移を示す）。
- ② 免疫染色623件（2,561抗体）、特殊染色372件、*in situ hybridization* 25件、T、B細胞性リンパ腫のPCR法による遺伝子解析 8件を実施し、病理組織診断の精度を高めた。
- ③ 重症例に対する標本採取から24時間での病理確定診断報告システムを構築・実践した。
- ④ 研修医C.P.C.を2回開催し、発表とレポート作製を指導した。
- ⑤ グループ施設である恵寿金沢病院の病理組織296件（△34）、細胞診946件の診断を行った。
- ⑥ アルプ病理からの受託診断（病理組織診断5,073例；細胞診診断286例）を行い、北陸3県、特に能登地区の地域連携に貢献した。
- ⑦ 本院の病理組織診断症例を英文医学雑誌に報告し、学術的な貢献を行った。

健康管理部

■ センター長
桐山 正人

■ 2025年度のトピックス

地域住民の健康増進を目的として、早期発見が困難な膵がん検診の受診を積極的に推奨したところ、検診件数が飛躍的に増加した。結果として膵がんの早期発見・治療に繋げることができた。



■ 事業報告

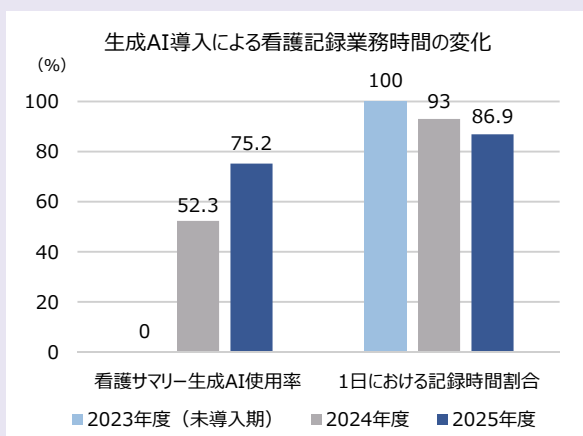
- ① 2025年度受診者数実績
 - ・ 総受診者数：10,994名
 - ・ 1日当たりの受診者数：46名
 - ・ 一泊二日人間ドック受診者数：528名
 - ・ 日帰り人間ドック受診者数：1,472名
- ① がんプレミアム検診
日本人のがん死亡者数の上位6疾患（肺・胃・大腸・肝臓・胆道（胆管・胆のう）・膵臓）をカバーする、がんに特化したプレミアムな検診の提供を開始した。
- ③ 膵がん検診
膵がん診断に必要な画像を熟知した専門放射線技師による高品質の画像撮影と、膵画像診断のスペシャリスト（医師）による読影により、膵がんの早期発見、膵がんリスク病変の早期診断を可能にした。また、厚生労働省の薬事承認を受けた「膵がんmRNA検査（パンレグザ®）」を導入し、膵がんの早期発見に努めた。
- ⑤ Web問診
受付窓口でWeb問診を入力できる体制を整え、紙の問診票を廃止した。受診者の約8割の方が事前にWeb問診を入力している。

看護部

■ 看護部長
阪口 智恵

■ 2025年度のトピックス

当院看護部では2024年度より生成AIを活用した看護サマリー作成を導入した。2025年度の生成AI使用率は75%となり、看護記録業務時間は2023年度と比較して約13%削減し、看護記録業務の効率化につながった。



■ 事業報告

- ① 本館6階東病棟において、HUAWEI D2ウォッチを活用した患者モニタリングを導入した。血圧や脈拍などのバイタルサインを継続的に測定し、電子カルテの経過表へ自動反映する世界初の取り組みとして、患者状態の継続的把握と早期対応につなげている。
- ② NEWS（早期警戒スコア）を導入し、患者のバイタルサインの変化を早期に把握できる体制を整備した。患者状態の変化を客観的に評価し、急変の早期発見と迅速な対応につなげている。
- ③ 患者の尊厳を守るケアの実践として身体拘束削減に取り組んだ。病棟レクリエーションの充実や多職種によるセル看護方式を推進した結果、年間の身体拘束率は平均2.36%となった。
- ④ 勤務管理システム「セルヴィス」の自動作成機能を活用し、公平で安全な勤務配置を実現し、勤務表作成業務の効率化と管理業務の負担軽減につながった。
- ⑤ 業務量調査の結果、時間外勤務は前年度より減少傾向となり、看護記録もタイムリーに行える体制が整っている。

介護部

■部長

内田 かおり

■2025年度のトピックス

年間通してぽっぽちゃんと介護部×他部署でコラボ企画を実施。ティッシュを配布したりイベントに参加した。7部署と協働で地域の方々へそれぞれの日にちなんで啓蒙活動を実施。

月日	何の日	部署
5月12日	看護の日	看護部
5月16日	ブチナース	看護部
6月7日	緑内障	眼科外来
7月17日	理学療法の日	理学療法課
7月19日	七尾港まつり	本部
9月1日	言語療法の日	言語療法課
9月11日	創立記念日	本部
9月25日	作業療法の日	作業療法課
10月20日	ピンクリボンデー	看護部
11月11日	介護の日	介護部
11月10日～14日	糖尿病予防デー	看護部

■事業報告

- ① K-Fitマイスター1名、ノーリフトマイスター1名、Foot活マイスター2名、実務者研修3名、介護福祉士2名、喀痰吸引等研修4名、スマート介護士2名が新たに資格を取得した。ユマニチュード4日間研修に2名が参加した。
- ② 身体拘束解除に向けた取り組みである「KDS（講堂に集合）」は介護職員が減少し、対応が困難となっていた。確実に実施できるよう対策を考えていく。
- ③ インカムの運用範囲を拡大した。入浴エリアと病棟・本館、5病棟間での連携を円滑化、タイムロスを解消。また、転入・転出の際の連絡ツールとしても活用している。
- ④ 病院出前講座に登録。2か所からの申し込みに対し、講座を実施。Foot活出前講座に計49名が参加した。
- ⑤ ケアプランの作成に向けて、現場ではけいじゅセルケアチームにより、多職種と連携し、患者の生活支援を実施。また、介護職員の記録テンプレートを作成した。
- ⑥ 入院業務の見直しを行い、全病棟統一できるよう実施。入院受け入れ10項目を介護職員が実施可能となった。
- ⑦ 夜間の人員配置の充実と安定を図った。

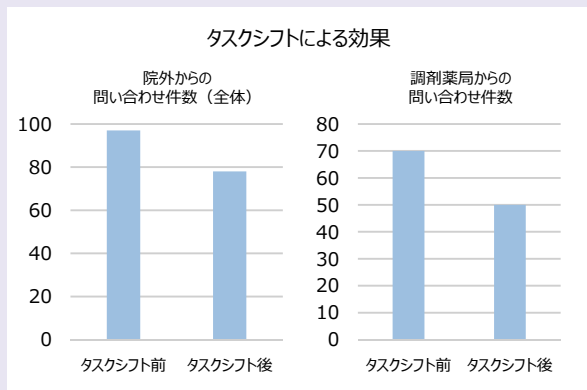
事務部

■部長

森下 毅

■2025年度のトピックス

データに基づく経営戦略会議の実施と、生成AI・RPAの活用による業務効率化を両輪として推進した。各診療科との対話を通じた収益改善の取り組みに加え、タスクシェアの拡大や業務の可視化により、持続可能な事務部業務負担の平準化に向けた基盤整備を進めた。



■事業報告

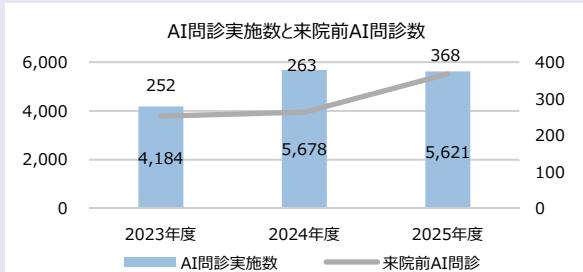
- ① 各診療科別に実施された経営戦略会議にコアメンバーとして参画し、診療実績データをもとに収益向上に向けた対策提案およびディスカッションに主体的に関与した。
- ② 生成AIおよびRPAの活用推進。電子カルテ内蔵生成AIの機能拡張により、書類作成代行業務における生成AIの活用範囲が広がった。生成AIとRPAの連携により、一部非定型的であった業務における自動化検討を開始した。
- ③ タスクシェア体制を拡大。業務量調査により各課の業務量を可視化した結果、部門横断的な業務分散が課題となり、移管先も含めたシフト・シェア候補を整理。年度内の実績は5件となり、一部の部署において時間外勤務の抑制が確認されるとともに、次年度への展開に向けた課題が明確化された。
- ④ 施設基準管理システムの内製化に取り組み始めた。施設基準管理データを共有することにより、担当者の属人化の解消を図った。
- ⑤ 学会発表数は4題、雑誌投稿4編、講師件数9件。前年度、全日本病院協会雑誌に推薦寄稿した論文が優秀論文に選出され、表彰を受けた。

けいじゅサービスセンター サービス課

■部門代表者

金子 幸代

■2025年度のトピックス



■事業報告

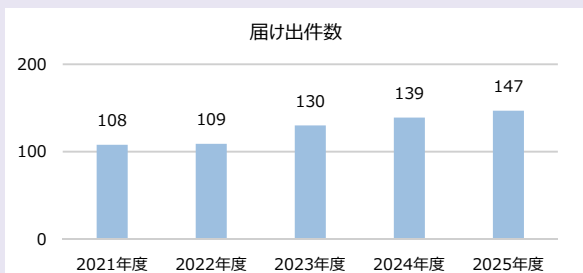
- ① 来院前AI問診の普及に取り組んだ。目標300件以上、達成率122%。院内の待ち時間短縮につなげた。
- ② 医療費あと払いbyとどくすりの広報活動、高齢者に対するサービス向上に取り組んだ。
- ③ 今後、楽のり君（乗合送迎サービス）の利用者の増加に向けた取り組みを検討中である。

医療情報事務センター 管理課

■部門代表者

松木 尊紀法

■2025年度のトピックス



■事業報告

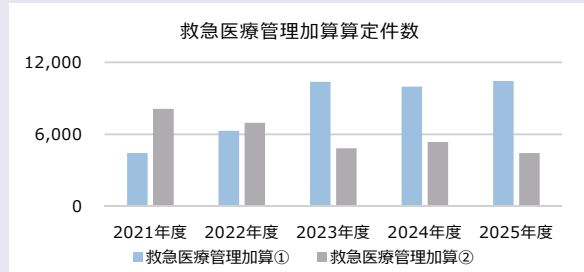
「施設基準管理の共有化」をテーマにTQM活動を行った。属人化の解消が課題であったため、関係部署ともタスクシェアすることを目的にデータベースを構築した。届出済施設基準の現況を把握しやすくなり、人事異動、退職などで人員要件を満たさない施設基準があればRPAでメールが届く仕組みとなり管理精度が向上した。

医療情報事務センター 医事課

■部門代表者

大嶋 悠一

■2025年度のトピックス



■事業報告

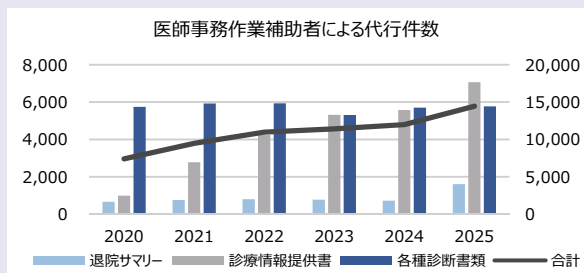
- ① 特に救急医療管理加算の算定に力を入れ、医師とのコミュニケーションを図り連携を強化した結果、2025年度は加算1算定件数10,000件超であり、過去最高値。
- ② マイナ保険証の利用促進をサービスセンターと協力して確認件数の強化に努めた。2026年1月よりマイナ保険証義務化の影響もあり、2026年3月時点での利用率は80%程度となった（前年比+30%）

医療情報事務センター 医療秘書課

■部門代表者

三浦 有紀

■2025年度のトピックス



■事業報告

- ① 医師事務作業補助者による代行件数が14,452件となった。退院サマリーについては、新たに産婦人科・消化器内科・リハビリテーション科の代行を開始、前年度比223%を達成した。
- ② 様式のデジタル化と生成AI活用で業務効率化を図った。
- ③ 診療情報管理士認定試験に1名が合格した。

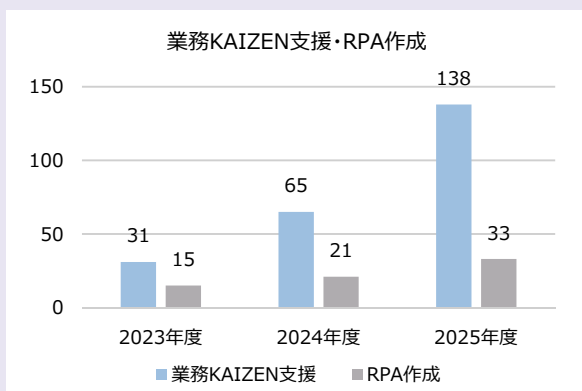
データセンター

■部門代表者

神野 正隆、川腰 晃弘

■2025年度のトピックス

業務改善支援の拡大を目標に掲げ、支援件数の大幅な増加を実現した。「経営戦略室」を新設し、当センターの担う3大ミッションであるデータのInput、Output、AnalysisのうちAnalysis（分析）機能の強化を図り、より戦略的なデータ活用を推進した。



■事業報告

- ① 診療情報管理室、DATA LAB、経営戦略室で構成。
- ② 診療情報管理室：診療情報管理の側面から医療の質向上に寄与することを目標とし、NCD（369件）、がん登録（481件）等の症例登録のほか、外部調査・院内からのデータ依頼（48件）に対応し情報提供を行った。
- ③ DATA LAB：主な実績は以下。
 1. 加算または請求管理モニター作成により業務効率化・収益増に貢献（26件 目標比200%超え）。
 2. 主にOfficeソフトを用いて現場のニーズに応じたモニター作成やKAIZEN活動を実施し、業務可視化・改善を推進（138件 目標比153%）。
 3. RPA・AI活用によるデータ抽出・議事録作成の効率化を図るとともに、RPAソフト内のSQL、GAS、Power Platformの活用に取り組んだ。
- ④ 経営戦略室：「診療科経営戦略会議（※）」を企画・運営し、初年度として17診療科に対し、診療科ごとにデータ分析に基づく経営改善提案を実施した。
※科長を含む各診療科医師、経営戦略室長、理事長補佐、事務部長、診療情報管理課長が参画する会議

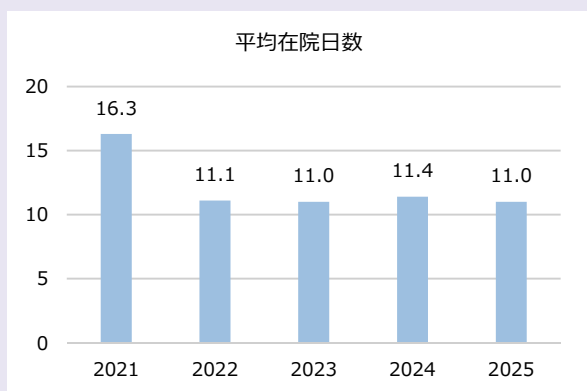
入退院管理センター

■部門代表者

神野 正隆、宮田 琴江、櫻 さおり

■2025年度のトピックス

入院前から退院後まで生活支援が途切れないよう診療を一括管理するPFM体制を維持しつつ、今年度は地域包括ケアセンター設立に伴い連携し、療養と生活を切れ目なく支える「インフィニティリング」実現に向け取り組んだ。



■事業報告

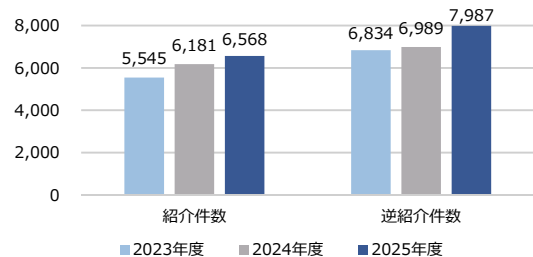
- ① 入退院指標の可視化とPFM推進を通じて、多職種OneTeamでの連携を強化し、円滑な入退院支援体制を確立した。
- ② リアルタイムで指標を把握できる内製モニターの改良を継続し、明確な基準に基づくベッドコントロールを実施するとともに、患者の状態やDPC期間を踏まえ、適切な退院および転棟の促進に取り組んだ。
- ③ 多職種および地域の関係機関が継続的につながりながら患者・利用者を支える「無限につながる支援の輪（インフィニティリング）」を実現した。
- ④ 連携医療機関との関係強化（挨拶訪問、情報交換会等）を継続実施し、集患や退院支援の入口・出口戦略を強化した。その結果、患者一人ひとりに適した円滑な入退院支援体制を実現した。
- ⑤ これらの取り組みにより、平均在院日数は11日台で安定し、新規入院および紹介入院の増加を実現し、医療の質と収益の向上につながった。

入退院管理センター 地域連携課

■部門代表者

川腰 晃弘

■2025年度のトピックス



■事業報告

- 蓄積したデータを活用し、効果的な訪問計画の立案及び診療科長を伴う訪問活動を実施した。返書の早期作成に向けたタスクシフトを実現するとともに、CRMシステム構築による連携強化の土台作りをした。
- 出前講座の周知を強化し、件数増及び定期開催につなげた。認知症の市民公開講座を開催し、市民の健康増進と当院の認知度向上を図った。

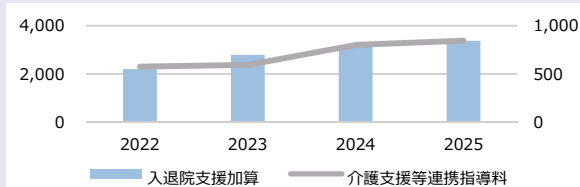
入退院管理センター 医療福祉相談課

■部門代表者

中川 一美

■2025年度のトピックス

PFMの運用拡充により、年間3,372名の入退院支援につながった。（昨年度比：107%）



■事業報告

- 交流会を開催、新たに障害相談支援事業所を交え、23施設44名参加。日々の業務連携について情報交換し、医療・介護・障害福祉の相互理解が深まった。ケアマネジャー等との連携は年間844件実施。（昨年度比：105%）
- 地域の介護保険施設との平時連携が定着し、緊急時の迅速な情報連携と円滑な退院調整を実現している。

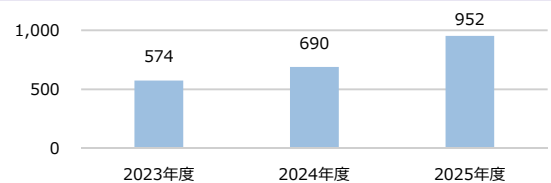
入退院管理センター 入退院支援課

■部門代表者

西村 美津枝

■2025年度のトピックス

入院時支援を強化したことにより入院時支援加算件数が952件に増加した。（前年度比：127%）



■事業報告

- 外来と連携し入院前面談を予約制とした。
- 予約入院患者・緊急入院患者の看護基礎情報聴取を、3,126件/年でき、病棟看護師スタッフの業務削減を行うことができた。
- 早期自宅退院と再入院防止に向けた取り組みを、「Homecare Softlanding Support（HSS）」と称し活動した。

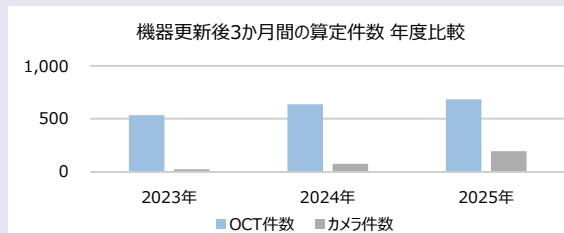
視能訓練課

■部門代表者

諸屋 真太郎

■2025年度のトピックス

機器更新を行った結果、算定件数が増加した。



■事業報告

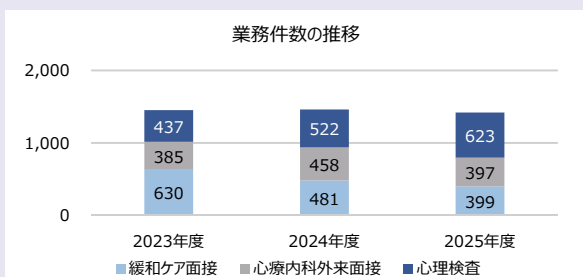
- 新型OCTと広角眼底カメラを導入し、より正確で鮮明で広範囲な画像撮影が可能になった。
- 検査にかかる時間も短縮されたため検査可能枠が増加し、導入後12月から2月の間は前年度比でOCTは47件増加した。眼底カメラ撮影は119件増加した。
- 機器に慣れてから検査枠を拡大したため、本稼働となる今年度はさらなる増加が見込める。

臨床心理課

■部門代表者

佐原 周子

■2025年度のトピックス



■事業報告

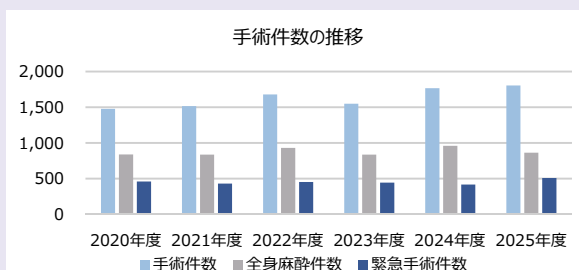
- ① 心理検査実施延べ件数が623件と、前年度より19%増加した。増加の要因としては、2024年秋より抗アミロイドβ抗体薬の専門外来が開設されたことにより、認知機能の評価の機会が増えたことが挙げられる。
- ② 心療内科外来は児童期の患者の人数が増加し、公認心理師の対応児童実人数が前年度+20%となった。

手術センター

■部門代表者

長谷川 公一、中田 淳也

■2025年度のトピックス



■事業報告

- ① 手術件数は1,805件、前年度比+39件と増加し、月平均150件だった。
- ② 全身麻酔件数は863件で、前年度比-100件だった。
- ③ 総合入院体制加算3の要件を満たすことができている。
- ④ 緊急手術件数は511件、前年度比+44件だった。

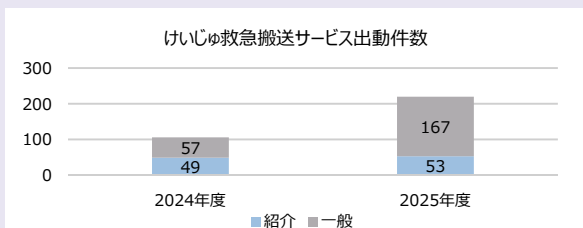
救急救命課

■部門代表者

吉本 昭、八井 聖子

■2025年度のトピックス

けいじゅ救急出動件数が、昨年度の106件から220件へ。



■事業報告

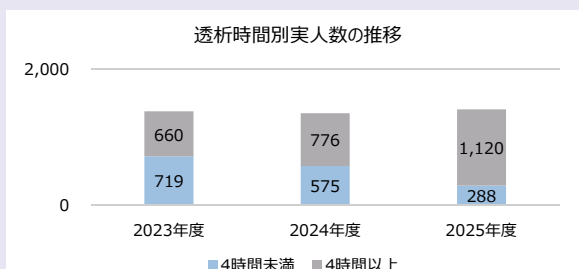
- ① 遅番勤務の導入や夜間対応シミュレーション、資機材整備を進め、受付時間を17時まで延長した。
- ② 地域への周知継続に加え、民生委員やケアマネ向け説明会を通じて関係機関との連携を深め、利用促進を図った。
- ③ 機関員を2名増員し、計6名体制とすることで出動体制の強化につなげた。

血液浄化センター

■部門代表者

岡田 圭一郎、守田 尚美

■2025年度のトピックス



■事業報告

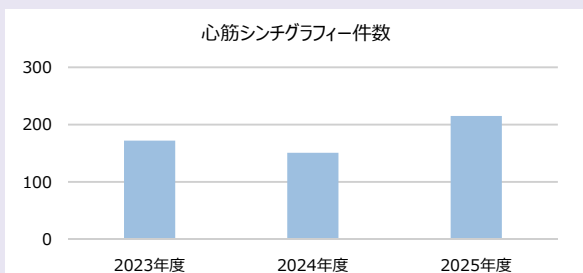
- ① 透析時間延長：透析時間延長の有効性に関するエビデンスを基に、業務改善と多職種連携を進め、安全に実施できる体制の構築、透析効率の向上と予後改善を目指した。
- ② 活動：9月に石川県透析連絡協議会主催の災害訓練に参加。

PET・CTリニアックセンター

■部門代表者

森永 敏生、坂下 純司

■2025年度のトピックス



■事業報告

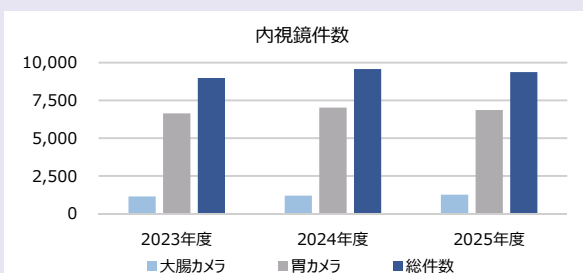
- PET-CT件数は、765件（前年度比98%）だった。
- 核医学検査件数は、349件（前年度比124%）であり、心筋シンチグラフィ件数が伸びている。
- 放射線治療照射回数は1,140回（前年度比210%）だった。装置を4月に更新し、高性能マルチリーフコリメータと画像誘導放射線治療(IGRT)の導入で、副作用を抑えつつ、病変のみへの高線量照射が可能になった。

内視鏡センター 内視鏡課

■部門代表者

神野 正隆、水口 賢

■2025年度のトピックス



■事業報告

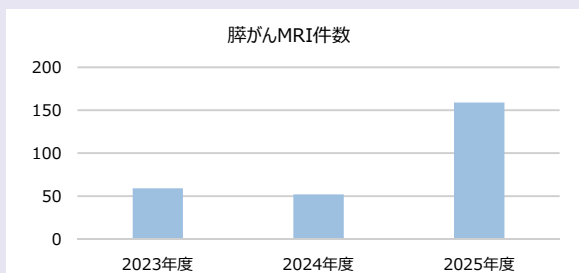
- 内視鏡総件数は9,371件（前年度比 97.9%）とほぼ横ばいだった。
- 全大腸内視鏡検査は1,262件（前年度比 105%）に増加した。
- 大腸ポリープ切除術は647件（前年度比100.0%）、ポリープ切除率は51.4%（昨年度53.7%）とほぼ横ばいだった。

放射線センター 放射線課

■部門代表者

森永 敏生、坂下 純司

■2025年度のトピックス



■事業報告

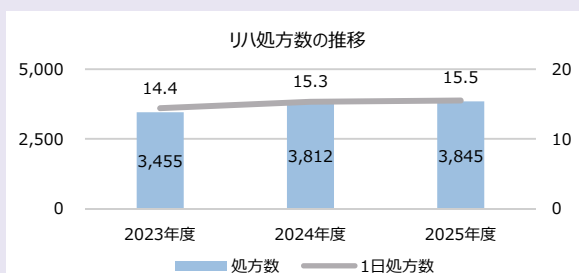
- 金沢大学附属病院と連携、膵癌の早期発見に努め、膵がんドックは159件に大幅増加。（前年比305.8%）
- 超音波分野に当課初となる超音波検査士（消化器領域）に1名、乳がん検診超音波検査実施技師に2名が認定された。
- 超音波検査に2名、内視鏡検査に4名派遣とタスクシェアを実践した。

リハビリテーションセンター 理学療法課

■部門代表者

川北 慎一郎、田中 秀明

■2025年度のトピックス



■事業報告

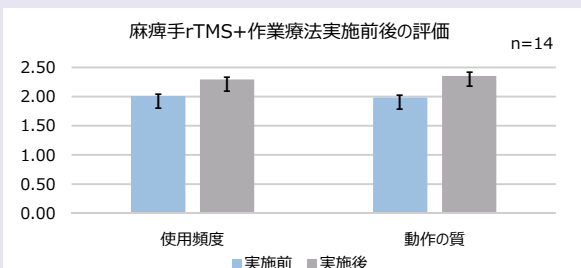
- rTMS（反復経頭蓋磁気刺激）の下肢実施件数は23件であった。
- 回復期リハ病棟の脳血管リハ算定数は8.3単位だった。
- 消化器術前、腰痛予防動画を制作し、業務効率化を図った。
- 腎臓リハビリテーションデータベースを作成し、適応患者の検索が可能となった。

リハビリテーションセンター 作業療法課

■部門代表者

川北 慎一郎、川上 直子

■2025年度のトピックス



■事業報告

- ① rTMS（反復経頭蓋磁気刺激）：作業療法と組み合わせ約2週間入院での上肢麻痺へアプローチ開始
- ② より早期からのADL介入：急性期病棟への早番介入（7時半から排泄、整容が中心）
- ③ ユマニチュード推進：好事例報告38件、実践者育成4日間研修2名受講
- ④ 学術活動：学会発表10題

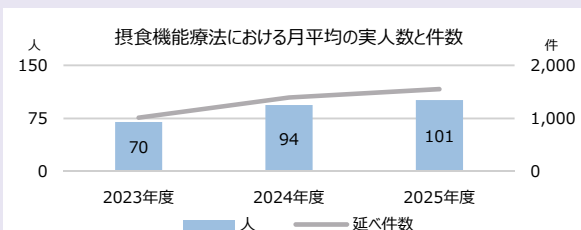
リハビリテーションセンター 言語療法課

■部門代表者

川北 慎一郎、諏訪 美幸

■2025年度のトピックス

RPAを活用し摂食機能療法算定件数が増加した。



■事業報告

- ① DXを活用し、看護部と連携やWチェックしたことで、摂食機能療法の延べ件数がさらに増加した（一昨年比11%増）。
- ② 学会・研究会では3演題発表、講師を10件担当した。
- ③ 新規資格では、ヒアリングフレイルサポーター、認定言語聴覚士（失語・高次脳機能障害領域）、日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士を各1名取得した。

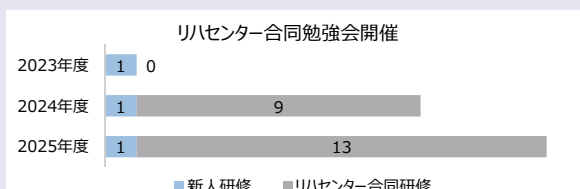
リハビリテーションセンター リハビリテーション教育研修センター

■部門代表者

川北 慎一郎、久保 佳子

■2025年度のトピックス

合同研修の開催件数を大幅に増加し、リハビリの質向上につなげた。



■事業報告

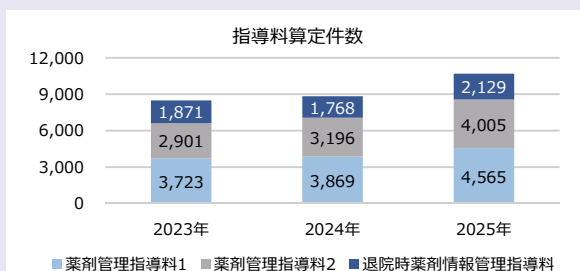
- ① 新人指導者の集いを開催、指導の悩み、進捗状況を共有した。（2回）
- ② インスタグラム発信
- ③ 医療介護連携に強い人材育成のために中堅以上スタッフハアンケート実施。さらに次年度以降の研修内容へフィードバック予定。
- ④ 新人研修にハラスメント、褥瘡予防研修を新たに追加。

薬剤管理センター 薬剤課

■部門代表者

中川 紀温、室宮 智彦

■2025年度のトピックス



■事業報告

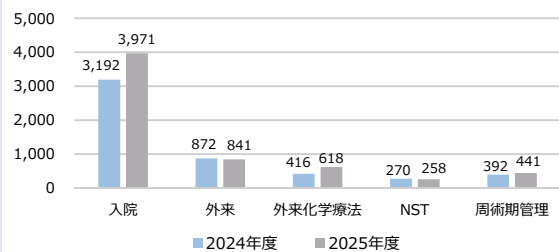
- ① 薬剤管理指導料1は前年度比118%、指導料2は125%に増加した。
- ② 退院時薬剤情報管理指導は前年度比120%に増加した。
- ③ 薬剤総合評価調整加算は前年度比約2倍に増加した。
- ④ バイオ後続品使用体制加算は380件/年だった。
- ⑤ 後発医薬品使用率は90%以上を維持した。

栄養管理センター 臨床栄養課

■部門代表者

高井 優輝、前田 美穂

■2025年度のトピックス



■事業報告

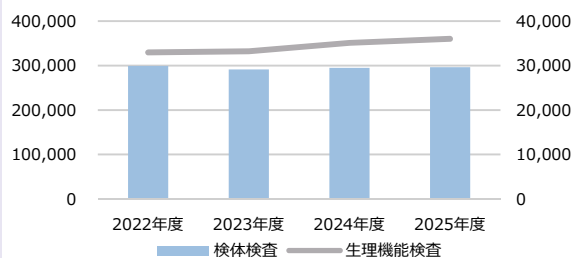
- ① 実績は前年度と比較し、やや減少したものもあるが、全体として増加した。特に入院栄養指導件数、外来がん化学療法の栄養指導件数が増加した。
- ② 病棟ではセル単位で管理栄養士の配置を継続し、48時間以内の栄養スクリーニング、GLIM基準による栄養アセスメントを実施する体制を定着させた。

検査管理センター 臨床検査課

■部門代表者

上田 善道、尾田 真一

■2025年度のトピックス



■事業報告

- ① 検体検査総件数 296,522件 前年比 +0.5%
生体検査総件数 35,997件 前年比 +2.5%
- ② 検査室の自動分析機器およびシステムの更新
HbA1C・血糖測定機器、尿分析機器、分注・搬送装置、採血管準備装置、採血システム、細菌システム
- ③ 内視鏡課へのタスクシフト（2名）

臨床工学センター 臨床工学課

■部門代表者名

長谷川 公一、栃原 康則

■2025年度のトピックス

リードスペースメーカーの次世代製品導入により、房室同期機能の向上と電池寿命の延長が実現し、患者のQOL向上に寄与した。



■事業報告

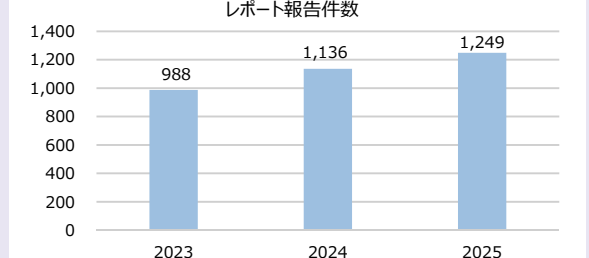
- ① リードスペースメーカー植込術が再開され、臨床工学技士として術中術後のデバイス管理、患者指導を一貫して担当し、安全かつ円滑な治療に貢献した。
- ② 今年度、腎代替療法専門指導士の資格を取得した。今後も臨床工学技士としての役割をさらに広げ、腎不全患者に対する専門的かつ包括的な医療支援体制の強化に貢献していきたい。

医療安全管理センター 医療安全管理課

■部門代表者

岡田 由恵、小谷 薫

■2025年度のトピックス



■事業報告

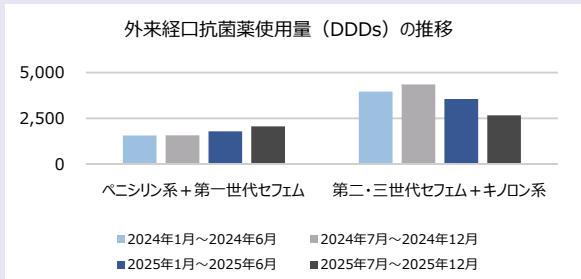
- ① インシデント・アクシデントレポート報告数増加に向けて働きかけたことにより、報告数の増加がみられた。
- ② 2025年度の重点目標を『患者誤認をなくそう！』と決め、7月に「患者確認標語募集」し、全職員から137件の標語が寄せられ、最優秀賞、優秀賞、奨励賞を選定した。さらに、9月患者向けに「世界患者安全の日」をPRした。

感染制御センター 感染制御課

■部門代表者

山崎 雅英、谷田部 美千代

■2025年度のトピックス



■事業報告

- ① AST活動の推進で、外来での広域抗菌薬の使用量が減少し、狭域抗菌薬の使用量が増加した。
- ② N95マスクフィットテスターの購入により、定量テストでN95マスクフィッティングができるようになった。
- ③ 部門連携により、職員ワクチンプログラムが推進した。
未獲得者への実施率：水痘76%（19人/25人）
ムンプス59%（92人/155人）

臨床研修センター

■部門代表者

新井 隆成

■2025年度のトピックス

リクルート活動実績は以下の通りである。

日付	イベント名	ブース訪問者数
2025年4月13日	レジナビ仙台	18名
2025年5月18日	レジナビ福岡	22名
2025年5月31日	マイナビ金沢	20名
2025年6月29日	レジナビ東京	24名
2025年7月26日	レジナビ大阪	30名
2026年1月25日	レジナビ金沢	35名
2026年3月15日	レジナビ東京	35名

■事業報告

- ① 2025年4月採用の研修医は基幹型4名、協力型2名の6名であった。1年次6名、2年次4名、合計10名であった。
- ② 研修医獲得のため、リクルート活動の強化を図った。全国の大学から見学があり、見学受け入れ実績は32名だった。マッチング応募者も増え、基幹型3名、協力型3名、合計6名が2026年度採用予定となった。

第2章 法人方針・事業報告（恵寿総合病院）

看護師特定行為研修センター

■部門代表者

鎌田 徹

■2025年度のトピックス

2026年4月1日現在、院内の特定看護師は35名になった。（11区分21行為）

	開講期間	受講人数
第7期生	2022年10月～2023年10月	7名
第8期生	2023年10月～2025年1月	4名
第9期生	2024年10月～2025年10月	7名
第10期生	2025年10月～2026年10月	3名

■事業報告

- ① 令和7年度特定行為研修の組織定着化支援事業（厚生労働省）に参加した。ワークショップに2回、シンポジウムに1回参加した。
- ② 研修修了者に対して、フォローアップ研修会、実践報告会を開催した。

北陸緑内障センター

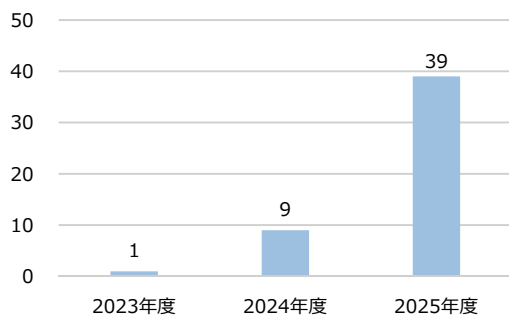
■センター長

杉山 和久

■ 2025年度のトピックス

2024年4月1日に恵寿総合病院に北陸緑内障センターが開設され2年が経過した。緑内障患者を専門的に診察・治療することにより紹介患者が増加し、眼科外来の緑内障患者数、特に緑内障手術件数は飛躍的に増加した。

緑内障手術件数推移



■ 事業報告

- ① 緑内障専門外来での診察と手術を、緑内障の診療・研究・教育を金沢大学眼科・岐阜大学眼科で約40年間行ってきた杉山和久センター長（金沢大学名誉教授）が担当。
- ② 能登地区は勿論のこと、北陸地方の緑内障診療の拠点の一つになることを目指し、病診連携を通じて緑内障診療のネットワークを構築し、緑内障患者に寄り添った質の高い診療を提供している。
- ③ 当院眼科の馬渡医師とともに、開放隅角緑内障に対して房水流出を改善する低侵襲緑内障手術、閉塞隅角緑内障には水晶体再建術を実施し、眼科の手術件数は2023年度、2024年度に比較して飛躍的に増加した（眼科事業報告を参照）。
- ④ 今後は能登地区、北陸地区の大学病院、基幹病院、開業医との連携を拡大して、緑内障患者に高水準の医療を提供したい。

地域包括ケアセンター

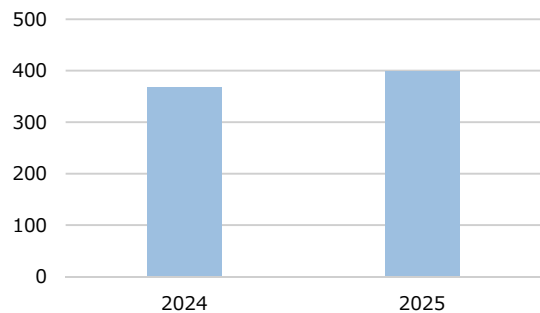
■部門代表者

神野 正隆、本橋 敏美

■ 2025年度のトピックス

在宅サービス事業所等を統合した地域包括ケアセンターと入退院管理センターでのPFM実績を基盤に、両センターの連携による「地域PFMシステム」を構築。これにより、病院からの新規利用者実人数が117人に増加。新規利用者総実人数の約29%を占める。

新規利用者実人数



■ 事業報告

- ① 6月に在宅サービス事業所等の5事業所がローレル棟1階のワンフロアに集結。顔の見える関係が構築された。
事業所：居宅介護支援、訪問看護、訪問リハビリ、福祉用具レンタル、訪問介護（徳会会）
- ② 早期自宅退院と再入院防止に向けた取り組みを「Homecare Softlanding Support（HSS）」と称し活動。
- ③ 生成AIの活用
 - ・ iPhoneのモバイルメモでの音声入力と生成AIにより、訪問記録の下書作成（訪問看護）
 - ・ Ubie生成AI
訪問看護：訪問看護記録 I・計画書・報告書作成
ケアマネ：ケアプラン・アセスメントの記録補助
- ④ KAIZEN活動
16件の活動を報告し、月間優秀賞を2つ獲得
 - ・ iPhoneを使用し、訪問先で文書管理保管完了
 - ・ 生成AIによる訪問看護計画書の作成
- ⑤ ペーパーレス化の取り組み
 - ・ 利用者ファイルのスリム化→ファイル内書類を限定し、他の必要書類は電子カルテの文書管理に登録
 - ・ インターネットFAX導入

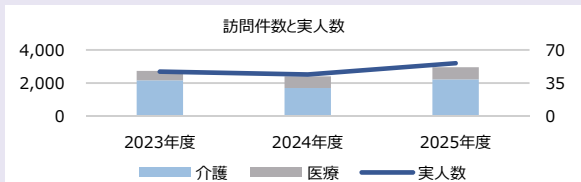
恵寿総合病院訪問看護ステーション

■部門代表者

久能 恵美

■2025年度のトピックス

入退院管理センターとの連携強化、地域PFMの構築などから、昨年度より実人数12人、訪問件数549件増加した。



■事業報告

- ① 「Homecare Softlanding Support（HSS）」と称した早期自宅退院の取り組みを行った。HSS介入件数：17件/10か月
- ② iPhoneの活用として、訪問先からバイタルサイン入力、看護記録入力を実施。モバイルメモを使い音声入力後、AI活用し看護記録を作成、業務効率化につながった。

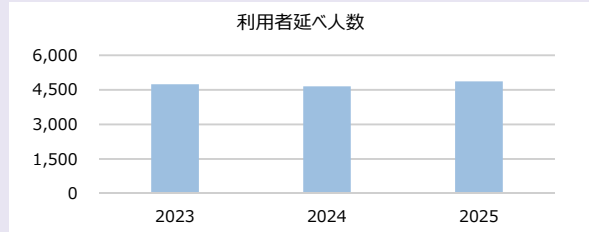
ケアマネステーション恵寿

■部門代表者

清水 光代

■2025年度のトピックス

年間利用者数 4,864人（前年比：104.5%）



■事業報告

- ① 地域包括ケアセンターを設立し、訪問看護・介護・リハ・福祉用具レンタル・ケアマネが一体化し、在宅系サービスが強化。事務所移転、5S、ペーパーレス化を進める。
- ② 事務作業のタスクシフト（20項目）を行い、ケアマネ本来業務に注力できるよう業務KAIZENに取り組んだ。
- ③ 事例検討会：年間5回開催。ケアマネジャーの資質向上、スキルアップを図る。

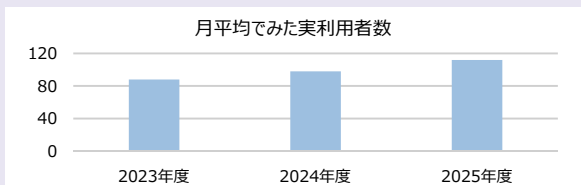
訪問リハビリステーション恵寿

■部門代表者名

永井 亜希子

■2025年度のトピックス

ケアマネや院内スタッフとの連携により実利用者数は年々増加傾向にあり。



事業報告

- ① 新規や解約者数に大きな変化はないが、難病疾患で、長期的に介入が必要な患者の増加、軽度者で隔週介入の増加により、実利用者数は年々増加している。
- ② 「AIシステム（ZEST）」を活用し、計画的なスケジュール管理を行い、訪問リハのスケジュール管理と質が向上した。

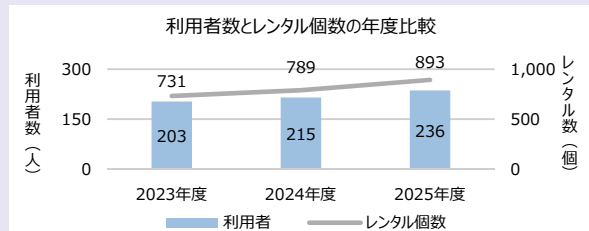
福祉用具レンタルステーション恵寿 医療福祉ショップめぐみ

■部門代表者名

永井 亜希子

■2025年度のトピックス

前年比、利用者数は105%、レンタル個数は113%



■事業報告

- ① 特定福祉用具販売促進：前年度比で136%となった。レンタル事業の拡大が販売促進に繋がった。
- ② サンダル販売促進：イベント（けいじゅフェスティバル等）毎に、積極的にFoot活サンダルのアピールを行い、認知向上を図り前年度比で500%となった。
- ③ めぐみ全体の販売個数は昨年に比べ、111%となった。

医療事業統括部門 恵寿金沢病院

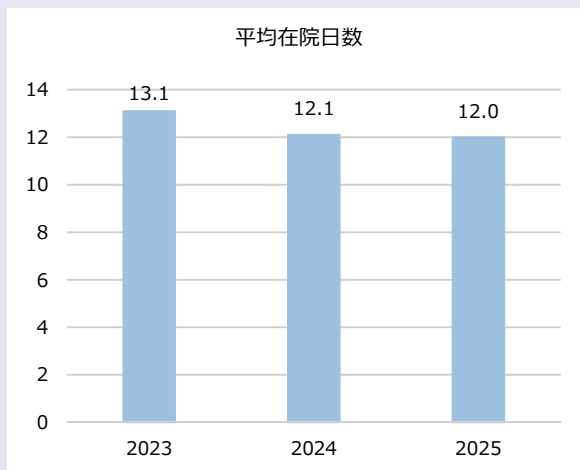
恵寿金沢病院

■病院長

大竹 茂樹

■2025年度のトピックス

在院日数は12日となり昨年とほぼ同日数となった。過去3年間徐々に短期間となっていたが、昨年からほぼ毎月の在院日数も変化は小さくなっている。



■事業報告

- ① 院内にiPhoneを導入し、患者サービス向上、職員業務効率化を図った。患者情報共有や職員間トークを実施することでスムーズな情報交換が可能となった。
- ② 常勤整形外科医が配置され、昨年来・入院患者が前年に比較した結果、常勤医が配置されていた状況に近づき増加傾向にある。
- ③ THANKS GIFTを実施することにより「THANKS文化（感謝の文化）」の醸成を図り、職員間のコミュニケーション、感謝の気持ち、改善への称賛、日常の賞賛へ気持ちの醸成に貢献した。
- ④ 人間ドックでは新たなオプション検査（Dダイマー、認知機能検査、APOA2検査）を導入し、計913件の検査を実施した。年間を通じたオプション検査数は、昨年の件数を上回る4,681件となった。
- ⑤ 国際的ニュース雑誌で発表された「世界で優れた病院ランキング」に2年連続掲載され、昨年度188位/7,000病院から今年度147位と上位に掲載された。石川県では当院を含め昨年同様3病院が掲載されている。
- ⑥ 長年地域医療に貢献した人に贈られる「医療功労賞」を理学療法課の諏訪課長が石川県で唯一受賞した。

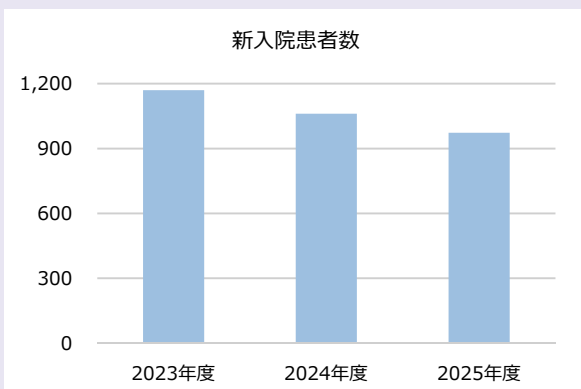
内科、血液疾患・骨髄腫センター

■所属医師

村田 了一、齋藤 千鶴、高橋 稚奈、萩原 剛志

■2025年度のトピックス

新入院患者数の増加を目標としたが前年度より減少傾向となった。金沢、加賀の医療圏での血液内科常勤医の均てん化が原因と考えられた。DPCへの移行や平均在院日数の最適化、血栓・止血・血管病センターの立ち上げによる集患などで収益を確保した。



■事業報告

- ① 金沢大学附属病院、石川県立中央病院をはじめ、血液内科外勤医が派遣されている大学関連施設との診療連携を図り集患に努めている。
入院患者数 11,856名（対前年比 84%）
外来患者数 9,262名（対前年比 84%）
- ② 入院患者数の減少から化学療案件数、無菌室稼働率も伸び悩んだ。
無菌室稼働率 42.4%（対前年比 77%）
病棟化学療法 1,818件
外来化学療法 453件
- ③ 血液内科として高度な専門性を維持するため、新規分子標的療法剤や二重特異性抗体療法導入を進めた。二重特異性抗体について、免疫療法特有の副反応を生じうるため、これに対応可能な診療体制の構築を試みた。
- ④ 当院の強みである自家末梢血幹細胞移植の適応症例集患に努めている。
- ⑤ 一般内科としても、サブアキュート、ポストアキュート症例の受け入れや緩和ケア症例の引き受けを積極的に進めた。

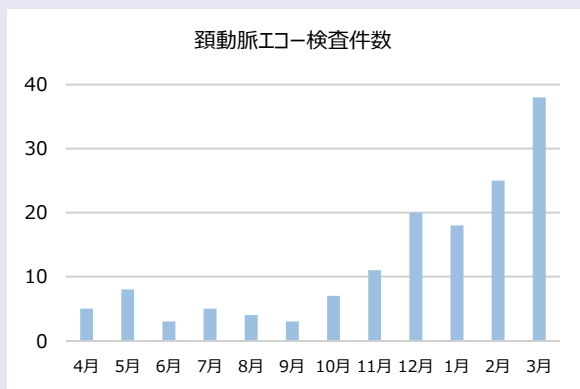
血栓・止血・血管病センター

■所属医師

朝倉 英策

■2025年度のトピックス

金沢大学附属病院、金沢医科大学病院、近隣の医療機関などから血栓・止血・血管病に関連した外来患者紹介をいただいた。脳梗塞、心筋梗塞などの動脈血栓症につながりやすい生活習慣病の診療に注力した。



■事業報告

- ① 当センターは2025年4月に発足したばかりであるが、金沢大学附属病院、金沢医科大学病院からは、抗リン脂質抗体症候群などの後天性血栓性素因、先天性アンチトロンビン欠乏症などの先天性性血栓性素因の患者紹介を受けた。
- ② 近隣の医療機関からは、深部静脈血栓症疑いの患者の紹介を受けた。
- ③ 脳梗塞、心筋梗塞などの動脈血栓症につながりやすい生活習慣病を有する患者の診療に注力した。特に、的確に動脈硬化の評価を行うことができる頸動脈エコー検査を精力的に行い、早期診断、早期治療に繋げることができた。
- ④ 頸動脈エコー検査は極めて重要な検査であるが、患者にとって知名度の低い検査であったため、今後ポスターなどで検査の重要性をアピールしていく予定である。
- ⑤ 日本血栓止血学会の認定施設申請が承認された（2026年1月通知）。認定証は、2026年4月発行となる。

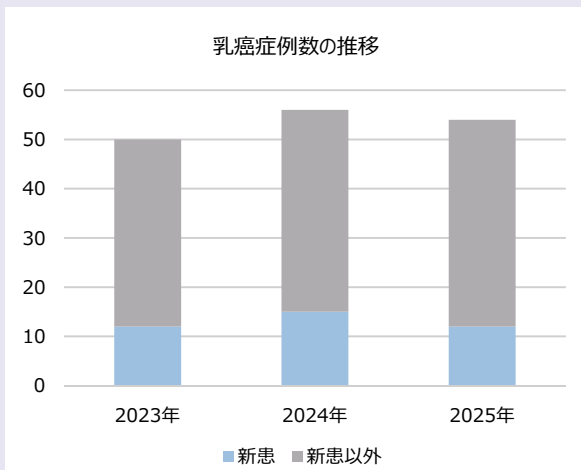
外科

■所属医師

道輪 良男

■2025年度のトピックス

乳癌（疑いを含む）症例は54例、新患は12例（22%）で、2023年からは軽度増加したが、2024年からは大きく変化なかった。（前年比：96%）



■事業報告

- ① 入院患者数は減少し、外来患者数は微増した。
入院患者数：1,183人（前年比：87%）
外来患者数：1,735人（前年比：102%）
- ② 手術件数は30件で減少した（前年比：46%）。
- ③ 全大腸内視鏡検査数は148件で、増加した（前年比：117%）。
- ④ エンド・オブ・ライフケア目的の入院は10例で、減少した（前年比67%）。
- ⑤ 日本乳癌学会学術総会で、骨転移に対して薬物療法中にFanconi症候群を認め、脳梗塞を発症した症例について発表した。

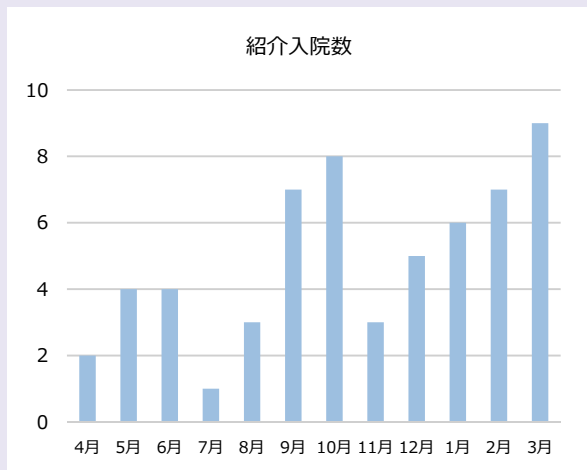
整形外科

■所属医師

安竹 秀俊

■2025年度のトピックス

2025年4月から連携病院中心に整形外科のポストア、サブアキュート、手術後の患者受入れを再開し、入院患者拡大に努めた。



■事業報告

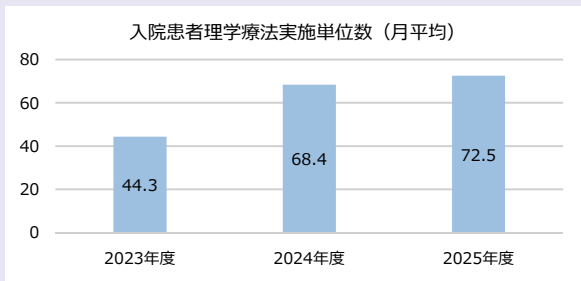
- ① 2024年度は常勤医師不在のため入院患者受入れを行わなかったが、2025年度は常勤医師を配置し、特に石川県立病院整形外科との連携により術後のリハビリを中心に入院患者を受け入れた。
入院患者数：2,713人（前年入院受入なし）
- ② 2024年度は非常勤医師のみであったが2025年度から常勤医師となり外来患者が増加した。
外来患者数：4,723人（対前年103%）
- ③ 2024年度常勤医師不在のため二次救急についても対応できない状況が続いたが、常勤医師配置で二次救急を受入れることができた。
- ④ 休日当番医については下期より担当し、地域医療に貢献できた。
- ⑤ 手術は積極的に実施していないが緊急性のある手術は実施している。

理学療法課

■部門代表者

諏訪 勝志

■2025年度のトピックス



■事情報告

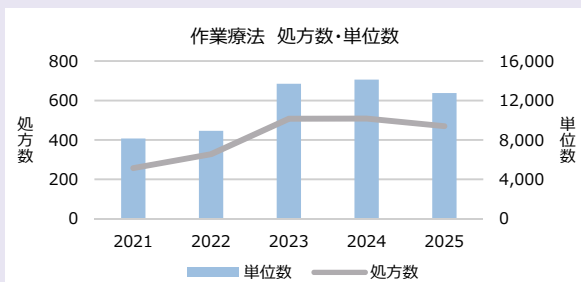
- ① 入院患者理学療法実施率は平均72.5%、入院後平均1.6日と早期からリハビリを開始、入院中の身体機能低下の予防・改善が図られ、スムーズな退院につながった。
- ② 登録理学療法士取得1名、日本糖尿病療養指導士更新1名、3学会合同呼吸療法認定士更新1名を輩出するなど、理学療法の質向上につながった。

作業療法課

■部門代表者

東川 哲朗

■2025年度のトピックス



■事業報告

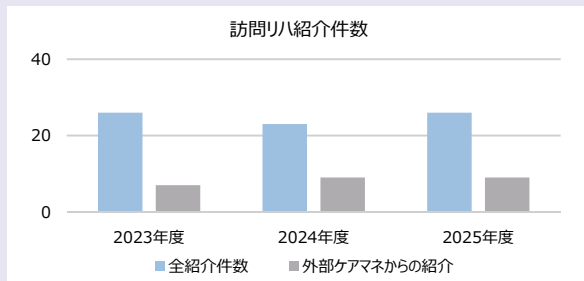
- ① 365日リハの継続。
- ② OT処方数・単位数とも微減。
- ③ 男性職員の育児休業取得があった。
- ④ 処方の74.3%（前年87.2%）ががんリハ。残りが運動器であり、整形外科領域が増加。加算機会が増加。

訪問リハビリテーション事業所「けいじゅ金沢」

■部門代表者

諏訪 勝志、東川 哲朗

■2025年度のトピックス



■事業報告

- ① 院内リハスタッフからの紹介17件、外部ケアマネからの紹介9件あった。出前講座（フレイル予防、体操教室）でケアマネへの広報をしたことで、外部ケアマネからの紹介が増えてきている。
- ② 今年度からiPhoneを導入したことで、院外でのカルテ閲覧や記載など業務効率化が図れている。

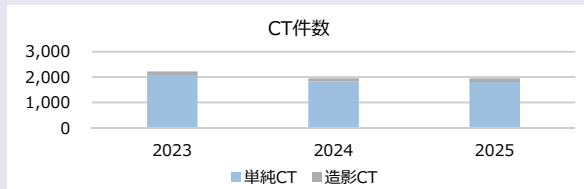
放射線課

■部門代表者

武村 真弓

■2025年度のトピックス

薬剤課と協働で「MOTTO」安全に造影検査を行うためにヨード造影検査時の問診表の改訂を行った。



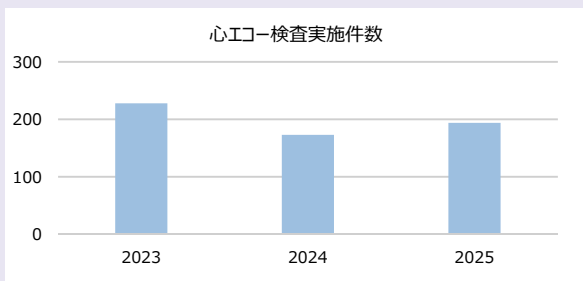
■事業報告

- ① CT件数：1,954件/前年度比100%
（うち造影検査数148件/前年度比122%）
- ② マンモグラフィ件数：968件/前年度比99%
- ③ トモシンセシス件数：266件/前年度比91%
- ④ 骨密度件数：1,287件/前年度比113%
- ⑤ 超音波検査：2,934件/前年度比102%
- ⑥ 検診マンモグラフィ撮影認定技師（更新）3名

臨床検査課

■部門代表者
長面 佳央理

■ 2025年度のトピックス



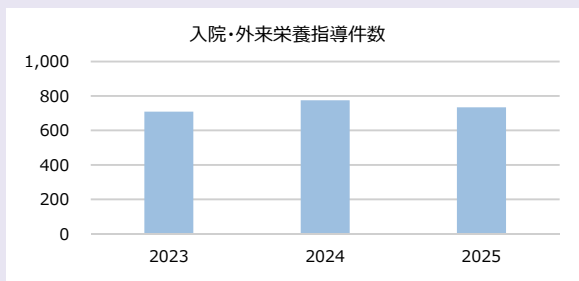
■ 事業報告

- ① 循環器内科医と協働し、心エコー検査を194件実施した。
- ② 放射線課と協働し、頸動脈エコー検査を147件、下肢静脈エコー検査を91件実施した。
- ③ 血液疾患患者の骨髓像カウント業務を76件実施した。

臨床栄養課

■部門代表者
羽根 由子

■ 2025年度のトピックス



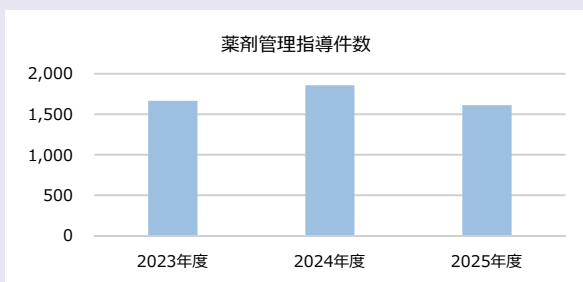
■ 事業報告

- ① 2024年度より外来栄養指導も積極的に実施。入院・外来合わせ2025年度も700件以上の栄養指導を実施し、栄養指導件数の大幅な減少なく推移した。
- ② オレンジカフェで低栄養予防をテーマに講師をした。

薬剤課

■部門代表者
宮森 久志

■ 2025年度のトピックス



■ 事業報告

- ① 2025年度薬剤管理指導件数で前年度 86.8%
- ② 入院中患者に対する医療用麻薬の自己管理体制を確立した。
- ③ 抗癌剤プロトコルシステムによる化学療法実施手順を現状の運用に沿って明文化しマニュアルを整備した。

人間ドックセンター

■所属医師

大竹 茂樹、朝倉 英策、上田 幹夫、土田 達

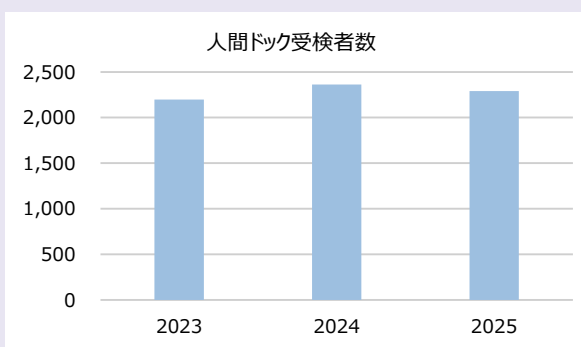
■2025年度のトピックス

人間ドック受検者数 2,290人（前年度 2,363人）

コース比率 2日 65% 1日 27% 半日 8%

男女比率 男性 58.2% 女性 41.8%

＜新オプション＞ ①D-ダイマー検査 455件
②マーカーAPOA2検査 317件
③認知機能検査 141件



■事業報告

- ① 2025年度ドック受検者数は2,290人で前年度より約3%減少した。NTT（株）のドック制度の変更に伴い、全国どこの病院でもドックを受検できるようになった点が影響したと思われる。代わって一般健康診断を292人受け入れた。
- ② 新たに協会けんぽの特定保健指導業務を開始した。2026年度より協会けんぽ人間ドック健診実施機関となるよう手続きを進め、健康診断受診者数の増加を図った。
- ③ ドックオプション検査として、D-ダイマー検査、膵癌腫瘍マーカーAPOA2検査、および認知機能検査を新たに導入し、計913件の申し込みがあり、オプション全体の約2割を占める結果となった。
- ④ 申し込みの多かったオプション検査は、胃カメラ、遺伝子検査、大腸カメラ、腫瘍マーカーCA19-9、子宮超音波検査などであり、昨年度を上回る4,681件（前年比103.8%）を実施した。これには、フローチャートの活用、QRコードの導入等が寄与したと考えられる。

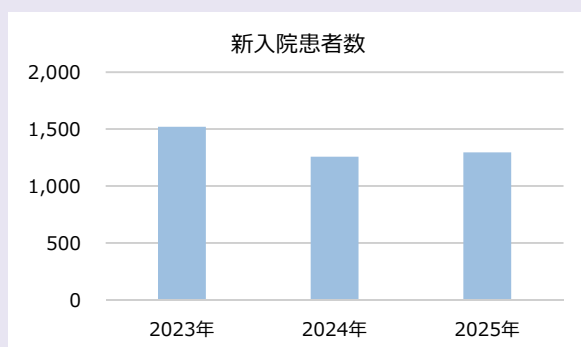
看護部

■部門代表者

前大道 綾子

■2025年度のトピックス

2024年度一病棟化となり、2年目を迎えた。整形外科医の常勤復活、稼働病床数53床の常態化、新入院患者数120名を目標とし、一年を通し全職員へベッドの稼働状況を周知した。



■事業報告

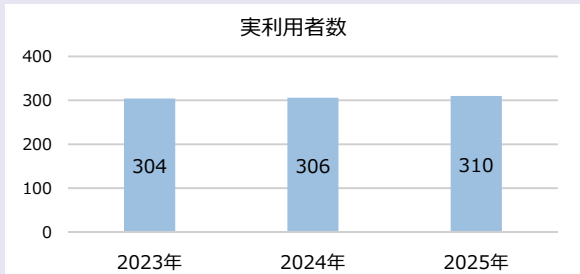
- ① 認知症看護認定看護師を中心に院内デイケアを開始した。作業療法士や看護補助者と協働し、毎週木曜日の開催が定着した。毎回企画を変え季節の話題をおりこみながら取り組んでいる。
- ② 特定行為看護師が1名誕生した。医師の協力により監視下での実践を規定数行い、自立しての特定行為が始まった。
- ③ 外来では、最近増加した外国人患者に対応するため、発熱や下痢・嘔吐などの感染症状のある患者の説明ツール、手順の作成に取り組み、活用を開始した。
- ④ 訪問看護ステーションが中心となり、出前講座を開始した。テーマに応じて感染管理認定看護師、認知症看護認定看護師が講師となり、地域の方々と交流した。
- ⑤ セル看護提供方式®2年目を迎え、「セルBOSS」を中心としたセルのあり方を検討し、患者のそばにいたことは定着してきた。今後は、多職種で患者をサポートする患寿セルケアチームを検討していきたい。
- ⑥ iPhoneが導入となり、トークを活用することで特に医師への報告に関し、業務効率が上がった。
- ⑦ AIを活用した議事録作成を、看護補助者も含め実践できるように取り組んだ。

けいじゅ金沢訪問看護ステーション

■部門代表者

数内 照美

■2025年度のトピックス



■事業報告

- ① 実利用者数はほぼ横ばいだった。
- ② 当院や訪問看護を知ってもらうために、病院から地域住民に向けて、当院から初めて出前講座を行った。目標として10回の講座開催を掲げたが、営業などの周知活動で12回行うことができた。地域住民約120名に当院や訪問看護について知ってもらうことができた。来年度以降も継続するためには、多職種の協力なくしては続かない。

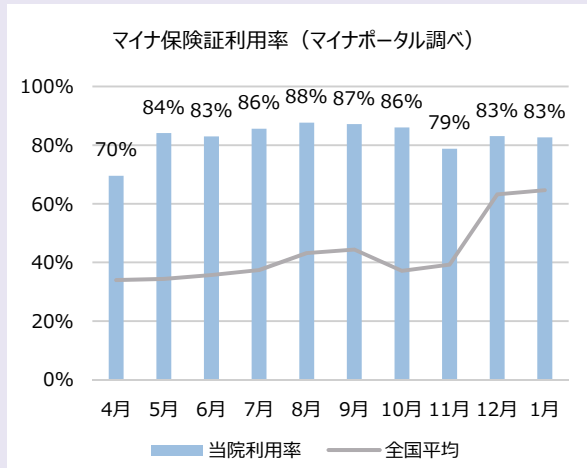
事務部

■部門代表者

森田 均

■2025年度のトピックス

2024年度からマイナンバー利用率向上に向け一人ひとりに声掛けを実施し、利用率は全国平均を大きく上回る高水準利用率を維持している。



■事業報告

- ① 2025年6月機能評価を受診し（一般病院1）12月認定となり、今回で前病院と通算し5回目の認定を取得した。
- ② 診療報酬における施設基準及び各種加算の管理業務を特定の職員から職種・部署を超えたチーム会を結成し、病院全体で管理・考える仕組みを構築することにより、新たな加算取得に繋がった。また、共有フォルダーを利用することにより誰でも施設基準を確認できる仕組みとした。
- ③ 今年度から年間一回の大規模大雨災害に備えた訓練を実施した。職員33名が参加するとともに本部設置、各班員の報告、避難における手順、防災物品の準備、土嚢の準備など、細かな手順を確認した。加えて職員安否確認も併せて実施した。
- ④ 地域の病院、開業医、ケアマネジャー、介護施設等との連携を目的に、9月10日地域連携のつどいを開催したところ50名の参加を得、今後の連携の在り方について対面で意見交換を実施した。
- ⑤ 当院の特徴等について書かれた恵寿まるわかりブックを前年に引き続き発行し、診療や紹介先として参考になる情報を提供した。（100部発行）

医療事業統括部門 クリニック

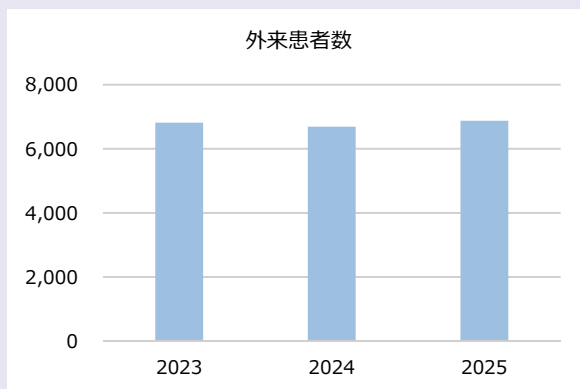
鳥屋診療所

■所属医師

廣正 修一、中谷 茂和

■2025年度のトピックス

所長が交代し、新所長として廣正医師が着任した。田鶴浜診療所の閉鎖に伴い、鳥屋診療所での診療に変更となった患者数が増えたため、総外来患者数は増加となった。これまで休診としていた火曜日も、心療内科の診療日として診療拡大した。



■事業報告

① 鳥屋診療所

診療日は、月曜、水曜、金曜が内科・循環器内科・小児科、火曜日が心療内科が担当した。患者数は、成人がプラス27%と大きく増加したが、一方で小児がマイナス19%の減少となった。合計では2.7%の増加となった。ワクチン接種件数は、成人447件・小児1,106件合計1,553件で、前年度対比で0.4%増加した。心療内科受診者数は、432人となり前年度対比で82.4%増加した。

② 通所リハビリテーションいきいき

今年度も、受け入れ制限をかけることなく通年でサービス提供することができた。延べ利用者数は、3,054人で1.11%増加した。

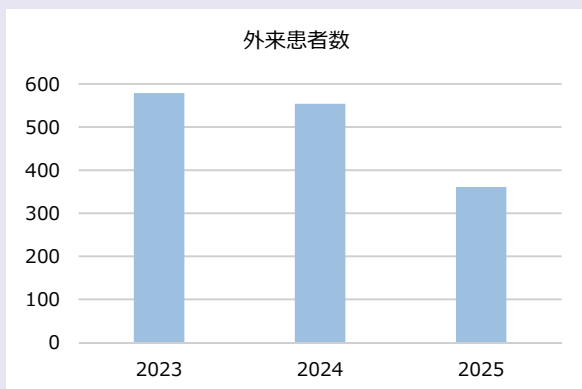
恵寿鳩ヶ丘クリニック

■所属医師

渡邊 博之

■ 2025年度のトピックス

震災後、過疎化が加速しており、スタッフ確保もより困難となっている。しかし、主に恵寿鳩ヶ丘入所者と穴水ライフサポートセンター利用者のレントゲン一般・CT撮影や、予防接種等を通じて、医療・予防の提供を継続、安心安全の確保に努めている。



■事業報告

- ① 外来患者数は年間361人（昨年554人）。
- ② 2024年1月の震災後スタッフの確保も難しい中、介護医療院併設の医療機関として、主に鳩ヶ丘入所者と穴水ライフサポートセンターのレントゲン一般・CT撮影、予防接種事業（インフルエンザ・新型コロナウイルス等）を行い、病気の早期発見・治療・予防に努めた。診療科目は、内科、胃腸科、リハビリテーション科。

介護事業統括部門

■部門長

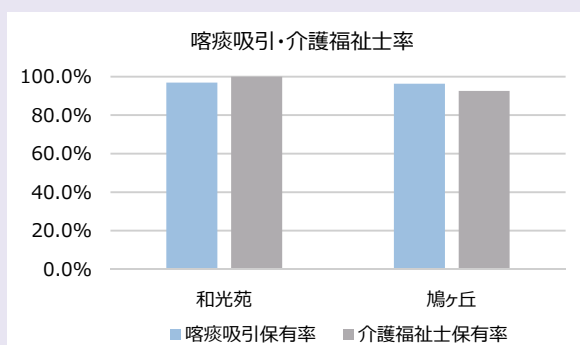
内田 かおり

■副部門長

古木 恵実子、田辺 航也

■2025年度のトピックス

- ① 鶴友苑（入所50人強化型&デイ25人）の開所に伴い、グループ内施設で利用者の受け入れを再分配し、地域のニーズに合わせた形で運営を継続した。
- ② 喀痰吸引等研修の未修了者7名全員が研修を修了した。和光苑・恵寿鳩ヶ丘の喀痰吸引等の資格保有率はほぼ100%となった。



■事業報告

① 人財育成活動

喀痰吸引18名、K-Fitマイスター12名、ノーリフトマイスター10名、Foot活マイスター10名、実務者研修5名、スマート介護士16名が新たに資格を取得した。

② 地域貢献

けいじゅフェスティバルでFoot活マイスターが約100名の歩行能力を測定した。ケアフェスタin鳩ヶ丘を開催、約100名が来場し大盛況となった。

③ ロボットの活用・介護DXの推進

新規導入：眠りSCAN（鳩ヶ丘・和光苑）、トイレDIARY（和光苑）、眠りSCAN eye（鳩ヶ丘）、ライラックプラス（ほのぼの）、BONX骨伝導ヘッドセット。第1回介護DX成果発表会を開催し、各施設の見守りロボット、移乗ロボット、インカム等の導入による業務改善、内容を共有した。

④ ペーパーレス化の達成

和光苑・鳩ヶ丘・ほのぼので計86項目を実施。

⑤ 介護の質向上（スマート介護士の活躍）

全施設、大王製紙（株）と共同で排泄調査を実施し、おむつ使用方法を変更し、使用枚数を削減した。

⑥ 社会情勢に合わせ、食費の値上げを実施。

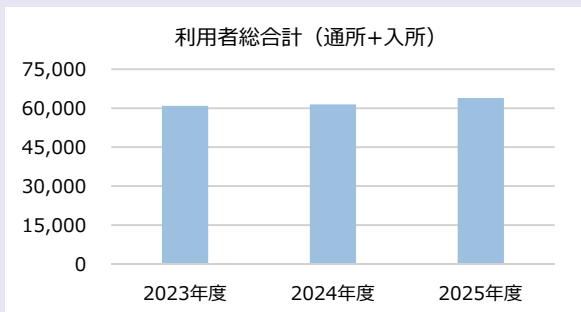
介護老人保健施設 和光苑

■施設長

伊達岡 要

■2025年度のトピックス

「適正人数で責任のある最高のケアを」を標語として定め、各部署全体で取り組んだ。①可能な限り苑内での治療完遂・送迎回数の低減②介護DXの取り組み・学会発表③事務手続のデジタル化、Teams活用への移行④認知症ケア関連の人材・加算取得体制の充実に取り組んだ。「令和7年度介護職員の働きやすい職場環境づくり」厚生労働大臣表彰奨励賞を受賞。



■事業報告

① 今期目標と達成度

入所稼働率 98.9%（前年比 +1.6%）

通所稼働率 95.2%（前年比 +7.2%）

稼働率向上のために苑内での診療対応を拡充し、病院への入院を前年度約1/3まで減らした。1年を通してコンスタントな入退所を行うと共に、ベッドの回転率を在宅復帰やショートステイの利用頻度上昇で対応した。通所はキャンセル時の空き利用の取り組みや実人数を確保する取り組みで、1年を通して昨年度より稼働率は大きく増えた。

② 教育研修

全国老人保健施設大会にて2演題を発表

1. 移乗アシストロボットの有効活用に向けて

2. 老健における嚥下機能低下と低栄養への栄養サポート

③ 今後の課題

利用者と職員双方が心から満足できる環境を整えるために、適正な人員配置やIT機器を活用することで、職員間の連携強化を行った。今後も効率的な運営と質の高いケアを両立していき、地域から選ばれ続ける施設作りを進めていく。

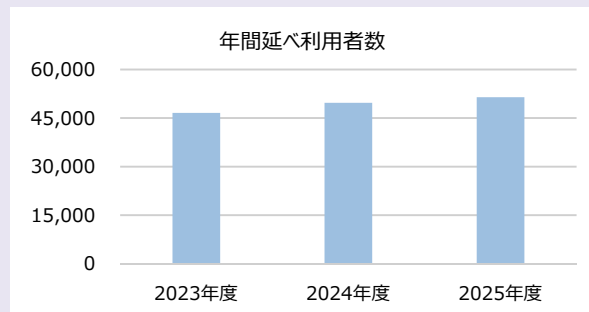
介護医療院 恵寿鳩ヶ丘

■院長

渡邊 博之

■2025年度のトピックス

年間延べ利用者数は、51,472人（前年比103.5%）。震災以降、奥能登地域全体が過疎化、働き手の不足が深刻化する中、TQMテーマ「がんばろう鳩ヶ丘～地域に向けてのアピール戦略～」として、地域の重要な社会資源として貢献し続けられるよう、事業報告に記載する4項目を中心に取り組んだ。



■事業報告

① ケアフェスタ in 鳩ヶ丘の開催

院長による講演、体験コーナー（音楽レクリエーション、リハビリ作品作り、骨密度・肌年齢・各種測定）、専門職による健康相談会、福祉用具展示販売、院内見学ツアー、ガラポン抽選会等。前回は上回る100名の参加。11月15日開催。

② SNS等の広報活動

Instagramフォロワー数175→500 約3倍に増加。

③ 見守り支援機器の導入

石川県の「介護現場の生産性向上に関する伴奏支援・モデル事業所」の指定を受け、見守り支援機器「眠りSCAN」57台・カメラ付きタイプ「眠りSCAN eye」4台を設置活用し、利用者の安心・安全と職員の負担軽減を図った。

④ 地域へのアウトリーチ支援

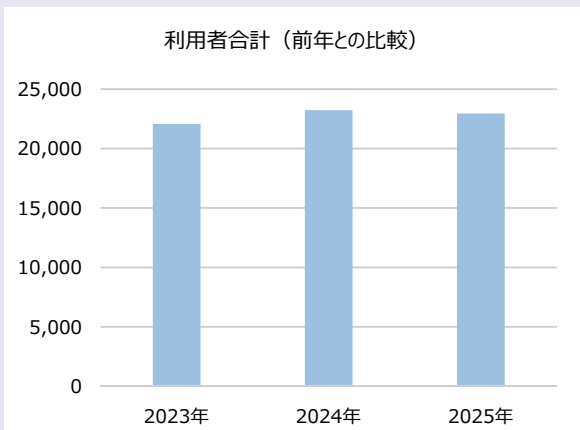
ケアマネステーションのサテライト拠点として地域支援 奥能登復興リハビリテーション支援活動延べ80回以上

在宅複合施設 ほのぼの

■部門代表者
古木 恵実子

■2025年度のトピックス

人口減少や施設入所の加速といった厳しい状況下であるが、併設の通所リハビリいきいきと協働してケアマネ事業所への定期訪問を実施。顔の見える関係を築くことで信頼を深め、紹介促進に注力した。



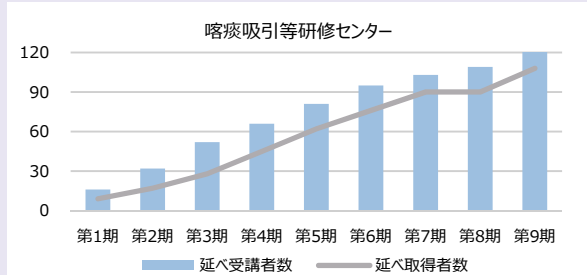
■事業報告

- ① 今期の目標と達成度
稼働率目標値：通所介護91%/短期入所95.0%
通所介護稼働率：88.3% 達成度97.0%
短期入所稼働率：91.3% 達成度96.1%
医療連携体制加算 70件
生産性向上推進体制加算Ⅱ 531件
栄養改善加算 12件
口腔・栄養スクリーニング加算151件
栄養アセスメント加算 1,725件
- ② 教育研修
認知症介護実践リーダー研修修了者1名、認定特定行為業務従事者研修2名、介護支援専門員1名、Foot活マイスター1名、K-Fitマイスター1名、ノーリフトマイスター2名、スマート介護士9名、県主催介護技能グランプリで技能賞「適切なコミュニケーション」を受賞。
- ③ 介護DX・ロボットの推進
移乗ロボットSASUKE、座位浴槽ライラックプラス導入。
- ④ 今後の課題
在宅複合の機能を最大に生かし、在宅生活を最後まで支える地域に不可欠な生活支援の拠点を目指していく。

喀痰吸引等研修センター

■部門代表者
内田 かおり

■2025年度のトピックス



■事業報告

- ① 実技が未実施で登録できていない職員が8名いたが、全員修了した。
- ② 2025年度受講生10名全員修了し登録。
- ③ 2017年の1期生から2025年の9期生までに130名の資格取得者を登録。
- ④ 和光苑は96.9%、鳩ヶ丘は96.3%の取得率である。

社会事業統括部門

社会事業統括部門

■部門代表者

神野 厚美、進藤 浩美

■2025年度のトピックス

【法人内施設間における手続きの簡便化】

入院・入所時のタオルや寝巻のセットは、入院から入所に移る際申し込みをやり直す仕組みとなっていた。利用者の利便性に鑑み、入院⇔入所の手続きを削減した。申し込み手続きを一度完了すると入院⇔入所が複数回ある場合でも引き続きサービスが提供されることとなった。

■事業報告

- ① 看護学校は、新入学生16名と目標を下回ったが、1・2年生の電子教科書使用が100%達成し、日本看護学校協議会より優秀賞を受賞した。
- ② 本院の入院セット、LAWSONの委託先を変更した。
- ③ 穴水地区の給食提供のために、デリカでの業務内容を変更した。

けいじゅデリカサプライセンター

■部門代表者

神野 厚美、進藤 浩美

■2025年度のトピックス

【デリカサプライセンターへの盛り付け業務移管】

穴水地区では、厨房業務に関わる人材採用が非常に厳しく、重仙会・徳充会3施設での給食提供が危機的状況であった。そのため現場での盛り付け業務をけいじゅデリカサプライセンターに移管し、再加熱カートを用いたクックチル提供方式とし、ワンオペ給食提供を実現した。

■事業報告

- ① 弁当業務ラインとして、徳充会ワークセンター、デイサービスもみの木苑の昼食、本院のスマートミール弁当対応。
(職員の食生活改善に向けた健康経営対策)
- ② 穴水地区の給食提供業務削減のために、調理・配膳工程の再編を実施した。スチコンを使用したパック炊飯・冷却業務、副菜のデイスボパック化・蓋掛け業務、穴水行き配送トラックへの積み込み業務が新たに増えた。

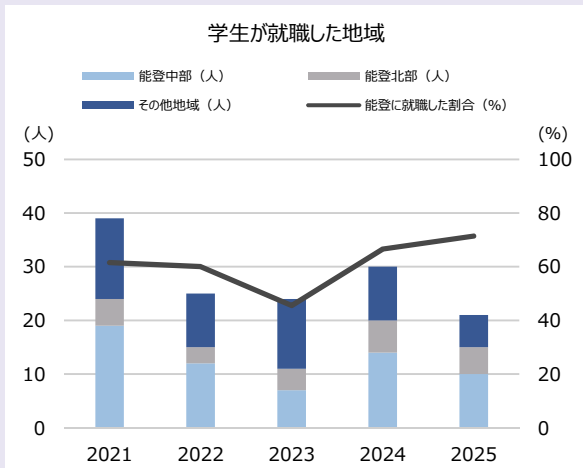
七尾看護専門学校

■事務長

平田 吉喜

■2025年度のトピックス

22名卒業し、21名が病院に就職。能登中部・能登北部の病院に15名（内 恵寿総合病院6名）が就職。能登地区の病院に就職した割合は71.4%であった。



■事業報告

- ① 2025年度の入学出願者数16名、受験者数16名、入学者数14名だった。入学者の出身別では、能登中部12名、能登北部1名、石川中央1名、県外0名であった。
- ② 第115回看護師国家試験に新卒者22名が受験し、21名が合格。合格率95.5%であり、全国平均88.3%（新卒者94.1%）を上回った。
- ③ 董仙会の修学資金を受けている学生は、1年生1人、2年生3人、3年生4人である。
- ④ 一般社団法人日本看護学校協議会主催の「私の学校自慢」で2年連続で優秀賞を受賞した。
テーマ：「デジタルツール活用による看護実践力向上と学生の成長を支えるDXの取り組み」

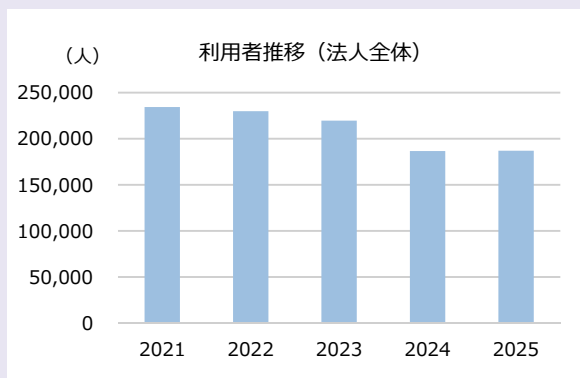
徳充会

■部門代表者

今寺 忠造

■2025年度のトピックス

「MOTTO」をテーマに各部署で積極的に取り組んだ。法人創立40周年（動画・記念植樹他）。復旧工事青山ライフ12月末完了、穴水ライフ現在進行中。石川県精育園：4月加賀から帰園。高齢者事業局：介護DXで業務改善。事務局：DX・AIの推進と震災の復旧対応に追われた。



■事業報告

- ① 各事業所が強みを生かした新しいサービスの創造・構築を目指した。法人40周年は各事業所で、独自のイベント等を開催した。
- ② 障害者事業局：入所は高齢化し、重度・医療的ケアのニーズが高く、入院が多い現状。通所系は震災前の数値に近づいた。身体系より知的・精神の利用ニーズが高くなっている。拠点コーディネーター等新しい時代のサービスに対応した。石川県精育園は新築移転が示された。
- ③ 高齢者事業局：各種マイスター（K-Fit・ノーリフト・Foot活）の資格習得等の人材育成や介護DXを推進した。強みを生かした選択プログラムや買い物訓練、整髪サービス、とくし丸等を活用し、意欲を引き出した。外出支援やイベント交流等を再開した。取得可能な加算は積極的に取り組んだ。
- ④ 事業局：40周年記念イベント。DX・AIの推進。カスタマーハラスメント対策強化。介護職員処遇改善加算による賃上げ。新たな休暇制度・副業規定。補助金・義援金の受入と申請。復旧対応・会議参加。
- ⑤ 地域貢献：徐々に地域交流イベントを開催し、できる範囲で福祉教育等の社会貢献活動を行った。

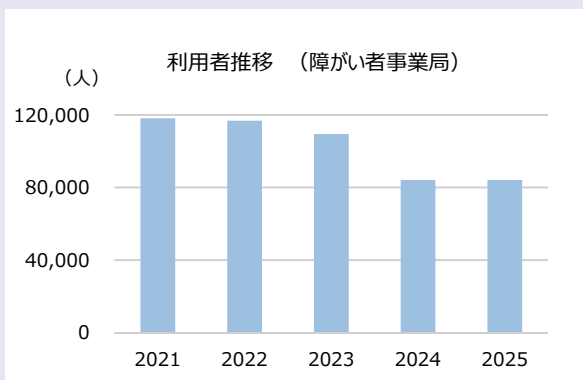
障がい者事業局

■部門代表者

今寺 忠造

■2025年度のトピックス

各事業所、「MOTTO」を意識し、置かれた立場で、創造的復旧・復興に取り組んだ。限られた環境で創意工夫をしながら、利用者サービスを提供した。地域交流やイベントも再開し、地域貢献も継続して行った。



■事業報告

- ① さいこうえんの障害者支援センター：地域活動支援センターは2026年3月末で閉所。地域生活支援拠点コーディネーターを配置。キララは継続して被災地支援。
- ② セエレナ青山：現状維持。ホームヘルプ利用4名。
- ③ 青山彩光苑リハビリテーションセンター：地域交流イベント再開。機能訓練・生活訓練は横ばい。
- ④ 青山彩光苑ライフサポートセンター：7月渡り廊下通行可、12月末工事完了。介護ソフト導入、浴室シャワーヘッドの交換で快適入浴推進。知的・精神の在宅利用者の入所受入推進。
- ⑤ ワークセンター田鶴浜：定員20名、施設外就労継続。総利用者増加。土耕・軽作業・洗濯仕事量、震災前に近づく。
- ⑥ 青山彩光苑穴水ライフサポートセンター：定員50名変更、地域連携会議の実施、テイクアウトの実施、夏祭り・障がい者週間（小学校福祉教育・アンサンブル・太鼓等の交流会）。
- ⑦ 石川県精育園：40名が現精育園で新生活開始。こども園・高校生・ボランティアとの交流再開、新築建替え移転が決定。避難利用者の殆どが帰園を希望。グループホームは仮設からの短期入所は積極的に受け入れた。

第2章 法人方針・事業報告（徳充会）

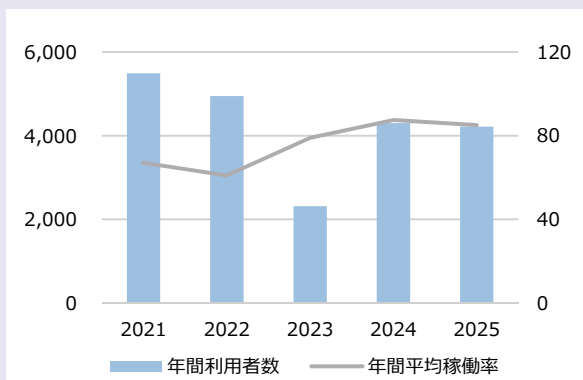
障がい者事業局 青山彩光苑 青山彩光苑リハビリテーションセンター

■部門代表者

久保 奈保

■2025年度のトピックス

長期にわたった震災復旧工事を終え、施設設備全体が活用できるようになったことを皮切りに、施設内を活用した地域との交流イベントなど開催することができた。各事業について、機能訓練については年間を通じて安定した利用率を算定できた。就業事業については、5名の就職者を輩出できた。



■事業報告

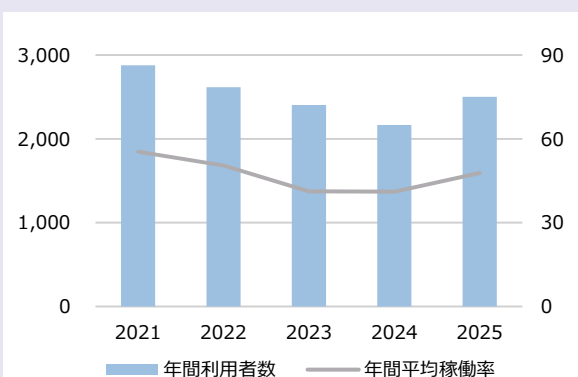
- ① 目標と達成度
機能訓練稼働率を100%以上とする
→94%であったため、達成度は94%
就労移行支援稼働率を100%以上とする
→80%であったため、達成度は80%
生活訓練（機能訓練）稼働率を100%以上とする
→73%であったため、達成度は73%
- ② 就労移行支援事業については、5名の利用者が就職した。6か月以上の職場定着者は3月時点で5名となった。2年間実績での評価のため、2026年度も報酬単価最高値となった。2025年度は前年度に比べて就労移行支援事業で就職者も多かったため安定した利用率を維持することが難しく、稼働率が低下した。就職実績と稼働率のバランスを改めて考える必要がある。2026年度は4月時点で定員を超えた受け入れを予定している。年間を通じた安定した利用を継続するため引き続き学校及び相談支援事業所へのアプローチを継続し新規獲得を目指していく。

障がい者事業局 青山彩光苑 さいこうえんの障害者生活支援センター

■部門代表者
前田 奈津子

■2025年度のトピックス

地域活動支援センターにおいては若干の稼働率の伸びはあったが、能登半島地震前の稼働率までには届かなかった。今後も定員数までの利用人数が見込めないことや人員配置が難しいことから、2025年度をもって閉鎖となった。



■事業報告

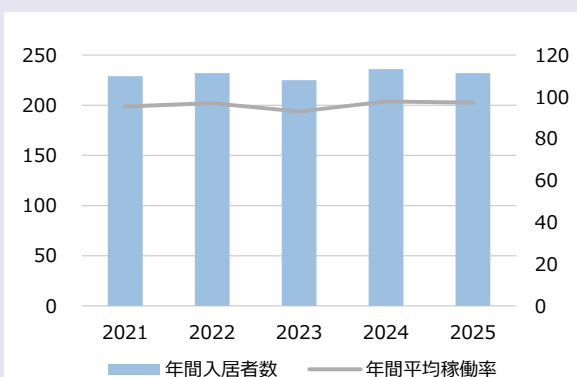
- ① 地域活動支援センターは七尾市・中能登町からの委託を受け、I型事業を実施した。高階地区コミュニティセンターとつながりを維持し、地域の一員として積極的な活動を実施していたが、諸般の事情により2025年度で閉所となった。
- ② 相談支援事業（指定特定・指定一般・指定障害児）は、障がいのある人の様々な相談に応じ必要な情報提供、障害福祉サービス利用等の支援を行った（年間相談件数4,809件）。今年度より地域生活支援拠点コーディネーターを配置し、地域の8050世帯やひきこもり等の支援において、中心的な役割を担っている。相談支援事業所キララでは各関係機関と連携し、復興支援を継続している。
- ③ 障害者就業・生活支援センター事業は障がい者・企業からの就職に係る相談・職場定着に係る相談、これらに伴う生活の相談を受け、その課題解決に向けて必要な情報提供、助言等の支援を実施した（年間相談件数2,412件、就職件数29件、職場実習研修32件）。

障がい者事業局 青山彩光苑 バリアフリーホーム セレーナ青山

■部門代表者
久保 奈保

■2025年度のトピックス

2025年4月は19床から開始し、2026年3月には20床の稼働となった。多少の入退居はみられたが、年間通じて定員20名に対し、19～20名で推移し、大きな変化はみられていない。



■事業報告

- ① 退居2名、新規入居者は3名であった。年間平均稼働率は前年度を維持できた。
- ② 入居者の法人内サービス利用の内訳
※重複利用を含む
【障がい者活動系】
リハビリテーションセンター：6名
ワークセンター田鶴浜：3名
障害者生活支援センター：4名
【生活支援系】
ローレイルハイツ恵寿（ホームヘルプ）：4名

障がい者事業局 青山彩光苑ライフサポートセンター

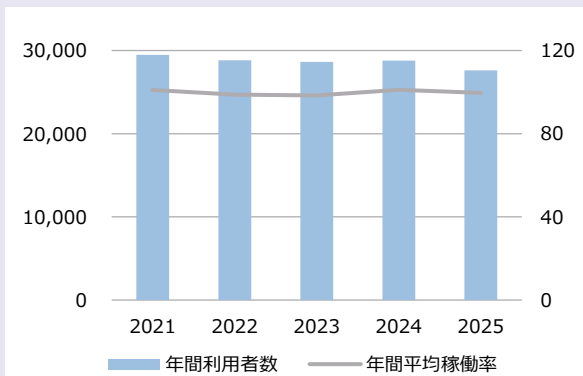
■部門代表者

瀧野 利徳

■2025年度のトピックス

7月に東西両館を結ぶ渡り廊下が使用できるようになり、利用者・職員の動線が平時の状態に戻った。また、年末には外構工事を含むすべての復旧工事が完了した。

介護ソフト導入による記録業務の省力化を目指したが、補助金活用が可能となり、年度内の導入にこぎつけられた。



■事業報告

- ① 生活介護事業は、目標稼働率122%に対し117.8%で達成率は96.5%であった。施設入所支援事業の実績は、目標稼働率102%に対し99.6%で達成率は97.6%、短期入所事業は70%の目標稼働率に対し63.6%となり、目標達成率は90.8%であった。
- ② 入所者の確保について、七尾市では介護保険の第2号被保険者で特定疾病の方は、介護保険優先が徹底されてきたため、新たに知的及び精神障がい者で在宅やグループホームでの生活が困難になってきた方をターゲットとし、今年度は2名が入所するに至った。
- ③ 利用者サービスでは、浴室のシャワーを高級な物へと交換し、より快適な入浴場面を演出した。また、前年同様に輪島市・穴水町の復旧状況を肌で感じてもらうため、現地を訪問して飲食や土産物を購入する機会を設けた。入所者31名、入所者家族2名の参加があった。

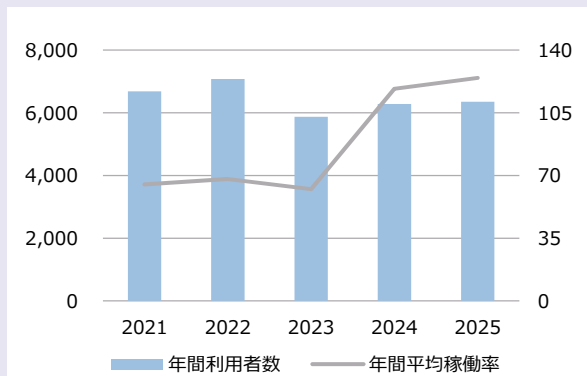
障がい者事業局 青山彩光苑ワークセンター田鶴浜

■部門代表者

細木 俊逸

■2025年度のトピックス

各事業において、震災前の仕事量に戻すために、新規の仕事を獲得する取り組みを行った。2025年10月には社会福祉法人読売光と愛の事業団様より、自走式草刈り機の助成を受けることができた。今後、この草刈り機を活用し、仮設住宅等の草刈りの仕事を獲得していきたいと考えている。



■事業報告

- ① 新規利用者は2名、退所者は2名であった。年間の総利用者数は6,351名であり、昨年度に比べ70名増加した。稼働率は124.5%であり、目標稼働率の達成率は99.6%であった。実利用者は31名～30名で推移していた。
- ② 2025年度の収益としては、2月末時点で、土耕事業は前年比約21%増、軽作業事業、リサイクル事業は前年度と同等、ランドリー（洗濯）事業は20%減少、商品販売は19%減少となった。ランドリー、商品の収益減少の要因は震災を受けて、納入先が減少したことによるものである。
- ③ 震災前の状況に戻す取り組みとして、土耕事業において、ハウスでのパプリカやトマトの栽培を行った。結果としては生育不良が起きるなどしたため、目標の売り上げには到達できなかったが、今回の課題を整理し、2026年度は売り上げ回復を目指して事業を進めていく。
- ④ 2025年度は石川県の震災復興事業である「能登復興推進隊」に参加し、被災地の除草作業や物品の運搬を行い利用者とともに震災からの復興に向けて地域の支援ができた。次年度も継続して取り組んでいく。

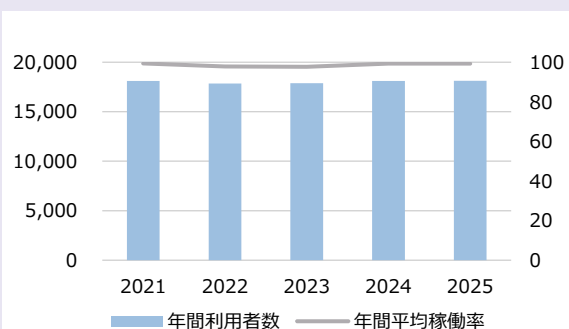
障がい者事業局 青山彩光苑穴水ライフサポートセンター

■部門代表者

大林 尚美

■2025年度のトピックス

震災から2年目を迎え、復旧工事のうち未実施であった法面工事を開始した。生活介護事業においては、利用者数は徐々に回復しているものの震災前の水準には至らず、6月より定員を50名に変更した。利用者支援については「MOTTO 楽しく」をテーマに、利用者主体による喫茶及びテイクアウト企画並びに家族参加型の苑内イベントを再開した。



■事業報告

- ① 施設入所支援事業は、目標稼働率102%に対し99.3%であり、入院者数は平均2名と、前年度と同様の結果であった。生活介護事業は、6月より定員を60名から50名へ変更した。目標稼働率115%に対し110.9%であった。短期入所事業は、目標稼働率70%に対し61.2%であり、定期利用者の入院及び入所への移行により、利用が伸び悩んだ。
- ② 6月に「地域連携推進会議」を実施。構成員は利用者代表、家族代表、地域代表等6名。当苑の取組及び地域課題について意見交換を行った。また、施設見学を実施し、施設や利用者に対する理解の促進を図った。
- ③ 9月に苑内イベント、12月に障害者週間に係る企画を実施し、家族や地域住民に対して参加を呼びかけた。来苑者は復旧の様子を確認でき、利用者にとっては家族との交流を通じて復興を実感する機会となった。
- ④ 「食」支援として、普通食を軟化させる機器「デリソフトター」を活用し、ミキサー食及びペースト食利用者への支援を実施した。見た目を変えず食事が楽しめたことにより、食事に対する意欲の向上及び摂取量の増加といった効果が認められた。

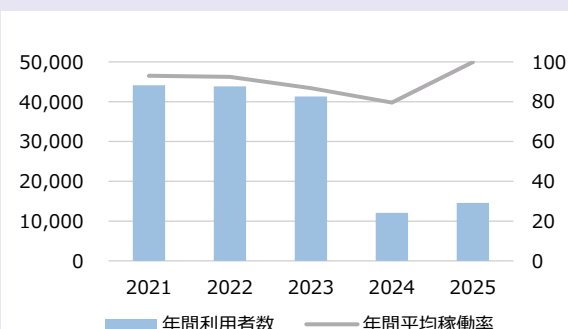
障がい者事業局 石川県精育園・自立ホームけいじゅ

■部門代表者

田中 こずえ

■2025年度のトピックス

精育園は、震災による建物・設備への甚大な被害に加え、液状化や地すべりの恐れといった地盤上の問題も確認されたため、9月に新施設への建替え・移転することが決定した。県に移転検討委員会が設置され、学識経験者や福祉関係者の知見を集めながら、新たな施設の整備方針が検討された。



■事業報告

- ① 精育園の生活介護事業は、稼働率114.4%（目標100%）だった。施設入所支援は、稼働率99.9%（目標97%/達成率103%）だった。グループホームは稼働率98.1%（目標99%）、グループホーム短期入所は稼働率68.8%（目標60%）だった。ヘルパーステーション銀河は延べ利用者数796名だった。
- ② 「移転検討委員会」により、精育園の新たな施設整備の方向性を示す報告書が3月末に取りまとめられた。
- ③ 地域移行支援では、新たに入所者2名の希望に基づき就労継続支援B型事業所へ平日通えるよう支援した。
- ④ 健康維持支援では、年4回の利用者向け健康セミナー、月1回の個別健康相談、歯科衛生士による月2回の口腔ケア等を実施した。
- ⑤ 風通しのよい職場づくりの取り組みの一つとして、平日夕方15分職員同士での振り返りミーティングを実施した。
- ⑥ 今年度より義務化された地域連携推進会議を精育園及び自立ホームけいじゅでそれぞれ開催した。
- ⑦ 平和こども園園児や穴水高校生との交流、穴水地区更生保護女性会や県外ボランティア団体との交流、障害者スポーツ大会への参加などを積極的に実施し、地域との関係づくりや利用者の生活の質向上に努めた。

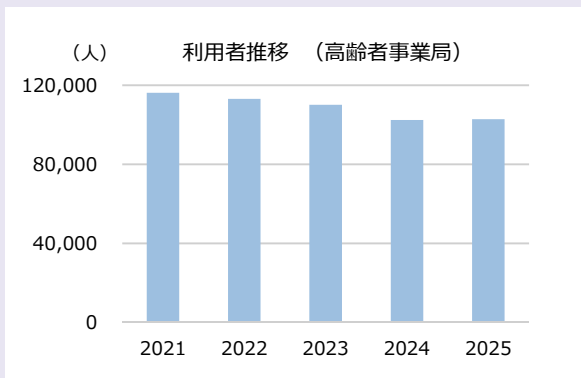
高齢者事業局

■部門代表者

内田 かおり

■2025年度のトピックス

- ① 全事業所、インカムの導入で業務の効率を上げた。介護DXで業務改善・業務負担軽減・人員削減等の成果が見られた。
- ② 取得可能な加算は積極的に取得に取り組んだ。
- ③ コロナ前からの喀痰吸引等の未修了者は全員修了。



■事業報告

- ① 人材育成活動：喀痰吸引等の研修済みで2022年から未実施であった人も含め合計6名資格取得。K-Fitマイスター、ノーリフトマイスター、Foot活マイスター、実務者研修、スマート介護士、認知症研修を実施した。
- ② 介護DX：iPhone・BONXインカムの増設で業務改善、負担軽減につなげた。また、介護DXの成果発表を開催し、各事業所と情報共有を行った。
- ③ ローレルハイツ恵寿：特定ケアハウス稼働率100%、サ高住104%と高稼働。訪問介護も件数増。クリニック閉院対応。
- ④ エレガントなぎの浦：入所稼働率93.3%で目標未達、短期入所93.1%で目標達成。通所88.8%で目標未達。ハッピープランとして個別支援を実施した。また、介護DXの取り組みとして、見守り機器やインカムを活用し、業務の効率化を推進した。
- ⑤ もみの木苑：年間稼働率83.6%で目標未達。冬季の稼働率低下が課題。地域資源活用や個別支援で利用者満足度向上と社会参加を促進。もみの木Caféや買い物訓練、整髪サービス、とくし丸の活用など、地域資源を取り入れた取り組みを実施した。

高齢者事業局

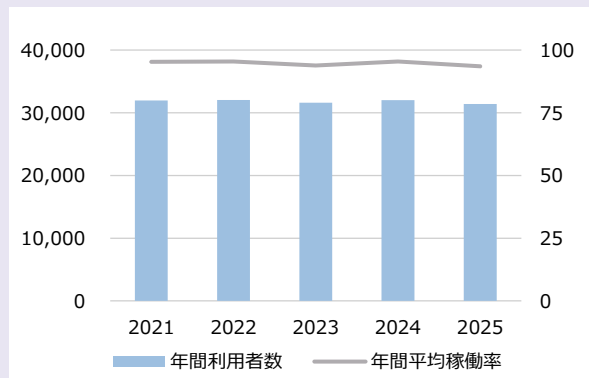
エレガントなぎの浦・アンジェリィなぎの浦

■部門代表者

江澤 恵太、藤澤 優子

■2025年度のトピックス

通所は年間稼働率88.8%で目標91%に届かなかったが概ね安定運営。利用調整や体調不良の影響が課題。入所は入院延べ人数増加により93.3%で目標未達。短期入所はクラスターで一時受入停止も空床活用により93.1%で目標達成。ケアハウスは100%を維持し満室状態が継続している。



■事業報告

- ① 通所事業は、利用者支援として、「体・脳・心らぼ」の取り組みやレクリエーション活動を通じて、利用者満足度の向上に継続的に努めた。さらに、ICTの活用や業務改善、研修の実施により職員のスキル向上と業務効率化を推進したほか、「歩こう会」や季節行事を企画し、外出機会の確保と楽しみづくりの充実を図った。
- ② 入所事業は、毎月季節行事を企画し、利用者の楽しみの充実を図るとともに、ハッピープランとして個別支援を実施した。また、介護DXの取り組みとして、見守り機器やインカムを活用し、業務の効率化を推進した。
- ③ 職員のモチベーション向上を図るため、「ATM広場」の継続と今年度は、輝きアワード2025を開催し、個人の部とグループの部で選出を実施した。
- ④ ケアハウスは、毎月の有料メニューの提供や近郊でのランチ企画を行った。また、移動スーパーのとくし丸の誘致を実施した。

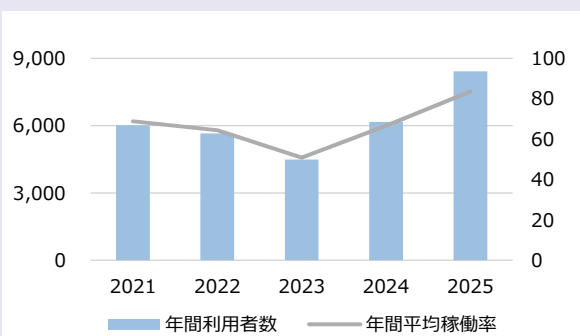
高齢者事業局 もみの木苑

■部門代表者

江澤 恵太

■2025年度のトピックス

年間稼働率は83.6%となり、目標の92%には届かなかったものの、夏季から秋季にかけては90%前後まで回復が見られた。一方で、冬季（1～3月）は稼働率の低下が顕著であり、体調不良や利用控えへの対策が今後の課題である。機能訓練や入浴、中重度ケア体制加算等は継続的に算定した。



■事業報告

- ① 「常に新しく」をテーマに、魅力ある事業所づくりを目指し、各種取り組みを推進した。利用者満足度の向上と地域に根差した事業所運営に繋げることができた。利用者支援においては、「まなぶ・つくる・うごく・はた楽」を柱とした活動を展開し、認知症予防や創作活動、社会参加訓練、役割支援を通じて、心身機能の維持向上と生きがいづくりに取り組んだ。また、買い物、屋外歩行などの実践的な日常生活動作訓練を取り入れ、在宅生活の継続を見据えた支援の充実を図った。
- ② もみの木Caféの運営やポイント制度の活用により、楽しみや達成感を感じられる環境づくりを行い、利用意欲の向上に繋がった。
- ③ 地域資源の活用としては、移動スーパーや整髪サービス、移動図書の導入により利便性を高めるとともに、認知症カフェへの送迎協力や地域行事への参加、環境美化活動などを通じて地域との関係性強化に努めた。
- ④ LINEやSNS、広報紙を活用した情報発信を行い、事業所の取り組みの見える化を推進した。
- ⑤ 職員においては、動線の見直し等による業務効率化を進めるとともに、研修や伝達講習の実施により専門性の向上を図った。

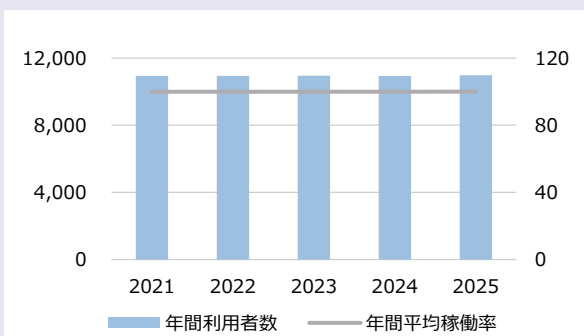
高齢者事業局 ローレルハイツ恵寿

■部門代表者

松井 智子

■2025年度のトピックス

特定ケアハウスの平均稼働率100%、一般ケアハウスは平均稼働率99.9%。サ高住は昨年度からの満室が続き、お試し利用も多く、平均稼働率は104%だった。訪問介護の平均訪問件数（月）は856件。今季は目標を大幅に上げて取り組んだ結果、目標値には届かなかったが昨年度よりもアップした。



■事業報告

- 今年度は「MOTTO 住みたくなる施設へ」をテーマに入居者の健康と安心をサポートし、満足した生活を送ることができる施設づくりに取り組んだ。また、業務改善やICT化にも取り組み、働きやすい職場づくりを目指した。
- ① 併設クリニックの閉院に伴い、個別の受診先や緊急時の対応を明確化。入居者の不安解消に努めた。健康サポートとして毎月「健康レク教室」を開催し、参加者も多くみられた。
 - ② 入居者の満足度向上を目指し、デザートビュッフェ等のお茶会、趣味活動やハッピーイベントを企画・実施した。また、訪問販売では「衣食」の品揃えを充実化し、多くの利用者に喜んでいただいた。特定ケアハウスで実施した家族と手紙交流では、「手紙が届き感動した」との感想があり、好評であった。お取り寄せグルメはニーズに応え、人気メニューの回数を増やし実施した。
 - ③ 業務改善では、コミュニケーションを目的とした終礼を実施し、情報や職員の良かった点を共有。また、会議・委員会の内容見直しにより専門職としての自覚を持つ機会になった。特定とヘルパーでは、AI活用や介護機器を導入し、事務負担と身体介護の負担軽減が図られた。

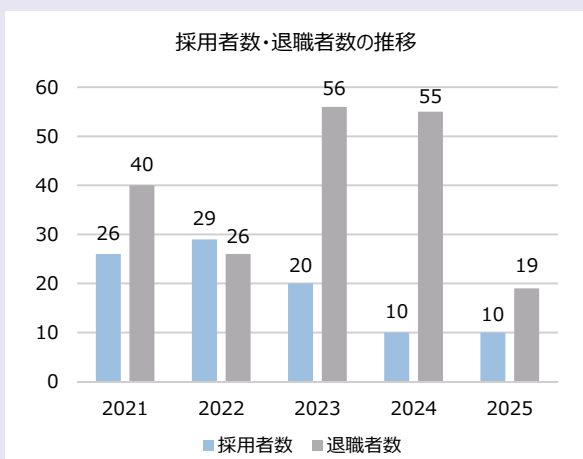
事務局

■部門代表者

山下 賢

■2025年度のトピックス

2025年度における採用者数は10名、また退職者数は19名で差し引き△9名であった。期首の職員総数は350名、期末の職員総数は341名。



■事業報告

① 災害復旧工事

青山彩光苑：2025年10月完了

穴水ライフサポートセンター陥没工事：

2026年6月完了予定

石川県精育園：本復旧について石川県と協議の結果、別地にて新築移転へと方針が決定

その他施設は2024年度中に完了

② 食事体制の高度化

食事サービスの質向上に向けた取り組みとして、穴水ライフサポートセンター及び石川県精育園に新システムを導入（再加熱カート導入）

③ リスクマネジメントの強化

ハラスメント対策の周知

内部通報制度の構築

④ 不動産の取得

七尾市田鶴浜町地内

宅地：2,196.72㎡ 建物：732.19㎡

⑤ 理事・監事・評議員改選

理事：再任6名

監事：再任2名

評議員：再任5名、新任2名

第2章 法人方針・事業報告（徳充会）

事務局 総務部

■部門代表者

芳原 哲弥

■2025年度のトピックス

内容
法人創立40周年記念イベントを企画開催
カスタマーハラスメント対策の強化
法人全体のDXの推進
多様な働き方の実現に向けた調査研究及び制度設計
職域マーケットの導入

■事業報告

- ① 法人設立40周年の特設サイト記念動画を作成し公開した。法人の全事業所でイベントを開催。
- ② カスタマーハラスメント対策を強化し、行動指針をホームページに掲載、マニュアルを作成し全職員に共有。
- ③ 生成AI及び電子契約の導入
- ④ 新たな休暇制度や副業規程を策定。

事務局 経営企画部

■部門代表者

松下 清寛

■2025年度のトピックス

災害復旧に向けた取り組み

項目	内容
復旧工事	長期工事：青山彩光苑、穴水ライフ
災害復旧補助事業	社会福祉施設等災害復旧費国庫補助金申請・査定 なりわい再建支援補助金の申請・査定
工事代金資金の資金調達等	福祉医療機構及び民間銀行に対する借入及び償還

■事業報告

- ① 経営状況の把握・情報共有
- ② コスト増への対応（ネットバンキング活用）
- ③ スキル向上（勉強会：生成AI活用）
- ④ 緊急時のテレワーク環境整備
- ⑤ 理事会・評議員会開催（役員、評議員改選）
- ⑥ 監査対応（石川県指導監査、会計監査人監査）

教育研修委員会

■部門代表者

芳原 哲弥

■2025年度のトピックス

日程	内容
6月19日	管理監督者研修（課長以上）
7月23日	中堅職員研修
10月15日	カスタマーハラスメント研修開催
11月12日	ストレスマネジメント研修
12月	介護福祉士受験対策講座

■事業報告

- ① 管理監督者研修では、全国社会福祉法人経営者協議会副会長の谷村 誠氏より経営戦略についての講義を拝聴。
- ② 介護福祉士受験対策講座は董仙会より3名、徳充会 は2名が参加。

事例研究大会

■委員長

庭田 沙織

■2025年度のトピックス

2026年2月18日（水）に「危機感と覚悟をもってMOTTO」をテーマに大会を開催。感染対策のため前年度に続きZoomを用いたオンライン形式での実施となった。

1事業所1事例を発表。当日はレコーディングを行い、後日法人内職員が視聴できるように配信した。

■事業報告

- ① 2026年度も同様にZoomを活用した2会場（七尾・穴水）での開催を予定。一方で、対面開催の希望もあり、感染状況に応じた開催形態の検討が課題である。
- ② 2025年度はテーマ通り、危機感と覚悟をもった震災後の新しい取り組み・地域との関わりの事例もあり、他事業所の事例を参考に今後の支援に活かしたいとの意見があった。

福利厚生委員会

■委員長

幸田 恵

■2025年度のトピックス

- ① 業務で使用する「物品購入」、ストレスや健康維持に関する「物品・サプリメント購入」の助成
- ② 親睦会などの「食事会議」の助成
助成金：1人1,500円
- ③ 他事業所との交流を目的とした「バーベキュー」の開催
自己負担：500円

■事業報告

- ① 職員全体の約70%が利用
- ② 親睦会の実施：2件
- ③ コロナ・震災後、久しぶりに他事業所の交流であるバーベキューを開催することができ、参加者より喜びの声が聞かれた。今後は、以前のような旅行の開催も期待したい。

コンプライアンス委員会

■部門代表者

芳原 哲弥

■2025年度のトピックス

日程	内容
6月2日	カスタマーハラスメント行動指針 策定 カスタマーハラスメント対策マニュアル 作成
6月19日	カスタマーハラスメント研修開催（管理監督者）
10月15日	カスタマーハラスメント研修開催（主任・相談員）
2月2日	生成AI利用ガイドライン 策定
2025年度 委員会開催数 6回	

■事業報告

- ① カスタマーハラスメント行動指針を策定しホームページに掲載。
- ② 内部通報規程の策定。
- ③ 生成AI利用ガイドラインを策定し、AI導入を推進。



2025年7月28日 AIを活用した乗り合い送迎サービス「楽のり君」開始



第 3 章
医療部門
診療統計・医療の質

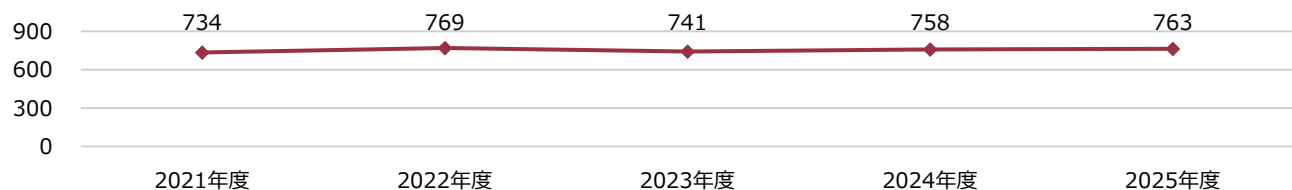
外来患者数（恵寿総合病院）

外来患者数の推移

※上段：患者延数 下段：1日当たりの平均患者数 単位：人

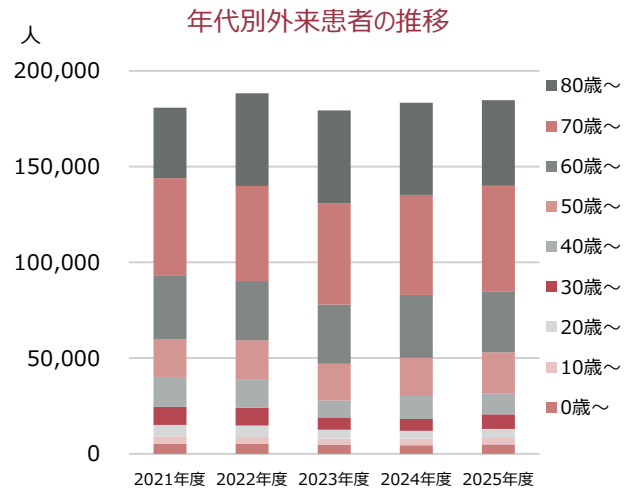
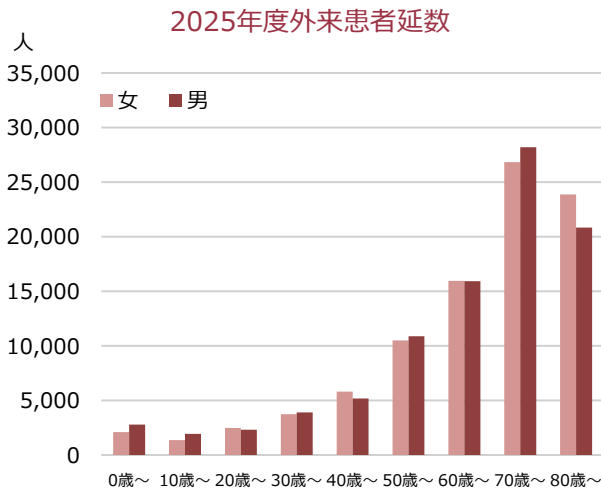
	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
形成外科	3,739	3,583	3,163	3,708	4,299
	15	15	13	15	18
脳神経外科	4,254	4,387	3,980	4,404	4,944
	17	18	16	18	20
心血管外科	2,598	2,450	2,486	2,881	2,522
	11	10	10	12	10
消化器外科	8,678	8,538	8,138	8,165	7,413
	35	35	34	34	31
整形外科	14,814	14,424	14,050	14,582	15,829
	60	60	58	60	65
内科	33,939	36,624	36,367	36,492	38,564
	136	151	150	151	159
産婦人科	9,985	9,652	9,460	7,959	9,605
	41	40	39	33	40
耳鼻咽喉科	5,240	4,767	5,077	6,282	7,342
	21	20	21	26	30
眼科	13,166	13,151	11,525	12,246	13,454
	54	54	48	51	56
泌尿器科	6,759	7,338	7,635	7,179	5,777
	28	30	32	30	24
小児科	4,809	6,271	4,997	4,683	4,584
	20	26	21	19	19
麻酔科	1,902	2,297	2,158	2,404	2,553
	8	10	9	10	11
透析科	18,647	18,040	17,043	16,701	16,188
	76	75	70	69	67
脳神経内科	4,433	3,314	2,188	2,171	2,209
	18	14	9	9	9
皮膚科	7,419	8,301	8,001	8,212	7,789
	30	34	33	34	32
循環器内科	7,607	7,924	6,768	7,609	8,713
	31	33	28	31	36
リハビリテーション科	9,462	12,055	11,715	12,065	13,605
	39	50	48	50	56
家庭医療科	9,584	10,259	8,858	8,575	1,496
	39	42	37	35	6
放射線科	383	472	542	536	413
	2	2	2	2	2
胸部呼吸器外科	756	1,003	1,076	1,235	1,260
	3	4	4	5	5
緩和医療科	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0
消化器内科	9,481	10,171	11,663	12,403	12,485
	39	42	48	51	52
心療内科		1,025	2,436	2,887	3,634
		4	10	12	15
合計	177,655	186,046	179,326	183,379	184,678
日当たり合計	734	769	741	758	763
稼働日	242	242	242	242	242

外来患者数1日あたり平均



第3章 医療部門：診療統計・医療の質（恵寿総合病院）

年代別（男女別）外来患者数



救急外来患者数（恵寿総合病院）

救急外来患者数の推移

単位：人

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
形成外科	325	310	388	425	454
脳神経外科	415	435	549	601	701
心血管外科	21	21	28	42	51
消化器外科	113	144	159	214	199
整形外科	856	831	1,011	1,131	1,300
内科	2,113	2,809	3,104	3,244	3,113
産婦人科	88	86	86	117	160
耳鼻咽喉科	203	145	196	264	298
眼科	47	18	21	42	34
泌尿器科	120	105	119	147	95
小児科	567	900	936	784	653
麻酔科	4	3	0	0	4
透析科	0	0	0	0	0
脳神経内科	142	65	74	35	38
皮膚科	207	236	202	254	317
循環器内科	341	343	430	455	472
リハビリテーション科	12	0	1	2	1
家庭医療科	70	86	85	82	1
胸部呼吸器外科	1	1	0	1	1
緩和医療科	0	0	0	0	0
心療内科	-	1	1	3	0
消化器内科	587	684	805	1,047	1,059
合計	6,232	7,223	8,195	8,890	8,951

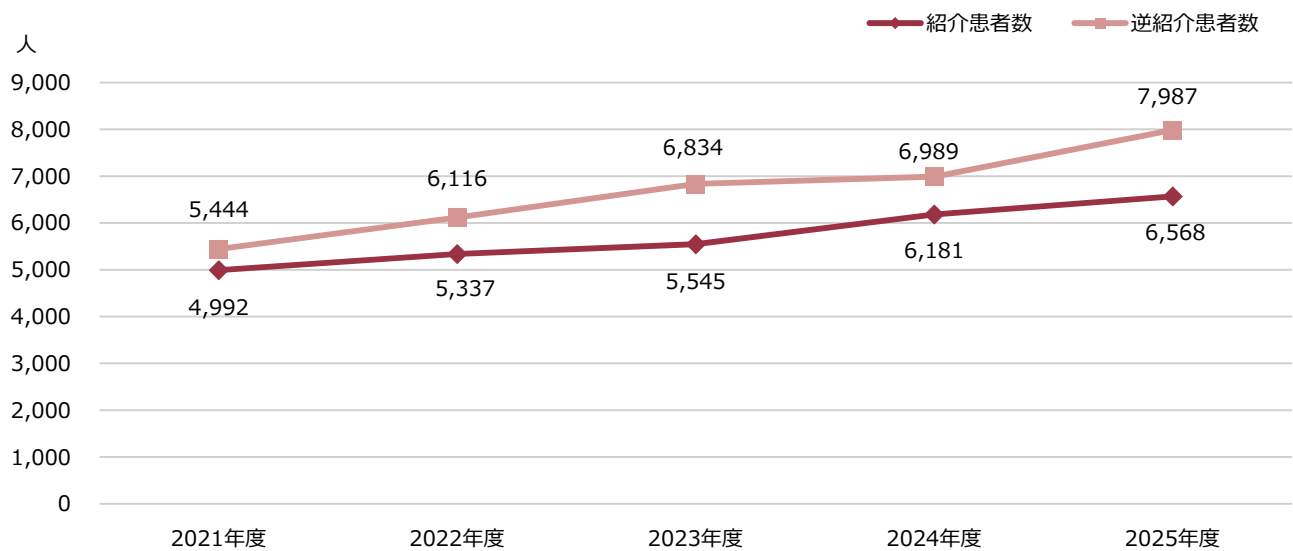
救急車受け入れ台数の推移

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
救急搬送件数（件）	1,474	1,696	1,964	1,809	1,862
入院率（％）	61％	57％	56％	60％	59％

紹介患者数（恵寿総合病院）

紹介患者数・逆紹介患者数の推移

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
紹介率	82.8%	64.7%	88.9%	93.4%	103.2%
逆紹介率	90.3%	74.1%	109.5%	105.7%	114.1%

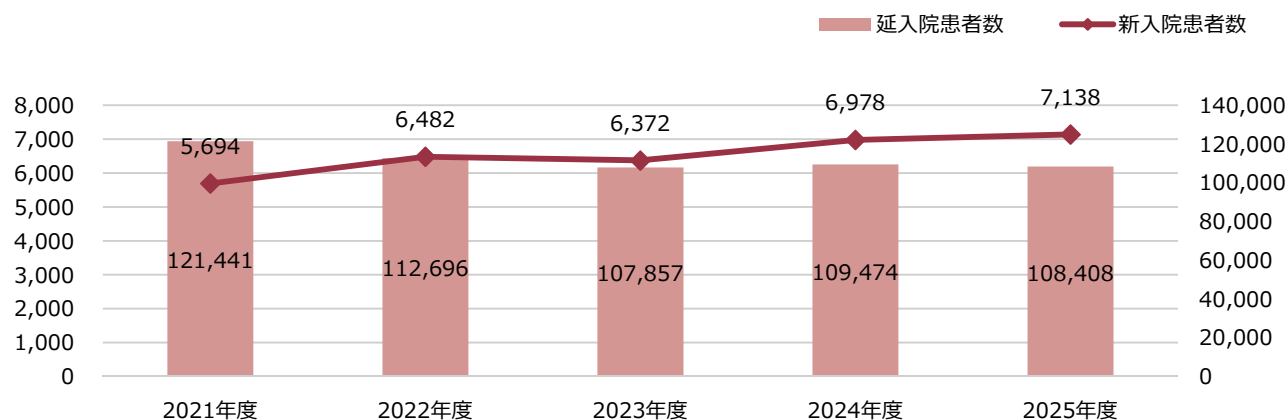


入院患者数（恵寿総合病院）

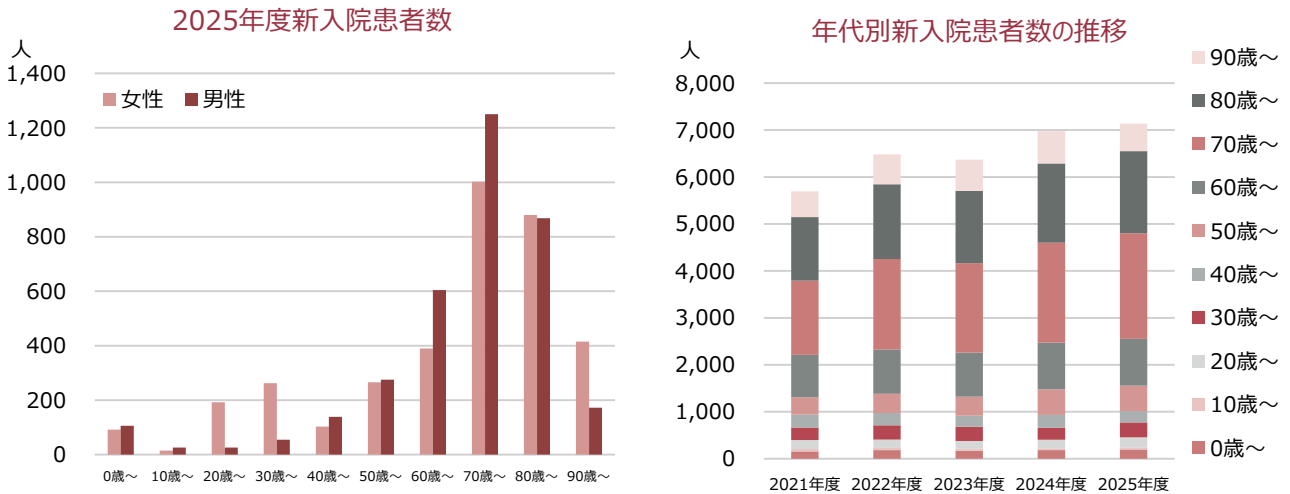
新入院患者数・延入院患者数の推移

単位：人

	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度	
	新入院	延入院	新入院	延入院	新入院	延入院	新入院	延入院	新入院	延入院
形成外科	0	0	0	0	0	0	6	17	1	8
脳神経外科	193	17,036	168	12,113	170	9,508	151	9,296	143	8,355
心血管外科	131	2,002	145	2,180	172	2,279	163	2,539	151	1,604
消化器外科	500	8,320	595	7,353	507	6,516	478	5,516	562	6,651
整形外科	590	20,723	545	19,543	550	18,082	614	20,007	617	20,038
内科	1,468	35,431	1,699	34,538	1,677	33,748	1,742	29,091	1,901	33,228
産婦人科	463	4,293	503	4,915	430	3,412	466	4,153	499	4,199
耳鼻咽喉科	72	464	73	719	86	637	113	1,078	119	1,354
眼科	455	1,063	472	1,074	460	996	557	1,116	615	1,230
泌尿器科	36	158	108	1,330	104	1,298	100	981	0	0
小児科	154	855	185	1,080	170	899	181	941	194	891
麻酔科	8	123	2	38	9	122	8	100	9	143
脳神経内科	58	3,450	0	0	0	0	0	0	1	0
皮膚科	58	1,172	89	1,078	74	1,042	73	832	107	928
循環器内科	489	8,198	559	7,455	558	7,027	564	7,575	584	7,340
リハビリテーション科	65	6,036	89	6,009	106	9,919	138	12,725	188	13,054
家庭医療科	168	5,600	191	5,984	168	4,882	193	4,421	0	0
緩和医療科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
消化器内科	786	6,517	1,058	7,286	1,131	7,490	1,428	8,989	1,447	9,385
心療内科	-	-	1	1	0	0	3	97	0	0
合計	5,694	121,441	6,482	112,696	6,372	107,857	6,978	109,474	7,138	108,408
月当たり平均/日当たり平均	475 / 334		540 / 310		531 / 295		582 / 300		595 / 297	



年代別（男女別）新入院患者数

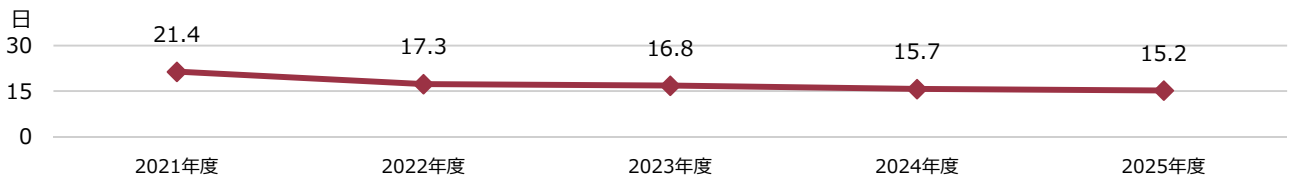


平均在院日数・病床稼働率

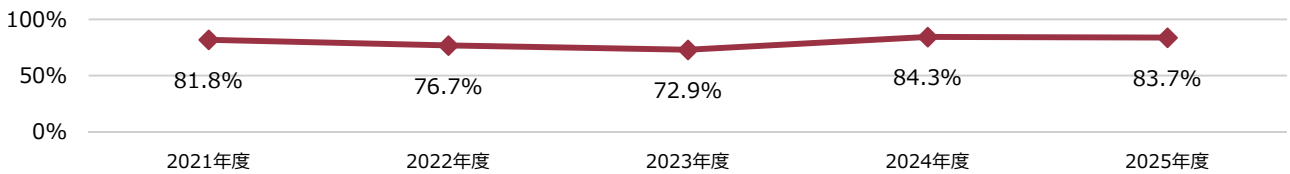
■ 平均在院日数（全病棟）

単位：日

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
形成外科	0	0	0	2.8	16.0
脳神経外科	89.4	67.9	57.2	64.8	55.5
心臓血管外科	15.5	14.7	13.7	15.2	10.9
消化器外科	16	12.2	12.8	11.5	11.8
整形外科	36	36.5	33.6	33.3	33.0
内科	24.8	20.4	19.9	16.8	17.7
産婦人科	9.3	9.7	7.9	9	8.4
耳鼻咽喉科	6.6	10	7.4	9.5	10.9
眼科	2.3	2.3	2.1	2	2.0
泌尿器科	4.4	12	11.5	9.3	0
小児科	5.6	5.8	5.3	5.2	4.6
麻酔科	13.7	15.2	13.6	12.5	15.1
脳神経内科	54.8	0	0	0	0
皮膚科	20	12.3	13	10.7	8.6
循環器内科	16.2	13.2	12.8	13.7	12.6
リハビリテーション科	88.8	68.3	79.4	82.4	66.9
家庭医療科	33.1	30.4	27.2	22.1	0
心療内科	0	0	0	32.3	0
消化器内科	8.2	6.9	6.6	6.3	6.4
月当たり平均	21.4	17.3	16.8	15.7	15.2



■ 病床稼働率（全病棟）

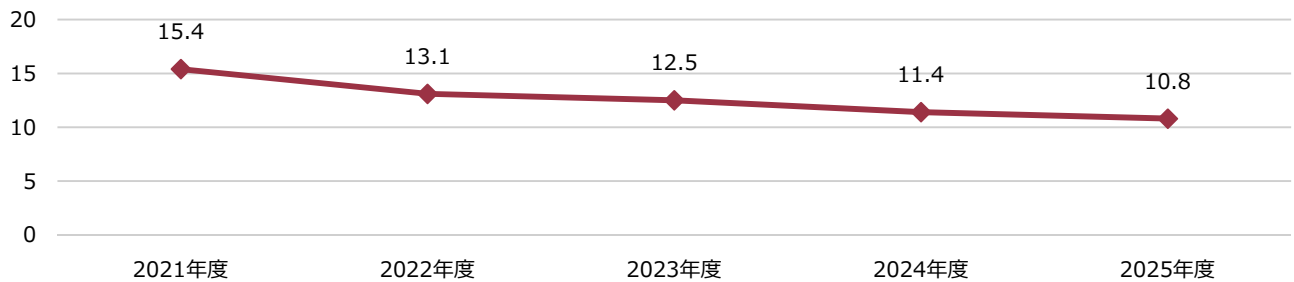


病床機能別在院日数

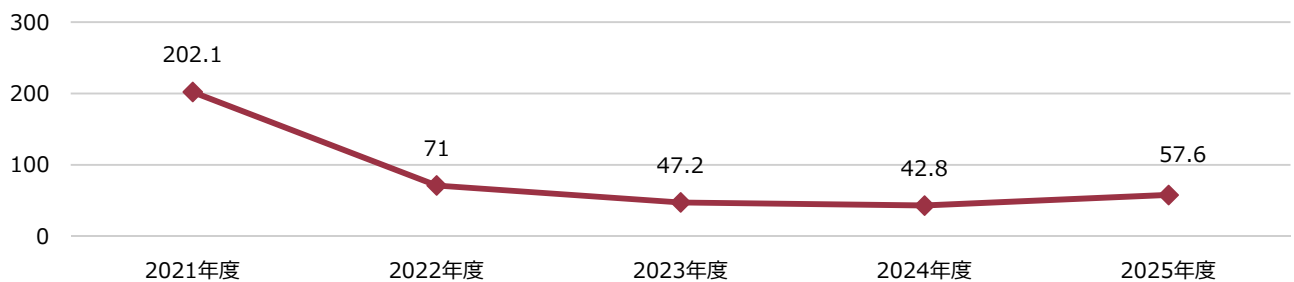
単位：日

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
一般 10：1	15.4	13.1	12.5	11.4	10.8
障害者	202.1	71	47.2	42.8	57.6
地域包括ケア	17.5	16.3	15.9	16.7	19.5
回復期リハビリテーション	62.1	52.1	51.5	60.9	62.0

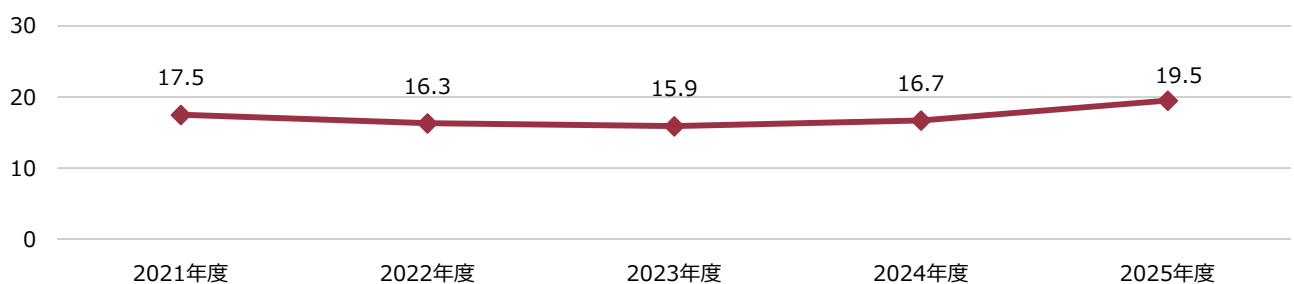
■ 平均在院日数（一般）



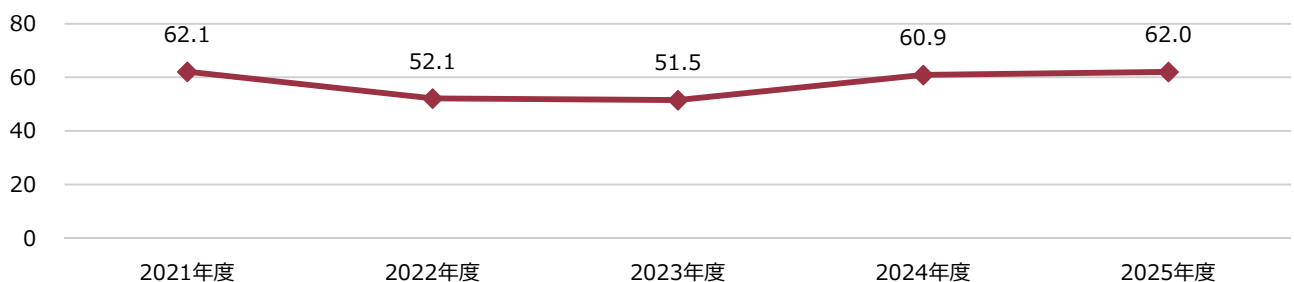
■ 平均在院日数（障害者）



■ 平均在院日数（地域包括ケア）



■ 平均在院日数（回復期リハビリテーション）



手術件数（恵寿総合病院）

手術件数・麻酔件数の推移

■手術件数

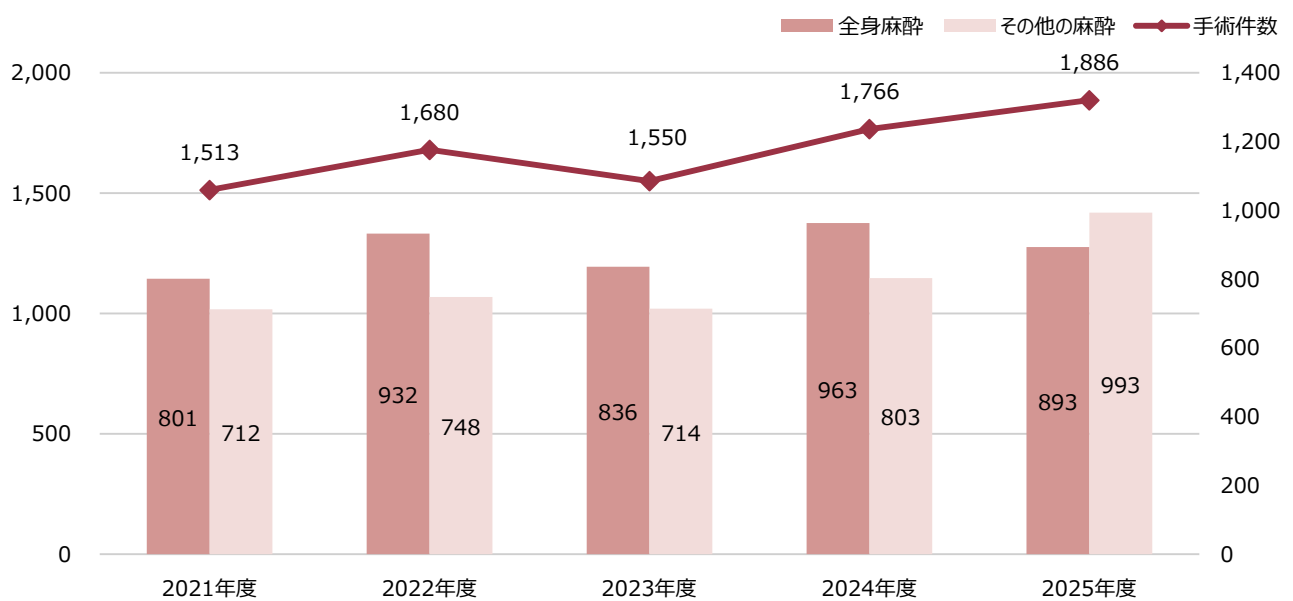
※手術室での件数 単位：件

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
消化器外科	326	397	345	370	399
整形外科	335	356	336	389	342
形成外科	31	28	46	55	100
眼科	478	488	467	561	628
胸部呼吸器外科	0	0	0	0	0
産婦人科	152	164	134	156	148
耳鼻咽喉科	32	39	35	57	111
脳神経外科	7	11	6	6	6
泌尿器科	16	57	46	36	4
心臓血管外科	134	138	134	135	144
麻酔科	1	2	0	0	4
その他	1	0	1	1	0
合計	1,513	1,680	1,550	1,766	1,886

■麻酔件数

単位：件

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
全身麻酔	801	932	836	963	893
その他麻酔	712	748	714	803	993

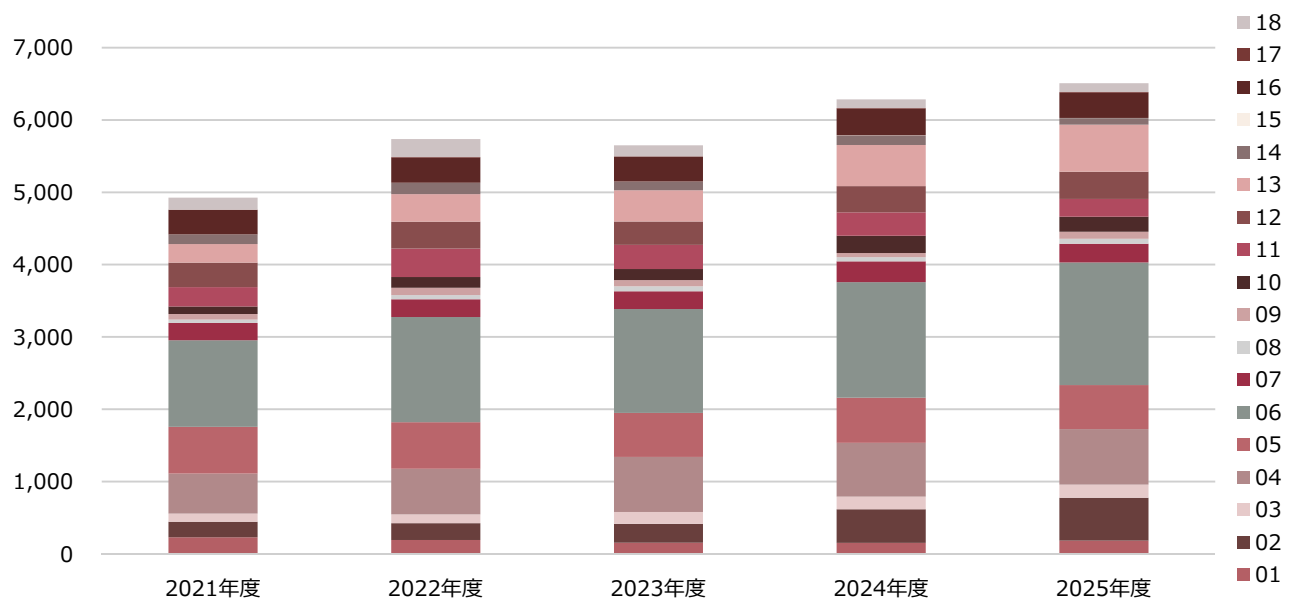


MDC別（恵寿総合病院）

MDC別件数

単位：件

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
01 神経系疾患	230	192	156	152	183
02 眼科系疾患	215	233	261	465	595
03 耳鼻咽喉科系疾患	113	121	164	176	180
04 呼吸器系疾患	553	632	760	744	768
05 循環器系疾患	647	643	609	622	608
06 消化器系疾患、肝臓・胆道・膵臓疾患	1,197	1,455	1,436	1,598	1,695
07 筋骨格系疾患	239	245	246	288	260
08 皮膚・皮下組織の疾患	46	57	67	58	68
09 乳房の疾患	77	102	88	58	98
10 内分泌・栄養・代謝に関する疾患	104	148	151	239	207
11 腎・尿路系疾患及び男性生殖器系疾患	269	394	336	322	247
12 女性生殖器系疾患及び産褥期疾患・異常妊娠分娩	337	373	322	363	375
13 血液・造血器・免疫臓器の疾患	258	380	432	569	650
14 新生児疾患、先天性奇形	131	154	115	128	91
15 小児疾患	1	2	4	4	3
16 外傷・熱傷・中毒	339	348	340	371	348
17 精神疾患	3	10	9	9	11
18 その他	167	247	153	118	120
合計	4,926	5,736	5,649	6,284	6,507



疾病分類別患者数（恵寿総合病院）

単位：人

コード	大分類（基本体系）項目	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
I	感染症及び寄生虫症	158	160	171	173	150
II	新生物＜腫瘍＞	956	1,307	1,175	1,308	1,406
III	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	60	62	27	49	75
IV	内分泌、栄養及び代謝疾患	123	151	128	162	138
V	精神及び行動の障害	6	18	12	14	12
VI	神経系の疾患	147	114	118	132	151
VII	眼及び付属器の疾患	466	479	462	559	618
VIII	耳及び乳様突起の疾患	40	47	39	53	64
IX	循環器系の疾患	912	942	897	884	874
X	呼吸器系の疾患	418	433	611	542	602
XI	消化器系の疾患	832	980	1,031	1,256	1,240
XII	皮膚及び皮下組織の疾患	45	66	59	50	62
XIII	筋骨格系及び結合組織の疾患	183	188	151	203	204
XIV	腎尿路生殖器系の疾患	308	364	312	336	259
XV	妊娠、分娩及び産じょく＜褥＞	326	365	327	322	366
XVI	周産期に発生した病態	131	163	114	142	160
XVII	先天奇形、変形及び染色体異常	7	5	3	6	11
XVIII	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	7	25	2	13	7
XIX	損傷、中毒及びその他の外因の影響	508	556	610	606	528
XXI	健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	248	280	274	347	395
XXII	特殊目的用コード	110	183	133	116	46
	合計	5,991	6,888	6,656	7,273	7,368

年代別死亡退院患者数（恵寿総合病院）

2025年度

単位：人

国際分類	性別 年齢階層（歳）	男性								女性							
		20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	計	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	計
I	感染症及び寄生虫症					1	1		2							1	1
II	新生物＜腫瘍＞			1	6	8	33	33	81				1		21	19	41
III	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害								0								0
IV	内分泌、栄養及び代謝疾患					1			1						1	1	2
V	精神及び行動の障害								0								0
VI	神経系の疾患							2	2								0
IX	循環器系の疾患					2	2	11	15					1	1	13	15
X	呼吸器系の疾患					2	6	18	26							16	16
XI	消化器系の疾患				1	1	2	3	7				1	2	3	3	6
XII	皮膚及び皮下組織の疾患								0							1	1
XIII	筋骨格系及び結合組織の疾患							1	1								0
XIV	腎尿路生殖器系の疾患							5	5						1	3	4
XVI	周産期に発生した病態								0								0
XVII	先天奇形、変形及び染色体異常								0								0
XVIII	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの				1			8	9						1	17	18
XIX	損傷、中毒及びその他の外因の影響								0								0
XX	傷病及び死亡の外因								0								0
XXII	特殊目的用コード						1	1	2								0
	合計	0	0	1	8	15	45	82	151	0	0	0	1	2	27	74	104

疾病分類（中分類）別上位疾病（恵寿総合病院）

2025年度

コード	病 名	患者数（人）	構成比（％）
K63	腸のその他の疾患	598	8.1%
H25	老人性白内障	529	7.2%
C90	多発性骨髄腫及び悪性形質細胞性新生物＜腫瘍＞	252	3.4%
J18	肺炎、病原体不詳	177	2.4%
C34	気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞	175	2.4%
I50	心不全	157	2.1%
Z12	新生物＜腫瘍＞の特殊スクリーニング検査	154	2.1%
I63	脳梗塞	136	1.8%
C83	非ろく濾＞胞性リンパ腫	134	1.8%
J69	固形物及び液状物による肺臓炎	127	1.7%
	その他	4,929	66.9%
	合計	7,368	100.0%

2024年度

コード	病名	患者数（人）	構成比（％）
K63	腸のその他の疾患	569	7.8%
H25	老人性白内障	506	7.0%
C90	多発性骨髄腫及び悪性形質細胞性新生物＜腫瘍＞	217	3.0%
I50	心不全	182	2.5%
C34	気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞	173	2.4%
Z12	新生物＜腫瘍＞の特殊スクリーニング検査	163	2.2%
I20	狭心症	150	2.1%
I63	脳梗塞	146	2.0%
J18	肺炎、病原体不詳	146	2.0%
S72	大腿骨骨折	138	1.9%
	その他	4,883	67.1%
	合計	7,273	100.0%

2023年度

コード	病名	患者数（人）	構成比（％）
K63	腸のその他の疾患	451	6.8%
H25	老人性白内障	430	6.5%
J69	固形物及び液状物による肺臓炎	203	3.0%
I50	心不全	190	2.9%
J18	肺炎、病原体不詳	161	2.4%
I63	脳梗塞	158	2.4%
C34	気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞	151	2.3%
I20	狭心症	142	2.1%
Z12	新生物＜腫瘍＞の特殊スクリーニング検査	136	2.0%
U07	COVID-19	133	2.0%
	その他	4,501	67.6%
	合計	6,656	100.0%

2022年度

コード	病名	患者数（人）	構成比（％）
H25	老人性白内障	446	6.5%
K63	腸のその他の疾患	393	5.7%
I50	心不全	251	3.6%
C34	気管支及び肺の悪性新生物	193	2.8%
U07	COVID-19	183	2.7%
C83	非ろく濾＞胞性リンパ腫	161	2.3%
C18	結腸の悪性新生物	154	2.2%
J69	固形物及び液状物による肺臓炎	148	2.1%
I20	狭心症	138	2.0%
I63	脳梗塞	138	2.0%
	その他	4,683	68.0%
	合計	6,888	100.0%

2021年度

コード	病名	患者数（人）	構成比（％）
H25	老人性白内障	425	7.1%
K63	腸のその他の疾患	264	4.4%
I50	心不全	212	3.5%
I63	脳梗塞	157	2.6%
C34	気管支及び肺の悪性新生物	150	2.5%
J18	肺炎、病原体不詳	133	2.2%
I20	狭心症	118	2.0%
C18	結腸の悪性新生物	112	1.9%
U07	COVID-19	110	1.8%
J69	固形物及び液状物による肺臓炎	105	1.8%
	その他	4,205	70.2%
	合計	5,991	100.0%

悪性新生物の国際疾病別 退院数及び内死亡数（恵寿総合病院）

単位：人

コード	中分類項目	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度	
		退院	死亡	退院	死亡	退院	死亡	退院	死亡	退院	死亡
C01	舌根＜基底＞部の悪性新生物＜腫瘍＞	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
C02	舌のその他及び部位不明の悪性新生物＜腫瘍＞	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
C03	歯肉の悪性新生物＜腫瘍＞	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
C07	耳下腺の悪性新生物＜腫瘍＞	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
C10	中咽頭の悪性新生物＜腫瘍＞	-	-	-	-	-	2	-	-	2	1
C11	鼻＜上＞咽頭の悪性新生物＜腫瘍＞	-	-	-	-	-	-	2	1	1	-
C12	梨状陥凹＜洞＞の悪性新生物＜腫瘍＞	-	-	2	-	-	-	2	-	-	-
C13	下咽頭の悪性新生物＜腫瘍＞	-	-	-	-	1	1	2	-	3	1
C14	その他及び部位不明の口唇、口腔及び咽頭の悪性新生物＜腫瘍＞	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
C15	食道の悪性新生物＜腫瘍＞	13	1	8	1	8	2	18	3	33	3
C16	胃の悪性新生物＜腫瘍＞	83	12	120	13	94	11	81	7	73	12
C17	小腸の悪性新生物＜腫瘍＞	4	3	4	-	1	-	3	-	2	1
C18	結腸の悪性新生物＜腫瘍＞	112	10	154	11	113	5	130	15	117	6
C19	直腸S状結腸移行部の悪性新生物＜腫瘍＞	1	-	5	-	1	-	7	-	6	-
C20	直腸の悪性新生物＜腫瘍＞	62	2	61	4	37	6	30	7	31	4
C21	肛門及び肛門管の悪性新生物＜腫瘍＞	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
C22	肝及び肝内胆管の悪性新生物＜腫瘍＞	37	3	35	5	32	4	23	3	31	4
C23	胆のう＜嚢＞の悪性新生物＜腫瘍＞	4	-	-	1	6	-	8	2	7	3
C24	その他及び部位不明の胆道の悪性新生物＜腫瘍＞	18	8	19	3	20	4	21	6	15	6
C25	膵の悪性新生物＜腫瘍＞	35	8	64	9	52	15	38	17	59	14
C26	その他及び部位不明の消化器の悪性新生物＜腫瘍＞	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-
C30	鼻腔及び中耳の悪性新生物＜腫瘍＞	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
C31	副鼻腔の悪性新生物＜腫瘍＞	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-
C32	喉頭の悪性新生物＜腫瘍＞	1	-	5	-	2	-	2	-	2	-
C34	気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞	150	29	193	31	151	28	173	27	175	28
C37	胸腺の悪性新生物＜腫瘍＞	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C43	皮膚の悪性黒色腫	-	-	3	1	-	-	-	-	1	1
C44	皮膚のその他の悪性新生物＜腫瘍＞	-	-	2	-	7	-	3	-	5	1
C45	中皮腫	-	-	1	-	3	1	2	-	-	-
C48	後腹膜及び腹膜の悪性新生物＜腫瘍＞	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-
C49	その他の結合組織及び軟部組織の悪性新生物＜腫瘍＞	1	1	2	1	7	3	1	-	1	-
C50	乳房の悪性新生物＜腫瘍＞	89	7	103	3	82	4	54	-	96	3
C53	子宮頸部の悪性新生物＜腫瘍＞	6	-	4	2	3	1	2	-	-	-
C54	子宮体部の悪性新生物＜腫瘍＞	7	1	5	-	5	1	7	1	2	-
C55	子宮の悪性新生物＜腫瘍＞、部位不明	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C56	卵巣の悪性新生物＜腫瘍＞	1	-	5	2	1	1	2	1	2	1
C61	前立腺の悪性新生物＜腫瘍＞	6	1	23	4	25	4	15	1	-	2
C64	腎盂を除く腎の悪性新生物＜腫瘍＞	-	1	2	3	-	-	1	3	3	2
C66	尿管の悪性新生物＜腫瘍＞	1	1	1	-	1	1	1	-	-	-
C67	膀胱の悪性新生物＜腫瘍＞	8	1	38	2	19	3	10	1	2	1
C71	脳の悪性新生物＜腫瘍＞	-	-	3	1	1	1	-	-	4	1
C73	甲状腺の悪性新生物＜腫瘍＞	3	-	8	-	10	1	13	1	12	2
C77	リンパ節の続発性及び部位不明の悪性新生物＜腫瘍＞	5	-	3	-	3	-	-	-	1	-
C78	呼吸器及び消化器の続発性悪性新生物＜腫瘍＞	8	-	20	1	16	1	25	1	24	-
C79	その他の部位及び部位不明の続発性悪性新生物＜腫瘍＞	12	-	7	-	6	1	11	-	9	-
C80	悪性新生物＜腫瘍＞、部位が明示されていないもの	-	1	2	-	-	1	3	3	1	-
C81	ホジキン＜Hodgkin＞リンパ腫	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C82	ろく濾＞胞性リンパ腫	14	-	25	-	25	-	64	-	63	-
C83	非ろく濾＞胞性リンパ腫	81	6	161	7	117	8	103	3	134	3
C84	成熟T/NK細胞リンパ腫	6	1	17	1	28	1	16	1	9	1
C85	非ホジキン＜non-Hodgkin＞リンパ腫の その他及び詳細不明の型	6	2	9	4	2	2	6	2	3	2
C86	T/NK細胞リンパ腫のその他の明示された型	3	-	2	-	11	-	2	-	1	-
C88	悪性免疫増殖性疾患	3	-	9	-	4	-	4	-	7	-
C90	多発性骨髄腫及び悪性形質細胞性新生物＜腫瘍＞	19	3	46	1	107	4	217	3	252	3
C91	リンパ性白血病	2	-	1	-	1	-	3	-	12	2
C92	骨髄性白血病	39	4	54	7	72	8	94	8	75	8
C93	単球性白血病	-	-	2	1	1	-	-	-	3	-
C95	細胞型不明の白血病	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C96	リンパ組織、造血組織及び関連組織のその他及び詳細不明	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-
D04	皮膚の上皮内癌	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
D06	子宮頸（部）の上皮内癌	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
D07	上皮内：その他及び部位不明の性器	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
合計		848	106	1,229	120	1,077	126	1,203	117	1,287	117

※5年間件数なしの項目は省略

第3章 医療部門：診療統計・医療の質（恵寿総合病院）

48時間以内死亡患者数（恵寿総合病院）

単位：人

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
退院患者数	5,682	6,532	6,363	6,968	7,140
死亡患者数	364	391	407	367	302
入院後48時間 以内死亡患者数	44	44	49	37	37

2025年度死亡要因上位件数（中分類）（恵寿総合病院）

全体

コード	病名	死亡患者数 (人)	構成比 (%)
R54	老衰	40	13.2%
C34	気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞	29	9.6%
J69	固形物及び液状物による肺臓炎	23	7.6%
C25	脾の悪性新生物＜腫瘍＞	15	5.0%
I50	心不全	14	4.6%
C16	胃の悪性新生物＜腫瘍＞	12	4.0%
J18	肺炎、病原体不詳	11	3.6%
C92	骨髄性白血病	8	2.6%
I21	急性心筋梗塞	8	2.6%
C24	その他及び部位不明の胆道の悪性新生物＜腫瘍＞	6	2.0%
	その他	136	45.0%
	合計	302	100.0%

男性

コード	病名	患者数 (人)	構成比 (%)
C34	気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞	22	13.1%
J69	固形物及び液状物による肺臓炎	13	7.7%
R54	老衰	11	6.5%
C25	脾の悪性新生物＜腫瘍＞	10	6.0%
C16	胃の悪性新生物＜腫瘍＞	8	4.8%
I50	心不全	7	4.2%
J18	肺炎、病原体不詳	6	3.6%
I21	急性心筋梗塞	6	3.6%
C92	骨髄性白血病	6	3.6%
C24	その他及び部位不明の胆道の悪性新生物＜腫瘍＞	5	3.0%
	その他	74	44.0%
	合計	168	100.0%

女性

コード	病名	患者数 (人)	構成比 (%)
R54	老衰	29	21.6%
J69	固形物及び液状物による肺臓炎	10	7.5%
C34	気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞	7	5.2%
I50	心不全	7	5.2%
J18	肺炎、病原体不詳	5	3.7%
C25	脾の悪性新生物＜腫瘍＞	5	3.7%
C16	胃の悪性新生物＜腫瘍＞	4	3.0%
C18	結腸の悪性新生物＜腫瘍＞	4	3.0%
C50	乳房の悪性新生物＜腫瘍＞	3	2.2%
K63	腸のその他の疾患	2	1.5%
	その他	58	43.3%
	合計	134	100.0%

医療Quality Indicator (恵寿総合病院)

区分	項目	2023年度		2024年度		2025年度		計算式
		件数	母数	件数	母数	件数	母数	
		率		率		率		
基本情報	新入院患者数		6,372		6,978		7,138	
	延べ入院患者数		107,857		109,474		108,408	
	退院患者数		6,363		6,968		7,140	
	①死亡退院患者率	350	6,363	307	6,968	255	7,140	死亡退院患者数/月間退院患者
	②退院後2週間以内の入院サマリ完成率	6,291	6,655	6,665	7,273	7,050	7,368	退院後2週間以内の入院サマリ完成件数/退院患者件数(転科含む)
	③バス適用率	6,223	6,372	6,833	6,978	7,080	7,138	電子バス適用件数/新入院患者数
	④入院24時間以内の死亡	34	6,372	23	6,978	20	7,138	24時間以内の死亡数/新入院患者数
	⑤紹介率	5,545	6,240	6,181	6,615	6,568	6,364	他施設からの二次健診+初診紹介件数/初診患者数-（時間内救急車数+休日時間外初診）
	⑥逆紹介率	6,834	6,240	6,989	6,615	7,985	6,364	逆紹介患者数/初診患者数-（時間内救急車数+休日時間外初診）
	⑦医師返書3日以内作成達成率	3,794	4,166	4,219	4,606	4,729	5,183	返書が必要とされる紹介状件数/紹介日を1日として3日以内に返書が作成された数
(1) 病院全体	⑧職員の健診受診率（全職員）	811	811	831	831	927	927	全職員健診受診件数/全職員数（休職者を除く）
	（医師）	62	62	60	60	49	49	医師健診受診件数/常勤医師数
	⑨苦情件数率(全体)	40	95	51	134	77	141	苦情件数/相談件数(アドボカシー相談件数)
	アドボカシー室		42.1%		38.1%		54.6%	※内容によっては複数職種の場合
	（診療部）	4	16	7	27	12	31	
	（看護部）	9	23	18	37	20	38	
	（事務部）	8	8	8	15	8	13	苦情件数/相談件数(アドボカシー相談件数)
	（医療技術部）	0	1	3	12	3	8	
	（その他）	19	47	15	43	34	51	
	⑩救急車受け入れ不能件数(月平均)率	19(1.6)	1,934	5(0.4)	1,773	6(0.5)	1,811	救急車受け入れ不能件数(月平均)/救急車受け入れ要請件数
(2) 医療安全	⑪七鹿広域圏救急搬送件数、率	1,586	3,827	1,382	3,489	1,321	3,536	当院への救急搬送件数/七鹿広域圏救急搬送全件数
	⑫救急搬送入院率	1,053	1,934	1,043	1,773	1,036	1,811	救急搬送により入院した患者数/救急搬送件数（広域圏）※他病院救急車を除く
	⑬入院患者のリハビリ実施率	81,631	107,857	79,084	109,474	79,266	108,408	リハビリ実施延べ人数/延べ入院患者数
	①転倒転落件数、転倒転落率	358(12)	107,857	409(5)	109,474	471(7)	108,408	延べ転倒転落数(リスクレベル3b以上)/延べ入院患者数
	②アクシデントレポート提出件数、提出率	963	107,857	1,114	109,474	1,228	108,408	アクシデントレポート提出件数/延べ入院患者数
	③24時間以内の再手術率	1	1,552	1	1,764	1	1,804	24時間以内の再手術患者数/手術実施患者数
	④手術後24時間以内の死亡率	7	1,552	8	1,764	3	1,804	手術24時間以内の死亡患者数/手術実施患者数
	⑤褥瘡推定発生率	36	3,490	35	3,517	34	3,467	褥瘡保有者数-新規自宅発生件数/患者数(月末)
	⑥血液・体液曝露（針刺し）件数		7		10		15	
	(3) 感染対策	①中心ライン関連血流感染(CLABSI)発生率	11	4,748	8	4,228	10	6,250
②血液培養2セット率		2,056	2,159	1,104	1,174	1,685	1,802	2セット数/入院・外来患者を含む全血液培養提出数
③モニタリング抗菌薬投与前検体提出率		612	650	558	585	562	587	抗菌薬 × 1投与前培養検体 × 2提出入院患者数/モニタリング抗菌薬使用入院患者数
④血液培養陽性率		287	2,159	263	2,011	256	1,802	血液培養陽性数/入院・外来患者を含む全血液培養提出数
⑤擦式アルコール手指消毒剤使用量		1,511.3ℓ	107,857	1,502.7ℓ	109,474	1,590.5ℓ	108,408	擦式アルコール手指消毒剤使用量/延べ入院患者数
⑥特定抗菌薬届出率		370	370	281	281	296	296	特定抗菌薬届出数/特定抗菌薬処方患者数
①落下針件数			17		15		6	
安全衛生								

第3章 医療部門：診療統計・医療の質 (恵寿総合病院)

外来患者数（恵寿金沢病院）

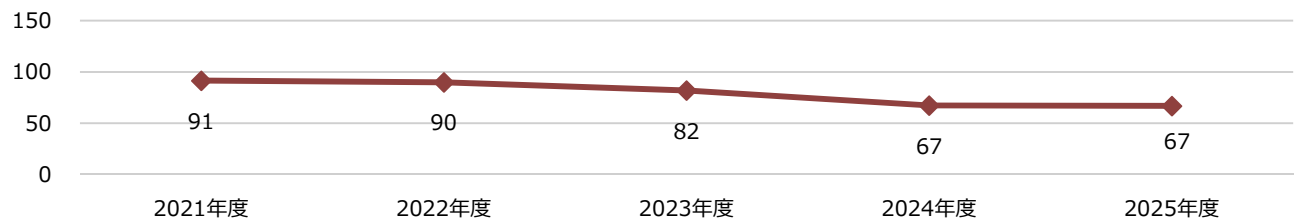
外来患者数の推移

※上段：患者延数 下段：1日当たりの平均患者数 単位：人

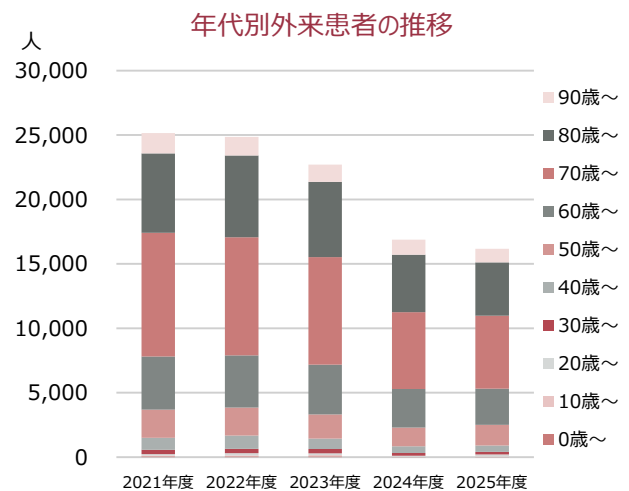
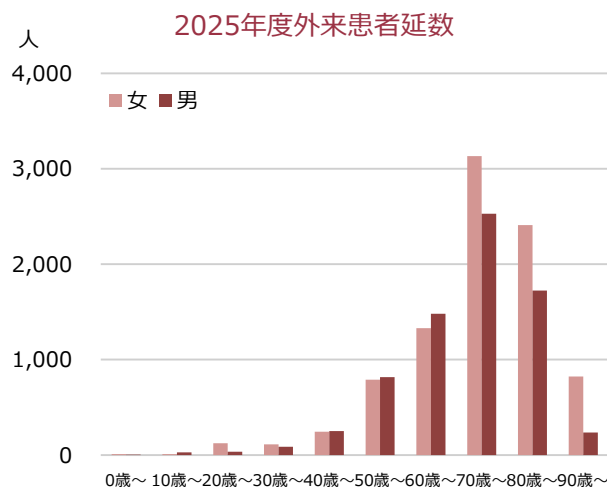
	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
内科	10,774	10,934	10,093	9,522	9,264
	45	45	42	39	38
外科	1,724	1,965	1,977	1,923	1,926
	7	8	8	8	8
整形外科	9,324	8,650	7,494	4,558	4,723
	39	36	31	19	20
耳鼻咽喉科	218	290	328	339	257
	5	6	7	7	5
合計	25,160	24,863	22,710	16,883	16,170
日当たり合計	104	102	93	69	67
稼働日	241	243	243	243	242

整形外科：2024年度 常勤医師不在のため手術・入院の受入を中止、2025年度より再開 / 眼科：2024年6月診療終了

外来患者数1日あたり平均



年代別（男女別）外来患者数

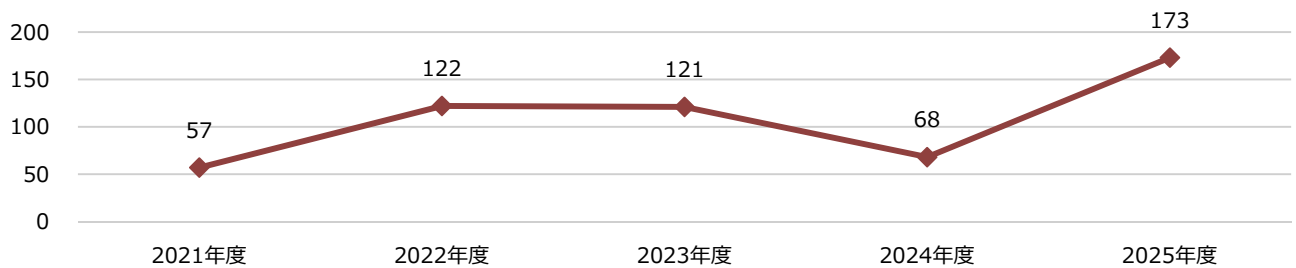


救急外来患者数（恵寿金沢病院）

救急外来患者数の推移

単位：人

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
内科	45	82	69	57	79
外科	3	8	10	9	27
整形外科	7	30	38	1	67
眼科	2	2	4	1	－
総計	57	122	121	68	173



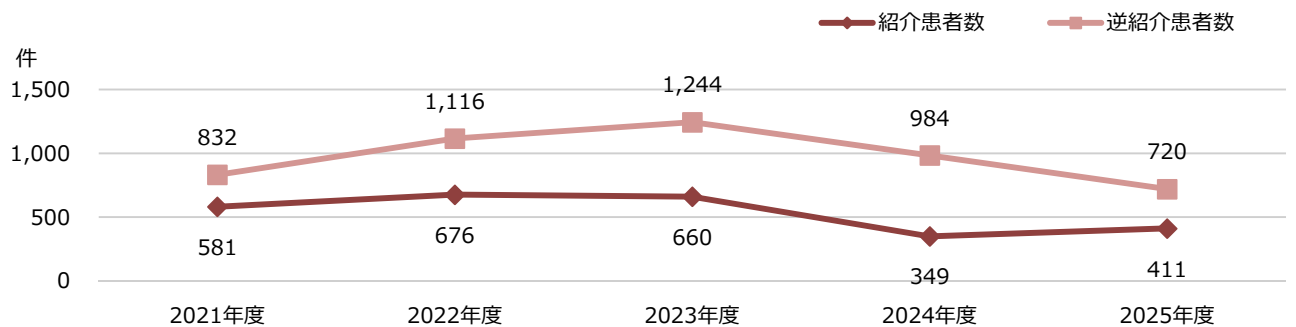
救急車受け入れ台数の推移

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
救急搬送件（件）	45	69	71	33	125
入院率（％）	82.2％	76.8％	70.4％	84.8％	90.4％

紹介患者数（恵寿金沢病院）

紹介患者数・逆紹介患者数の推移

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
紹介率	37.3％	42.8％	42.7％	38.8％	44.4％
逆紹介率	72.7％	85.9％	88.9％	145.5％	78.9％



※2022年度より算定方法変更

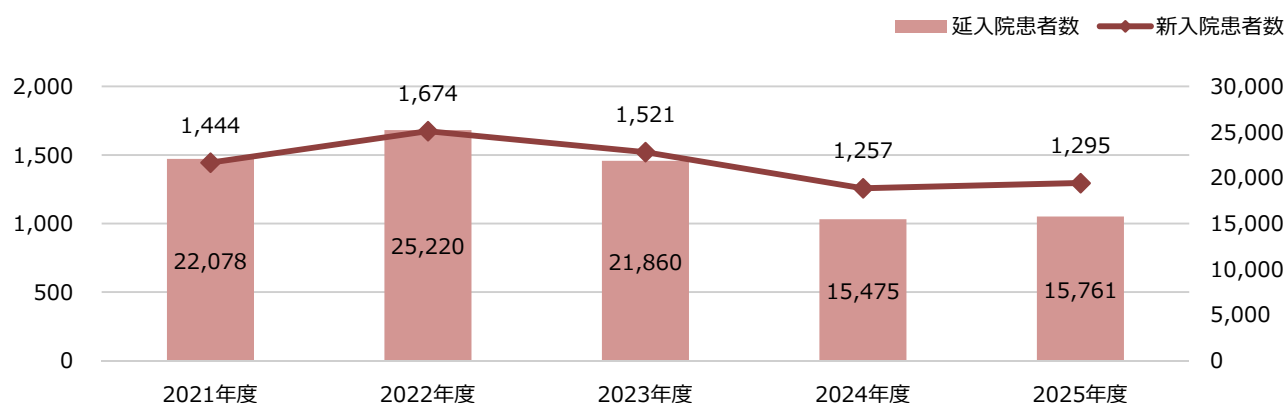
入院患者数（恵寿金沢病院）

新入院患者数・延入院患者数の推移

単位：人

	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度	
	新入院	延入院	新入院	延入院	新入院	延入院	新入院	延入院	新入院	延入院
内科	1,107	17,891	1,286	18,191	1,170	15,675	1,061	14,107	973	11,865
外科	108	1,120	141	1,824	139	1,749	190	1,356	203	1,183
整形外科	108	2,790	153	4,972	162	4,323	0	0	119	2,713
眼科	121	277	94	233	50	113	6	12	0	0
合計	1,444	22,078	1,674	25,220	1,521	21,860	1,257	15,475	1,295	15,761
月当たり平均／日当たり平均	120 / 60		139 / 69		127 / 60		105 / 42		108 / 43	

整形外科：2024年度 常勤医師不在のため手術・入院の受入を中止、2025年度より再開 / 眼科：2024年6月診療終了



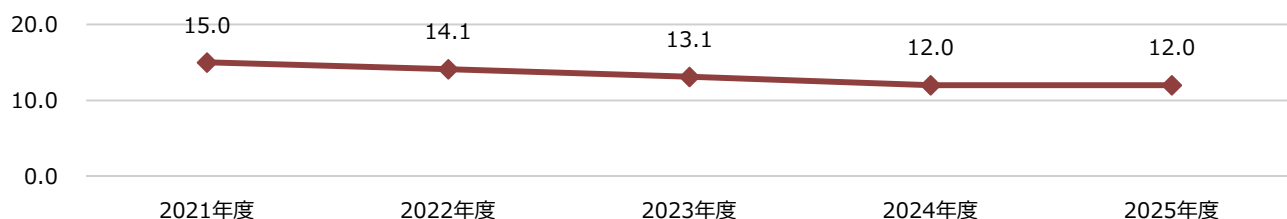
平均在院日数・病床稼働率

■平均在院日数（全病棟）

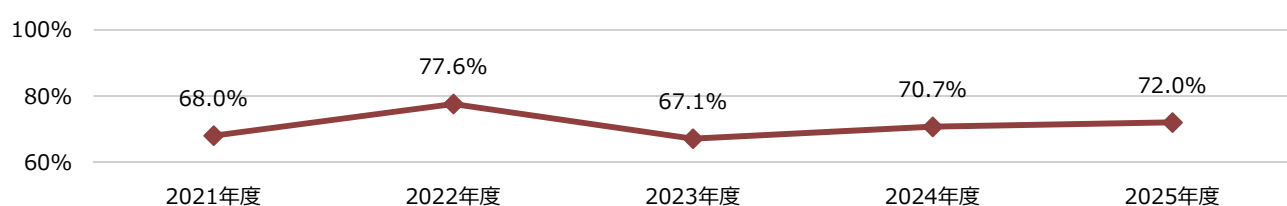
単位：日

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
内科	15.3	13.2	12.4	12.3	11.0
外科	9.4	12.2	11.9	11.3	5.1
整形外科	23.8	32.2	25.5	0.0	23.8
眼科	1.2	1.5	1.3	0.0	—
月当たり平均	15.0	14.1	13.1	12.0	12.0

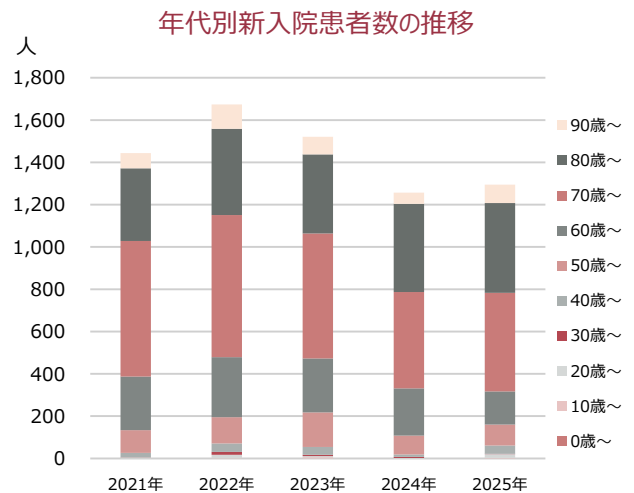
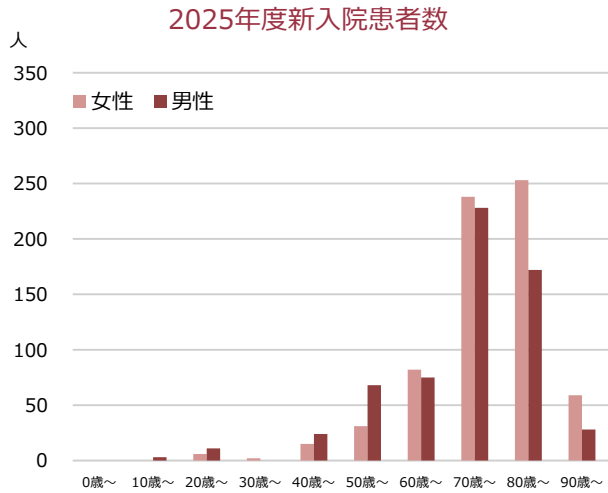
整形外科：2024年度 常勤医師不在のため手術・入院の受入を中止、2025年度より再開 / 眼科：2024年6月診療終了



■病床稼働率（全病棟）



年代別（男女別）新入院患者数



手術件数（恵寿金沢病院）

手術件数・麻酔件数の推移

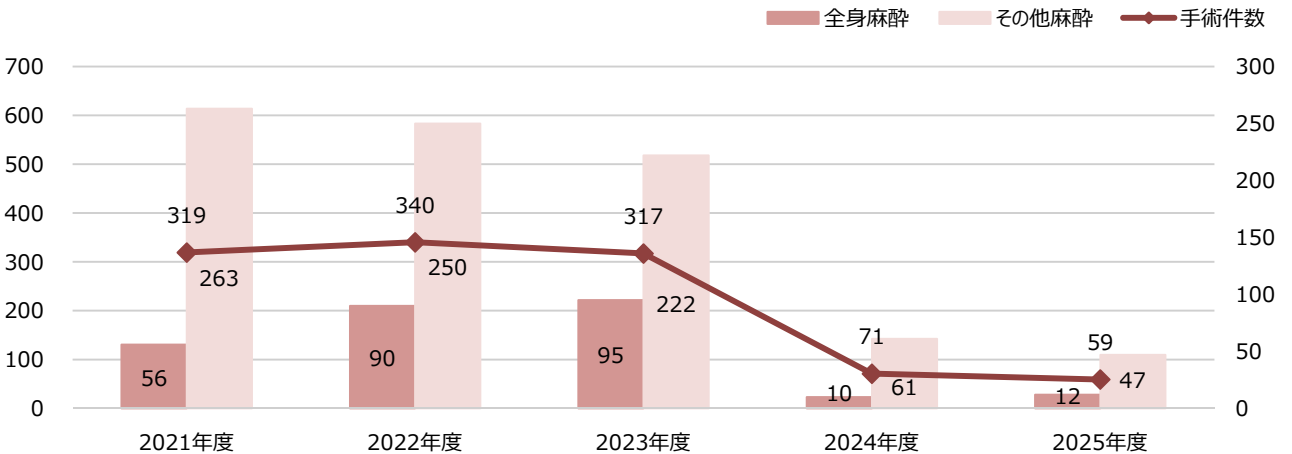
■手術件数

	※手術室での件数					単位：件
	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
外科	58	62	54	55	38	
整形外科	58	86	105	0	21	
眼科	203	192	158	16	0	
合計	319	340	317	71	59	

整形外科：2024年度 常勤医師不在のため手術・入院の受入を中止、2025年度より再開 / 眼科：2024年6月診療終了

■麻酔件数

	単位：件					
	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
全身麻酔	56	90	95	10	12	
その他麻酔	263	250	222	61	47	



整形外科：2024年4月より常勤医師不在のため手術・入院の受入を中止 眼科：2024年6月診療終了

第3章 医療部門：診療統計・医療の質（恵寿金沢病院）

疾病分類別患者数（恵寿金沢病院）

単位：人

コード	大分類（基本体系）項目	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
I	感染症及び寄生虫症	3	16	21	19	14
II	新生物＜腫瘍＞	1,111	1,280	1,177	1,085	1,025
III	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	19	14	19	31	26
IV	内分泌、栄養及び代謝疾患	8	15	18	8	19
V	精神および行動の障害	5	0	5	4	9
VI	神経系の疾患	0	4	3	5	5
VII	眼及び付属器の疾患	121	92	50	6	1
VIII	耳及び乳様突起の疾患	1	2	1	0	0
IX	循環器系の疾患	8	22	11	11	17
X	呼吸器系の疾患	41	30	25	34	31
X I	消化器系の疾患	15	28	25	26	29
X II	皮膚及び皮下組織の疾患	18	18	16	3	2
X III	筋骨格系及び結合組織の疾患	33	37	37	7	39
X IV	腎尿路生殖器系の疾患	2	11	6	9	13
X V	妊娠、分娩及び産じょく＜褥＞	0	0	0	0	0
X VI	周産期に発生した病態	0	0	0	0	0
X VII	先天奇形、変形及び染色体異常	0	0	0	0	0
X VIII	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	0	0	6	3	2
X IX	損傷、中毒及びその他の外因の影響	69	96	111	6	68
X X I	健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	0	0	2	0	2
合計		1,454	1,665	1,533	1,257	1,302

年代別死亡退院患者数（恵寿金沢病院）

2025年度

単位：人

性別		男性								女性							
国際分類	年齢階層（歳）	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	計	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	計
A41	敗血症性ショック								0					1			1
C56	卵巣癌								0						1	1	2
C81	ホジキンリンパ腫								0							1	1
C82	濾胞性非ホジキンリンパ腫								0							1	1
C83	びまん性非ホジキンリンパ腫					1	1	3	5						2	2	4
C84	成熟T/NK細胞リンパ腫								0						1		1
C85	非ホジキンリンパ腫						1	2	3						1		1
C90	多発性骨髄腫								0							1	1
C92	骨髄性白血病					1	4	1	6						1	3	4
C96	他に分類されない他の悪性新生物							1	1								0
D46	骨髄異形成症候群					1	2	3	6							2	2
D61	その他無形性貧血								0							1	1
J15	細菌性肺炎							2	2							2	2
K56	イレウス								0							1	1
N18	慢性腎不全								0							1	1
合計		0	0	0	0	3	8	12	23	0	0	0	0	1	6	16	23

疾病分類（中分類）別上位疾病（恵寿金沢病院）

2025年度

コード	病 名	患者数（人）	構成比（％）
C90	多発性骨髄腫	390	30.0%
C83	びまん性非ホジキンリンパ腫	163	12.5%
D37	口腔及び消化器の性状不詳又は不明の新生物	134	10.3%
C85	非ホジキンリンパ腫	81	6.2%
C82	濾胞性非ホジキンリンパ腫	79	6.1%
C92	骨髄性白血病	76	5.8%
D46	骨髄異形成症候群	40	3.1%
C50	乳房の悪性新生物	20	1.5%
S32	腰椎及び骨盤の骨折	19	1.5%
S72	大腿骨骨折	15	1.2%
J15	細菌性肺炎	13	1.0%
E85	アミロイドーシス	11	0.8%
M47	脊椎症	10	0.8%
	その他	251	19.3%
	合計	1,302	100.0%

2024年度

コード	病名	患者数（人）	構成比（％）
C90	多発性骨髄腫	407	32.4%
C83	びまん性非ホジキンリンパ腫	205	16.3%
D37	口腔及び消化器の性状不詳又は不明の新生物	119	9.5%
C92	骨髄性白血病	97	7.7%
C85	非ホジキンリンパ腫	92	7.3%
C82	濾胞性非ホジキンリンパ腫	57	4.5%
D46	骨髄異形成症候群	47	3.7%
C81	ホジキン病	16	1.3%
C16	胃の悪性新生物	14	1.1%
	その他	203	16.1%
	合計	1,257	100.0%

2023年度

コード	病名	患者数（人）	構成比（％）
C90	多発性骨髄腫	485	31.6%
C85	非ホジキンリンパ腫	154	10.0%
C83	びまん性非ホジキンリンパ腫	134	8.7%
C92	骨髄性白血病	120	7.8%
D46	骨髄異形成症候群	87	5.7%
D37	口腔及び消化器の性状不詳又は不明の新生物	67	4.4%
C82	濾胞性非ホジキンリンパ腫	60	3.9%
H04	涙器の障害	43	2.8%
S32	腰椎及び骨盤の骨折	25	1.6%
	その他	358	23.4%
	合計	1,533	100.0%

2022年度

コード	病名	患者数（人）	構成比（％）
C90	多発性骨髄腫	531	31.9%
C85	非ホジキンリンパ腫	171	10.3%
C83	びまん性非ホジキンリンパ腫	164	9.8%
C82	濾胞性非ホジキンリンパ腫	90	5.4%
D46	骨髄異形成症候群	84	5.0%
D37	口腔及び消化器の性状不詳又は不明の新生物	73	4.4%
C92	骨髄性白血病	56	3.4%
H04	涙器の障害	42	2.5%
H25	老人性白内障	40	2.4%
	その他	414	24.9%
	合計	1,665	100.0%

2021年度

コード	病名	患者数（人）	構成比（％）
C90	多発性骨髄腫	449	30.9%
C85	非ホジキンリンパ腫	173	11.9%
C83	びまん性非ホジキンリンパ腫	148	10.2%
D46	骨髄異形成症候群	119	8.2%
H25	老人性白内障	67	4.6%
C92	骨髄性白血病	62	4.3%
D37	口腔及び消化器の性状不詳又は不明の新生物	51	3.5%
H04	涙器の障害	51	3.5%
C82	濾胞性非ホジキンリンパ腫	41	2.8%
	その他	293	20.2%
	合計	1,454	100.0%

48時間以内死亡患者数（恵寿金沢病院）

単位：人

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
退院患者数	1,454	1,665	1,533	1,257	1,302
死亡患者数	45	54	67	41	46
入院後48時間 以内死亡患者数	0	1	2	1	0

2025年度死亡要因上位件数（中分類）（恵寿金沢病院）

全体

コード	病名	死亡患者数 (人)	構成比 (%)
C92	骨髄性白血病	10	21.7%
C83	びまん性非ホジキンリンパ腫	9	19.6%
D46	骨髄異形成症候群	8	17.4%
C85	非ホジキンリンパ腫	4	8.7%
J15	細菌性肺炎	4	8.7%
	その他	11	23.9%
	合計	46	100.0%

男性

コード	病名	患者数 (人)	構成比 (%)
C92	骨髄性白血病	6	26.1%
D46	骨髄異形成症候群	6	26.1%
C83	びまん性非ホジキンリンパ腫	5	21.7%
	その他	6	26.1%
	合計	23	100.0%

女性

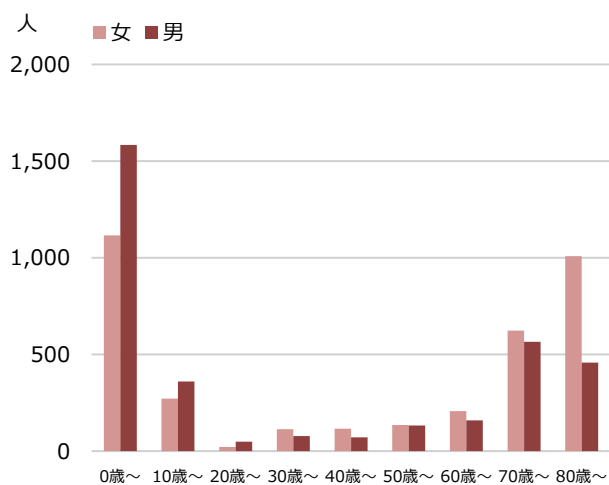
コード	病名	患者数 (人)	構成比 (%)
C92	骨髄性白血病	4	17.4%
C83	びまん性非ホジキンリンパ腫	4	17.4%
D46	骨髄異形成症候群	2	8.7%
J15	細菌性肺炎	2	8.7%
C56	卵巣癌	2	8.7%
	その他	9	39.1%
	合計	23	100.0%

医療Quality Indicator (恵寿金沢病院)

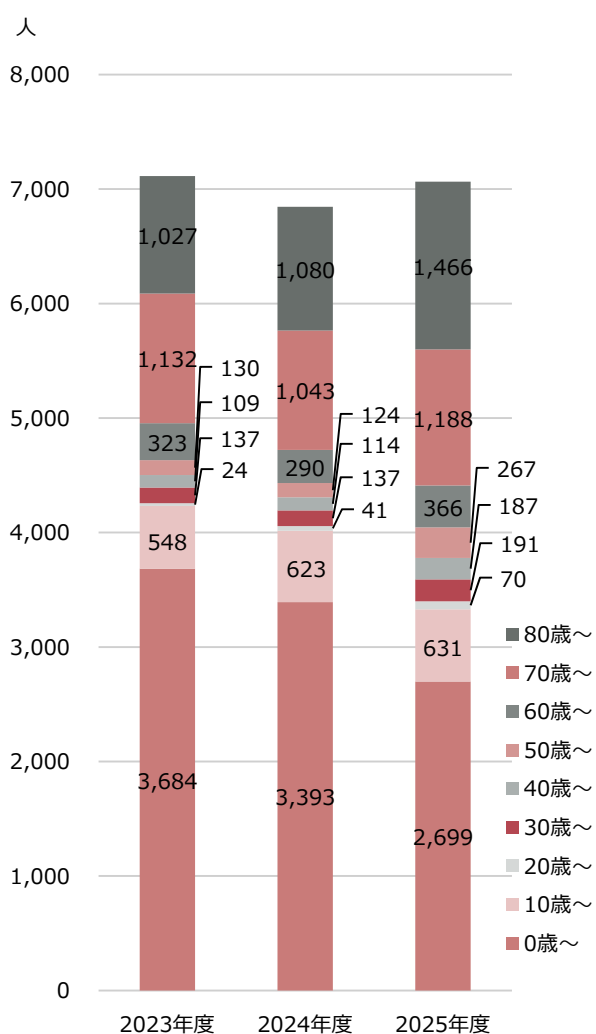
区分	項目	2023年度		2024年度		2025年度		計算式
		件数	母数	件数	母数	件数	母数	
		率		率		率		
基本情報	新入院患者数(ドック除く)		1,521		1,257		1,295	
	延べ入院患者数		21,860		15,475		15,761	
	退院患者数(ドック除く)		1,533		1,257		1,292	
(1) 病院全体	①死亡退院患者率	67	1,533	39	1,257	46	1,292	死亡退院患者数/月間退院患者(ドック除く)
			4.4%		3.1%		3.6%	
	②退院後2週間以内の入院サマリ完成率	1,422	1,533	1,181	1,257	1,206	1,292	退院後2週間以内の入院サマリ完成件数/退院患者件数(転科含む)
			92.8%		94.0%		93.3%	
	③入院24時間以内の死亡	2	1,521	0	1,257	0	1,295	24時間以内の死亡数/新入院患者数(ドック除く)
			0.1%		0.0%		0.0%	
	④紹介率	558	1,306	262	675	441	934	紹介患者数+救急患者数+二次健診数/初診患者数
			42.7%		38.8%		47.2%	
	⑤逆紹介率	1,244	1,306	984	675	720	934	逆紹介患者数/初診患者数
			95.3%		145.8%		77.1%	
(2) 医療安全	⑥職員の健診受診率(全職員)	136	136	124	124	131	131	全職員健診受診件数/全職員数(休職者を除く)
			100.0%		100.0%		100.0%	
	(医師)	10	10	11	11	12	12	医師健診受診件数/常勤医師数
			100.0%		100.0%		100.0%	
	⑦医師返書作成日数		3.3日		4.3日		4.4日	返書作成平均日数
	⑧入院患者のリハビリ実施率	16,133	21,860	10,536	15,475	11,434	15,761	リハビリ実施延べ人数/延べ入院患者数
			73.8%		68.1%		72.5%	
	①転倒転落件数、転倒転落率	1	21,860	1	15,475	2	15,761	延べ転倒転落数(リスクレベル3b以上)/延べ入院患者
			0.00%		0.01%		0.01%	
	②インシデント・アクシデントレポート提出件数、提出率	148	21,860	157	15,475	144	15,761	アクシデントレポート提出件数/延べ入院患者数
		0.7%		1.0%		0.9%		
(3) 感染対策	③24時間以内の再手術率	0	317	0	54	0	59	24時間以内の再手術患者数/手術実施患者数
			0%		0%		0%	
	④手術後24時間以内の死亡率	0	317	0	54	0	59	手術24時間以内の死亡患者数/手術実施患者数
			0%		0%		0%	
	⑤褥瘡推定発生率	10	641	9	436	10	447	褥瘡保有者数-新規自宅発生件数/患者数(月末)
			1.6%		2.1%		2.2%	
	①MRSA感染症新規発生率	4	1,521	8	1,257	1	1,295	MRSA感染症新規発生患者数/新入院患者(ドック除く)
			0.3%		0.6%		0.1%	
	②中心静脈カテーテル関連血流感染(CLABSI)発生率	2	1,239	4	1,147	1	822	(中心静脈カテーテル関連血流感染患者数/カテーテル延べ使用日数)×1000
			1.6%		3.5%		1.2%	
(4) 栄養	③緑膿菌の薬剤耐性率(MDRP)	0	4	0	5	0	6	緑膿菌の各種薬剤に対する耐性株数/緑膿菌検出件数
			0%		0%		0%	
	④血液・体液暴露(針刺し)件数		1		1		3	
	⑤特定抗生剤届出率	65	65	67	67	63	63	特定抗生剤届出数/特定抗生剤処方患者数
			100%		100%		100%	
		28,791	57,355	24,184	40,105	20,508	40,058	
	①特別食比率							特別食提供件数/食事提供件数
			50.2%		60.3%		51.2%	

鳥屋診療所 いきいき

年代別（男女別）外来患者数

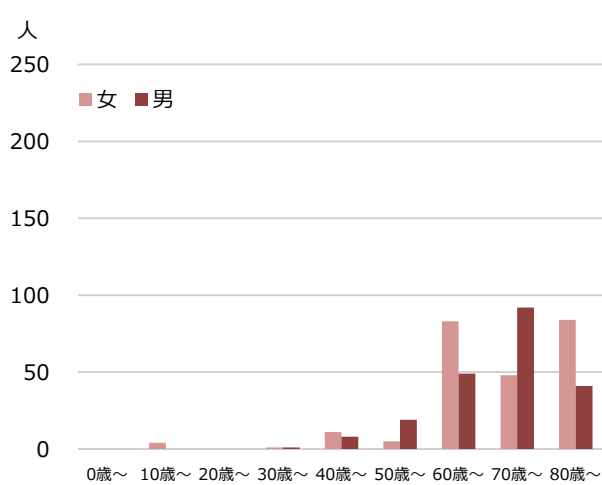


年代別外来患者数の推移

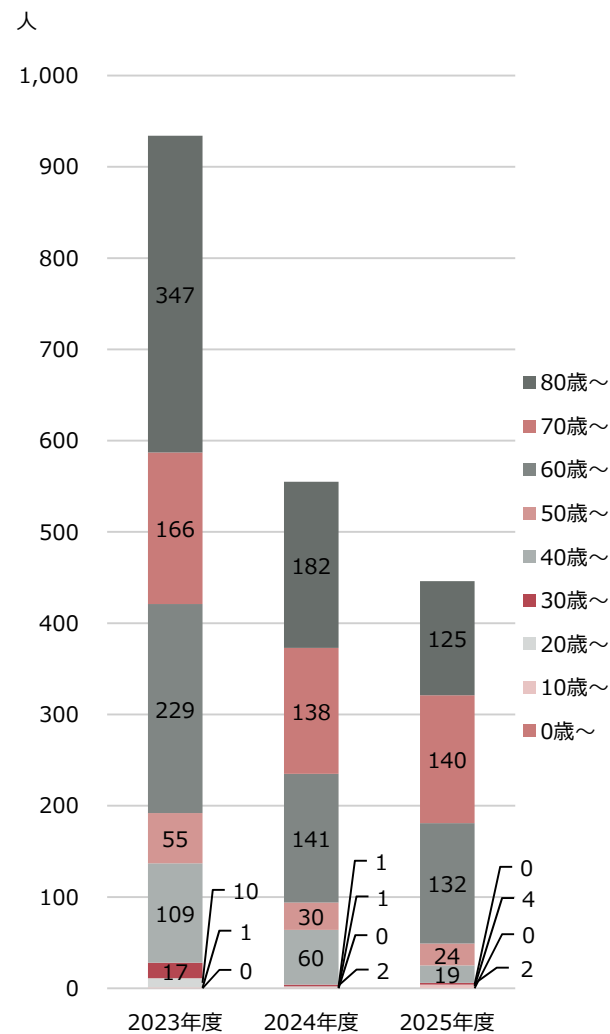


恵寿鳩ヶ丘クリニック

年代別（男女別）外来患者数



年代別外来患者数の推移





2025年7月19日 七尾港まつりに6年振りに参加



第 4 章
介護部門
利用統計・介護の質

利用統計

入所の推移

単位：人

延人数	2023年度	2024年度	2025年度
恵寿鳩ヶ丘（135床）	43,599	46,011	47,129
和光苑（150床）	53,805	53,207	53,693
エレガントなぎの浦	31,586	32,022	31,394
アンジェリイなぎの浦	10,427	10,505	10,950
ローレルハイツ恵寿（ケアハウス）	7,304	7,330	7,299
ローレルハイツ恵寿（特定ケアハウス）	10,949	10,928	10,980
ローレルハイツ恵寿（サ高住）	16,924	18,423	18,717
総計	174,594	178,426	180,162

短期入所の推移

単位：人

延人数	2023年度	2024年度	2025年度
ほのぼの	7,236	8,059	7,997
恵寿鳩ヶ丘	86	120	76
和光苑	116	57	428
エレガントなぎの浦	4,159	3,992	4,426
総計	11,597	12,228	12,927

通所リハビリテーションの推移

単位：人

延人数	2023年度	2024年度	2025年度
恵寿鳩ヶ丘	2,884	3,621	4,267
和光苑	7,094	8,230	9,797
いきいき	2,688	2,758	3,054
総計	12,666	14,609	17,118

通所介護の推移

単位：人

延人数	2023年度	2024年度	2025年度
ほのぼの	12,088	15,182	14,956
エレガントなぎの浦	6,073	9,077	10,298
もみの木苑	4,490	6,165	8,417
総計	22,651	30,424	33,671

介護Quality Indicator（恵寿鳩ヶ丘）

区分	項目	2023	2024	2025	計算式
(1) 施設 全体	①在宅復帰率	0.0% (0/43)	6.8% (5/73)	5.5% (3/55)	在宅退所者数/退所者数
	②短期集中リハビリ率 (認知症短期集中リハビリ含)	8.0% (3,499/43,599)	8.7% (4,023/46,011)	6.8% (3,214/47,129)	リハ実施延べ人数/ 延べ入所者数
	③重度者（介護4・5）割合率	59.0% (874/1,481)	51.5% (813/1,579)	50.1% (800/1,598)	要介護4・5の人数/ 実利用者数
	④認知症Ⅲa以上の割合率	58.9% (872/1,481)	75.4% (1,191/1,579)	75.6% (1,208/1,598)	認知症Ⅲ以上延べ人数/ 実利用者数
	⑤ターミナルケア率	2.6% (38/1,481)	2.6% (41/1,579)	2.3% (36/1,598)	ターミナル実人数/ 実利用者数
	⑥介護福祉士率	86.8% (441/508)	83.9% (432/515)	83.7% (431/515)	介護福祉士資格者数/ 介護職員数
	⑦介護実習指導者率	18.3% (93/508)	17.9% (92/515)	18.6% (96/515)	介護実習指導者数/ 介護職員数
	⑧介護プロフェッショナルキャリア段位 (アセッサー) 取得者率	11.8% (60/508)	11.7% (60/515)	14.0% (72/515)	キャリア段位認定者数/ 介護職員数
(2) 安全・ 安心 対策	①入所者の転倒・転落発生率	0.2% (89/43,599)	0.3% (128/46,011)	0.4% (192/47,129)	転倒転落件数/ 延べ入所者数
	②入所者の転倒・転落による 損傷発生率（レベル3以上）	0.0% (6/43,599)	0.0% (8/46,011)	0.1% (28/47,129)	転倒転落件数（リスクレベル3 以上）/延べ入所者数
	③ひやりはっと発生率	0.4% (174/43,599)	0.5% (220/46,011)	0.6% (262/47,129)	ひやりはっと件数/ 延べ入所者数
	④褥瘡推定発生率	1.9% (28/1,481)	2.6% (41/1,579)	1.5% (23/1,549)	褥瘡保有者数/入所者数 (月末)
	⑤特定行為従事者認定者率 (喀痰吸引)	43.6% (191/438)	38.8% (200/515)	51.3% (264/515)	特定行為認定者数/ 介護職員数
(3) 感染 対策	①インフルエンザ罹患率（職員）	0.0% (0/980)	0.0% (0/1,009)	0.5% (5/963)	インフルエンザ罹患職員数/ 全職員数
	②新型コロナウイルス罹患率 (職員)	1.4% (14/980)	0.7% (7/1,009)	1.5% (14/963)	新型コロナウイルス 罹患職員数/全職員数
	③血液・体液暴露（針刺し）件数	0	0	0	発生件数
(4) 栄養	①経口維持Ⅰ・Ⅱ比率	27.9% (413/1,482)	26.9% (425/1,579)	25.6% (409/1,598)	経口維持Ⅰ・Ⅱ対象者数/ 実利用者数
	②療養食比率	58.2%	60.6%	57.6%	特食回数/食事回数

介護Quality Indicator（和光苑）

区分	項目	2023	2024	2025	計算式
(1) 施設 全体	①在宅復帰率	6.3% (5/80)	3.9% (4/103)	29.1% (23/79)	在宅退所者数/退所者数
	②短期集中リハビリ率 (認知症短期集中リハビリ含)	12.5% (6,735/53,775)	13.8% (7,348/53,181)	12.5% (6,721/53,693)	リハ実施延べ人数/ 延べ入所者数
	③重度者（介護4・5）割合率	60.6% (1,125/1,857)	54.4% (1,004/1,844)	47.7% (881/1,848)	要介護4・5の人数/ 実利用者数
	④認知症Ⅲa以上の割合率	73.3% (1,362/1,857)	62.0% (1,143/1,844)	54.3% (1,004/1,848)	認知症Ⅲ以上延べ人数/ 実利用者数
	⑤ターミナルケア率	2.0% (37/1,857)	1.9% (35/1,844)	1.3% (24/1,848)	ターミナル実人数/ 実利用者数
	⑥介護福祉士率	68.7% (485/706)	68.8% (461/670)	67.2% (456/679)	介護福祉士資格者数/ 介護職員数
	⑦介護実習指導者率	25.5% (180/706)	28.7% (192/670)	26.5% (180/679)	介護実習指導者数/ 介護職員数
	⑧介護プロフェッショナルキャリア段位 (アセッサー) 取得者率	0.0% (0/706)	9.0% (60/670)	7.1% (48/679)	キャリア段位認定者数/ 介護職員数
(2) 安全・ 安心 対策	①入所者の転倒・転落発生率	0.2% (118/53,775)	0.2% (107/53,181)	0.3% (141/53,693)	転倒転落件数/ 延べ入所者数
	②入所者の転倒・転落による 損傷発生率（レベル3以上）	0.0% (8/53,775)	0.0% (7/53,181)	0.0% (7/53,693)	転倒転落件数（リスクレベル3 以上）/延べ入所者数
	③ひやりはっと発生率	0.2% (112/53,775)	0.2% (85/53,181)	0.1% (70/53,693)	ひやりはっと件数/ 延べ入所者数
	④褥瘡推定発生率	3.2% (57/1,766)	2.6% (45/1,747)	2.4% (42/1,772)	褥瘡保有者数/入所者数 (月末)
	⑤特定行為従事者認定者率 (喀痰吸引)	28.8% (203/706)	26.9% (180/670)	37.8% (257/679)	特定行為認定者数/ 介護職員数
(3) 感染 対策	①インフルエンザ罹患率（職員）	0.3% (4/1,301)	0.3% (5/1,575)	0.1% (2/1,526)	インフルエンザ罹患職員数/ 全職員数
	②新型コロナウイルス罹患率 (職員)	2.3% (30/1,301)	1.3% (20/1,575)	0.2% (3/1,526)	新型コロナウイルス 罹患職員数/全職員数
	③血液・体液暴露（針刺し）件数	0	0	0	発生件数
(4) 栄養	①経口維持Ⅰ・Ⅱ比率	45.1% (837/1,857)	37.4% (690/1,844)	41.4% (765/1,848)	経口維持Ⅰ・Ⅱ対象者数/ 実利用者数
	②療養食比率	63.5%	64.2%	63.4%	特食回数/食事回数

介護Quality Indicator（エレガンテなぎの浦）

区分	項目	2023	2024	2025	計算式
(1) 施設 全体	①重度者（介護4・5）割合率	82.2% (929/1,130)	79.5% (906/1,139)	81.1% (925/1,141)	要介護4・5の人数/ 実利用者数
	②認知症Ⅲa以上の割合率	57.7% (652/1,130)	46.8% (533/1,139)	46.2% (527/1,141)	認知症Ⅲ以上人数/ 実利用者数
	③ターミナルケア率	-	1.1% (13/1,139)	0.8% (9/1,141)	ターミナル実人数/ 実利用者数
	④介護福祉士率	84.6% (446/527)	88.5% (475/537)	90.8% (476/524)	介護福祉士資格者数/ 介護職員数
	⑤介護実習指導者率	6.8% (36/527)	6.7% (36/537)	11.5% (60/524)	介護実習指導者数/ 介護職員数
	⑥介護プロフェッショナルキャリア段位 （アセッサー）取得者率	4.6% (24/527)	4.5% (24/537)	4.6% (24/524)	キャリア段位認定者数/ 介護職員数
(2) 安全・ 安心 対策	①入所者の転倒・転落発生率	0.2% (71/31,586)	0.2% (65/32,022)	0.2% (74/31,394)	転倒転落件数/ 延べ入所者数
	②入所者の転倒・転落による 損傷発生率（レベル3以上）	0.1% (17/31,586)	0.0% (10/32,022)	0.0% (7/31,394)	転倒転落件数（リスクレベル3 以上）/延べ入所者数
	③ひやりはっと発生率	0.7% (223/31,586)	0.5% (174/32,022)	0.5% (156/31,394)	ひやりはっと件数/ 延べ入所者数
	④褥瘡推定発生率	7.2% (79/1,104)	9.0% (98/1,091)	4.5% (47/1,053)	褥瘡保有者数/入所者数 （月末）
	⑤特定行為従事者認定者率 （喀痰吸引）	72.1% (380/527)	66.9% (359/537)	73.3% (384/524)	特定行為認定者数/ 介護職員数
(3) 感染 対策	①インフルエンザ罹患率（職員）	0.7% (5/731)	0.9% (7/771)	0.3% (2/740)	インフルエンザ罹患職員数/ 全職員数
	②新型コロナウイルス罹患率 （職員）	2.5% (18/731)	2.3% (18/771)	3.1% (23/740)	新型コロナウイルス 罹患職員数/全職員数
(4) 栄養	①経口維持Ⅰ・Ⅱ比率	63.5% (717/1,130)	62.4% (771/1,139)	68.4% (780/1,141)	経口維持Ⅰ・Ⅱ対象者数/ 実利用者数
	②療養食比率	54.0%	56.8%	56.3%	特食回数/食事回数

介護Quality Indicator（恵寿鳩ヶ丘通所リハ）

区分	項目	2023	2024	2025	計算式
(1) 施設全体	①介護改善率	11.1% (2/18)	3.3% (1/30)	12.9% (4/31)	認定改善者数/ 認定更新者数
	②リハビリマネジメント加算イ算定率	-	0.0% (0/371)	0.0% (0/436)	算定者数/要介護者数
	③リハビリマネジメント加算ロ算定率	-	100.0% (371/371)	99.5% (434/436)	算定者数/要介護者数
	④短期集中リハビリテーション実施 加算（認知症短期集中リハビリ含）	8.6% (32/372)	15.1% (56/371)	8.7% (38/436)	算定者数（加算Ⅰ・Ⅱ）/ 要介護者数
	⑤中重度者比率（介護度3以上）	34.1% (127/372)	34.0% (126/371)	28.2% (123/436)	要介護度3・4・5の人数/ 要介護者数
	⑥認知症自立度Ⅲa以上の割合	10.5% (52/497)	10.1% (60/594)	10.8% (72/666)	認知症自立度Ⅲa以上の数/ 実利用者数
	⑦生活行為向上リハビリテーション 実施加算Ⅰ・Ⅱ算定率	1.0% (5/497)	2.0% (12/595)	0.6% (4/666)	算定者数（加算Ⅰ・Ⅱ）/ 実利用者数
	⑧介護福祉士率	83.1% (49/59)	80.3% (49/61)	60.7% (37/61)	介護福祉士数/ 介護職員数
	⑨介護プロフェッショナルキャリア段位 （アセッサー）取得者率	0.0% (0/59)	0.0% (0/61)	0.0% (0/61)	キャリア段位認定者数/ 介護職員数
(2) 安全・ 安心対 策	①通所者の転倒・転落発生率	0.1% (2/2,884)	0.1% (3/3,621)	0.1% (6/4,267)	転倒転落件数/ 延べ通所者数
	②通所者の事故発生による 損傷発生率（レベル3以上）	0.0% (0/2,884)	0.0% (0/3,621)	0.0% (1/4,267)	転倒転落件数（リスクレベル 3以上）/延べ通所者数
	③ひやりはっと発生率	0.1% (4/2,884)	0.2% (8/3,621)	0.2% (10/4,267)	ひやりはっと件数/ 延べ通所者数
	④特定行為従事者認定者率 （喀痰吸引）	1.7% (1/59)	0.0% (0/61)	19.7% (12/61)	特定行為認定者数/ 介護職員数
(3) 感染	①インフルエンザ罹患率（職員）	0.0% (0/84)	0.0% (0/61)	1.4% (1/72)	インフルエンザ罹患職員数/ 職員数
	②新型コロナウイルス罹患率 （職員）	1.2% (1/84)	0.0% (0/61)	0.0% (0/72)	新型コロナウイルス罹患 職員数/職員数
(4) 栄養	①栄養改善取組率	0.0% (0/497)	0.0% (0/594)	0.0% (0/666)	改善取組者数/実利用者数
	②口腔機能向上取組率	0.0% (0/497)	0.0% (0/594)	0.0% (0/666)	向上取組者数/実利用者数

介護Quality Indicator（和光苑通所リハ）

区分	項目	2023	2024	2025	計算式
(1) 施設 全体	①介護改善率	10.4% (5/48)	9.1% (6/66)	15.8% (15/95)	認定改善者数/ 認定更新者数
	②リハビリマネジメント加算イ算定率	-	1.2% (12/973)	0.0% (0/1,179)	算定者数/要介護者数
	③リハビリマネジメント加算ロ算定率	-	13.9% (135/973)	0.0% (0/1,179)	算定者数/要介護者数
	④リハビリマネジメント加算ハ算定率	-	84.9% (826/973)	100.0% (1,179/1,179)	算定者数/要介護者数
	⑤短期集中リハビリテーション実施 加算（認知症短期集中リハビリ含）	12.1% (94/774)	18.5% (180/973)	10.1% (119/1,179)	算定者数（加算Ⅰ・Ⅱ）/ 要介護者数
	⑥中重度者比率（介護度3以上）	35.0% (271/774)	35.1% (342/973)	34.6% (408/1,179)	要介護度3・4・5の人数/ 要介護者数
	⑦認知症自立度Ⅲa以上の割合	18.9% (181/958)	12.6% (157/1,247)	9.6% (142/1,473)	認知症自立度Ⅲa以上の数/ 実利用者数
	⑧生活行為向上リハビリテーション 実施加算Ⅰ・Ⅱ算定率	1.5% (14/958)	2.2% (28/1,247)	3.0% (44/1,473)	算定者数（加算Ⅰ・Ⅱ）/ 実利用者数
	⑨介護福祉士率	86.0% (86/100)	88.9% (88/99)	100.0% (86/86)	介護福祉士数/ 介護職員数
	⑩介護プロフェッショナルキャリア段位 （アセッサー）取得者率	0.0% (0/100)	0.0% (0/99)	0.0% (0/86)	キャリア段位認定者数/ 介護職員数
(2) 安全・ 安心 対策	①通所者の転倒・転落発生率	0.1% (5/7,095)	0.1% (11/8,230)	0.2% (20/9,797)	転倒転落件数/ 延べ通所者数
	②通所者の事故発生による 損傷発生率（レベル3以上）	0.0% (0/7,095)	0.0% (0/8,230)	0.0% (0/9,797)	転倒転落件数（リスクレベル 3以上）/延べ通所者数
	③ひやりはっと発生率	0.0% (3/7,095)	0.0% (0/8,230)	0.0% (1/9,797)	ひやりはっと件数/ 延べ通所者数
	④特定行為従事者認定者率 （喀痰吸引）	12.0% (12/100)	25.0% (24/96)	27.9% (24/86)	特定行為認定者数/ 介護職員数
(3) 感染	①インフルエンザ罹患率（職員）	0.0% (0/231)	1.2% (2/168)	0.6% (1/163)	インフルエンザ罹患職員数/ 職員数
	②新型コロナウイルス罹患率 （職員）	1.7% (4/231)	2.4% (4/168)	1.8% (3/163)	新型コロナウイルス罹患 職員数/職員数
(4) 栄養	①栄養改善取組率	5.1% (49/958)	4.6% (57/1,247)	14.3% (210/1,473)	改善取組者数/実利用者数
	②口腔機能向上取組率	4.1% (39/958)	2.7% (34/1,247)	2.1% (31/1,473)	向上取組者数/実利用者数

介護Quality Indicator（鳥屋診療所いきいき通所リハ）

区分	項目	2023	2024	2025	計算式
(1) 施設 全体	①介護改善率	15.6% (7/45)	2.8% (1/36)	10.3% (3/29)	認定改善者数/ 認定更新者数
	②リハビリマネジメント加算イ算定率	-	34.1% (125/367)	0.0% (0/379)	算定者数/要介護者数
	③リハビリマネジメント加算ロ算定率	-	29.2% (107/367)	84.4% (320/379)	算定者数/要介護者数
	④リハビリマネジメント加算ハ算定率	-	0.0% (0/367)	0.0% (0/379)	算定者数/要介護者数
	⑤短期集中リハビリテーション実施 加算（認知症短期集中リハビリ含）	0.0% (0/368)	0.0% (0/367)	3.4% (13/379)	算定者数（加算Ⅰ・Ⅱ）/ 要介護者数
	⑥中重度者比率（介護度3以上）	15.3% (55/360)	14.4% (53/367)	15.3% (58/379)	要介護度3・4・5の人数/ 要介護者数
	⑦認知症自立度Ⅲa以上の割合	0.0% (0/606)	3.3% (20/603)	8.9% (56/632)	認知症自立度Ⅲa以上の数/ 実利用者数
	⑧生活行為向上リハビリテーション 実施加算Ⅰ・Ⅱ算定率	0.0% (0/606)	0.0% (0/603)	0.5% (3/632)	算定者数（加算Ⅰ・Ⅱ）/ 実利用者数
	⑨介護福祉士率	100.0% (24/24)	50.0% (12/24)	100.0% (24/24)	介護福祉士数/ 介護職員数
	⑩介護プロフェッショナルキャリア段位 （アセッサー）取得者率	0.0% (0/24)	0.0% (0/24)	0.0% (0/24)	キャリア段位認定者数/ 介護職員数
(2) 安全・ 安心 対策	①通所者の転倒・転落発生率	0.0% (0/2,674)	0.0% (0/2,805)	0.1% (2/3,024)	転倒転落件数/ 延べ通所者数
	②通所者の事故発生による 損傷発生率（レベル3以上）	0.0% (0/2,674)	0.0% (0/2,805)	0.0% (0/3,024)	転倒転落件数（リスクレベル 3以上）/延べ通所者数
	③ひやりはっと発生率	0.0% (0/2,674)	0.0% (0/2,805)	0.0% (0/3,024)	ひやりはっと件数/ 延べ通所者数
	④特定行為従事者認定者率 （喀痰吸引）	0.0% (0/24)	0.0% (0/24)	0.0% (0/24)	特定行為認定者数/ 介護職員数
(3) 感染	①インフルエンザ罹患率（職員）	0.0% (0/24)	0.0% (0/24)	1.4% (1/72)	インフルエンザ罹患職員数/ 職員数
	②新型コロナウイルス罹患率 （職員）	0.0% (0/24)	0.0% (0/24)	0.0% (0/72)	新型コロナウイルス罹患 職員数/職員数
(4) 栄養	①栄養改善取組率	0.0% (0/606)	0.0% (0/603)	0.0% (0/632)	改善取組者数/実利用者数
	②口腔機能向上取組率	0.0% (0/606)	0.0% (0/603)	0.0% (0/632)	向上取組者数/実利用者数

介護Quality Indicator（ほのぼの通所介護）

区分	項目	2023	2024	2025	計算式
(1) 施設 全体	①通所介護利用率	76.1% (12,074/15,868)	88.7% (14,885/16,775)	88.3% (14,956/16,940)	利用延べ人数/ (通所定員×営業日数)
	②要支援者比率	16.1% (258/1,603)	19.2% (349/1,819)	24.3% (467/1,924)	要支援者数/利用実人数
	③要介護者比率	83.9% (1,345/1,603)	80.8% (1,470/1,819)	75.7% (1,457/1,924)	要介護者数/利用実人数
	④中重症者比率 (介護度3以上)	40.1% (4,283/10,688)	43.4% (5,692/13,112)	41.3% (602/1,457)	要介護度3・4・5の人数/ 要介護者数
	⑤認知症自立度Ⅲa以上の割合	13.0% (208/1,603)	12.2% (223/1,829)	16.5% (318/1,924)	認知症自立度Ⅲa以上の数/ 利用実人数
	⑥介護度改善率	16.9% (20/118)	10.9% (11/101)	17.2% (17/99)	認定改善者数/ 認定更新者数
	⑦介護福祉士率	86.7% (157/181)	86.1% (291/338)	86.7% (163/188)	介護福祉士数/ 全介護職員数
	⑧介護プロフェッショナルキャリア 段位（アセッサー含む）取得者率	0.0% (0/181)	0.0% (0/338)	0.0% (0/161)	キャリア段位認定者数/ 全介護職員数
(2) 安全・ 安心 対策	①通所者の転倒・転落発生率	0.1% (8/12,074)	0.3% (42/14,939)	0.2% (23/14,956)	転倒転落件数/ 延べ通所者数
	②通所者の事故発生による 損傷発生率（レベル3以上）	0.0% (2/12,441)	0.0% (0/14,939)	0.0% (0/14,956)	事故件数（リスクレベル3 以上）/延べ通所者数
	③ひやりはっと発生件数	0.0% (4/12,441)	0.0% (6/14,939)	0.0% (4/14,956)	ひやりはっと件数/ 延べ通所者数
(3) 感染	①インフルエンザ罹患率(職員)	0.0% (0/181)	0.9% (3/338)	0.9% (3/320)	インフルエンザ罹患患者数/ 通所職員数
	②新型コロナウイルス罹患率(職員)	7.2% (13/181)	2.7% (9/338)	1.6% (5/320)	新型コロナウイルス罹患患者数/ 通所職員数
(4) 栄養	①栄養改善取組率	1.0% (16/1,603)	0.0% (0/1,819)	0.5% (10/1,924)	改善取組者数/利用実人数
	②口腔機能向上取組率	13.8% (222/1,603)	3.5% (64/1,819)	4.3% (82/1,924)	向上取組者数/利用実人数

介護Quality Indicator（エレガンテナぎの浦通所介護）

区分	項目	2023	2024	2025	計算式
(1) 施設 全体	①通所介護利用率	64.1% (6,074/9,480)	78.7% (9,073/11,530)	88.8% (10,297/11,595)	利用延べ人数/ (通所定員×営業日数)
	②要支援者比率	16.9% (130/771)	21.6% (256/1,183)	17.5% (222/1,272)	要支援者数/利用実人数
	③要介護者比率	83.1% (641/771)	78.4% (927/1,183)	82.5% (1,050/1,272)	要介護者数/利用実人数
	④中重症者比率 (介護度3以上)	23.9% (153/641)	29.6% (274/927)	29.2% (307/1,050)	要介護度3・4・5の人数/ 要介護者数
	⑤認知症自立度Ⅲa以上の割合	20.4% (157/771)	18.3% (217/1,183)	14.2% (180/1,272)	認知症自立度Ⅲa以上の数/ 利用実人数
	⑥介護度改善率	7.4% (4/54)	6.6% (4/61)	16.2% (11/68)	認定改善者数/ 認定更新者数
	⑦介護福祉士率	69.2% (108/156)	75.4% (95/126)	100.0% (132/132)	介護福祉士数/ 全介護職員数
	⑧介護プロフェッショナルキャリア 段位（アセッサー含む）取得者率	0.0% (0/156)	0.0% (0/126)	0.0% (0/132)	キャリア段位認定者数/ 全介護職員数
(2) 安全・ 安心 対策	①通所者の転倒・転落発生率	0.1% (7/5,990)	0.2% (16/9,073)	0.2% (21/10,297)	転倒転落件数/ 延べ通所者数
	②通所者の事故発生による 損傷発生率（レベル3以上）	0.0% (1/5,990)	0.0% (1/9,073)	0.0% (2/10,297)	事故件数（リスクレベル3 以上）/延べ通所者数
	③ひやりはっと発生件数	0.8% (48/5,990)	0.1% (7/9,073)	0.0% (4/10,297)	ひやりはっと件数/ 延べ通所者数
(3) 感染	①インフルエンザ罹患率(職員)	0.0% (0/156)	2.5% (5/199)	0.0% (0/192)	インフルエンザ罹患者数/ 通所職員数
	②新型コロナウイルス罹患率(職員)	0.6% (1/156)	3.0% (6/199)	1.0% (2/192)	新型コロナウイルス罹患者数/ 通所職員数
(4) 栄養	①栄養改善取組率	0.0% (0/771)	0.0% (0/1,183)	0.0% (0/1,272)	改善取組者数/利用実人数
	②口腔機能向上取組率	8.6% (66/771)	7.9% (93/1,183)	3.2% (41/1,272)	向上取組者数/利用実人数

介護Quality Indicator（もみの木苑通所介護）

区分	項目	2023	2024	2025	計算式
(1) 施設 全体	①通所介護利用率	59.9% (4,490/7,490)	66.8% (6,165/9,225)	83.7% (8,413/10,050)	利用延べ人数/ (通所定員×営業日数)
	②要支援者比率	20.4% (125/612)	22.5% (183/814)	21.2% (237/1,118)	要支援者数/利用実人数
	③要介護者比率	79.6% (487/612)	77.5% (631/814)	78.8% (881/1,118)	要介護者数/利用実人数
	④中重症者比率 (介護度3以上)	31.8% (155/487)	26.9% (170/631)	28.8% (254/881)	要介護度3・4・5の人数/ 要介護者数
	⑤認知症自立度Ⅲa以上の割合	17.2% (105/612)	11.8% (96/814)	10.5% (117/1,118)	認知症自立度Ⅲa以上の数/ 利用実人数
	⑥介護度改善率	6.9% (2/29)	5.6% (2/36)	7.8% (4/51)	認定改善者数/ 認定更新者数
	⑦介護福祉士率	83.1% (59/71)	89.4% (110/123)	100.0% (132/132)	介護福祉士数/ 全介護職員数
	⑧介護プロフェッショナルキャリア 段位（アセッサー含む）取得者率	0.0% (0/71)	0.0% (0/123)	0.0% (0/132)	キャリア段位認定者数/ 全介護職員数
(2) 安全・ 安心 対策	①通所者の転倒・転落発生率	0.2% (7/4,490)	0.1% (8/6,165)	0.1% (10/8,413)	転倒転落件数/ 延べ通所者数
	②通所者の事故発生による 損傷発生率（レベル3以上）	0.0% (1/4,490)	0.0% (1/6,165)	0.0% (0/8,413)	事故件数（リスクレベル3 以上）/延べ通所者数
	③ひやりはっと発生件数	0.3% (13/4,490)	0.6% (37/6,165)	0.1% (8/8,413)	ひやりはっと件数/ 延べ通所者数
(3) 感染	①インフルエンザ罹患率(職員)	0.0% (0/197)	0.0% (0/198)	1.7% (3/180)	インフルエンザ罹患患者数/ 通所職員数
	②新型コロナウイルス罹患率(職員)	0.5% (1/197)	0.0% (0/198)	3.3% (6/180)	新型コロナウイルス罹患患者数/ 通所職員数
(4) 栄養	①栄養改善取組率	0.0% (0/612)	0.0% (0/814)	0.0% (0/1,118)	改善取組者数/利用実人数
	②口腔機能向上取組率	0.0% (0/612)	0.0% (0/814)	0.0% (0/1,118)	向上取組者数/利用実人数

福祉Quality Indicator（青山彩光苑ライフサポートセンター）

区分	項目	2023	2024	2025	計算式
(1) 施設 全体	①重症者（支援区分5・6）割合率	92.1% (904/982)	82.6% (804/973)	81.1% (753/928)	支援区分5・6の人数/ 実利用者数
	②介護福祉士率	70.0% (408/583)	77.9% (422/542)	77.2% (396/513)	介護福祉士数/ 全介護職員数
	③特定行為従事者認定者率 （喀痰吸引）	51.8% (302/583)	50.2% (272/542)	55.8% (289/518)	特定行為認定者数/ 全介護職員数
(2) 安全・ 安心 対策	①入所者の転倒・転落発生率	0.2% (62/29,254)	0.2% (57/29,572)	0.2% (60/29,572)	転倒転落件数/ 延べ入所者数
	②入所者の事故発生による 損傷発生率（レベル3以上）	0.0% (1/29,254)	0.0% (5/29,572)	0.0% (9/29,572)	転倒転落件数（リスクレベル3 以上）/延べ入所者数
	③褥瘡推定発生率	0.9% (9/982)	0.8% (8/973)	1.6% (15/928)	褥瘡保有者数/ 入所者数（月末）
(3) 感染	①インフルエンザ罹患率（職員）	0.0% (0/754)	0.5% (4/735)	0.7% (5/679)	インフルエンザ罹患職員数/ 全職員数
	②新型コロナウイルス罹患率（職員）	0.0% (0/754)	1.0% (7/735)	1.5% (10/679)	新型コロナウイルス 罹患職員数/全職員数
(4) 栄養	①経口維持 I 比率	4.5% (44/982)	18.5% (180/973)	18.5% (172/928)	経口維持 I 数/実人数
	②療養食比率	62.4%	55.1%	53.1%	特食回数/食事回数

福祉Quality Indicator（穴水ライフサポートセンター）

区分	項目	2023	2024	2025	計算式
(1) 施設全体	①重症者（支援区分5・6）割合率	75.7% (473/625)	79.4% (498/627)	80.4% (499/621)	支援区分5・6の人数/ 実利用者数
	②介護福祉士率	57.6% (212/368)	84.3% (305/362)	87.0% (320/368)	介護福祉士数/ 全介護職員数
	③特定行為従事者認定者率 （喀痰吸引）	45.1% (166/368)	57.2% (207/362)	53.3% (196/368)	特定行為認定者数/ 全介護職員数
(2) 安全・安心対策	①入所者の転倒・転落発生率	0.3% (62/17,852)	0.3% (52/18,117)	0.3% (58/18,120)	転倒転落件数/ 延べ入所者数
	②入所者の事故発生による 損傷発生率（レベル3以上）	0.0% (2/17,852)	0.0% (3/18,117)	0.0% (4/18,120)	転倒転落件数（リスクレベル3 以上）/延べ入所者数
	③褥瘡推定発生率	4.5% (28/625)	8.1% (51/627)	4.2% (26/622)	褥瘡保有者数/ 入所者数（月末）
(3) 感染	①インフルエンザ罹患率（職員）	3.4% (18/529)	0.0% (0/519)	0.4% (2/480)	インフルエンザ罹患職員数/ 全職員数
	②新型コロナウイルス罹患率（職員）	4.2% (22/529)	1.5% (8/519)	2.9% (14/480)	新型コロナウイルス 罹患職員数/全職員数
(4) 栄養	①経口維持 I 比率	12.5% (78/625)	15.6% (98/627)	20.9% (130/621)	経口維持 I 数/実人数
	②療養食比率	37.8%	34.1%	40.9%	特食回数/食事回数

福祉Quality Indicator（精育園）

区分	項目	2023	2024	2025	計算式
(1) 施設 全体	①重症者（支援区分5・6）割合率	58.2% (794/1,365)	38.4% (186/484)	48.6% (239/492)	支援区分5・6の人数/ 実利用者数
	②介護福祉士率	77.9% (658/845)	75.3% (210/279)	76.9% (213/277)	介護福祉士数/ 全介護職員数
	③特定行為従事者認定者率 （喀痰吸引）	12.8% (108/845)	13.6% (38/279)	13.0% (36/277)	特定行為認定者数/ 全介護職員数
(2) 安全・ 安心 対策	①入所者の転倒・転落発生率	4.8% (65/1,365)	0.4% (2/484)	2.0% (10/492)	転倒転落件数/ 延べ入所者数
	②入所者の事故発生による 損傷発生率（レベル3以上）	0.8% (11/1,365)	0.4% (2/484)	0.4% (2/492)	転倒転落件数（リスクレベル3 以上）/延べ入所者数
	③褥瘡推定発生率	1.9% (26/1,365)	0.0% (0/484)	0.0% (0/492)	褥瘡保有者数/ 入所者数（月末）
(3) 感染	①インフルエンザ罹患率（職員）	0.2% (2/996)	1.1% (3/279)	0.4% (1/277)	インフルエンザ罹患職員数/ 全職員数
	②新型コロナウイルス罹患率（職員）	2.6% (26/996)	0.4% (1/279)	1.4% (4/277)	新型コロナウイルス 罹患職員数/全職員数
(4) 栄養	①経口維持 I 比率	5.7% (78/1,365)	0.2% (1/484)	0.0% (0/492)	経口維持 I 数/実人数
	②療養食比率	31.4%	24.8%	23.3%	特食回数/食事回数

第 5 章
研究・業績

【理事長 神野 正博】

寄稿

- ・ 新会長として取り組む全日病のミッションの3つの柱について
Vol.37 No.1 機関誌JAHM:2026.
- ・ 日本医療機能評価機構 創立30周年に寄せて
日本医療寄稿評価機構30年史:2025.
- ・ 災害時に役立った医療の備え
ドクターサロン Vol.69 2025 5月号 : 2025.
- ・ 街づくりも、医療・介護提供体制も
グランドデザインを描く時期
十全同窓会会報 190号 (2025年5月号) :
8-9,2025.
- ・ RPA (Robotic Process Automation) ・
BizRobo「人手不足を改革のチャンス」
日本医師会雑誌 Vol.154 No.3:2025.
- ・ 全日本病院協会会長に就任
前向きに、医療を提供していく仕組みづくりをお手伝い
十全同窓会会報 191号 (2025年10月号) :8,2025.

インタビュー

- ・ 130体を超えるロボットが多忙な病院の医療を支える
RizRobo!:2025.
- ・ 恵寿総合病院90年のあゆみ〜神野病院120年物語〜
七つ尾 第42号:45-56,2025.
- ・ エッセイ「ひろば」
地域の存続〜教育と病院の存続
週刊社会保障 No.3317:2025.
- ・ 2040年に向けて描く日本医療の未来像
QOL VIEW No.17月号:42-45,2025.
- ・ 公益社団法人 全日本病院協会9代目会長に
神野正博氏
特別インタビュー「地域医療を守る責任と行動」
最新医療経営 PHASE3 Vol.492:4-7,2025.
- ・ 地域医療の持続性確保にはインフラ補強をセットにした
病床再編を 全日本病院協会会長の神野正博氏に聞く
NEWS&REPORT:2025.
- ・ 「2026年度診療報酬改定的大幅アップ」が最重要課題
- 神野正博・全日本病院協会会長に聞く ◆Vol.1
医療維新 m3.com 2025.8.6
<https://www.m3.com/news/iryoishin/1288898>
- ・ 『病院のあり方報告書2026』で2040年の未来像提示へ
- 神野正博・全日本病院協会会長に聞く ◆Vol.2

医療維新 m3.com 2025.8.12

<https://www.m3.com/news/iryoishin/1288899>

- ・ 「“病”院をぶっ壊せ!」、「“健”院」への変革後押し
- 神野正博・全日本病院協会会長に聞く ◆Vol.3
医療維新 m3.com 2025.8.19
<https://www.m3.com/news/iryoishin/1288900>
- ・ “有事”への意識と体制を整える
QOL VIEW No.28月号:44-45,2025.
- ・ 診療報酬制度に関する一考察
QOL VIEW No.3 9月号:44-45,2025.
- ・ DXで実現する未来へつながる地域医療連携のあり方
HCD-HUB:2025.9.12
<https://www.hcd-hub.jp/magazine/interview/7042>
- ・ 北陸の魅力あふれる企業を紹介する「ほくりく会社大図鑑」
YouTube:ほくりくFIT転職
2025.09.26 (前編) ,2025.10.15 (後編)
- ・ 連載特集「2026年診療報酬改定を読み解く」
保険診療:2025.10月号
- ・ 医療費財源と保険診療で思うこと
QOL VIEW No.4 10月号:44-45,2025.
- ・ 能登半島地震を乗り越えた「医療をとめない体制」
HCD-HUB:2025.10.3
<https://www.hcd-hub.jp/magazine/interview/7058>
- ・ RPAは働き方改革・医療の質・経営を支える
便利ツール 病院DXのインフラに
医療テックニュース:2025.10.17
<https://medicaltech-news.com/special-feature/8776/>
- ・ 病院経営や組織エンゲージメントに関すること
貴院に導入されたテクノロジー全般など
コトセラ:2025.10.23
- ・ 病院建築への誘い 医療者と病院建築のかかわりを考える
医学のあゆみ Vol.295 No.4:2025.
- ・ 新たな地域医療構想の議論スタート
QOL VIEW No.5 11月号:44-45,2025.
- ・ 全日本病院協会 会長 就任インタビュー
医心 ISHIN No.108:12-17,2025.
- ・ “病”院をぶっ壊せ! 全日本病院協会・神野会長が語る
医療の未来図とは? Medical DOG:2025.

- ・ 自民・維新連立政権下で激変する経営環境
民間病院の活路はどこにあるのか<2>
CB news:2025.11.13
<https://www.cbnews.jp/news/entry/20251112131814>
- ・ 控除対象外消費税問題をどう解消するか
QOL VIEW No.6 12月号:44-45,2025.
- ・ 2026年改訂に向けて急性期
～回復期病院が取るべき経営戦略
日経ヘルスケア 12月号:2025.
- ・ 厳しい局面でも経営者は“ATM”精神
「地域同盟軍」でエコシステム構築へ
Visionと戦略 2026年1月号 Vol.263:2026.
- ・ 会長就任から半年、70歳目前で
「人生が180度変わった」◆Vol.1
医療維新 m3.com 2026.1.1
<https://www.m3.com/news/iryoishin/1314116>
- ・ 7割赤字の病院経営、診療報酬増は抜本策にあらず
DXで不要な長期入院にメス
日経ビジネス:2026.1.14
<https://business.nikkei.com/atcl/gen/19/00141/010900092/>
- ・ 四病院団体会長 新年会員交流会:各会長のスピーチ
最新医療経営 PHASE3 Vol.499:2026.2
- ・ 2026年度診療報酬改定への所感
QOL VIEW No.9 (3月号):44-45,2026.

対談・鼎談・座談会・シンポジウム

- ・ 七尾市長対談番組 アメイジング七尾
ラジオななお:2025.5.23
- ・ 地域フォーミュラの可能性 (今井 博 日本フォーミュラ学会 理事長×神野 正博)
地域フォーミュラ Vol.20:1-4,2025.
- ・ 臨床検査DXとAI技術が臨床検査技師に与えるインパクト
～検査室の外で評価される時代に臨床検査技師がAIに勝てる場はどこにある?～
一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会
JAMTマガジン1月新春号:2026.
- ・ 足下の経営危機をどのように乗り越え人口減少社会の
病院の姿をどう描くか -病院の経営を考える- (高橋 泰 国
際医療福祉大学 大学院教授×神野 正博)
保険旬報 26巻2986号 (1月号):4-12,2026.
- ・ オンライン診療で医師偏在に対処 人口減と高齢化に挑む
地域医療 (古川 俊治 参議院議員×伊原 和人 厚生
労働事務次官×神野 正博)

事業構想 2026年2月号:2026.

- ・ 病院を作る前にまちづくりを (迫井 正深 厚生労働省医務
技監×神野 正博)
La Sante ラ・サンテ 2025年秋・冬号:4-7,2025.

講演録・イベントレポート

- ・ 「“病”院をぶっ壊せ!」、神野氏が全日病会長就任で講演
(2025.6.28 講演) 医療維新 m3.com 2025.6.29
<https://www.m3.com/news/iryoishin/1281499>
- ・ 全日病と医療・病院管理学会、
診療報酬・施設整備費で共同研究
医療維新 m3.com 2026.3.28
<https://www.m3.com/news/iryoishin/1327912>

【理事長補佐 神野 正隆】

寄稿

- ・ 病院DXによる働き方改革・革命
全国自治体協議会雑誌 第64巻 2025年第5号,2025.
- ・ 生成AIで切り拓く医療現場の働き方改革・革命
医療の質・経営の質をともに高める挑戦
医事業務 No.698 2025年9月15日号:6-10,2025.
- ・ PFMの潮流～進化する病床機能の最適化～
病院経営羅針盤 第292号 (2月号):2026.

インタビュー

- ・ ～恵寿総合病院、生成 AIで文書作成を効率化し
時間外勤務を30%以上削減。本来業務に集中できる
環境を整備して医療の質のさらなる向上へ～
AWS&SSI:2025.5
- ・ 大和ハウス&日本経営&日本医療企画 DHJセミナー
～いま知りたい病院経営の未来戦略～ 2025.5
- ・ DXで実現する未来へつながる地域医療連携のあり方
HCD-HUB:2025.9.12
<https://www.hcd-hub.jp/magazine/interview/7042>
- ・ 医療経営インタビュー Waculbaスペシャル対談セミナー
～医療の未来は教育がつくる～
日本経営 Waculba:2025年9月
- ・ 能登半島地震を乗り越えた「医療をとめない体制」
HCD-HUB:2025.10.3
<https://www.hcd-hub.jp/magazine/interview/7058>
- ・ 医療UPDATE! ～挑戦者がつくる新しい当たり前～
医療DXで変わる現場、変える未来
～実践と研究のクロスポイント～
DOCTOR'S MAGAZINE 2026.4月号:14-18,2026.

対談・鼎談・座談会・シンポジウム

- ・ 座談会～「国保直診における医療DXの活用」～
国診協機関誌 地域医療 第63巻第1号:2025.4
- ・ 事業承継:3D経営戦略で病院経営の質を向上
責任と覚悟を持ち承継に取り組む
日本医療企画 最新医療経営 PHASE 3
2025年10月号
- ・ 巻頭対談:人口減少地域における民間病院の
資金マネジメント (松原 由美×神野 正隆)
病院 Vol.84 No.11:2025.
- ・ 新春特別企画 若手経営者座談会
～次代の若手経営者が見据える医療の未来像と
これからの病院経営～
QOL View:2026.1

講演録・イベントレポート

- ・ 生成AIで10分～60分の作業が5分に。
治療やケアといった本質を高める
メディカルジャパン大阪レポート
m3.com AI Lab 2025.4.11
<https://medicalai.m3.com/open/news/250411-report-mjo>

【本部 本部長 進藤 浩美】

論文

- ・ 進藤 浩美、神野 厚美、神野 彩、川上 直子、田中 秀明
令和6年能登半島地震
医療・介護・リハビリテーションの継続
作業療法ジャーナル VOL.59 (10) :1083-1089,2025.
- ・ 進藤 浩美
幼少期に対麻痺となり社会人になるまでの
専門的支援と連携 ～雇用の立場から～
石川県作業療法 Vol.34:13-16,2025.
- ・ 進藤 浩美、川上 直子、五十嵐 満哉
60歳以上の医療・介護送迎業務者の運転評価
～作業療法士からの提言～
石川県作業療法 Vol.34:32-35,2025.

【本部 財務部長 安井 智美】

インタビュー

- ・ 安井 智美、延田 宗久、河合 隆志
かがやく事務部門
月刊保険診療 2026年1月号Vol.81 No.1
ser.No.1629:108-109,2026.

【本部 経理課】

インタビュー

- ・ 安井 智美、延田 宗久、河合 隆志
かがやく事務部門
月刊保険診療 2026年1月号Vol.81 No.1
ser.No.1629:108-109,2026.

【本部 資財課】

インタビュー

- ・ 安井 智美、延田 宗久、河合 隆志
かがやく事務部門
月刊保険診療 2026年1月号Vol.81 No.1
ser.No.1629:108-109,2026.

【本部 情報部長 小澤 竹夫】

インタビュー

- ・ 地域の急性期医療を支える医療情報システムを
デル・テクノロジーズ製品群で構築
<https://www.delltechnologies.com/asset/ja-jp/solutions/business-solutions/customer-stories-case-studies/keiju-medical-center.pdf>

【恵寿総合病院 病院長 鎌田 徹】

寄稿

- ・ 巻頭言
恵寿総合病院医学雑誌 Vol.13:2025.

【恵寿総合病院 血液内科】

論文

- ・ Ken Ishiyama, Masahide Yamazaki, Hiroyuki Maruyama, Naoko Hosono, Hiroki Yamaguchi, Noboru Asada, Kazuki Tanimoto, Hiroyuki Sugiura, Kensuke Usuki, Kenichi Yoshimura, Seishi Ogawa, Yuzuru Kanakura, Itaru Matsumura, Koichi Akashi, Shinji Nakao.
Efficacy of cyclosporine monotherapy in non-severe aplastic anemia not requiring transfusions: Results from a multicenter phaseII study.
Br.J.Haematology. 2025;00:1-9

寄稿

- ・ 山崎 雅英
病院紹介「恵寿総合病院」
金沢大学血液内科同門会報 創刊号・第2号合併号

【恵寿総合病院 呼吸器内科】

論文

- **Satoru Hiromasa**, Yoshimichi Ueda, Takuya Mayumi, Hiroki Matsuoka, Tomoya Kaneda
Immune checkpoint inhibitor-associated myocarditis mimicking Takotsubo cardiomyopathy.
JACC Case Rep 31(2): 106131, 2025
doi: 10.1016/j.jaccos.2025.106131
- **Yoshihiro Yamamoto**, Hiroki Matsuoka, Saya Tsukida, Yoshimichi Ueda
Primary pulmonary epithelioid angiosarcoma with partial response to paclitaxel treatment: a case report
Cureus 17(10): e93687.
DOI 10.7759/cureus.93687

【恵寿総合病院 腎臓内科】

分担執筆

- **矢部 友久**、古市 賢吾
腎病理から考える糖尿病関連腎臓病（DKD）の病態
Pharma Medica Vol.42 No3:70-74,2025.

【恵寿総合病院 循環器内科】

論文

- **Satoru Hiromasa**, Yoshimichi Ueda, Takuya Mayumi, Hiroki Matsuoka, Tomoya Kaneda
Immune checkpoint inhibitor-associated myocarditis mimicking Takotsubo cardiomyopathy.
JACC Case Rep 31(2): 106131, 2025
doi: 10.1016/j.jaccos.2025.106131
- **山口 大介**、安部 隆三、池山 貴也、真弓 卓也、他
集中治療を要する重症患者の広域および
病院間搬送ガイドライン
日本集中治療医学会雑誌 vol32 supplement 4
November 2025

【恵寿総合病院 産婦人科】

論文

- **新井 隆成**、高本 一枝、3病棟2階（産科病棟）
令和6年能登半島地震における産科病棟BCPは
いかにして実現したか
恵寿総合病院医学雑誌 Vol.13:15-28,2025.

【恵寿総合病院 小児科】

論文

- **Shuhei Fujita**, Yoshikatsu Takeda, Kazuo Usuda, Akio Chikata, Shigekazu Nakaya, Hitoshi Mori
Efficacy and safety of ultrahigh-density 3D mapping and catheter ablation in para-Hisian focal atrial tachycardia
Pediatrics International 2025;67:e70219.

【恵寿総合病院 皮膚科】

論文

- **Eri Uchiyama**, Mei Tochigi, Yuko Takamiya, Akira Shimizu, Takashi Matsushita, Kazunori Yamada :
Case Report: Dermatomyositis with
Symmetrical Axillary and Inguinal Panniculitis
Associated with Anti-NXP-2 : Journal of
Cutaneous Immunology and Allergy. Vol(8):1-5,2025.

【恵寿総合病院 リハビリテーション科】

論文

- **喜多 大輔**、川北 慎一郎、東 壮太郎
脳卒中地域連携クリティカルパスによる石川県能登地区に
おける脳卒中再発と転帰の検討 （2008-2020年）
脳卒中 47巻 6号:358-365,2025.

【恵寿総合病院 病理診断科】

論文

- **Yoshimichi Ueda**, et al.
Localized light chain amyloidosis of the stomach that regressed after eradication of Helicobacter pylori over 15 years of follow-up: A case report and new hypothesis.
Clin J Gastroenterol 18(2):269-277,2025.doi:10.1007/s12328-025-02097-z
- **Satoru Hiromasa**, Yoshimichi Ueda, Takuya Mayumi, Hiroki Matsuoka, Tomoya Kaneda
Immune checkpoint inhibitor-associated myocarditis mimicking Takotsubo cardiomyopathy.
JACC Case Rep 31(2): 106131, 2025
doi: 10.1016/j.jaccos.2025.106131

- **Satoru Hiromasa**, Yoshimichi Ueda, Takuya Mayumi, Hiroki Matsuoka, Tomoya Kaneda
Reply: When Apical Ballooning Follows Pembrolizumab: Endomyocardial Biopsy Before β -Blockade. JACC Case Rep
- **上田 善道**、他3名
悪性が疑われ胸腔鏡補助下食道亜全摘術を施行した炎症性偽腫瘍の1例
日本消化器外科学会雑誌.58(7):375-382、2025
doi:10.5833/jjgs.2024.0018

【恵寿総合病院 健康管理部】

論文

- **前多 亜佐子**、桐山 正人、上野 恭一
能登半島地震における健康管理センターの対応と今後の課題
恵寿総合病院医学雑誌 Vol.13:67-70,2025.

【恵寿総合病院 看護部】

論文

- **戸田 秀之**、神野 正隆、阪口 智恵、山本 美保、高杉 真帆
生成AIを活用した退院時看護要約の効率化に関する実証実験
全日本病院協会誌 Vol.36-1:35-37,2025.
- **森下 弘子**、寺田 千恵
能登半島地震における災害時退院支援の実践と課題
全日本病院協会誌 Vol.36-1:223-226,2025.
- **山田 志都子**、近畑 萌恵、坂本 美香、坂下 一美
災害時における外来化学療法の継続
全日本病院協会誌 Vol.36-1:256-258,2025.
- **守田 尚美**、山口 暁美、栃原 さとみ、菅野 則之
震災後の取り組みと今後の課題
全日本病院協会誌 Vol.36-1:331-333,2025.
- **船山 真理子**
多職種が協働する恵寿セルケア方式導入について
全日本病院協会誌 Vol.36-1:368-372,2025.
- **寺田 千恵**
回復期リハビリテーション病棟における令和6年能登半島地震の経験と課題
恵寿総合病院医学雑誌 Vol.13:53-55,2025.
- **松江 仁美**
令和6年能登半島地震：
地域包括ケア病棟における災害の実際と課題

恵寿総合病院医学雑誌 Vol.13:60-62,2025.

- **加納 真由美**
令和6年能登半島地震
～その振り返りと復興に向けての課題～
恵寿総合病院医学雑誌 Vol.13:63-66,2025.
- **守田 尚美**
血液浄化センターを襲った震度6強の経験から見えた災害訓練の課題
恵寿総合病院医学雑誌 Vol.13:71-74,2025.
- **橋本 可菜実**、左近 みゆき、菅野 則之
令和6年能登半島地震における外来対応の振り返りと復興へ向けての課題
恵寿総合病院医学雑誌 Vol.13:75-78,2025.
- **中田 淳也**、中村 愛、櫛田 康彦、長谷川 公一
令和6年能登半島地震
～その振り返りと復興へ向けての課題～
手術センター課の振り返りと今後の課題
恵寿総合病院医学雑誌 Vol.13:79-80,2025.
- **船山 真理子**、本橋 敏美
看護師特定行為の院内導入と定着に向けた取り組み
恵寿総合病院医学雑誌 Vol.13:91-102,2025.

分担執筆

- **高杉 真帆**、濱崎 圭吾、角屋 利枝、竹中 菊香
ジュンジュン先生の循環巡回日誌
HEART NURSING Vol.39:84-87,2026.
- **山本 美保**
生成AI活用による看護情報提供書作成の時間短縮と心理的負担軽減
日本看護協会 看護 第78巻 第2号:44-46,2026.

【恵寿総合病院 事務部】

寄稿

- **大嶋 悠一**
「医療機関における自費料金の実態調査」総括
医事業務 NO.705:2026.1.1
- **川腰 晃弘**
「納得感」を起点とした診療支援
-看護必要度該当者割合の増加対策-
医事業務 NO.709:2026.3.15

インタビュー

- **神野 正隆**、阪口 智恵、川腰 晃弘
Waculba 実践者に聞く！
株式会社日本経営 2025.12
<https://x.gd/yMgic>

【恵寿総合病院 サービス課】

論文

- **北野 茉依**、山下 優子、川腰 晃弘
予約外患者の受付業務を見直し、
待ち時間を短縮する仕組みづくり
全日本病院協会誌 Vol.36-1:26-29,2025.

【恵寿総合病院 医事課】

寄稿

- **田中 瑞栄**
入退院管理におけるDPCコーディングの最適化
～現場に根差した再現性の高い運用を育てる～
医事業務 NO.700 2025.10.15

【恵寿総合病院 入退院管理センター】

論文

- **宮田 琴江**、櫻 さおり、中川 一美、神野 正隆
令和6年能登半島地震における当院の入退院支援管理
全日本病院協会誌 Vol.36-1:218-222,2025.

【恵寿総合病院 臨床心理課】

論文

- **岩城 薫**、原田 彩未、佐原 周子、丸山 晃弘、中川 東夫
令和6年能登半島地震の振り返りと今後の課題
恵寿総合病院医学雑誌 Vol.13:56-59,2025.

【恵寿総合病院 放射線課】

論文

- **赤坂 正明**
令和6年能登半島地震での放射線課における
災害対応の振り返りと課題
恵寿総合病院医学雑誌 Vol.13:8-14,2025.

インタビュー

- **山口 健二**
放射線被ばく管理に関する労働安全衛生マネジメント
システム導入支援事業 令和7年度 好事例
公益財団法人原子力安全技術センターHP

【恵寿総合病院 理学療法課】

論文

- **田中 秀明**、川上 直子、諏訪 美幸、川北 慎一郎
当院リハビリテーションセンターでの震災対応について
恵寿総合病院医学雑誌 Vol.13:47-52,2025.

【恵寿総合病院 薬剤課】

寄稿

- **室宮 智彦**
巻頭言
石川病薬ニュース No.190:1,2025.

【恵寿総合病院 臨床栄養課】

論文

- **前田 美穂**、小蔵 要司、中川 紀温
恵寿総合病院における令和6年能登半島地震後の
フードサービスの対応
恵寿総合病院医学雑誌 Vol.13:36-42,2025.
- **小蔵 要司**、社本 博、中原 さおり、白土 健吾、
宮崎 慎二郎、森山 大介、石田 優利亜、飯田 有輝、
阿部 沙耶香、西山 愛、長野 文彦、百崎 良
第9回サーベイランス「GLIM基準、リハ・栄養・口腔の三位
一体の取り組み、リハ栄養指導士の現状」の結果報告
リハビリテーション栄養 9(1) 88-94,2025.
- **Yoji Kokura.**
Malnutrition and 1-Year All-Cause Mortality in
Older Residents at an Integrated Facility for
Medical and Long-Term Care.
Journal of Japanese Association of
Rehabilitation Nutrition 9(1) 78-87, 2025.
- **Akio Shimizu**, Yasutake Tomata, Yoko
Hasegawa, Yoji Kokura, Yoshinaga Okugawa,
Rei Kawamura, Yoshino Ogasawara, Ryo
Momosaki.
GLIM Criteria-Defined Malnutrition and Short-
Term Mortality in Acute Care Hospitals: A
Nationwide Claims-Based Historical Cohort
Study.
Clinical Nutrition 54 83-90, 2025.
- **Hiroaki Teramatsu**, Ryo Momosaki, Hiroki
Sato, Shinya Sato, Yoji Kokura, Norio Suzuki.
Effects of Enhanced Nutritional Care in Heart
Failure — A Systematic Review and Meta-
Analysis — .
Circulation Reports 8(1):27-38, 2025.

寄稿

- **小蔵 要司**
災害時の低栄養 — 問題点とその対応
老年栄養ドットコム 2025.11.10
<https://geriatrics.jp/>

インタビュー

- 小蔵 要司
災害時の栄養3 災害を機に管理栄養士の仕事量は増大、
利用者の摂取エネルギー量に十分な配慮が必要
ヘルスケア・レストラン 33(7) :14-15, 2025.
- 小蔵 要司
日本リハビリテーション栄養学会大会長に-小蔵要司・恵寿
総合病院臨床栄養課に聞く ◆Vol.1
m3.com 2025.8.4
<https://www.m3.com/news/kisokoza/1282315>
- 小蔵 要司
管理栄養士がベッドサイドで患者に聞き取り、
医師のタスクシェアに貢献
-小蔵要司・恵寿総合病院臨床栄養課に聞く ◆Vol.2
m3.com 2025.8.11
<https://www.m3.com/news/kisokoza/1282316>
- 小蔵 要司
多彩な道のリアルな歩み ひとりではない :
臨床・研究・災害支援をつなぐキャリアと出会い
Nutrition Care 2026年2月号 Vol.19:2026.

【恵寿総合病院 臨床検査課】

論文

- 尾田 真一
令和6年能登半島地震
～その振り返りと復興へ向けての課題～
恵寿総合病院医学雑誌 Vol.13:43-46,2025.

【恵寿総合病院 臨床工学課】

論文

- 栃原 さとみ
令和6年能登半島地震における透析医療の継続
～水質管理の課題と教訓～
恵寿総合病院医学雑誌 Vol.13:1-7,2025.

【恵寿総合病院 北陸緑内障センター】

論文

- 杉山 和久
C型肝炎に対する抗ウイルス治療の歩みと現状
恵寿総合病院医学雑誌 Vol.13:113-123,2025.

寄稿

- 杉山 和久
受賞 日本眼科学会特別貢献賞受賞
十全同窓会会報 191:20,2025.

【恵寿総合病院 地域包括ケアセンター】

インタビュー

- 本橋 敏美
第4章 (1) 能登半島地震を経験して
医療安全BOOKS 11
患者と自分たちを守る KYT防災ブック:116-122,2025.

【訪問リハビリステーション 恵寿】

論文

- 柴田 真行
震災後の訪問リハビリテーションの取り組みと重要性
訪問リハビリテーション研究 第5巻:2026.

【恵寿金沢病院 血栓・止血・血管病センター】

論文

- Yamakawa K, Asakura H, et al.
Clinical practice guidelines for management of
disseminated intravascular coagulation in Japan
2024. Part 1: sepsis. Int J Hematol 121: 592-
604, 2025.
- Kawano N, Asakura H, et al.
Clinical practice guidelines for management of
disseminated intravascular coagulation in Japan
2024. Part 2: hematologic malignancy. Int J
Hematol 121: 605-621, 2025.
- Seki Y, Asakura H, et al.
Clinical practice guidelines for management of
disseminated intravascular coagulation in Japan
2024. Part 3: solid cancers and vascular
abnormalities. Int J Hematol 121: 622-632,
2025.
- Hayakawa M, Asakura H, et al.
Clinical practice guidelines for management of
disseminated intravascular coagulation in Japan
2024: part 4-trauma, burn, obstetrics, acute
pancreatitis/liver failure, and others. Int J
Hematol 121: 633-652, 2025.
- Asakura H.
Clinical practice guidelines for management of
disseminated intravascular coagulation in Japan
2024: significance of guidelines developed for
each underlying disease. Int J Hematol 121:
586-591, 2025.

- **Imi T**, Asakura H, Sato K, Yamada S, Yoroidaka T, Zaimoku Y, Maruyama H, Hosokawa K, Yoshida A, Takamatsu H, Ishiyama K, Yamazaki H, Kobayashi H, Nakao S, Miyamoto T.
Transient lupus anticoagulant induced by adenovirus cystitis in a bone marrow transplant recipient. *Int J Hematol* 122: 605-610, 2025.
- **Yamada S**, Ueda H, Suga Y, Miyamoto T, Asakura H.
Decreased factor XIII activity and haptoglobin may be markers of enhanced-fibrinolytic-type disseminated intravascular coagulation status: Case Report. *Medicine* 104(30): e43556, 2025.
- **Asakura H**, Iwabuchi M, Fujita M, Ito S, Kanda Y, Kuwazawa H.
A post-marketing surveillance study on the safety and effectiveness of recombinant antithrombin gamma in patients with congenital antithrombin deficiency in Japan. *Thromb J*, 2026.doi: 10.1186/s12959-026-00844-x.2026.
- **Takenaka R**, Tomiyama M, Watanabe H, Yamada S, Morishita E, Suga Y, Asakura H.
Prolonged low-dose tPA ameliorates coagulopathy and organ injury in an LPS-induced rat DIC model. *Int J Hematol*, 2026.doi: 10.1007/s12185-026-04187-1.
- **Sakaguchi M**, Asakura H, et al.
Thrombocytopenia involving both disseminated intravascular coagulation due to aortic aneurysm and immune thrombocytopenia. *J Nippon Med Sch*, in press.
- **山田 真也**, 朝倉 英策
ワクチン起因性免疫性血栓性血小板減少症（VITT）と凝固線溶異常
医学のあゆみ 294:855-861,2025.
- **山田 真也**, 朝倉 英策
白血病におけるDICの診断と治療
日本臨牀 83:396-401,2025.
- **朝倉 英策**
自己免疫性凝固因子欠乏症～診断上のピットフォール～
*日本臨床検査医学会誌*73:388-392,2025.

- **朝倉 英策**
研究四方山話「DICと共に歩んだ人生」
日本血栓止血学会誌 36:688-693,2025.
- **朝倉 英策**
出血性素因の分類と診療上のピットフォール
*日本臨床皮膚科医学雑誌*42:650-656,2025.
- **山田 真也**, 朝倉 英策
さまざまな血管異常症に伴うDICの診断と治療
*日本血栓止血学会誌*36:645-652,2025.
- **荒幡 昌久**, 朝倉 英策
自己免疫性後天性凝固第X（10）
因子欠乏症 *日本血栓止血学会誌*37:27-32,2026.

寄稿

- 朝倉 英策
肝障害
生活情報誌salsa（サルサ） 春号:2025.
- 朝倉 英策
熱中症
生活情報誌salsa（サルサ） 夏号:2025.
- 朝倉 英策
女性ホルモン製剤のリスク
生活情報誌salsa（サルサ） 秋号:2025.
- 朝倉 英策
インフルエンザ
生活情報誌salsa（サルサ） 冬号:2025.
- 朝倉 英策
2025年度 Sysmex Hemostasisサーベイレポート

分担執筆

- **山田 真也**, 朝倉 英策
播種性血管内凝固 患者の予後を改善するために:萩原 将太郎 編.血液内科診療の掟.中外医学社,
209-221,2026.
- **朝倉 英策**
血栓止血領域:岡庭 豊 編.イヤート2027 内科・外科
編.メディックメディア,2026.

【恵寿金沢病院 理学療法課】

論文

- **Tsuyoshi Ohmura**, Katsushi Suwa
Assessing the Validity and Reliability of a Markerless Motion Capture System for Sagittal-Plane Gait Range of Motion.
Cureus. 2025 Dec 22;17(12):e99875

【恵寿金沢病院 作業療法課】

論文

- 東川 哲朗
令和6年能登半島地震における
石川県作業療法士会の活動
作業療法ジャーナル59:1076-1082,2025.

令和6年能登半島地震からの復興状況の紹介
身障協 令和7年9月121号:21-24,2025.

【恵寿金沢病院 薬剤課】

論文

- 宮森 久志、酢野 亜由子、村田 了一、山下 剛史、
高倉 美穂、三坂 亜希、稲葉 由美子、上田 幹夫、
大竹 茂樹
当院における多発性骨髄腫自家末梢血管細胞移植
レジメンのクリニカルパスへの移行
全日本病院協会誌 Vol.36-1:357-362,2025.
- 篠島 千佳、宮森 久志、横山 麻美、島本 祥代、
高倉 美穂、三坂 亜希、稲葉 由美子、上田 幹夫、
大竹 茂樹
当院における医薬品管理業務の効率化とタスクシフト
全日本病院協会誌 Vol.36-1:381-386,2025.

【介護老人保健施設 和光苑】

論文

- 尾蔵 亜矢子
多くの人に支えられ皆で乗り越えた震災
恵寿総合病院医学雑誌 Vol.13:83-86,2025.

【介護医療院 恵寿鳩ヶ丘】

インタビュー

- 鶴野 誠
想定外を想定する～能登半島地震の被災経験から～
日本介護福祉士会ニュース「Rashiku」
Vol.183 2025.8.15

【在宅複合施設 ほのぼの】

論文

- 古木 恵実子
鶴友苑における令和6年能登半島地震を振り返って
恵寿総合病院医学雑誌 Vol.13:87-90,2025.

【苑長 今寺 忠造】

論文

- 今寺 忠造、芳原 哲弥
実践紹介:徳充会の災害に対する取り組みと備え、

学会発表

【本部 本部長 進藤 浩美】

- ・ **進藤 浩美**、川上 直子、五十嵐 満哉
60歳以上の医療・介護送迎業務者の運転評価
～作業療法士からの提言～
第33回石川県作業療法学会
2025.6.29 金沢市

【恵寿総合病院 血液内科】

- ・ **山崎 雅英**、山口 拓也、木村 真弓、河合 英里奈、尾田 真一
多職種連携による血液製剤適正使用の試み
第73回日本輸血・細胞治療学会学術集会
2025.5.29-31 札幌市
- ・ **河合 英里奈**、木村 真弓、山口 拓也、尾田 真一、山崎 雅英
能登中部医療圏における血液製剤の適正使用と廃棄削減への取り組み
第73回日本輸血・細胞治療学会学術集会
2025.5.29-31 札幌市
- ・ **山崎 雅英**、中川 紀温
当院における高齢者銅欠乏性貧血の臨床的特徴
第67回日本老年医学会学術集会
2025.6.27-29 千葉市
- ・ **山崎 雅英**、谷田部 美千代、土谷 節
介護老人保健施設（老健施設）における成人水痘感染
第40回日本環境感染学会総会・学術集会
2025.7.10-12 横浜市
- ・ **谷田部 美千代**、山崎 雅英
介護老人保健施設（老健施設）における顔面帯状疱疹 からの水痘感染
～空気感染対策の重要性と教育支援の必要性～
第40回日本環境感染学会総会・学術集会
2025.7.10-12 横浜市
- ・ **杉下 翔**、山崎 雅英、中川 紀温、上田 善道
ベーチェット病様腸管病変を発症した8 trisomy 骨髄異形成症候群の1例
第43回日本血液学会北陸地方会 2025.7.19 河北郡
- ・ **山崎 雅英**
各種検査より当初、急性前骨髄性白血病と診断した、骨髄異形成を伴う急性骨髄性白血病の一例
第72回日本臨床検査医学会学術集会

2025.8.28-31 千葉市

- ・ **稲岡 涼**、中川 紀温、山崎 雅英
亜鉛欠乏による食思不振・筋力低下が疑われた1例
第258回北陸地方会 2026.3.1 福井市

【恵寿総合病院 呼吸器内科】

- ・ **田口 哲源**、松岡 寛樹、中井 知帆香、掛下 和幸、上田 善道
MET阻害薬PD後カルボプラチン+アブラキサンにより良好な治療効果を得られているMET遺伝子陽性類上皮血管肉腫の一例
第79回日本肺癌学会北陸支部学術集会
2025.7.26 金沢市
- ・ **中村 友哉**、松岡 寛樹、掛下 和幸、中井 知帆香
髄膜炎菌による肺炎を呈した肺癌患者の1例
第257回日本内科学会北陸地方会
2025.9.7 河北郡
- ・ **中村 友哉**、松岡 寛樹、掛下 和幸、中井 知帆香
PD-L1強陽性の進行期肝様腺癌に対して免疫チェックポイント阻害薬を併用した化学療法を行った1例
第66回日本肺癌学会学術集会
2025.11.6-8 東京都

【恵寿総合病院 代謝内分泌内科】

- ・ **宮本 正治**、吉倉 昌平
2024年1月1日能登半島地震罹災地域にある恵寿総合病院での糖尿病患者のHbA1cの経過
第68回日本糖尿病学会 年次学術総会
2025.5.29-31 岡山市
- ・ **塩谷 昌大**、宮本 正治
能登半島地震後、インスリン（イ）治療例HbA1c悪化はCGM（リブレ）使用例で軽度だった
第99回日本糖尿病学会中部地方会
2025.9.7 名古屋市

【恵寿総合病院 消化器内科】

- ・ **藤原 秀**
肝嚢胞による圧排に伴う胆管炎に対して経皮経肝ドレナージが治療に有用であった一例
第140回日本消化器病学会 北陸支部例会
2025.10.19 金沢市

- ・ **初井 智陽**、吉尾 隆利
自己免疫性膵炎の治療により改善傾向を示した
胃静脈瘤の一例
第125回日本消化器内視鏡学会北陸支部例会
2025.12.7 金沢市

【恵寿総合病院 循環器内科】

- ・ **道谷 直樹**
May-Thurner症候群に対してEVTを行った症例
第52回日本心血管インターベンション治療学会
東海北陸地方会
2025.5.23 金沢市
- ・ **金田 朋也**
IVUSカテーテルが捻じれて抜去困難となった
急性心筋梗塞の1例
第52回日本心血管インターベンション治療学会
東海北陸地方会
2025.5.24 金沢市
- ・ **西澤 和彦**、道谷 直樹、真弓 卓也、金田 朋也
消化器症状が先行した衝心脚気の1例
第256回北陸地方会
2025.6.22 富山市
- ・ **沼田 龍太郎**、真弓 卓也、道谷 直樹、金田 朋也
急性下壁梗塞に合併した右室自由壁破裂の1例
第150回日本循環器学会 北陸地方会
2025.6.28 金沢市
- ・ **稲岡 涼**、真弓 卓也
新ガイドラインへの提言
第73回心臓病学会学術集会
2025.9.19-21 高知市

【恵寿総合病院 産婦人科】

- ・ **麻野 徳仁**、安田 豊、小平 雄一、山田 野々花、
新井 隆成
頸管ポリープからびまん性大細胞型B細胞性
リンパ腫の診断となった1例
第77回日本産科婦人科学会 学術集会
2025.5.24-25 岡山市
- ・ **稲岡 涼**、新井 隆成、麻野 徳仁、安田 豊
Swansea診断基準を満たさない
急性妊娠脂肪肝の一例
第61回日本周産期・新生児医学会学術集会
2025.7.4 大阪市

【恵寿総合病院 リハビリテーション科】

- ・ **小竹 源紀**、川北 慎一郎
上下肢痙縮へのボツリヌス治療における
ボツリヌス投与量と筋体積に関する考察
日本リハビリテーション医学会 北陸地方会
2025.8.30 金沢市

【恵寿総合病院 病理診断科】

- ・ **杉下 翔**、山崎 雅英、中川 紀温、上田 善道
ベーチェット病様腸管病変を発症した
8 trisomy 骨髄異形成症候群の1例
第43回日本血液学会北陸地方会
2025.7.19 河北郡

【恵寿総合病院 健康管理部】

- ・ **新木 可奈子**、前多 亜佐子、片岡 日菜子、桐山 正人
能登半島地震後12ヶ月間における健診受診者の
体重及び脂質の動向に関する調査
第66回全日本病院学会 in 北海道
2025.10.11-12 札幌市

【恵寿総合病院 看護部】

- ・ **櫻 栄一郎**
RPAを利用し物理的身体拘束患者の把握を行い、
身体拘束率を可視化し、ケアの改善を目指す
第26回日本医療情報学会 看護学術集会
2025.6.27-28 鹿児島県
- ・ **戸田 秀之**
生成AIを活用した退院時看護要約の
効率化に関する実証実験
第26回日本医療情報学会 看護学術大会
2025.6.27-28 鹿児島県
- ・ **阪口 智恵**
インフォメーション・エクステンジ52「特定行為研修修了者
の活用に向け看護管理者が担う役割とは？」
第29回日本看護管理学会学術集会
2025.8.22-23 札幌市
- ・ **櫻 さおり**
ユマニチュード浸透に向けた組織的支援の効果
～病院全体での推進体制構築の実践報告～
第7回日本ユマニチュード学会
2025.9.27-28 東京都

- ・ **達 結菜**、高本 一枝、新井 隆也
多職種協働セルフケア方式の強化に向けた
栄養管理カンファレンスの導入と現状課題の抽出
第10回ALSO-Japan 学術集会
2025.10.4 高岡市

- ・ **南 圭一郎**
Teamsを活用した救急外来の災害初動対応強化
～少人数体制でも機能する情報共有体制～
第66回全日本病院学会 in 北海道
2025.10.11-12 札幌市

【恵寿総合病院 介護部】

- ・ **坂下 美雪**、内田 かおり
身体拘束解除に向けての取り組み
第66回全日本病院学会 in 北海道
2025.10.11-12 札幌市
- ・ **中村 菜**、形田 晃子
介護DXー業務負担軽減に向けた取り組みー
第66回全日本病院学会 in 北海道
2025.10.11-12 札幌市

【恵寿総合病院 事務部】

- ・ **川腰 晃弘**、宮島 文也
ベンチマークを用いた重症度、
医療・看護必要度該当者割合増加対策
第66回全日本病院学会 in 北海道
2025.10.11-12 札幌市

【恵寿総合病院 管理課】

- ・ **飯山 凜**
事務部に係るペーパーレス化を進める
～ワークフローの改善～
第66回全日本病院学会 in 北海道
2025.10.11-12 札幌市

【恵寿総合病院 医事課】

- ・ **川邊 結実**
正確な診療報酬請求と効率的な業務管理を目指して
第66回全日本病院学会 in 北海道
2025.10.11-12 札幌市
- ・ **室塚 大貴**
マイナ保険証利用率50%に向けて
第66回全日本病院学会 in 北海道
2025.10.11-12 札幌市

【恵寿総合病院 入退院管理センター】

- ・ **宮田 琴江**
事例報告
第3回医療福祉連携士の会 入退院セミナー
2026.2.14 オンライン

【恵寿総合病院 医療福祉相談課】

- ・ **小西 紗奈**、中川 一美
DXを活用した入退院支援の充実
～災害時でも継続できた取り組み～
第66回全日本病院学会 in 北海道
2025.10.11-12 札幌市

【恵寿総合病院 放射線課】

- ・ **前川 真里奈**
動画を用いた放射線機器停電時マニュアル作成
～能登半島地震を経験して～
第66回全日本病院学会 in 北海道
2025.10.11-12 札幌市
- ・ **山口 健二**
重要所見画像レポート見逃し防止の取組
～RPA×生成AIコラボ～
第66回全日本病院学会 in 北海道
2025.10.11-12 札幌市

【恵寿総合病院 理学療法課】

- ・ **中村 秀哉**
震災後の環境変化と通所サービス利用困難にてQOLが
低下した症例への支援-訪問リハビリ回数を増やした試み-
第6回日本訪問リハビリテーション協会学術大会in群馬
2025.6.7-8 高崎市
- ・ **川畑 真司**
能登地域における回復期リハビリテーション病棟の現状と
全国比較
能登脳卒中連携フォーラム 2025.6.11 七尾市
- ・ **川畑 真司**
病院と地域をつなぐ回復期リハビリテーション病棟の役割
第2回介護支援専門員のためのミニ勉強会
2025.8.20 七尾市
- ・ **森田 愛大**
高校球児の肩痛、腰痛に対するリハビリテーションの一症例
～当院外来スポーツリハビリ活動を経験して～
第41回東海北陸理学療法学会学術大会
2025.10.25-26 福井市

- ・ **無量崎 遥**、小山 多映子
右視床出血後の歩行再建にrTMSを活用した一例
第9回 能登脳卒中地域連携症例検討会
2025.12.10 七尾市
 - ・ **城石 琴美**
パーキンソン病に対するrTMSが歩行機能改善に有効であった一例
第34回石川県理学療法学会
2026.3.1 金沢市
 - ・ **高野 凌**
片麻痺を伴う重度内反尖足における外科的治療後の理学療法で歩容が改善した一症例
第34回石川県理学療法学会
2026.3.1 金沢市
 - ・ **神田 真奈**
急性心筋梗塞入院患者における在院日数延長の関連因子の検討
第34回石川県理学療法学会
2026.3.1 金沢市
 - ・ **山口 颯斗**
脳卒中後遺症に対するrTMS併用リハビリテーションが下肢機能改善に有効であった一例
第34回石川県理学療法学会
2026.3.1 金沢市
 - ・ **羽根 亜依**
脊椎圧迫骨折患者の低栄養で影響を及ぼす要因の検討
第34回石川県理学療法学会
2026.3.1 金沢市
 - ・ **小谷 恭平**、川畑 真司、田中 秀明、小蔵 要司、平井 文彦、川北 慎一郎
体重減少を呈したウェルニッケ脳症、脚気ニューロパチー患者に対するリハビリテーション介入：症例報告
第15回日本リハビリテーション栄養学会
2026.3.14 金沢市
 - ・ **福井 桃菜**、角平 実莉、小谷 恭平、川畑 真司、田中 秀明、小蔵 要司、川北 慎一郎
回復期リハビリテーション病棟の脳卒中患者における大腿四頭筋厚、筋輝度の変化と日常生活動作との関連
第15回日本リハビリテーション栄養学会
2026.3.14 金沢市
- 【恵寿総合病院 作業療法課】
- ・ **川上 直子**
iPhone導入による業務変革
第33回石川県作業療法学会
2025.6.29 金沢市
 - ・ **青木 佳耶子**
衣服の形状把握と自己教示による動作定着への介入が更衣動作介助量軽減につながった右脳出血患者の一例
第33回石川県作業療法学会
2025.6.29 金沢市
 - ・ **岡原 くるみ**
早期復職を望む失語症・注意障害の症例への介入—自己の能力への気づきに対するフィードバックの工夫—
第33回石川県作業療法学会
2025.6.29 金沢市
 - ・ **坂本 也哉子**
当院の急性期リハビリでの早番を利用したADL介入術後早期の集中的な食事動作練習により自力摂取につながった頸椎性脊髄症患者の一例
第33回石川県作業療法学会
2025.6.29 金沢市
 - ・ **川上 直子**
質の向上を目指した全職員へのユマニチュード浸透への取組
第66回全日本病院学会 in 北海道
2025.10.11-12 札幌市
 - ・ **五十嵐 満哉**
多様な形での社会参加を支援出来る訪問作業療法の効果
～重症度が高い神経難病患者2事例を通して～
第59回日本作業療法学会
2025.11.7-9 高松市
 - ・ **宮川 智**
自動車運転困難となったが、電動アシスト四輪車への移行により外出頻度・他者交流が向上した一事例
第59回日本作業療法学会
2025.11.7-9 高松市
 - ・ **北谷 渉**
脳梗塞後上肢麻痺者に対する、回復段階に応じた複合的介入
第24回東海北陸作業療法学会
2026.1.10-11 名古屋市
 - ・ **川端 ひかり**
両側視床梗塞により過睡眠をきたした患者の覚醒状態に応じたADLの検討
第24回東海北陸作業療法学会
2026.1.10-11 名古屋市

- ・ **千葉 万菜**

左手での物品把持が困難であった患者に対する
上肢機能に着目した復職支援
第24回東海北陸作業療法学会
2026.1.10-11 名古屋市

【**恵寿総合病院 言語療法課**】

- ・ **藪下 千穂**

中学生まで医療機関に繋がらなかった読み書きに遅れを
認める一症例 ―読みについての考察を中心に―
第535回北陸言語障害研究会
2025.5.10 高岡市

- ・ **豊田 はるか**、木村 聖子、荒尾 祐希、諏訪 美幸、
藪下 千穂、川北 慎一郎

再入院してバルーン拡張法を行ったことで希望する
食形態の摂取が可能となった右延髄・小脳梗塞の一例
第26回日本言語聴覚学会
2025.6.28 山形市

- ・ **藪下 千穂**、木村 聖子、小蔵 要司、藪越 文佳、
豊田 はるか、荒尾 祐希、諏訪 美幸、川北 慎一郎

舌運動機能低下が目立った嚥下障害へのリハビリテーション
と栄養管理の連携－左延髄出血の一症例－
第15回 日本リハビリテーション栄養学会学術集会
2026.3.14 金沢市

【**恵寿総合病院 薬剤課**】

- ・ **室宮 智彦**、戸部 純菜、小谷 薫

ダブルバッグ製剤の隔壁開通忘れ削減プロジェクトの成果
第35回日本医療薬学会年会
2025.11.22-24 神戸市

【**恵寿総合病院 臨床栄養課**】

- ・ **小蔵 要司**

急性期脳卒中患者における機能予後指標としての
下腿周囲長:後ろ向きコホート研究
日本栄養治療学会 中部支部
第19回支部学術集会
2025.7.20 富山市

- ・ **小蔵 要司**

ケアミックス型病院における病棟配置
第1回日本病態栄養学会東海北陸地方会
2025.8.23 名古屋市

- ・ **小蔵 要司**

介護保険施設における令和6年能登半島地震後の

栄養状態の変化

第27回日本褥瘡学会学術集会
2025.8.30 横浜市

- ・ **小蔵 要司**

GLIM基準による低栄養の診断と実臨床での活用について
第27回日本骨粗鬆症学会
2025.9.5 千葉市

- ・ **山本 真彩**

リハビリテーション・栄養・口腔連携加算を算定した整形外科
科患者における入院時低栄養と日常生活動作の関連
第29回日本病態栄養学会年次学術集会
2026.1.31-2.1 京都市

- ・ **西川 麻里奈**

急性心不全患者におけるGLIM基準低栄養重症度別の
入院中栄養摂取量評価
第29回日本病態栄養学会年次学術集会
2026.1.31-2.1 京都市

- ・ **小蔵 要司**

リハ栄養ケアプロセスにおけるリハ栄養アセスメント
ー臨床推論による最適支援を目指して
第29回日本病態栄養学会年次学術集会
2026.1.31-2.1 京都市

- ・ **山本 知子**

重度低栄養を認めた中心性頸髄損傷患者に対する
リハビリテーション栄養アプローチ
第29回日本病態栄養学会年次学術集会
2026.1.31-2.1 京都市

- ・ **小蔵 要司**

被災地でその人らしく暮らすための栄養支援
ー令和6年能登半島地震での経験から
回復期リハビリテーション病棟協会
第47回研究大会 in 米子
2026.2.6 米子市

- ・ **小蔵 要司**

高齢者施設における栄養支援
ーひとり管理栄養士職場での対応
第41回 日本栄養治療学会学術集会 ワークショップ 05
災害医療における栄養支援
2026.2.13 横浜市

- ・ **木原 亮香**

抗精神病薬が介護老人保健施設認知症入所者の
栄養摂取に与えた影響:症例報告
第15回日本リハビリテーション栄養学会学術集会
2026.3.14 金沢市

- ・ **橋本 小雪**
食行動障害を伴った認知症入所者に対する自力摂取
再獲得のための介入:症例報告
第15回日本リハビリテーション栄養学会学術集会
2026.3.14 金沢市

【恵寿総合病院 臨床検査課】

- ・ **河合 英里奈**
能登中部医療圏における血液製剤の適正使用と廃棄
削減への取り組み
第73回日本輸血・細胞治療学会学術総会
2026.5.30-6.1 札幌市
- ・ **干場 大輔**
血液検査室の異常値/パニック値について
第63回日臨技中部圏支部医学検査学会
2025.11.1-2 三重県
- ・ **尾田 真一**
令和6年能登半島地震における臨床検査課の災害対応と
事業継続計画（BCP）の課題
第43回日本輸血細胞・治療学会 北陸支部例会
2025.11.29 金沢市
- ・ **干場 大輔**
凝固線溶検査のRCPC ～症例から考えてみよう！～
令和7年度日臨技中部圏支部研修会
2025.12.6-7 金沢市
- ・ **中村 彩花**、北野 可那子、古木 孝二、窪 亜紀
血液培養からV.cholerae non-O1,non-O139を
検出した1症例
第50回石川県医学検査学会
2026.3.20 羽咋市
- ・ **青木 秋香**
妊娠高血圧症候群を伴う周産期心筋症の1例
第50回石川県医学検査学会
2026.3.20 羽咋市

【恵寿総合病院 臨床工学課】

- ・ **仙波 由希**、栃原 康則
術中ペースメーカー設定変更後に発生した
心室リード異常アラート ～多職種連携の重要性～
第25回中部臨床工学会
2025.11.1-2 福井市

【恵寿総合病院 感染制御課】

- ・ **谷田部 美千代**、山崎 雅英

介護老人保健施設（老健施設）における
顔面帯状疱疹からの水痘感染
～空気感染対策の重要性と教育支援の必要性～
第40回日本環境感染学会総会・学術集会
2025.7.10-12 横浜市

【恵寿総合病院 臨床研修センター】

- ・ **杉下 翔**、山崎 雅英、中川 紀温、上田 善道
ベーチェット病様腸管病変を発症した
8 trisomy 骨髄異形成症候群の1例
第43回日本血液学会北陸地方会
2025.7.19 河北郡
- ・ **杉下 翔**
EPA(Entrustable Professional Activity)評価を
継続的に受けた外科系臨床研修の成果
第10回石川県研修医学会金沢医療センター
2026.1.31 金沢市

【訪問リハビリステーション 恵寿】

- ・ **柴田 真行**
震災後の訪問リハビリテーションの取り組みと重要性
第26回訪問リハビリテーション協会学術大会
2025.6.7-8 群馬県高崎市

【恵寿金沢病院 血栓・止血・血管病センター】

- ・ **朝倉 英策**
出血性素因の分類と
診療上のピットフォール（シンポジウム）
第41回日本臨床皮膚科医学会総会・臨床学術集会
2025.4.6 金沢市
- ・ **山田 真也**、朝倉 英策
さまざまな血管異常症に伴う
DIC診療ストラテジーと今後の展望（シンポジスト）
第47日本血栓止血学会学術集会 日本血栓止血学会・
日本救急医学会ジョイントシンポジウム
2025.6.29 名古屋

【恵寿金沢病院 外科】

- ・ **道輪 良男**
骨転移に対して薬物療法中Fanconi症候群を認め、
脳梗塞を発症したHER2陽性乳癌の1例
第33回日本乳癌学会学術総会
2025.7.10-12 東京都

【恵寿金沢病院 理学療法課】

- ・ **大村 剛史**

靴サイズは歩行速度および安定性に影響を与えるか

-歩行速度別にみた足長・足囲サイズの影響-

第39回日本靴医学会学術集会

2025.9.5-6 奈良市

- ・ **大村 剛史、諏訪 勝志**

マーカレス動作解析アプリケーションを用いた

歩行評価の妥当性

-慣性センサー式三次元動作解析装置との矢状面比較-

日本臨床バイオメカニクス学会第52回学術集会

2025.11.7-8 京都市

- ・ **大村 剛史、諏訪 勝志**

不適合な靴が歩行時の下肢関節に及ぼす影響

-足長・足囲サイズと関節可動域の関連性-

第13回日本運動器理学療法学会学術大会

2025.11.22-23 大阪市

- ・ **高澤 健吾**

移乗アシストロボットの有効活用に向けて

全国老人保健施設大会

2025.11.27-28 山口県

- ・ **横井 南都希**

老健における嚥下機能低下と低栄養への栄養サポート

全国老人保健施設大会

2025.11.27-28 山口県

【青山彩光苑穴水ライフサポートセンター】

- ・ **浅田 恵果**

小さな思いを叶える支援

第47回全国身体障害者施設協議会研究大会

2025.9.11-12 富山県

【恵寿金沢病院 作業療法課】

- ・ **生田 隆倫、米山 太朗、米山 千尋、東川 哲朗**

作業療法士と管理栄養士が連携して長期の

感染隔離後の血液がん患者の筋力改善を目指した経験

第15回日本リハビリテーション栄養学会学術集会

2026.3.14 金沢市

【恵寿金沢病院 薬剤課】

- ・ **宮森 久志、篠島 千佳、高倉 美穂、三坂 亜希、**

稲葉 由美子、定塚 自由、大竹 茂樹

医薬品等情報関連データベースの再構築による

検索性の改善

第66回全日本病院学会 in 北海道

2025.10.11-12 札幌市

【介護老人保健施設 和光苑】

- ・ **福井 朱美**

法人全体で取り組んだ、認知症高齢者も楽しめる

新たな活動の提供

第26回日本認知症ケア学会大会

2025.5.31-6.1 福岡市

- ・ **福井 朱美、塩谷 はづき**

当介護事業統括部におけるiPhone・AI技術を活用した

送迎システムの導入効果

第33回石川県作業療法士学会

2025.6.29 金沢市

講師・座長・パネリスト等

【理事長 神野 正博】

- 第7回「総合医育成プログラム」診療実践コース
働き方改革と医師需給（講師）
公益社団法人 全日本病院協会
一般社団法人 日本プライマリ・ケア連合学会
2025.4.12 オンライン
- 災害医療について
地域医療のBCM/BCP を考える（講師）
千葉県民間病院協会
2025.5.16 千葉市
- 災害時の医療介護の連携における老健の役割（講師）
介護老人保健施設協議会
第19回東海・北陸ブロック老健大会 富山
2025.5.23 富山市
- 災害でも医療を止めない（講師）
ファストドクター株式会社
2025.6.2 七尾市
- 地域と病院の持続可能性を考える
～2つの災害にどう向き合うか～（講師）
令和7年度 第66回全国公私病院連盟定期総会
2025.6.11 台東区
- 新会長の想い（講師）
全日本病院協会 支部長・副支部長会
2025.6.28 港区
- 未来の“病”院（講師）
全日本病院協会 石川県支部総会
2025.7.5 金沢市
- 医療DXと地域連携（講師）
大阪医療スターアライアンス研究会
第一三共株式会社
2025.7.12 大阪市
- 職員の定着率向上を目指す病院経営
エンゲージメントを高める働きやすい環境の構築（座長）
第27回 医療マネジメント学会学術総会
2025.7.18 仙台市
- 地域医療のBCM/BCP を考える（講師）
～社会課題に向き合うことと能登半島地震の経験～
第3回日本リハビリテーション
医療デジタルトランスフォーメーション学会
2025.7.19 金沢市
- 地域医療の課題について
～能登半島地震を経験して（シンポジスト）
第75回日本病院学会
2025.7.24 長崎市
- 未来の“病”院を考える（講師）
全日本病院協会 富山県支部
2025.8.2 富山市
- “病”院の持続可能性のために
-全日病の未来を語る-（講師）
全日本病院協会 九州各県支部
2025.8.9 福岡市
- ～適者生存の時代へ現場から始める病院改善～
病院の持続可能性のためのKAIZENとは（講師）
2025医療改善「KAIZEN」講演会
2025.8.28 中央区/オンライン
- 病院の持続可能性のためのBCM/BCPを考える
～2つの災害にいかに備えるか～（講師）
日本病院会 2025年度 病院長・幹部職員セミナー
2025.9.25 品川区
- BCP策定研修想定外を想定せよ
～震災でも医療を止めなかったBCM/BCP～（講師）
令和7年度 第2回病院等における災害対策
2025.10.1 大阪市
- 医療のサステナビリティのためのDX戦略（講師）
第25回日本クリニカルパス学会学術集会
2025.10.18 富山市
- 令和6年能登半島地震における
BCM/BCPについて（講師）
東海地域の医療機関における電波利用連絡推進協議会
2025.10.25 名古屋市
- ～2026年度診療報酬改定を見据えた戦略とは
2026年改定に向けて急性期
～回復期病院が取るべき経営戦略～（講師）
日経ヘルスケア
2025.10.26 千代田区
- 医師偏在対策で地域医療は変わるのか（シンポジスト）
第63回全国自治体病院学会 in 群馬
臨床医学部会
2025.10.30 高崎市
- “病”院をぶっ壊せ～病院の持続可能性を考える（講師）
東京青年医会 早朝勉強会
2025.10.31 新宿区

- ・ 社会構造の変化と自然災害
～複合リスク時代への対応力をどう高めるか～（講師）
テルモ株式会社 医療革新リーダー育成プログラム DAY2
2025.11.1 港区
- ・ 災害に対する病院のリスクマネジメント
～2つの災害への対応を考える～第1講・第2講（講師）
京都私立病院協会
2025.11.5 京都市
- ・ 新しい病院経営のゆくえは ～時代の変遷を見据えて～
2つの災害への備え～病院強靱化の必要性（講師）
第24回日本医療経営学会学術集会・総会
2025.11.7 札幌市
- ・ 医療DXの先進事例とその効果について（講師）
株式会社大塚製薬工場
2025.11.12 オンライン
- ・ 病院の持続可能性を考える
～社会の変化にどう対応するか～（講師）
第21回小倉記念病院医療連携会
2025.11.20 北九州市
- ・ “病”院の持続可能性のために（講師）
兵庫県民間病院協会
2025.12.2 神戸市
- ・ 2つのリスクに備えるために
～自然災害と社会構造変化の津波～（講師）
東京大学「臨床死生学・倫理学研究会」
2025.12.3 オンライン
- ・ “病”院をぶっ壊せ
～病院の持続可能性を考える～（講師）
島根県病院団体研修会
2025.12.4 オンライン
- ・ 医療エグゼクティブ・オフィサー養成セミナー マネジメント実践
第9回地域における医療の持続可能性（講師）
公益財団法人日本医療機能評価機構
2025.12.5 千代田区/オンライン
- ・ 縮みゆく社会の中で病院の持続可能性を考える（講師）
宮崎県医師会病院部会・医療法人部会合同研修会講演
2025.12.6 宮崎市
- ・ 第12回医療情報システム論
IoTとAIの取り組みに関して（講師）
順天堂大学 健康データサイエンス学部
2025.12.11 浦安市
- ・ 管理職層育成のためのマネジメント研修会
病院と地域の持続可能性に必要なこと 第2講（講師）
岩手県医療局
2025.12.13 盛岡市
- ・ 災害×医療×医薬品流通を学ぶ（講師）
想定外を想定せよ ノバルティスファーマ
2025.12.18 オンライン
- ・ 特定行為看護師の力を“連携”で活かす
～多様な現場から見る実践と成果～（座長）
2025.12.19 中央区
- ・ 第4期 人口減少時代に病院はどう抗うのか？！（講師）
病院経営プロフェッショナル育成塾
日経ヘルスケア
2026.1.17 千代田区/オンライン
- ・ “病”院をぶっ壊せ
～これからの病院のあり方を考える～（講師）
記念講演会 祝賀会
2026.1.20 七尾市
- ・ 生成AI活用で変わる病院経営（講師）
一般社団法人 日本医療経営学会
第10回 ヘルスケア・スタートアップ研究部会
2026.1.21 中央区/オンライン
- ・ 2026年新春座談会
日本の医療・介護：当面する課題にどう対応するか
人口減少時代に病院はどう抗うのか？！（講師）
医療介護福祉政策研究フォーラム
2026.1.22 千代田区
- ・ 2026年診療報酬改定を展望した病院団体の使命と
病院経営の新戦略（講師）
2026年診療報酬改定と病院経営シンポジウム
2026.1.24 千代田区
- ・ 2025年診療報酬改定をチャンスに、
業績を構築する病院経営戦略とは（コメンテーター）
2026年診療報酬改定と病院経営シンポジウム
2026.1.24 千代田区
- ・ “病”院をぶっ壊せ
～これからの病院のあり方を考える～（講師）
全日本病院協会三重県支部例会
2026.1.30 四日市市
- ・ 第29回食がっつなぐ地域包括エコシステムを考える（講師）
日本病態栄養学会年次学術集会
2026.1.31 京都市
- ・ 全日本病院協会役員－Boditech Med 会議
전일본병원협회 임원－Boditech Med 회의（講師）
日本社会の課題と全日本病院協会
일본 사회의 과제와 전일본병원협회
2026.2.6 春川市

- ・ “病”院をぶっ壊せ
～病院と地域の持続可能性を考える～（講師）
熊本県四病院団体 合同研修会
2026.2.13 熊本市
 - ・ 災害でも医療を止めないために ～能登半島地震の経験から「想定外を想定せよ」～（パネリスト）
第35回シンポジウム
今後の災害を見据えた医療と医療関連サービス
2026.2.20 港区
 - ・ 最新病院経営戦略
病院DXはなぜ必然か（講師）
RX Japan株式会社 メディカルジャパン【大阪】
2026.3.10 大阪市
 - ・ 持続可能な病院経営のための連立方程式（講師）
日本経済新聞社
2026.3.15 千代田区/オンライン
2026.3.17,3.19 オンデマンド配信
 - ・ 全日病会長が語る日本の医療の展望と課題（講師）
特定非営利活動法人 日本医療政策機構
2026.3.26 千代田区
- 【理事長補佐 神野 正隆】**
- ・ 病院DXによる働き方改革・革命～（講師）
アツヴィ株式会社 社内勉強会
2025.4.24 オンライン
 - ・ DXおよびデータドリブン経営が導く
地域医療の新時代（講師）
朝日大学病院 講演会
2025.4.30 岐阜市
 - ・ 当院における生成AIを含めた
病院DXの現状と課題・要望（講師）
ヘルスケアテック議員連盟 衆議院第二委員会
2025.5.15 オンライン
 - ・ 病院DXによる働き方改革～災害でも医療を止めない！
強靱な組織づくり～（講師）
茨城県政策企画部計画推進課
2025.5.22 オンライン
 - ・ 未来の膵がん医療を描き実現する（ディスカッサント）
金沢大学附属病院 革新的膵がん医療研究開発センター
キックオフセミナー
2025.5.28 金沢市
 - ・ 当院における生成AI活用の現在そして未来（パネリスト）
Ubie 日本医療生成AIフォーラム 北陸分科会
2025.5.28 金沢市
 - ・ 記念講演:スマートホスピタル革命
～病院DXが導く地域医療の新時代～（講師）
第27回東海青年医会学会
2025.6.29 名古屋市
 - ・ 病院DX・データドリブン経営による組織改革（講師）
第一三共・高崎総合医療センター 医療マネジメントセミナー
2025.7.9 高崎市
 - ・ 医療現場の未来を拓くDX
～働きがいのある環境をテクノロジーで実現～（講師）
国際モダンホスピタルショー2025
メディカルRPA協会×オープン社 講演会
2025.7.18 江東区
 - ・ 特別講演:私を動かす4つの原動力
～変化・情熱・信念・覚悟～（講師）
第16回IMS医師フォーラム
2025.7.19 千代田区
 - ・ 病院DXが導く地域医療の新時代
～日本の未来を見据えた戦略～（講師）
全国自治体協議会 医療DXオンラインイベント
2025.8.6 オンライン
 - ・ 地域医療の未来を考えるスタディツアー in 能登（講師）
2025.8.20 七尾市
 - ・ 特別講演:スマートホスピタル革命
～病院DXで実現する医療と働き方の最適解～（講師）
近森病院 高知医療再生機構補助金 Hybrid講演会
2025.9.4 高知市
 - ・ クラウドファンディング・地域医療
READYFORランチョンセミナー（講師・座長）
第66回全日本病院学会 in 北海道
2025.10.12 札幌市
 - ・ DX×働き方改革＝スマートホスピタル革命
～DX・AIで変わる診療の質と効率～（講師）
佐久医療センター講演会
2025.10.17 長野県佐久市
 - ・ 病院DX・データドリブンな働き方改革～災害でも医療を
止めない！強靱な組織づくり～（講師）
長野県診療情報管理懇話会 講演会
2025.10.18 長野県佐久市
 - ・ スマートホスピタル革命
～病院DXが導く地域医療の新時代～（講師）
福島県法人立病院協会 講演会
2025.11.1 福島県
 - ・ 肝臓を生き生きと
～B型・C型肝炎について正しく知ろう～（講師）

- 能登北部保健福祉センター市民公開講座
2025.11.5 石川県輪島市
- 医療秘書 & 生成AI活用について（講師）
全日本病院協会
医師事務作業補助者・実践力向上セミナー
2025. オンデマンド配信
- データが変える病院経営
～人口減少社会を生き抜くDX戦略～（講師）
第79回国立病院総合医学会 in 金沢
2025.11.8 金沢市
- 肝臓を生き生きと
～B型・C型肝炎について正しく知ろう～（講師）
能登中部保健福祉センター市民公開講座
2025.11.19 石川県
- 病院DXが拓く地域医療の未来戦略（講師）
小倉医師会・私的病院会 講演会
2025.11.21 北九州市
- 病院DXで築くレジリエント・ヘルスケア
～地域医療を守るための創造～（講師）
第10回JCHO地域医療総合医学会
シンポジウム「こんな病院の話が聞きたい」
2025.11.28 横浜市
- 病院DXによるスマートホスピタル革命（講師）
日本病院会 石川県支部 講演会
2025.12.4 石川県
- 恵寿総合病院におけるがん医療連携（講師）
RARE-NOTO 希少がん能登エリア連携セミナー
2025.12.15 七尾市
- DX & DATAを活用した組織改革と
人材育成（DESIGN）（講師）
長野県病院協議会・北信ブロック会 主催講演会
2026.1.15 長野県
- 病院DXによる組織改革（講師）
MMPG（メディカル・マネジメント・プランニング・グループ）
第181回定例研修会
2026.1.23 江東区
- 認知症（市民公開講座）オープニング：
恵寿総合病院について（講師）
恵寿総合病院 市民公開講座
2026.2.8 七尾市
- 基調講演：病院経営から見たPFM（講師）
第3回医療福祉連携士の会
入退院支援まるわかりガイド出版記念セミナー
2026.2.14 オンライン

- 病院DX・AX・データドリブンな働き方改革（講師）
国立病院機構・診療情報管理士協議会
関東信越支部
2026.
- VUCA時代を生き抜くために
～DX & DATAによる実践的組織改革～（講師）
全国自治体病院協議会・奈良県支部 講演会
2026.3.6 奈良県
- 地域医療を守るための取り組み
～病院DXによる組織改革～（講師）
エーザイカレッジ・明祥 社内研修
2026.3.7 金沢市
- 当院におけるDX・AI・データドリブンヘルスケア（講師）
第一三共・金沢医科大学 金沢腫瘍内科セミナー
2026.3.16 石川県金沢市
- 病院DXによる組織改革と人材育成（講師）
第50回石川県医学検査学会
2026.3.20 石川県羽咋市

【本部 本部長 進藤 浩美】

- 幼少期に対麻痺となり社会人になるまでの
専門的支援と連携 ～雇用の立場から～（シンポジスト）
第33回石川県作業療法学会
2025.6.29 金沢市
- 人生100年時代、定年制を撤廃！職員が60歳以降も
継続的に働ける多様な雇用制度と仕組みづくり（講師）
CareTEX北陸'25 専門セミナー 人材育成コース
2025.11.21 金沢市
- AIの力で医療・介護送迎スマートに！
恵寿総合病院をはじめ董仙会の
送迎デジタル化戦略（講師）
コトセア 医療機関向けウェビナー
2026.2.20 オンライン

【恵寿総合病院 病院長 鎌田 徹】

- 災害への備え・実際の対応・これから ―令和6年能登半島
地震を経験した病院からの視点―（講師）
令和7年度在宅医療提供機関におけるBCP
（事業継続計画）策定支援研修 病院・有床診療コース
2025.10.25 オンライン
- 恵寿総合病院 施設紹介（講師）
第4回金沢大学外科アライアンス KASA総会
金沢大学医学部
2026.1.10 金沢市

- ・ 高齢転移再発乳癌患者の薬物療法 ～多職種・多施設連携による副作用マネジメントの実践～（座長）
乳がん治療セミナーin能登 ～一般病院向け～
2026.3.11 オンライン

【恵寿総合病院 血液内科】

- ・ 山崎 雅英
Waldenstrom Macroglobulinemiaの新たな治療戦略
-ASPEN Studyを紐解く-（座長）
BeiGene Japan Hematology Seminar
2025.4.12 金沢市
- ・ 中川 紀温
濾胞性リンパ腫治療の実際（講師）
エプキンリ皮下注4mg/48mg適応追加記念
講演会 in 石川
2025.5.24 金沢市
- ・ 山崎 雅英
AYA世代のがん治療（座長・講師）
第58回がん関連勉強会
2025.6.19 オンライン
- ・ 中川 紀温
PNH症例提示（ディスカッサント）
ピアスカイ発売一周年記念講演会 in 北陸
2025.7.17 金沢市
- ・ 中川 紀温
能登のCAD診療（講師）
CAD CONFERENCE in 北陸
2025.7.25 金沢市
- ・ 山崎 雅英
免疫療法の治療介入のタイミング（座長）
エプキンリの部屋
2025.8.20 オンライン
- ・ 山崎 雅英
がん化学療法における血球減少症対応と
無菌室管理（座長・講師）
第59回がん関連勉強会
2025.8.21 オンライン
- ・ 山崎 雅英
低リスクMDSの長期治療戦略
～ルスパテルセプトをどう活用するか～（座長）
Kanazawa Hematology Meeting 2025 -MDS-
2025.9.5 金沢市
- ・ 中川 紀温
穴水総合病院血液疾患勉強会（講師）

穴水総合病院血液疾患勉強会

2025.10.22 オンライン

- ・ 山崎 雅英
高齢者のがん治療（座長・講師）
第60回がん関連勉強会
2025.11.20 オンライン
- ・ 山崎 雅英
オープニングリマークス（オープニングリマークス）
血液がん地域連携セミナー in 能登
2026.1.28 七尾市/オンライン
- ・ 中川 紀温
地域連携の望むこと
～血液がん リンパ腫を中心に～（講師）
血液がん地域連携セミナー in 能登
2026.1.28 七尾市/オンライン
- ・ 山崎 雅英
当院でのがん化学療法における
薬薬連携について（座長）
第61回がん関連勉強会
2026.2.12 オンライン
- ・ 中川 紀温
当院におけるリンパ腫診療に関して（講師）
日本新薬営業所内勉強会
2026.2.19 七尾市
- ・ 中川 紀温
能登のMDS診療（講師）
Low-Risk MDS Management Seminar in 北陸
2026.3.18 金沢市

【恵寿総合病院 呼吸器内科】

- ・ 中井 知帆香
呼吸内科医のCareer History（講師）
Career Design Seminar 2025
2025.4.17 金沢市
- ・ 松岡 寛樹
今さら聞けない？間質性肺炎の基本と
最近の話題（座長）
Short Lecture 間質性肺炎をもっと知ろう
2025.7.31 七尾市
- ・ 掛下 和幸
今さら聞けない？間質性肺炎の基本と
最近の話題（講師）
Short Lecture 間質性肺炎をもっと知ろう
2025.7.31 七尾市

- ・ 松岡 寛樹
症例から肺MAC症診療を考える（講師）
能登肺MAC症セミナー
2026.3.18 七尾市

【恵寿総合病院 腎臓内科】

- ・ 矢部 友久
糖尿病関連腎臓病について（講演）
河北郡市医師会
2025.7.30 七尾市
- ・ 岡田 圭一郎
Na排泄障害部位の推測に基づくCKD治療
～SGLT-2阻害薬を中心に～（座長）
七尾市医師会学術講演会
2025.9.12 七尾市
- ・ 岡田 圭一郎
CKD早期介入のための地域連携（座長）
七尾市医師会学術講演会
2025.9.12 七尾市
- ・ 矢部 友久
CKD早期介入のための地域連携（パネリスト）
七尾市医師会学術講演会
2025.9.12 七尾市
- ・ 矢部 友久
恵寿総合病院腎臓内科での漢方薬の使用状況（講師）
内灘漢方研究会
2025.11.26 内灘町
- ・ 岡田 圭一郎
CKD診療に関する最近の話題（座長）
ARNI Web Symposium CKD × 高血圧 in 能登
2026.2.25 七尾市

【恵寿総合病院 代謝内分泌内科】

- ・ 宮本 正治
糖尿病講演会（企画・座長）
令和7年度糖尿病患者を助け合う地域連絡協議会
七緒の会
2025.10.30 七尾市
- ・ 宮本 正治
当院におけるベストウエイト外来とチーム医療（座長）
能登エリア 肥満症セミナー
2025.11.13 七尾市
- ・ 宮本 正治
糖尿病患者を助け合う

- 地域連絡協議会 七緒の会の活動（講師）
糖尿病重症化予防ネットワーク事業
令和7年度石川県糖尿病対策成果発表会
2026.2.28 金沢市

【恵寿総合病院 循環器内科】

- ・ 金田 朋也
右冠動脈ステント内再閉塞の1例（コメンテーター）
2025 Kanazawa Coronary Conference
2025.5.23 金沢市
- ・ 道谷 直樹
Young Expert Meeting in 京滋・北陸・三岐
（パネリスト）
2025.10.4 京都府
- ・ 金田 朋也
心不全新ガイドラインに沿った
心不全治療を続けていくために（クロージングリマックス）
のと循環器疾患研究会2025
2025.11.6 七尾市
- ・ 金田 朋也
興味深い経過を辿った高血圧患者の2例
のと循環器疾患セミナー
2025.11.7 七尾市
- ・ 道谷 直樹
イングリシランが適するとの地域の患者像を考える（講師）
Cardiology Expert Meeting
2026.1.8 七尾市
- ・ 金田 朋也
変化を迎えた糖尿病治療～循環器医が考える
マンジャロの活用術～（座長）
循環器内科医視点から糖尿病治療を考える会
2026.3.5 オンライン
- ・ 真弓 卓也
薬剤・臨床研究 ポスターセッション（座長）
第53回日本集中治療医学会学術集会
2026.3.5-7 横浜市
- ・ 道谷 直樹
Medtronic Special Meeting（パネリスト）
2026.3.6 金沢市
- ・ 道谷 直樹
両側EIA～SFAのCTO症例～両側鼠径ヘルニアの併存～
北陸EVT MICHISIRUBE 2nd
2026.3.10 オンライン

【恵寿総合病院 整形外科】

- ・ 森永 敏生
整形外科疾患を考える会（座長）
2025.7.3 七尾市/オンライン
- ・ 稲谷 弘幸
「足、かじってます」（講師）
整形外科疾患を考える会
2026.1.20 七尾市/オンライン
- ・ 森永 敏生
能登PTH Hybrid Seminar（座長）
2026.1.28 七尾市/オンライン

【恵寿総合病院 産婦人科】

- ・ 新井 隆成
令和6年能登半島地震における周産期医療危機
～被災者を中心においた迅速な人道支援が
医療継続性を支える～（講師）
第348回長野県周産期カンファレンス
2025.6.4 オンライン
- ・ 新井 隆成
災害時の母子支援
～災害から妊産婦と乳幼児を守るには～（講師）
令和7年山形県母子保健指導者研修会
2026.2.6 オンライン
- ・ 新井 隆成
SNSを使った被災者側からの自助的情報提供体制は
災害時多職種連携の中心として機能する（パネリスト）
第31回日本災害医学会総会・学術集会
2026.3.19-22 新潟市
- ・ 新井 隆成
災害急性期BCP研修に求められる
患者安全性状況モニターとHHH2（シンポジスト）
第31回日本災害医学会総会・学術集会
2026.3.19-22 新潟市

【恵寿総合病院 リハビリテーション科】

- ・ 川北 慎一郎
2024年度事業報告、2025年度事業計画
能登の回復期リハ病棟の現状と全国比較（講師・座長）
能登脳卒中地域連携協議会
2025.6.11 七尾市
- ・ 川北 慎一郎
能登地区活動報告（講師）
加賀・能登脳卒中連携報告会

2025.7.12 金沢市

- ・ 川北 慎一郎
当院早期アルツハイマー病治療外来の紹介（講師）
能登認知症治療連携セミナー
2025.7.25 七尾市
- ・ 川北 慎一郎
高次脳機能障害と脳病変（講師）
石川県高次脳機能障害支援担当者研修会
2025.8.8 金沢市
- ・ 川北 慎一郎
2025年度前期事業報告
脳血管内治療における抗血小板療法（講師・座長）
能登脳卒中地域連携協議会・脳卒中フォーラム
2025.11.8 七尾市
- ・ 川北 慎一郎
rTMS治療への期待（講師）
石川県脊髄損傷者協会講演会
2025.11.23 金沢市
- ・ 川北 慎一郎
軽度認知障害の診断とその意義（講師）
明祥健康ケア講演会
2025.11.30 七尾市
- ・ 川北 慎一郎
当院における認知症治療とケア（講師）
恵寿総合病院 市民公開講座
2026.2.8 七尾市
- ・ 川北 慎一郎
神経障害性疼痛及び麻痺への新たな治療（講師）
能登脳卒中連携市民公開講座
2026.3.7 七尾市
- ・ 川北 慎一郎
MCI早期診断の意義、他（講師）
認知症市民公開講座
2026.3.28 七尾市

【恵寿総合病院 健康管理部】

- ・ 松野 恵美華
地域における暮らしを支える看護（講師）
七尾看護専門学校
2025.7.2 七尾市
- ・ 松野 恵美華
保健師の役割 ～保健指導について～（講師）
七尾看護専門学校
2025.7.9 七尾市

- ・ 松野 恵美華
健康管理センターの働き（講師）
七尾看護専門学校
2025.7.23 七尾市
- ・ 伊藤 愛
公衆衛生 職場と健康（講師）
七尾看護専門学校
2025.7.28 七尾市
- ・ 百海 千紘
あたまあしこし元気アップ教室（講師）
2025.8.21,11.20 中能登町
- ・ 新木 可奈子
音楽健康セッションで心もからだも健康に！（講師）
金沢市長町地区 地域サロン
2025.8.22 金沢市
- ・ 新木 可奈子
音楽健康セッションで心もからだも健康に！（講師）
七尾市緑ヶ丘町「みどり会」
2025.10.31 七尾市
- ・ 新木 可奈子
音楽健康セッションで心もからだも健康に！（講師）
矢田郷地区コミュニティセンター
2026.1.22 七尾市

【恵寿総合病院 看護部】

- ・ 船山 真理子
看護管理（講師）
七尾看護専門学校
2025.4 七尾市
- ・ 飛田 恵
運動疾患看護（講師）
七尾看護専門学校
2025.4.17,4.24,5.1,5.8,5.15 七尾市
- ・ 森下 弘子
成人看護方法論Ⅳ演習（脳神経疾患看護）（講師）
七尾看護専門学校
2025.4.17,4.24,5.1,5.8,5.15 七尾市
- ・ 菅野 則之
令和6年能登半島地震断水下の透析医療
平時からの備えが生んだ能登の奇跡（講師）
第12回岐阜南部透析交流会
2025.4.24 オンライン
- ・ 竹端 敏、橋本 可菜実
のどま保育園・浜岡保育園対象 BLS講習会（講師）

- 恵寿総合病院 出前講座
2025.7.2-3 七尾市
- ・ 中田 淳也
能登半島地震直後の対応と
今後の対策について（シンポジスト）
第42回日本手術看護学会北陸地区学会
2025.7.5 金沢市
- ・ 井下 歩
七尾看護専門学校 慢性期看護（講師）
2025.7.9,7.31
- ・ 川江 辰徳
脳血管疾患のある方のケアマネジメント（講師）
令和7年度 介護支援専門員更新研修
（専門研修課程Ⅱ）
2025.7.29,8.19,9.12 オンライン
- ・ 柴田 エリ
七尾看護専門学校 消化器看護（講師）
2025.9.4,9.11,9.18,9.25,10.2
- ・ 谷口 隆行
能登半島地震を経験してからの学び（シンポジスト）
第39回日本手術看護学会年次大会
シンポジウムⅠ日本で起こる災害に対する備え
2025.9.20 仙台市
- ・ 木谷 奈津江
介護職員等による喀痰吸引等の実施のための
研修事業（講師） 2025.9.30 七尾市
- ・ 大森 圭子
介護職員等による喀痰吸引等の実施のための
研修事業（講師） 2025.10.1 七尾市
- ・ 酒井 美奈
吸引吸引で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持
～吸引を受ける利用者や家族の気持ちと対応、
説明と同意実技試験（講師）
介護職員による喀痰吸引等研修
2025.10.14,11.13
- ・ 高本 一枝
震災時における産科病棟の現状と今後に向けて（講師）
愛知県看護協会、愛知県助産師会共同事業
2025.10.18 愛知県
- ・ 船山 真理子
能登半島地震を経験した呼吸器疾患看護認定看護師の
振り返り～災害の備えに紡ぐように～（シンポジスト）
第35回呼吸ケア・リハビリテーション学会 学術集会
2025.10.24-25 新潟県

- ・ 森下 弘子
神経症状の評価、看護管理（講師）
新人看護研修プログラム 2025.10.29,11.28 七尾市
- ・ 船山 真理子
病態疾病論 呼吸機能障害看護（講師）
石川県立田鶴浜高等学校 衛生看護専攻科
2025.11-12 七尾市
- ・ 森下 弘子
災害とリハビリテーション
能登半島地震の経験の共有（座長）
日本リハビリテーション看護学会 第37回学術集会
2025.11.1-2 金沢市
- ・ 川江 辰徳
令和7年度専門的看護実践力研修事業
（分野別実践看護師養成研修）脳卒中看護（講師）
2025.11.7,11.14,11.29,12.6 オンライン
- ・ 森下 弘子
脳卒中患者のリスク管理（講師）
社会復帰に向けた多職種連携（講師）
石川県専門的看護実践力研修「脳卒中看護」
2025.11.7,11.14,11.22,11.29,12.6
石川県/オンライン
- ・ 濱崎 圭吾
心不全予防（講師）
中島地区コミュニティセンター笠師保分館
2025.12.5 七尾市
- ・ 高本 一枝
能登半島地震を経験して
～断らない分娩と継続的な対応～（講師）
静岡県看護協会 助産師職能
2025.12.11 静岡県
- ・ 戸田 秀之
災害支援看護（講師）
七尾看護専門学校
2025.12.19,2026.1.9,1.16
- ・ 松江 仁美
優しさが伝わる認知症ケア
～ユマニチュードを知っていますか？～（講師）
恵寿総合病院 市民公開講座
2026.2.8 七尾市
- ・ 寺田 千恵
能登半島地震に学ぶ看護管理と現場対応（講師）
京都府看護協会 東山・山科地区研修
2026.3.11 オンライン

- ・ 船山 真理子
地震後の看護部のBCP見直し（講師）
京都府看護協会 東山・山科地区研修
2026.3.11 オンライン
- ・ 大森 圭子
長期呼吸療法（講師）
七尾市 看護師特定行為研修

【恵寿総合病院 介護部】

- ・ 内田 かおり
外国人介護人材受け入れに関するセミナー（講師）
2025.6.19 金沢市
- ・ 内田 かおり
介護が変わる介護DX（講師）
石川県立志賀高等学校 福祉課コース
2025.7.18 羽咋郡志賀町
- ・ 形田 晃子
介護が変わる介護DX（講師）
石川県立志賀高等学校 福祉課コース
2025.7.18 羽咋郡志賀町

【恵寿総合病院 事務部長 森下 毅】

- ・ DXで叶える職員やりがい度向上（講師）
ランドマークカンファレンス
2025.7.12 東京都
- ・ 放射線領域の災害対策
～能登半島地震を経験して～（講師）
2025年度全国自治体病院協議会放射線部会研修会
2025.7.25 東京都
- ・ 大災害で加速する人口減少と
地域医療の課題（シンポジスト）
第41回日本診療放射線技師学術大会
2025.9.12-14 福井市
- ・ マイナ保険証・電子処方箋について（講師）
出前講座（矢田郷コミュニティセンター）
2025.11.13 七尾市
- ・ 医療DXの活用事例について（講師）
石川県医療勤務環境改善セミナー
2026.2.19 オンライン

【恵寿総合病院 事務部】

- ・ 大嶋 悠一
病院事務職のキャリアデザイン「縁の下では終わらせない
～地域医療を動かす当事者として～」（講師）

The Amakusa Cauldron

2025.9.20 熊本県

- 川腰 晃弘
データセンターが仕掛ける 即応性と現場対応力を高める
データの集約化と見える化の取り組み-「全部署モニター」
の活用を通じて- (シンポジスト)
第63回日本医療・病院管理学会学術総会
指定企画シンポジウム
2025.10.4-5 東京都
- 大嶋 悠一
看護情報学 (講師)
七尾看護専門学校
2025.10-11 七尾市
- 大嶋 悠一
ギルド型共創が切り拓く“漆”の新たな未来 (パネリスト)
病院マーケティングサミットJAPAN2025
2025.11.15-16 大阪府
- 川腰 晃弘
医療データの利活用について (講師)
横浜市立大学大学院
データサイエンス研究科ヘルスデータサイエンス専攻
2026.1.14 オンライン
- 川腰 晃弘
恵寿総合病院 地域連携課の取り組み (講師)
血液がん地域連携セミナー In 能登
2026.1.28 七尾市/オンライン

【恵寿総合病院 管理課】

- 松木 尊紀法、竹端 敏、菅野 則之、田中 秀和、
船木 浩憲、高見 里香
出前講座 BLS講習会 (講師)
鳥屋小学校
2025.6.20 中能登町
- 松木 尊紀法、竹端 敏、菅野 則之
出前講座 BLS講習会 (講師)
能登島地域づくり協議会
2025.11.25 七尾市

【恵寿総合病院 医療福祉相談課】

- 岡崎 美穂
脳卒中患者の社会資源/居宅や地域における生活の特徴
脳卒中患者を支える地域医療の種類と特徴 (講師)
令和7年度専門的看護実践力研修「脳卒中看護」
2025.11.29 オンライン

- 中川 一美
入退院支援の取り組み (講師)
血液がん地域連携セミナーIn 能登
2026.1.28 七尾市/オンライン

【恵寿総合病院 放射線課】

- 櫻井 高大
第14回北陸SOMATOM研究会 (座長)
石川県立中央病院
2026.2.21 金沢市

【恵寿総合病院 理学療法課】

- 石川 貴士
中能登町地域ケア会議 (アドバイザー)
中能登町
2025.6.17 中能登町
- 桶 拓貴
中能登町 地域ケア会議 (アドバイザー)
中能登町 高齢者支援センター
2025.8.19 中能登町
- 中村 秀哉
中能登町 地域ケア会議 (アドバイザー)
中能登町 高齢者支援センター
2025.9.16 中能登町
- 田中 秀明
臨床実習指導者講習会 (講師)
石川県理学療法教育協議会
2025.10.3-4 金沢市
- 桶 拓貴
フレイル対策に関して (講師)
七尾看護専門学校
2025.10.11 七尾市
- 田中 秀明
第23回日本神経理学療法学会学術大会 (座長)
日本神経理学療法学会
2025.10.31-11.1 金沢市
- 桶 拓貴
リハビリテーション・ケア合同研究大会 大阪2025 (座長)
日本訪問リハビリテーション協会
2025.11.21-22 大阪府
- 土肥 哲也
中能登町フレイル予防健康教室 (講師)
中能登町
2026.3.11 中能登町

- ・ 高塚 啓
中能登町フレイル予防健康教室（講師）
中能登町
2026.3.16 中能登町
 - ・ 林 祐里恵
中能登町フレイル予防健康教室（講師）
中能登町
2026.3.19 中能登町
 - ・ 本橋 徹也
中能登町フレイル予防健康教室（講師）
中能登町
2026.3.25 中能登町
 - ・ 桶 拓貴
R7年度 七尾市シルバーリハビリ体操養成講座（講師）
七尾市
通年 七尾市
 - ・ 関 涼花
R7年度 七尾市シルバーリハビリ体操養成講座（講師）
七尾市
通年 七尾市
 - ・ 田中 秀明
内部障害理学療法学（講師）
国際医療福祉専門学校七尾校
通年 七尾市
 - ・ 松本 康嗣
中枢神経障害理学療法学（講師）
国際医療福祉専門学校七尾校
通年 七尾市
 - ・ 今井 香菜子
中枢神経障害理学療法学（講師）
国際医療福祉専門学校七尾校
通年 七尾市
 - ・ 川畑 真司
中枢神経障害理学療法学（講師）
国際医療福祉専門学校七尾校
通年 七尾市
 - ・ 小谷 恭平
中枢神経障害理学療法学（講師）
国際医療福祉専門学校七尾校
通年 七尾市
 - ・ 長谷部 浄英
中枢神経障害理学療法学（講師）
国際医療福祉専門学校七尾校
通年 七尾市
 - ・ 桶 拓貴
骨関節障害理学療法学（講師）
国際医療福祉専門学校七尾校
通年 七尾市
 - ・ 土肥 哲也
骨関節障害理学療法学（講師）
国際医療福祉専門学校七尾校
通年 七尾市
 - ・ 室野 翔太
骨関節障害理学療法学（講師）
国際医療福祉専門学校七尾校
通年 七尾市
 - ・ 三平 拓矢
骨関節障害理学療法学（講師）
国際医療福祉専門学校七尾校
通年 七尾市
 - ・ 有吉 一弘
骨関節障害理学療法学（講師）
国際医療福祉専門学校七尾校
通年 七尾市
 - ・ 石川 貴士
骨関節障害理学療法学（講師）
国際医療福祉専門学校七尾校
通年 七尾市
 - ・ 田中 秀明
治療論Ⅱ理学療法（講師）
七尾看護専門学校
通年 七尾市
 - ・ 松野 大介
健康福祉科リハビリテーションと介護」（講師）
石川県立田鶴浜高等学校
通年 七尾市
- 【恵寿総合病院 作業療法課】**
- ・ 峰 真翔
高校,大学,社会人の現在について（講師）
遊学館高等学校 見学会
2025.9.17 白山市
 - ・ 五十嵐 満哉
リハビリテーション・ケア合同研究大会
ポスターセッション ADL・IADL（座長）
リハビリテーション・ケア合同研究大会大阪2025
2025.11.21-22 大阪市

- 川上 直子
災害発生時にリハビリテーション職種としてどのように行動するか～実際の災害発生時の経験について～（講師）
一般社団法人日本作業療法士協会災害支援研修会
2025.11.29 オンライン
- 五十嵐 満哉
「BCP作っただけでは不十分～職場でのシミュレーション訓練のシナリオ作成の準備をしよう～」研修会
被災後のBCP発動体験（講師）
日本訪問リハビリテーション協会
2025.12.6 オンライン
- 五十嵐 満哉
ケアマネジメントの展開/高齢者に多い疾患等・大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント（講師）
石川県社会福祉協議会
介護支援専門員実務研修・更新研修B・再研修
2025.12.11,2026.1.15 金沢市
- 北谷 渉
第24回東海北陸作業療法学会
セッション脳血管障害（座長）
第24回東海北陸作業療法学会
2026.1.10-11 名古屋市
- 川上 直子
認知症の作業療法（講師）
恵寿総合病院 市民公開講座
2026.2.8 七尾市
- 五十嵐 満哉
チーム対抗！リハ栄養の臨床推論（シンポジスト）
第15回日本リハビリテーション栄養学会学術集会
2026.3.14 金沢市

【恵寿総合病院 言語療法課】

- 薮下 千穂
失語症概論（講師）
令和7年度 石川県失語症者向け意思疎通支援者養成講習会
2025.7.26 金沢市
- 諏訪 美幸
失語症のある人の日常生活とニーズ（講師）
令和7年度 石川県失語症者向け意思疎通支援者養成講習会
2025.7.26 金沢市
- 薮下 千穂
意思疎通支援者とは何か（講師）

- 令和7年度 石川県失語症者向け意思疎通支援者養成講習会
2025.7.26 金沢市
- 諏訪 美幸
意思疎通支援者の心構えと倫理（講師）
令和7年度 石川県失語症者向け意思疎通支援者養成講習会
2025.7.26 金沢市
- 諏訪 美幸
言語聴覚士のキャリア形成（講師）
石川県言語聴覚士会 生涯学習基礎講座
2025.8.3 オンライン
- 荒尾 祐希
コミュニケーション支援技法Ⅰ（講師）
令和7年度 石川県失語症者向け意思疎通支援者養成講習会
2025.8.3 金沢市
- 木村 聖子
フレイル（口腔）の健康教育（講師）
高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業地域の担い手活動支援
2025.10.25 七尾市
- 木村 聖子
治療論 言語療法（講師）
七尾看護専門学校 2025.11.11,11.25 七尾市
- 豊田 はるか
介護福祉基礎（講師）
石川県立田鶴浜高等学校健康福祉科
2026.1.15,1.22 七尾市
- 薮下 千穂
のどを鍛えて健康長寿！
嚥下力アップ講座（講師）
恵寿総合病院 出前講座 2026.3.19 七尾市

【恵寿総合病院 薬剤課】

- 室宮 智彦
薬物の薬理作用や適応、副反応や禁忌（講師）
令和7年度 石川県専門的看護実践力研修（分野別実践看護師養成研修）「脳卒中看護」
2025.11.7 オンライン
- 室宮 智彦
連携の一步を踏み出そう！（ファシリテーター）
第2回 石川県病院薬剤師会 地域連携推進フォーラム
2025.11.29 金沢市

- 堀井 雄之介
誤嚥性肺炎を併発した尿路感染症（シンポジスト）
石川県病院薬剤師会 感染制御委員会
第26回石川県感染制御セミナー
2026.1.24 金沢市
- 新田 真緒
当院での化学療法における薬薬連携について（講師）
第61回がん連携勉強会
2026.2.12 オンライン

【恵寿総合病院 臨床栄養課】

- 小蔵 要司
医療・介護者が知っておくべきリハ栄養と攻めの栄養療法
ー災害対応と食事摂取基準の注目ポイントー（講師）
株式会社サン食品 創立50周年記念 命在食セミナー
2025.5.24 福井市
- 前田 美穂
在宅の栄養を学ぼう
～糖尿病と腎臓病の食事について～（講師）
令和7年度 第1回あじさい会研修会
2025.5.29 オンライン
- 前田 美穂
能登半島地震における給食施設の対応と
得られた教訓（講師）
令和7年度北播磨給食施設協議会総会兼研修会
2025.6.12 オンライン
- 前田 美穂
栄養管理介入実践例Ⅱ
「GLIM基準による栄養評価」（講師）
日本病態栄養学会 第1回東海北陸地方会
2025.8.23 名古屋市
- 小蔵 要司
管理栄養士が創出するエビデンスと
災害後の栄養ケア（講師）
富山短期大学 令和7年度 公開特別講演会
2025.9.28 富山市
- 小蔵 要司
脳卒中と栄養管理
ーリハ対象者の栄養管理も含めてー（講師）
令和7年度専門的看護実践力研修「脳卒中看護」
2025.11.7 七尾市/オンライン
- 小蔵 要司
リハビリテーションにおける栄養管理
ーリハ栄養の実践とコツー（講師）

- 長野県栄養士会生涯教育研修会
2025.11.22 長野市/オンライン
- 小蔵 要司
管理栄養士が期待するリハビリテーション部門の
リーダーの役割（講師）
回復期リハビリテーション病棟協会 POSリーダー研修会
2025.12.6 東京都/オンライン
- 小蔵 要司
作業療法士が知っておくべき栄養ケアのポイント
ーその評価と実践（講師）
石川県作業療法教育協議会
臨床実習指導者講習会 アドバンス
2025.12.11 金沢市/オンライン
- 小蔵 要司
給食施設におけるBCPの重要性
ー経験者が語る災害時の給食の落とし穴（講師）
中央・南加賀 管内特定給食施設等
栄養業務担当者研修会
2025.12.16 金沢市/オンライン
- 前田 美穂
能登半島地震における給食施設の対応と
得られた教訓（講師）
岐阜県飛騨保健所管内
令和7年度給食施設災害時対策研修会
2026.1.15 オンライン
- 小蔵 要司
令和6年能登半島地震での体験談と
非常時備蓄の落とし穴（講師）
令和7年度第2回愛精協栄養士部会 研修会
2026.2.4 名古屋市
- 小蔵 要司
栄養ケアの最前線 -管理栄養士が発信する実践
知と災害からの学び-（講師）
第21回日本栄養改善学会 北陸支部会学術総会
2026.2.22 福井市
- 前田 美穂
恵寿総合病院における令和6年能登半島地震後の
フードサービスの対応（パネリスト）
能登から未来を描くレジリエンス：
ともに支え/乗り越える能登NST研究会
第15回日本リハビリテーション栄養学会学術集会
2026.3.14 金沢市
- 山本 知子
チーム対抗！リハ栄養の臨床推論（パネリスト）

第15回日本リハビリテーション栄養学会学術集会
2026.3.14 金沢市

【恵寿総合病院 臨床検査課】

- 北野 可那子
喀痰検体からの髄膜炎菌検出症例を契機とした院内
及び細菌検査室における感染対策（講師）
第25回北陸病原微生物研究会
2025.8.23 金沢市
- 山口 拓也
臨床検査技師が視る、POCTの未来と課題
震災時におけるCGMの有用性
～能登半島地震の経験から～（シンポジスト）
第63回日臨技中部圏支部医学検査学会
2025.11.1-2 三重県
- 木戸 薫
下肢静脈超音波検査ハンズオン（講師）
第10回こしのくにVenous Forum
2025.11.2 金沢市
- 木戸 薫
下肢静脈超音波検査ハンズオン（講師）
第一回DVT検診 技師育成研修セミナー
2025.11.16 金沢市
- 尾田 真一
講義（講師）
七尾看護学校
2025.12.16,2026.1.13,1.20,1.27 七尾市
- 橋 ひとみ
講義（講師）
七尾看護学校
2026.2.3,2.10,2.17 七尾市
- 山口 拓也
輸血検査（座長）
第50回石川県医学検査学会
2026.3.20 羽咋市
- 窪 亜紀
微生物検査（座長）
第50回石川県医学検査学会
2026.3.20 羽咋市

【恵寿総合病院 感染制御課】

- 谷田部 美千代
感染症対策①
～食中毒・ノロウイルス・夏期の感染症～（講師）

公益社団法人介護労働安定センター集団研修
2025.5.21 オンライン

- 谷田部 美千代
感染症対策
～食中毒・ノロウイルス・夏期の感染症～（講師）
公益社団法人介護労働安定センター集団研修
2025.6.12 志賀町
- 谷田部 美千代
清潔保持と感染予防（講師）
介護職員等による喀痰吸引・経管栄養研修
2025.10.2 七尾市
- 谷田部 美千代
感染症予防 ～訪問介護事業所～（講師）
公益社団法人介護労働安定センター集団研修
2025.11.11 かほく市
- 谷田部 美千代
感染症対策② ～冬期の感染症など～（講師）
公益社団法人介護労働安定センター集団研修
2025.11.19 オンライン
- 谷田部 美千代
災害時における感染対策
～避難所における感染管理～（講師）
医療法人財団浅ノ川 感染管理研修（JANSSIP）
2025.11.29 金沢市

【恵寿総合病院 北陸緑内障センター】

- 杉山 和久
特別講演②（座長）
第354回金沢眼科集談会
2025.4.6 金沢市
- 杉山 和久、白根 雅子
こどもの目を守る -第4弾- 近視（オーガナイザー）
第129回日本眼科学会総会
2025.4.18 東京都
- Kazuhisa Sugiyama
Symposium, Chairs（座長）
Real-world outcomes of glaucoma care
2025.6.27 11th World Glaucoma Congress,
Honolulu, Hawaii, USA
- Kazuhisa Sugiyama
Course, Chairs（座長）：Normal-tension
glaucoma 2025.6.27 11th World Glaucoma
Congress, Honolulu, Hawaii, USA

- ・ 杉山 和久
症例から学ぶ緑内障学」（講師）
京阪沿線勉強会
2025.9.6 大阪府枚方市
- ・ 杉山 和久
症例から学び研究し実践する緑内障学（講師）
第16回いくの眼科勉強会（Web）
2025.9.18 大阪市
- ・ 杉山 和久、白根 雅子
国民の目を守る Protecting Japanese people's
vision（オーガナイザー）
第79回日本臨床眼科学会
2025.10.11 大阪市
- ・ 杉山 和久
緑内障診療にOCTアンギオグラフィーを活用する（講師）
第10回北陸斜視・小児眼科の会
2025.11.16 金沢市
- ・ 杉山 和久
レーザースペックル研究会（座長）
2025.11.16 東京都
- ・ 杉山 和久
基調講演:アイフレイルについて（講師）
福井県済生会病院市民公開講座
2026.3.20 福井市

【恵寿総合病院 地域包括ケアセンター】

- ・ 本橋 敏美
災害時における看護職支援の重要性
～令和6年能登半島地震の経験から～（シンポジスト）
日本災害看護学会 第27回年次大会
シンポジウム3 病院における災害時のマネジメント
2025.9.7 東京都/オンライン
- ・ 本橋 敏美
災害時における看護職支援の重要性
～令和6年能登半島地震の経験から～（講師）
公益社団法人京都府看護協会
2026.3.11 オンライン

【恵寿総合病院訪問看護ステーション】

- ・ 久能 恵美
報告:石川県訪問看護ステーション連絡会における
能登半島地震後の現状、
能登地区訪問看護ステーションの現状（講師）
令和7年度 訪問看護ステーション連絡協議会

東海・北陸ブロック交流会
2025.9.27 金沢市

【ケアマネステーション恵寿】

- ・ 清水 光代
介護支援専門員と多職種連携の未来
～災害時に備えるケアマネジメント提供体制～
（講師・パネリスト）
介護支援専門員協会 北陸ブロック研修会
2025.10.19 富山県
- ・ 山崎 若菜
在宅医療・介護連携推進事業（七尾紫蘭の会含む）
人生会議普及部会における特別授業
七尾看護専門学校

【福祉用具レンタルステーション恵寿】

- ・ 永井 亜希子
もの忘れ・うつ・閉じこもり予防について（講師）
公益社団法人石川県理学療法士会
宝達志水町地域活動支援事業
2026.2.27 羽咋郡宝達志水町

【恵寿金沢病院 内科】

- ・ 村田 了一
日本血液学会北陸地方会（座長）
2025.7.19 金沢市
- ・ 萩原 剛志
びまん性大細胞型B細胞リンパ腫勉強会（講師）
2025.8.21 金沢市
- ・ 村田 了一
日本輸血・細胞治療学会北陸支部例会（例会長）
2025.11.29 金沢市
- ・ 萩原 剛志
エプコリタマブ研究会（パネリスト）
2025.12.4

【恵寿金沢病院 血栓・止血・血管病センター】

- ・ 朝倉 英策
しみじみ分かる血栓止血（講師）
記念講演会 in 九州 2025.6.7 博多市
- ・ 朝倉 英策
DICの臨床 -過去・現在・未来-（講師）
令和7年度日本検査血液学会静岡支部学術講演会
2025.6.14 静岡市

- 朝倉 英策
一般演題:後天性血友病 (座長)
第47回日本血栓止血学会学術集会
2025.6.29 名古屋市
- 朝倉 英策
出血性疾患診療のピットフォール (講師)
金沢市医師会血液疾患談話会
2025.7.9 金沢市
- 朝倉 英策
教育講演:がん関連血栓症における
凝固検査と臨床検査の役割 (座長)
第26回日本検査血液学会学術集会
2025.7.26 京都市
- 朝倉 英策
一般演題:APTT (座長)
第26回日本検査血液学会学術集会
2025.7.26 京都市
- 朝倉 英策
福井県の血友病診療の実情と今後の課題 (座長)
北陸血友病セミナー
2025.8.2 金沢市
- 朝倉 英策
富山県における血友病診療の現状と課題
～レジストリ登録を踏まえ～ (座長)
北陸血友病セミナー
2025.8.2 金沢市
- 朝倉 英策
ITP診療の注意点
～診療ガイドラインを踏まえて～ (講師)
血液内科領域WEB講演会
2025.9.3 オンライン
- 朝倉 英策
しみじみ分かる血栓止血 (講師)
記念講演会 in 名古屋
2025.9.20 名古屋市
- 朝倉 英策
ITPと診断するためのポイント (座長)
ITP Expert Seminar (LINK-A)
2025.10.17 金沢市/愛知県
- 朝倉 英策
当院における血小板凝集能測定の利用
および血小板無力症の一例 (座長)
北陸凝固異常研究会
2025.10.21 金沢市

- 朝倉 英策
凝固異常症に関するディスカッション (座長)
北陸凝固異常研究会
2025.10.21 金沢市
- 朝倉 英策
血栓止血検査:検査室の皆様にお伝えしたいこと (座長)
第4回北陸検査血液研究会
2025.11.15 金沢市
- 朝倉 英策
新潟大学での多職種連携を踏まえた周術期管理
および新潟県での患者会の再立ち上げ (座長)
血友病セミナー in 北陸
2026.2.27 金沢市

【恵寿金沢病院 理学療法課】

- 諏訪 勝志
ケアマネジメントの演習 (講師)
大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント/
石川県社会福祉協議会 令和7年度介護支援専門員
更新研修 (専門研修課程Ⅰ) 2025.7.2 オンライン
- 諏訪 勝志
介護予防とシルバーリハビリ体操 (講師)
石川県社会福祉協議会
令和7年度いしかわ長寿大学 能登北部校 講義
2025.7.25 輪島市
- 諏訪 勝志
ケアマネジメントにおける実践事例の研究及び発表/
①大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント (講師)
石川県社会福祉協議会 令和7年度介護支援専門員
更新研修 (専門研修課程Ⅱ)
2025.7.29,8.19,9.12 オンライン
- 諏訪 勝志
リハビリテーション及び福祉用具等の
活用に関する理解 (講師)
石川県社会福祉協議会
令和7年度主任介護支援専門員更新研修
2025.10.16 オンライン
- 諏訪 勝志
主任介護支援専門員としての実践の振り返りと
指導及び支援の実践/大腿骨頸部骨折のある方の
ケアマネジメント (講師)
石川県社会福祉協議会
令和7年度主任介護支援専門員更新研修
2025.10.30 オンライン

- ・ 諏訪 勝志
主任介護支援専門員としての実践の振り返りと指導及び
支援の実践（講師）
石川県社会福祉協議会
令和7年度主任介護支援専門員更新研修
2025.11.6 オンライン
- ・ 諏訪 勝志
脳血管疾患のある方のケアマネジメント（リハビリテーション
及び福祉用具それぞれの活用に関する事例を用いた演習を
含む）（講師）
石川県社会福祉協議会
令和7年度主任介護支援専門員更新研修
2025.11.6 オンライン

【恵寿金沢病院 作業療法課】

- ・ 東川 哲朗
認知症予防教室（講師）
（公財）金沢市スポーツ事業団
転ばん元気な体づくり教室
2025.4.28 金沢市
- ・ 米山 千尋
体力測定（講師）
金沢市そくさい地域出前講座
2025.6.19 金沢市
- ・ 米山 千尋
転倒予防（講師）
金沢市そくさい地域出前講座
2025.6.30 金沢市
- ・ 米山 千尋
体力測定（講師）
金沢市そくさい地域出前講座
2025.7.17 金沢市
- ・ 米山 千尋
転倒予防（講師）
金沢市そくさい地域出前講座
2025.8.29 金沢市
- ・ 東川 哲朗
シンポジウム「災害時における職能団体の役割」（講師）
第59回日本作業療法学会
2025.11.9 高松市
- ・ 米山 千尋
健康講義「体操コースの体験」（講師）
金沢市そくさい地域出前講座
2025.11.19 金沢市

- ・ 生田 隆倫
認知症予防教室（講師）
金沢市そくさい地域出前講座
2025.11.20 金沢市
- ・ 米山 千尋
体力測定（講師）
金沢市そくさい地域出前講座
2026.1.21 金沢市
- ・ 米山 千尋
体力測定（講師）
金沢市そくさい地域出前講座
2026.3.4 金沢市

【恵寿金沢病院 薬剤課】

- ・ 宮森 久志
当院での悪性リンパ腫治療の変遷と
副作用マネジメントについて（講師）
石川がん専門薬剤師チーム講演会
～最適な悪性リンパ腫の治療管理と薬剤師外来の
充実化に向け薬剤師が担う役割～
2025.9.7 オンライン

【恵寿金沢病院 臨床栄養課】

- ・ 羽根 由子
手軽に栄養UP、低栄養予防のお食事（講師）
オレンジカフェ 地域包括支援センターさくらまち
2026.2.25 金沢市

【恵寿金沢病院 看護部】

- ・ 清水 ちえみ
仕事探しシェルパ 職業講話（講師）
ジョブカフェ石川
2025.5.21 金沢市
- ・ 井上 直美
感染予防について（相談員）
オレンジカフェ
2025.10.15 金沢市
- ・ 井上 直美
令和7年度 高齢者施設等感染対策研修会（講師）
2025.10.27 金沢市
- ・ 井上 直美
令和7年度 高齢者施設等感染対策実地支援（講師）
2025.12.18 金沢市

- ・ 浜下 朋子
認知症について（相談員）
オレンジカフェ
2025.12.18 金沢市
- ・ 浜下 朋子
認知症について（相談員）
オレンジカフェ
2026.1.16 金沢市
- ・ 井上 直美
令和7年度 高齢者施設等感染対策実地支援（講師）
2026.2.5 金沢市
- ・ 浜下 朋子
認知症について（相談員）
オレンジカフェ
2026.2.12 金沢市

【介護老人保健施設 和光苑】

- ・ 山下 友美
良い姿勢について
出前講座 羽咋市立栗ノ保小学校
2026.1.22 羽咋市
- ・ 大崎 志帆
中能登町地域リハビリテーション活動支援事業（講師）
2026.2.27 中能登町
- ・ 杉野 志学
中能登町地域リハビリテーション活動支援事業（講師）
2026.3.4 中能登町
- ・ 牧野 芹香
中能登町地域リハビリテーション活動支援事業（講師）
2026.3.14 中能登町
- ・ 大崎 志帆
中能登町地域リハビリテーション活動支援事業（講師）
2026.3.23 中能登町

【介護医療院 恵寿鳩ヶ丘】

- ・ 赤坂 直樹
たんぽぽ健康教室（講師）
令和七年度穴水町健康教室
2025.5.7,9.3 穴水町
- ・ 中西 こずえ
からこ健康教室（講師）
令和七年度穴水町健康教室
2025.5.21,10.2 穴水町
- ・ 細口 智之

にこにこ健康教室（講師）
令和七年度穴水町健康教室
2025.6.16,11.17 穴水町

- ・ 原田 真梨
小又健康教室（講師）
令和七年度穴水町健康教室
2025.6.25,11.25 穴水町
- ・ 平澤 麻理
ブルート康教室（講師）
令和七年度穴水町健康教室
2025.6.25,2026.2.20 穴水町
- ・ 蒲田 千晴
住吉健康教室（講師）
令和七年度穴水町健康教室
2025.10.14,2026.3.10 穴水町
- ・ 鶴野 誠
介護技能グランプリ優秀者から学ぶ現場で役立つ
介護の実践技術（講師）
石川県長寿社会課
令和7年度 実践介護技術出前講座
2025.10.15 石川県
- ・ 鶴野 誠
令和7年度「介護技能グランプリ」（審査員）
キッズケアいしかわ
2025.11.8 金沢市

【徳充会 事務局】

- ・ 芳原 哲弥
令和5年度福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程
初任者コース（講師）
石川県社会福祉協議会 2025.9.17-18 石川県
- ・ 芳原 哲弥
令和7年度東海北陸6県
社会福祉法人経営者セミナー（シンポジスト）
2025.11.27-28 富山県

【さいこうえんの障害者生活支援センター】

- ・ 越田 美喜子
身体障害について（講師）
生活・介護支援サポーター養成講座 2025.9.6
- ・ 赤坂 翼
障害年金について（講師）
石川県立七尾特別支援学校 保護者進路研修会
2025.12.3 七尾市

【相談支援 キララ】

- 岡田 昌大
アセスメントについて（講師）
相談支援従事者初任者研修
2025.7.23
- 岡田 昌大
県の未来を拓く（シンポジスト）
日本相談支援専門員協会 東海北陸ブロック大会
2025.12.8 名古屋市

【さいこうえん障害者就業・生活支援センター】

- 前田 奈津子
障害者雇用について（講師）
令和7年度障害のある生徒のインターンシップ促進事業
障害者雇用促進セミナー
2025.9.11,2026.1.15 七尾市
- 前田 奈津子、山本 愛
障害者雇用について（講師）
令和7年度障害のある生徒のインターンシップ促進事業
障害者雇用促進セミナー
2025.10.21,2026.2.3 輪島市
- 山本 愛
卒業までに身につけておきたい力（講師）
令和7年度保護者研修会
2025.11.6 輪島市
- 前田 奈津子
就業・生活支援センターについて（講師）
令和7年度保護者進路研修会
2025.12.3 七尾市

【青山彩光苑リハビリテーションセンター】

- 久保 奈保
社会資源の理解と活用福祉サービス等の理解（講師）
令和7年度相談支援専門員及び
サービス管理責任者等導入研修
2025.6.18 石川県
- 船山 和浩
サービス等利用計画と個別支援計画の関係性（講師）
令和7年度サービス管理責任者等基礎研修
2025.7.8-9
- 船山 和浩
身体障害におけるアセスメントについて（講師）
令和7年度サービス管理責任者等基礎研修
2025.7.8-9

- 船山 和浩
令和7年度サービス管理責任者等基礎研修演習
（ファシリテーター）
2025.8.4-6
- 久保 奈保
令和7年度サービス管理責任者等更新研修
（1日目 演習講師/ 2日目ファシリテーター）
2025.10.16-17,10.30-31,11.12-13
- 久保 奈保
障がいについての理解とコミュニケーションについて（講師）
外出支援ボランティア養成講座
2025.11.14
- 久保 奈保
福祉についての学習 誰もが住みよい中能登町（講師）
鹿西小学校
2025.11.21 中能登町
- 久保 奈保
全国障害者リハビリテーション研究集会2025
分科会Ⅱ（座長）
2025.11.27 名古屋市
- 久保 奈保
令和7年度
サービス管理責任者等実践研修（ファシリテーター）
2026.2.25-26 石川県
- 船山 和浩
七尾中能登地域自立支援協議会について
（講師・ファシリテーター）
令和7年度サービス管理責任者等実践研修
2026.3.4-5

【青山彩光苑ライフサポートセンター】

- 山崎 亮一
石川県社会福祉協議会 障害施設初任者研修（講師）
2025.8.22,12.17 石川県
- 松本 里香
石川県障害者虐待防止・権利擁護研修
（ファシリテーター）
2025.12.11 石川県

【青山彩光苑穴水ライフサポートセンター】

- 谷 良観
強度行動障害の理解～困っていることの体験～（講師）
令和7年度強度行動障害支援者養成研修 基礎研修
2025.7.9,7.17-18 石川県

- ・ 前田 加余子
令和7年度強度行動障害支援者養成研修
基礎研修（ファシリテーター）
2025.7.9,7.17-18 石川県
- ・ 谷 良観
令和7年度強度行動障害支援者養成研修
実践研修（ファシリテーター）
2025.9.9-10 石川県

今も続く現場の現実（講師）
愛知県知的障害者福祉協会 防災研修
2026.1.26 愛知県

【石川県精育園】

- ・ 田中 こず恵
精育園の現状と未来像（講師）
穴水地区更生保護女性会総会
2025.5.20 穴水町
- ・ 田中 こず恵
特記事項記載のポイント（講師）
障害支援区分認定調査員研修
2025.6.27 オンライン
- ・ 田中 こず恵
令和7年度強度行動障害支援者養成研修
基礎研修・実践研修（ファシリテーター）
2025.7.17-18,9.9-10 石川県
- ・ 田中 こず恵
令和6年度能登半島地震における
石川県精育園の事業継続について（講師）
愛媛県社会福祉事業団BCP研修
2025.7.29 オンライン
- ・ 田中 こず恵
能登半島地震と精育園（講師）
総合社会福祉研究所～第30回社会福祉研究交流集会
in能登～2日目視察研修
2025.8.31 七尾市
- ・ 田中 こず恵
能登半島地震での被災体験（講師）
社会福祉法人夢のつばさ職員研修
「災害基礎知識として被災体験から学ぶ」
2025.11.25 オンライン
- ・ 田中 こず恵
地域を創る！～誰もが安心して暮らせる地域とは～
第5分科会（シンポジスト）
第38階全日本自閉症支援者協会福井大会
2025.12.9 福井県
- ・ 田中 こず恵
能登半島地震・精育園のリアル・発災の瞬間から

資格取得

【理事長補佐 神野 正隆】

- ・ 日本内科学会 総合内科専門医・指導医（更新）
- ・ 日本消化器病学会 消化器病専門医・指導医（更新）
- ・ 日本消化器内視鏡学会 専門医・指導医（更新）
- ・ 日本肝臓学会 肝臓専門医・指導医（更新）

【本部 本部長 進藤 浩美】

- ・ 病院経営士（病院管理士から更新変更）

【恵寿総合病院 血液内科】

- ・ 山崎 雅英
日本血液学会 血液専門医（更新）
- ・ 山崎 雅英
日本血液学会 血液指導医（更新）
- ・ 山崎 雅英
日本核医学学会 PET核医学認定医
- ・ 中川 紀温
日本内科学会 総合内科専門医

【恵寿総合病院 呼吸器内科】

- ・ 松岡 寛樹
日本肺癌学会暫定指導医
- ・ 中井 知帆香
日本呼吸器内視鏡学会 気管支鏡専門医
- ・ 掛下 和幸
日本呼吸器学会 呼吸器専門医
- ・ 掛下 和幸
日本呼吸器内視鏡学会 気管支鏡専門医

【恵寿総合病院 腎臓内科】

- ・ 岡田 圭一郎
日本透析医学会 透析専門医（更新）
- ・ 岡田 圭一郎
臨床研修指導医
- ・ 矢部 友久
臨床研修指導医

【恵寿総合病院 消化器内科】

- ・ 藤原 秀
日本内科学会 内科専門医
- ・ 吉尾 隆利

日本肝臓学会 肝臓専門医

【恵寿総合病院 循環器内科】

- ・ 金田 朋也
日本心臓リハビリテーション学会
日本心臓リハビリテーション学会指導士
- ・ 金田 朋也
AMAT隊員
- ・ 金田 朋也
ACLSインストラクター
- ・ 金田 朋也
BLSインストラクター
- ・ 道谷 直樹
日本専門医機構内科専門医
- ・ 道谷 直樹
CVIT認定医
- ・ 道谷 直樹
ACLSプロバイダー

【恵寿総合病院 脳神経外科】

- ・ 東 壮太郎
日本頭痛学会 認定頭痛専門医

【恵寿総合病院 リハビリテーション科】

- ・ 川北 慎一郎
日本認知症学会 認定指導医
- ・ 川北 慎一郎
日本ボツリヌス治療学会 認定施注医（更新）
- ・ 川北 慎一郎
日本認知症学会認定 レケンビ、ケサンラ治療施行医
- ・ 川北 慎一郎
日本温泉気候学会 認定温泉療法医
- ・ 川北 慎一郎
日本リハビリテーション医学会 専門医・指導医（更新）
- ・ 川北 慎一郎
日本認知症学会 専門医（更新）

【恵寿総合病院 救急科】

- ・ 吉本 昭
臨床研修指導医

【恵寿総合病院 健康管理部】

- ・ 伊藤 愛
人間ドック健診情報管理指導士（更新）
- ・ 大瀧 麻依子
人間ドック健診情報管理指導士

【恵寿総合病院 看護部】

- ・ 高本 一枝
アドバンス助産師（更新）
- ・ 高本 一枝
J-CIMELS
- ・ 山崎 道恵
新生児蘇生法NCPR Aコース
- ・ 山崎 道恵
皮膚・排泄ケア認定看護師
- ・ 山崎 道恵
エコーを用いた排泄ケアコース：中級コース
- ・ 脇田 由香
新生児蘇生法NCPR Sコース（更新）
- ・ 達 結菜
ALSO-Japan インストラクター
- ・ 田畑 茜
アドバンス助産師（更新）
- ・ 田畑 茜
PC-3 プロバイダー
- ・ 松下 逸子
新生児蘇生法NCPR Sコース（更新）
- ・ 松下 逸子
アドバンス助産師（更新）
- ・ 山下 恵美
新生児蘇生法NCPR Sコース（更新）
- ・ 藤森 浩美
新生児蘇生法NCPR Sコース（更新）
- ・ 山本 敬子
新生児蘇生法NCPR Sコース（更新）
- ・ 尾田 優子
新生児蘇生法NCPR Aコース
- ・ 篠川 美妃
新生児蘇生法NCPR Aコース
- ・ 雁川原 愛
新生児蘇生法NCPR Aコース
- ・ 楠 れいさ
BLSプロバイダー
- ・ 水野 心音

- BLSプロバイダー
- ・ 松崎 太葵
BLSプロバイダー
- ・ 高山 夏実
BLSプロバイダー
- ・ 澤間 つかさ
BLSプロバイダー
- ・ 背戸 彩華
BLSプロバイダー
- ・ 大森 侑那
BLSプロバイダー
- ・ 村中 智咲
BLSプロバイダー
- ・ 高橋 里奈
BLSプロバイダー
- ・ 雁川原 愛
BLSプロバイダー
- ・ 牧山 芽生
BLSプロバイダー
- ・ 受川 綾花
BLSプロバイダー
- ・ 谷内 加奈子
看護師特定行為研修修了（創傷管理関連）
- ・ 谷内 加奈子
看護師特定行為研修修了（動脈血液ガス分析関連）
- ・ 石田 純也
看護師特定行為研修修了
（栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連）
- ・ 石田 純也
看護師特定行為研修修了
（呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連）
- ・ 石田 純也
看護師特定行為研修修了（動脈血液ガス分析関連）
- ・ 菅野 則之
3学会合同呼吸療法認定士（更新）
- ・ 魚岸 恵美
看護師特定行為研修修了（動脈血液ガス分析関連）
- ・ 川江 辰徳
脳卒中看護認定看護師（更新）
- ・ 木村 博子
看護師特定行為研修修了（動脈血液ガス分析関連）
- ・ 森下 弘子
看護師特定行為研修修了
（血糖コントロールに係る薬剤投与関連）

【恵寿総合病院 介護部】

- ・ 坂口 初枝
介護福祉士
- ・ 久保 善美
介護福祉士
- ・ 仙元 武昌
スマート介護士（Basic）
- ・ 形田晃子
スマート介護士（Basic）
- ・ ナンキンシュエタン
介護実務者研修
- ・ 水谷 幸津恵
喀痰吸引等研修
- ・ 瀧口 美香
喀痰吸引等研修
- ・ 氣戸 麻希
喀痰吸引等研修
- ・ 中西 礼子
喀痰吸引等研修
- ・ 中村 葉
ユマニチュード実践育成4日間研修
- ・ 田辺 しのぶ
ユマニチュード実践育成4日間研修
- ・ 升 裕美
ユマニチュード実践育成4日間研修
- ・ 岩間 美結
ユマニチュード実践育成4日間研修

【恵寿総合病院 事務部長 森下 毅】

- ・ 肺がんCT検診認定技師（更新）

【恵寿総合病院 サービス課】

- ・ 山口 史子
ホスピタルコンシェルジュ 3級
- ・ 貫 真紀
ホスピタルコンシェルジュ 3級

【恵寿総合病院 医療秘書課】

- ・ 長浦 智里
秘書技能検定3級
- ・ 島崎 静花
石川県肝炎医療コーディネーター
- ・ 谷内 綾子
石川県肝炎医療コーディネーター

- ・ 浅野 文恵
診療情報管理士

【恵寿総合病院 データセンター】

- ・ 池田 征弘
日本医療情報学会（医療情報技師育成部会）認定
医療情報技師
- ・ 瀬戸 亜矢
院内がん登録実務中級者認定（更新）

【恵寿総合病院 入退院管理センター】

- ・ 宮田 琴江
入院時重症患者対応メディエーター

【恵寿総合病院 放射線課】

- ・ 辻口 美奈子
超音波検査士（消化器領域）
- ・ 石田 結香
乳がん検診超音波検査実施技師
- ・ 寺田 晃子
乳がん検診超音波検査実施技師

【恵寿総合病院 理学療法課】

- ・ 田中 秀明
専門理学療法士 神経（更新）
- ・ 杉田 響
3学会合同呼吸療法認定士
- ・ 竹本 俊太郎
認知症ケア専門士
- ・ 竹本 俊太郎
両立支援コーディネーター
- ・ 伊藤 祐二
介護予防推進リーダー
- ・ 伊藤 祐二
介護支援専門員
- ・ 林 祐里恵
3学会合同呼吸療法認定士（更新）
- ・ 勝山 琴美
BLSヘルスケアプロバイダー
- ・ 角平 実莉
BLSヘルスケアプロバイダー
- ・ 荒木 隼人
BLSヘルスケアプロバイダー

- ・ 石川 貴士
BLSヘルスケアプロバイダー
- ・ 長谷川 輝
BLSヘルスケアプロバイダー
- ・ 藤森 亮
BLSヘルスケアプロバイダー

【恵寿総合病院 作業療法課】

- ・ 川上 直子
認定作業療法士（更新）
- ・ 白山 真由子
認定作業療法士（更新）
- ・ 北谷 渉
認定作業療法士（更新）
- ・ 五十嵐 満哉
認定作業療法士（更新）
- ・ 中村 綾里
福祉住環境コーディネーター2級
- ・ 川端 ひかり
福祉住環境コーディネーター2級
- ・ 千葉 万菜
福祉住環境コーディネーター2級

【恵寿総合病院 言語療法課】

- ・ 木村 聖子
ヒアリングフレイルサポーター
- ・ 荒尾 祐希
認定言語聴覚士（失語・高次脳機能障害領域）
- ・ 薮下 千穂
日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士

【恵寿総合病院 リハビリテーション教育研修センター】

- ・ 久保 佳子
3学会合同呼吸療法認定士（更新）

【恵寿総合病院 薬剤課】

- ・ 藤田 昌雄
日病薬薬学認定薬剤師
- ・ 藤田 昌雄
日本糖尿病療養指導士（更新）

【恵寿総合病院 臨床栄養課】

- ・ 前田 美穂
日本糖尿病療養指導士（更新）

- ・ 山本 知子
日本糖尿病療養指導士（更新）

【恵寿総合病院 臨床検査課】

- ・ 尾田 真一
脳神経超音波検査士（更新）
- ・ 尾田 真一
肝炎医療コーディネーター
- ・ 宮崎 寛子
血管診療技師
- ・ 山口 華穂
細胞検査士
- ・ 中川 朋美
認定輸血検査技師（更新）
- ・ 橋 ひとみ
超音波検査士（消化器、健診）（更新）
- ・ 山口 拓也
糖尿病療養指導士（更新）
- ・ 橋 ひとみ
肝炎医療コーディネーター
- ・ 窪 亜紀
肝炎医療コーディネーター
- ・ 湯本 快聖
肝炎医療コーディネーター
- ・ 中村 彩花
肝炎医療コーディネーター
- ・ 北野 可那子
肝炎医療コーディネーター

【恵寿総合病院 臨床工学課】

- ・ 栃原 康則
臨床ME専門認定士（更新）
- ・ 栃原 さとみ
腎代替療法専門指導士

【恵寿総合病院 感染制御課】

- ・ 谷田部 美千代
感染管理認定看護師（更新）

【ケアマネステーション恵寿】

- ・ 清水 光代
主任介護支援専門員（更新）
- ・ 荒橋 有梨香
主任介護支援専門員（更新）

- ・ 伊藤 渚
主任介護支援専門員（更新）
- ・ 高木 ひとみ
主任介護支援専門員
- ・ 山崎 若菜
主任介護支援専門員

【福祉用具レンタルステーション恵寿】

- ・ 永井 亜希子
コンタクトレンズ販売営業所管理者
- ・ 橋本 いづみ
医療機器の販売及び貸与営業所管理者
- ・ 石渡 利浩
コンタクトレンズ販売営業所管理者
- ・ 石渡 利浩
医療機器の販売及び貸与営業所管理者

【恵寿金沢病院 理学療法課】

- ・ 諏訪 勝志
日本糖尿病療養指導士（更新）
- ・ 諏訪 勝志
3学会合同呼吸療法認定士（更新）
- ・ 大村 剛史
修士（リハビリテーション学）
- ・ 大村 剛史
臨床実習指導者講習会修了証書
- ・ 澤村 謙伸
BLS研修

【恵寿金沢病院 放射線課】

- ・ 廣田 さおり
検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師（更新）
- ・ 武村 真弓
検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師（更新）
- ・ 西願 正美
検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師（更新）

【恵寿金沢病院 臨床検査課】

- ・ 中森 紀子
心電図検定3級

【恵寿金沢病院 看護部】

- ・ 佐々木 絵美
がん化学療法認定看護師（更新）

- ・ 田中 秀和
特定行為研修修了（直接動脈穿刺による採血、脱水症状に対する輸液による補正、インスリンの投与量の調整）
- ・ 堀 聡美
学会認定 臨床輸血認定看護師
- ・ 浅田 香織
終末期ケア専門士（更新）
- ・ 浅田 香織
家族ケア専門士
- ・ 薮内 照美
家族ケア専門士
- ・ 西崎 早紀
終末期ケア専門士
- ・ 清水 ちえみ
栄養サポートチーム専門療法士 臨床実地修練修了
- ・ 酢野 亜由子
栄養サポートチーム専門療法士 臨床実地修練修了
- ・ 田内 緑
介護職員初任者研修課程 修了
- ・ 中 梨香子
BLSプロバイダー
- ・ 出村 茉莉子
BLSプロバイダー
- ・ 山形 雅子
BLSプロバイダー
- ・ 熊本 柚香
BLSプロバイダー

【介護老人保健施設 和光苑】

- ・ 田辺 航也
老健施設DX推進リーダー育成講座 課程修了
- ・ 杉野 志学
老健施設DX推進リーダー育成講座 課程修了
- ・ 山口 雄二
老健施設DX推進リーダー育成講座 課程修了
- ・ 久保 友美
喀痰吸引指導者研修修了
- ・ 板谷 和仁
認定特定行為業務従事者認定
- ・ 時國 佳恵子
認定特定行為業務従事者認定
- ・ 斎藤 美穂
認定特定行為業務従事者認定

- ・ 前田 智美
実習指導者研修修了
- ・ 小玉 有香
技能実習生指導員研修修了
- ・ 時國 佳恵子
技能実習生指導員研修修了
- ・ 山口 雄二
認知症実践者研修修了
- ・ 銭元 美希
認知症リーダー研修修了
- ・ 尾蔵 亜矢子
認知症リーダー研修修了
- ・ 小林 かおり
身体拘束廃止推進員養成研修修了
- ・ 山下 充
スマート介護士（Basic）
- ・ 大谷 瑞実
スマート介護士（Basic）
- ・ 近松 亜位
介護感染管理士修了
- ・ 久保 友美
新人看護職員研修「研修責任者研修」修了
- ・ 水口 ふじ美
栄養サポートチーム（NST）専門療法士

【介護医療院 恵寿鳩ヶ丘】

- ・ 鵜野 誠
認知症介護実践研修・実践リーダー研修
- ・ 室谷 暁美
認知症介護実践者研修
- ・ 金谷 明美
皮膚・排泄ケア実践看護師研修

【在宅複合施設 ほのぼの】

- ・ 鳥井 真奈美
認知症介護実践研修・実践リーダー研修
- ・ 藤原 文恵
認定特定行為業務従事者研修
- ・ 竹森 友美
認定特定行為業務従事者研修
- ・ 高木 一成
介護支援専門員
- ・ 石坂 浩幸
スマート介護士（Expert）

- ・ 竹森 友美
スマート介護士（Basic）
- ・ 林 明香
スマート介護士（Basic）
- ・ 小西 綾
スマート介護士（Basic）
- ・ 政浦 貴美子
スマート介護士（Basic）
- ・ 杉本 祐加
スマート介護士（Basic）
- ・ 高間 あすみ
スマート介護士（Basic）
- ・ 得能 綾菜
スマート介護士（Basic）
- ・ 飯井 優子
スマート介護士（Basic）

【青山彩光苑ライフサポートセンター】

- ・ 谷口 舞
介護福祉士

【青山彩光苑穴水ライフサポートセンター】

- ・ 大町 みずき
社会福祉士
- ・ 藤本 明
介護福祉士

【エレガンテナぎの浦】

- ・ 武田 京介
スマート介護士（Basic）
- ・ 幸田 恵
介護支援専門員（更新）
- ・ 小川 直也
介護福祉士

【理事長 神野 正博】

- ・ 公益社団法人 全日本病院協会 会長
- ・ 特定非営利活動法人VHJ機構 理事長
- ・ VHJ研究会 会長
- ・ サービス産業生産性協議会（SPRING）幹事
- ・ 厚生労働省 社会保障審議会医療部会委員
- ・ 厚生労働省 医師養成過程を通じた医師の偏在対策等に関する検討会委員
- ・ 石川県 医療審議会委員
- ・ 石川県 医療計画推進委員会
- ・ 石川県 地域医療ビジョン策定部会委員
- ・ 石川県病院協会 副会長
- ・ 公益財団法人 日本医療機能評価機構 評議員、事業推進委員
- ・ 一般社団法人 日本社会医療法人協議会 副会長
- ・ 一般社団法人 日本専門医機構 財務委員会委員
- ・ 一般社団法人 日本医療経営実践協会 理事
- ・ 一般社団法人 日本ホスピタルアライアンス 理事
- ・ 一般社団法人
看護師の特定行為に係る指定研修機関協議会
副理事長
- ・ 七尾商工会議所 副会頭
- ・ 七尾市文化協会 会長
- ・ 国際ロータリー第2地域 2023-26年度ロータリー公共イメージコーディネーター（RPIC）
- ・ 国際ロータリー第2610地区 2025-26年度地区
ラーニングファシリテーター（DLF）
- ・ 国際ロータリー第2610地区 2021-22年度ガバナー

【理事長補佐 神野 正隆】

- ・ NPO法人 VHJ機構 理事
- ・ 全日本病院協会 若手経営者育成事業委員会 委員
- ・ 全日本病院協会 医療経営・税制委員会 委員
- ・ 石川県肝炎対策検討委員会 委員
- ・ 中能登町胃がん医療機関検診運営委員会 委員
- ・ SS（ソフトウェアサービス）ユーザー会 役員
- ・ 日本消化器病学会 北陸支部評議員
- ・ 日本消化器内視鏡学会 北陸支部評議員

【本部 本部長 進藤 浩美】

- ・ 社会福祉法人徳充会 理事

- ・ けいじゅ健康保険組合 理事長
- ・ 公益社団法人 石川県作業療法士会 監事
- ・ 公益社団法人 日本電信電話ユーザー協会
七尾地区協会理事

【本部 総務部長 松田 久良】

- ・ 七尾市国民健康保険協議会 委員
- ・ 中能登町地域公共交通協議会 委員

【恵寿総合病院 血液内科】

- ・ 山崎 雅英
日本内科学会北陸支部 評議員
- ・ 山崎 雅英
日本血液学会 評議員
- ・ 山崎 雅英
日本血液学会北陸支部 評議員
- ・ 山崎 雅英
石川県保健医療計画推進委員会
災害・救急医療対策部会
石川県メディカルコントロール協議会 委員
- ・ 山崎 雅英
石川県医療計画推進委員会
災害・救急医療対策部会 委員
- ・ 山崎 雅英
石川県ドクターヘリ運営委員会 委員
- ・ 山崎 雅英
石川県がん診療連携協議会 会員
- ・ 山崎 雅英
骨髓移植推進財団 調整医師
- ・ 山崎 雅英
造血幹細胞移植連携協議会
北陸地区造血幹細胞移植推進委員
- ・ 山崎 雅英
いしかわクラスター対策班 班員
- ・ 山崎 雅英
石川県合同輸血委員会 委員
- ・ 山崎 雅英
中能登町予防接種健康被害調査委員会 委員
- ・ 中川 紀温
骨髓移植推進財団 調整医師

【恵寿総合病院 代謝内分泌内科】

- 宮本 正治
石川県糖尿病対策推進会議 委員
- 宮本 正治
糖尿病患者を助け合う地域連携協議会・七緒の会 会長

【恵寿総合病院 循環器内科】

- 真弓 卓也
日本集中治療医学会
集中治療を要する重症化患者の広域搬送ガイドライン作成委員会 システムティックレビューワーキンググループ
- 真弓 卓也
日本集中治療医学会
ARDS診療ガイドライン作成統括委員会（Ad Hoc/日本呼吸器学会・日本呼吸療法医学会・日本集中治療医学会合同） 委員

【恵寿総合病院 整形外科】

- 浅井 一希
ハンドボールU-18女子日本代表 チームドクター

【恵寿総合病院 小児科】

- 中谷 茂和
七尾市医師会 理事
- 中谷 茂和
石川県医師会学校医部運営委員会 委員
- 中谷 茂和
石川県小児科医会 監事
- 中谷 茂和
七尾市健康福祉審議会児童福祉分科会 委員
- 中谷 茂和
能登中部小児休日診療協議会 委員
- 中谷 茂和
中能登町要保護児童対策地域協議会 委員
- 中谷 茂和
七尾市予防接種健康被害調査委員会 委員

【恵寿総合病院 リハビリテーション科】

- 川北 慎一郎
日本リハビリテーション医学会北陸地方会
世話人及び監事
- 川北 慎一郎
北陸がんリハビリ研究会 副会長
- 川北 慎一郎

石川県脳卒中連携協議会 副会長

- 川北 慎一郎
能登脳卒中連携協議会 会長
- 川北 慎一郎
能登摂食・嚥下・栄養研究会 会長
- 川北 慎一郎
七尾市介護保険認定審査会 委員
- 川北 慎一郎
石川県JRAT 委員

【恵寿総合病院 病理診断科】

- 上田 善道
Pathology-Research Practice (Elsevier)
Editorial board
- 上田 善道
金沢医科大学・医学部 名誉教授

【恵寿総合病院 看護部】

- 高本 一枝
公益社団法人 石川県看護協会 助産師職能委員
- 寺田 千恵
七尾市介護認定審査会 介護認定審査会 委員
- 加納 真由美
七尾市介護認定審査会 介護認定審査会 委員
- 川江 辰徳
七尾看護専門学校 評価委員
- 松江 仁美
七尾市介護認定審査会 介護認定審査会 委員

【恵寿総合病院 介護部】

- 形田 晃子 七尾市介護認定審査会 委員

【恵寿総合病院 事務部長 森下 毅】

- 森下 毅
公益社団法人日本診療放射線技師会 選挙管理委員
- 森下 毅
公益社団法人石川県診療放射線技師会 監事

【恵寿総合病院 事務部】

- 川腰 晃弘 石川県診療情報管理研究会 会長

【恵寿総合病院 入退院管理センター】

- 宮田 琴江
七尾市地域包括支援センター運営協議会 副会長

- 宮田 琴江
七尾市介護認定審査会 委員

【恵寿総合病院 医療福祉相談課】

- 中川 一美
七尾市在宅医療・介護連携推進協議会 オブザーバー
- 岡崎 美穂
七尾市介護認定審査会 委員

【恵寿総合病院 放射線課】

- 赤坂 正明
公益社団法人 石川県診療放射線技師会
理事

【恵寿総合病院 理学療法課】

- 田中 秀明
公益社団法人 日本理学療法士協会
日本運動器理学療法学会学術大会査読員
- 田中 秀明
公益社団法人 日本理学療法士協会
日本神経理学療法学会学術大会査読員
- 田中 秀明
公益社団法人 日本理学療法士協会
日本予防理学療法学会学術大会査読員
- 田中 秀明
七尾市
七尾市介護認定審査委員
- 田中 秀明
石川県理学療法教育協議会
石川県理学療法教育協議会幹事
- 松野 大介
石川県教育委員会教育長
石川県立田鶴浜高等学校非常勤講師
- 桶 拓貴
公益社団法人 日本訪問リハビリテーション協会
日本訪問リハビリテーション協会学術大会査読員
- 桶 拓貴
公益社団法人 日本理学療法士協会
日本予防理学療法学会学術大会査読員
- 桶 拓貴
公益社団法人 石川県理学療法士協会
地域推進事業部 副部長
- 桶 拓貴
公益社団法人 石川県理学療法士協会

能登地域を考える特別委員会 委員

- 桶 拓貴
国際医療福祉専門学校七尾校
非常勤講師
- 松本 康嗣
国際医療福祉専門学校七尾校
非常勤講師
- 今井 香菜子
国際医療福祉専門学校七尾校
非常勤講師
- 川畑 真司
国際医療福祉専門学校七尾校
非常勤講師
- 小谷 恭平
国際医療福祉専門学校七尾校
非常勤講師
- 長谷部 浄英
国際医療福祉専門学校七尾校
非常勤講師
- 土肥 哲也
国際医療福祉専門学校七尾校
非常勤講師
- 室野 翔太
国際医療福祉専門学校七尾校
非常勤講師
- 三平 拓矢
国際医療福祉専門学校七尾校
非常勤講師
- 有吉 一弘
国際医療福祉専門学校七尾校
非常勤講師
- 石川 貴士
国際医療福祉専門学校七尾校
非常勤講師
- 田中 秀明
国際医療福祉専門学校七尾校
非常勤講師
- 田中 秀明
七尾看護専門学校
非常勤講師
- 高野 凌
金城大学
非常勤講師

【恵寿総合病院 作業療法課】

- ・ 川上 直子
金沢大学医薬保健学域保健学類臨床講師
- ・ 川上 直子
七尾市医療・介護連携推進委員会委員
- ・ 小川 正人
七尾市介護認定審査会委員
- ・ 北谷 渉
七尾市障害判定審査会委員
- ・ 五十嵐 満哉
七尾市介護認定審査会委員
- ・ 宮田 真由美
石川県立田鶴浜高等学校非常勤講師
- ・ 宮田 真由美
中能登町介護認定審査会委員
- ・ 五十嵐 満哉
七尾市介護認定審査会委員
- ・ 五十嵐 満哉
公益社団法人石川県作業療法士会理事
- ・ 五十嵐 満哉
一般社団法人日本作業療法士協会MTDLP室室員

【恵寿総合病院 言語療法課】

- ・ 諏訪 美幸
公益社団法人 石川県言語聴覚士会
学術研修局研修部 副理事
- ・ 木村 聖子
公益社団法人 石川県言語聴覚士会
総務部 理事
- ・ 木村 聖子
NPO 難聴と共に歩む親子の会 金沢方式研究会 理事
- ・ 荒尾 祐希
公益社団法人 石川県言語聴覚士会
総務部 副理事

【恵寿総合病院 リハビリテーション教育研修センター】

- ・ 久保 佳子
公益社団法人 日本理学療法士協会
日本生活支援理学療法学術大会査読員
- ・ 久保 佳子
日本がん・リンパ浮腫理学療法学術大会 査読員

【恵寿総合病院 薬剤課】

- ・ 室宮 智彦

石川県病院薬剤師会 理事

- ・ 室宮 智彦
石川県病院薬剤師会 地域連携推進委員会 委員
- ・ 室宮 智彦
石川県病院薬剤師会 薬剤師不足や地域偏在を
解決するためのプログラム作成WG 委員
- ・ 堀井 雄之介
石川県病院薬剤師会 感染制御委員会 委員

【恵寿総合病院 臨床栄養課】

- ・ 前田 美穂
公益社団法人日本栄養士会
静脈経腸栄養（TNT-D）管理栄養士認定研修会
運営委員 インストラクター
- ・ 小蔵 要司
一般社団法人 第15回日本リハビリテーション栄養学会
学術集会 大会長
- ・ 小蔵 要司
一般社団法人 日本栄養治療学会 学術評議員
- ・ 小蔵 要司
回復期リハビリテーション病棟協会 栄養委員

【恵寿総合病院 臨床検査課】

- ・ 尾田 真一
一般社団法人 石川県臨床衛生検査技師会 副会長
- ・ 尾田 真一
石川県合同輸血療法委員会 委員
- ・ 尾田 真一
一般財団法人 医療関連サービス振興会 調査指導員
- ・ 山口 拓也
一般社団法人 石川県臨床衛生検査技師会 理事
- ・ 北野 可那子
一般社団法人 石川県臨床衛生検査技師会
臨床微生物検査研究班 班員
- ・ 干場 大輔
一般社団法人 石川県臨床衛生検査技師会
臨床血液検査研究班 班員

【恵寿総合病院 感染制御課】

- ・ 谷田部 美千代
石川県高齢者施設等感染対策協議会 委員
- ・ 谷田部 美千代
公益財団法人 介護労働安定センター 石川支部
ヘルスカウンセラー

【恵寿総合病院 北陸緑内障センター】

- ・ 杉山 和久
公益財団法人 石川県アイバンク 理事
- ・ 杉山 和久
公益財団法人 日本眼科学会 評議員
- ・ 杉山 和久
日本眼循環学会 監事
- ・ 杉山 和久
World Glaucoma Association Council

【福祉用具レンタルステーション恵寿】

- ・ 永井 亜希子
石川県作業療法士会 理事

【恵寿金沢病院 内科】

- ・ 村田 了一
石川県合同輸血療法委員会
小規模医療機関・在宅輸血療法検討委員会責任委員

【恵寿金沢病院 血栓・止血・血管病センター】

- ・ 朝倉 英策
Int J Hematol : Associate Editor
- ・ 朝倉 英策
日本血栓止血学会 広報委員会 委員長

【恵寿金沢病院 理学療法課】

- ・ 諏訪 勝志
公益社団法人 日本理学療法士協会 懲戒委員会委員
- ・ 諏訪 勝志
公益社団法人 石川県理学療法士会 事務局長
- ・ 諏訪 勝志
石川県介護支援専門員協会 理事
- ・ 諏訪 勝志
国際医療福祉専門学校七尾校 教育課程編成委員
- ・ 諏訪 勝志
七尾市 七尾市在宅医療・介護連携推進協議会委員

【恵寿金沢病院 作業療法課】

- ・ 東川 哲朗
一般社団法人 日本作業療法士協会 代議員
- ・ 東川 哲朗
金沢大学医薬保健学域保健学類 臨床教授
- ・ 東川 哲朗
専門学校金沢リハビリテーションアカデミー 評議委員

【恵寿金沢病院 薬剤課】

- ・ 高倉 美穂
石川県病院薬剤師会がん治療委員会 委員

【恵寿金沢病院 看護部】

- ・ 山本 久枝
公益社団法人 石川県看護協会 推薦委員
- ・ 酢野 亜由子
公益社団法人 石川県看護協会 教育委員
- ・ 清水 ちえみ
石川県 仕事探しシェルパ

【介護老人保健施設 和光苑】

- ・ 田辺 航也
石川県介護支援専門員協会 能登中部支部役員
- ・ 田辺 航也
石川県介護支援専門員協会 業務推進委員長
- ・ 田辺 航也
石川県老人保健施設協会 事務局部会 広報委員長
- ・ 福井 朱美
七尾市地域包括支援センター地域ケア会議 アドバイザー
- ・ 吉田 美恵子
七尾市介護認定審査会 委員
- ・ 山下 友美
石川県老人保健施設協議会 リハビリテーション部会
運営委員長

【苑長 今寺 忠造】

- ・ 石川県 いしかわ介護・福祉人材確保対策推進協議会 委員
- ・ 石川県福祉会館建替工事基本構想策定検討委員会 委員
- ・ 石川県障害者スポーツ大会実行委員会 委員
- ・ 石川県障害者差別解消支援地域協議会 委員
- ・ 石川県防災計画作成指針策定委員会 委員
- ・ 石川県災害福祉支援ネットワーク会議 委員
- ・ 石川県障害者フェスティバル 実行委員
- ・ 石川県社会福祉協議会 監事
- ・ 石川県社会福祉協議会
石川県社会福祉法人経営者協議会 理事
- ・ 石川県社会福祉協議会
石川県身体障害者施設部会 部会長
- ・ 福祉総合研修センター 運営協議会 委員
- ・ 公益社団法人 石川県作業療法士会 顧問

- ・ 七尾市・中能登町 自立支援協議会 会長
- ・ 特定非営利活動法人 七尾鹿島手をつなぐ育成会 顧問

【さいこうえんの障害者生活支援センター】

- ・ 久保 奈保
七尾市・中能登町 自立支援協議会定例会 委員
- ・ 久保 奈保
七尾市・中能登町 自立支援協議会運営会議 委員
- ・ 越田 美喜子
七尾市・中能登町 自立支援協議会運営会議 委員
- ・ 松柳 満城子
七尾市・中能登町 自立支援協議会運営会議 委員
- ・ 赤坂 翼
七尾市・中能登町 自立支援協議会運営会議 委員
- ・ 碓井 求
七尾市・中能登町 自立支援協議会運営会議 委員
- ・ 松柳 満城子
七尾市・中能登町 自立支援協議会 こどもの部会 委員
- ・ 越田 美喜子
七尾市・中能登町 自立支援協議会 暮らしの部会 委員
- ・ 碓井 求
七尾市・中能登町 自立支援協議会 暮らしの部会 委員
- ・ 松柳 満城子
七尾市・中能登町 自立支援協議会 しごとの部会 会長
- ・ 井上 大輔
七尾市・中能登町 自立支援協議会 しごとの部会 会長
- ・ 久保 奈保
七尾市・中能登町 地域生活支援拠点連絡会 委員
- ・ 越田 美喜子
七尾市・中能登町 地域生活支援拠点連絡会 委員
- ・ 松柳 満城子
七尾市・中能登町 地域生活支援拠点連絡会 委員
- ・ 赤坂 翼
七尾市・中能登町 地域生活支援拠点連絡会 委員
- ・ 碓井 求
七尾市・中能登町 地域生活支援拠点連絡会 委員
- ・ 赤坂 翼
高次脳支援養成研修 企画委員
- ・ 越田 美喜子
相談支援従事者現任研修 企画委員

【相談支援 キララ】

- ・ 岡田 昌大
奥能登地域自立支援協議会 相談支援部会 委員

- ・ 宮西 竜太郎
奥能登地域自立支援協議会 相談支援部会 委員
- ・ 小西 かほり
奥能登地域自立支援協議会 相談支援部会 委員
- ・ 岡田 昌大
奥能登地域自立支援協議会 ささえ合う会 委員
- ・ 宮西 竜太郎
奥能登地域自立支援協議会 ささえ合う会 委員
- ・ 小西 かほり
奥能登地域自立支援協議会 ささえ合う会 委員
- ・ 岡田 昌大
奥能登主任相談支援専門員連絡会 委員
- ・ 宮西 竜太郎
奥能登地域自立支援協議会 研修企画会議 委員
- ・ 小西 かほり
奥能登地域自立支援協議会 研修企画会議 委員
- ・ 岡田 昌大
奥能登地域自立支援協議会 運営会議 委員
- ・ 宮西 竜太郎
奥能登地域自立支援協議会 運営会議 委員
- ・ 岡田 昌大
奥能登地域自立支援協議会 各市町連絡会 委員
- ・ 宮西 竜太郎
奥能登地域自立支援協議会 各市町連絡会 委員
- ・ 小西 かほり
奥能登地域自立支援協議会 各市町連絡会 委員
- ・ 岡田 昌大
相談支援従事者初任者研修 企画委員
- ・ 岡田 昌大
奥能登相談支援体制強化事業 委員
- ・ 岡田 昌大
見守り相談支援事業（珠州市・能登町）委員
- ・ 岡田 昌大
被災地支援会議（輪島市・珠州市・能登町） 委員

【さいこうえん障害者就業・生活支援センター】

- ・ 前田 奈津子
七尾市・中能登町 自立支援協議会 しごとの部会 委員
- ・ 前田 奈津子
石川県立七尾特別支援学校 就労サポーター
- ・ 山本 愛
石川県林奈々と特別支援学校輪島分校・珠洲分校
就労サポーター

【青山彩光苑リハビリテーションセンター】

- ・ 久保 奈保
石川県 サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者
更新研修 企画委員
- ・ 久保 奈保
石川県 サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者
実践研修 企画委員
- ・ 久保 奈保
七尾市・中能登町 自立支援協議会定例会 委員
- ・ 久保 奈保
石川県障害研修科目等検討部会 委員
- ・ 船山 和浩
石川県 社会福祉法人経営者協議会 青年部委員
- ・ 船山 和浩
石川県 サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者
基礎研修 企画委員
- ・ 船山 和浩
七尾市・中能登町 自立支援協議会 しごとの部会 委員
- ・ 船山 和浩
障害のある生徒のインターンシップ促進事業
(石川県立七尾特別支援学校) 就労サポーター

【青山彩光苑ライフサポートセンター】

- ・ 瀧野 利徳
東海北陸地区身体障害者施設協議会 研修委員
- ・ 瀧野 利徳
七尾市健康福祉審議会 障害福祉分科会 委員
- ・ 米田 直美
七尾市障害支援区分認定審査会 委員
- ・ 近藤 由香理
七尾市・中能登町自立支援協議会 くらしの部会 委員
- ・ 松本 里香
石川県障害者虐待防止・権利擁護研修 企画委員
- ・ 山崎 亮一
石川県相談支援専門員協会 調査企画委員
- ・ 川口 厚
石川県介護福祉士会 理事

【ワークセンター田鶴浜】

- ・ 細木 俊逸
石川県社会就労センター協議会 理事
- ・ 細木 俊逸
石川セルフ振興センター 推進委員
- ・ 細木 俊逸

石川県 相談支援専門員協会 調査企画委員

- ・ 杉本 有佳里
七尾市・中能登町 地域自立支援協議会
しごとの部会 部会長

【青山彩光苑穴水ライフサポートセンター】

- ・ 大林 尚美
奥能登地域自立支援協議会 会長
- ・ 大林 尚美
穴水町 障害支援区分認定審査会 委員
- ・ 谷 良観
石川県 強度行動障害支援者養成研修 企画委員
- ・ 坂尻 三嘉
石川県 介護・福祉の仕事の魅力伝道師

【石川県精育園】

- ・ 田中 こず恵
石川県福祉サービス評価推進委員会 委員
- ・ 田中 こず恵
石川県強度行動障害支援者養成研修 企画委員
- ・ 田中 こず恵
輪島市障害支援区分認定審査会 委員
- ・ 田中 こず恵
穴水町中核機関運営協議会 委員

【エレガンテナぎの浦】

- ・ 藤澤 優子
七尾市 障害支援区分認定審査会 委員

メディア出演・その他

FMラジオななお「ほっとたいむ」出演者：神野 正博

放送年月日	放送内容	放送回数
2025.4.7	痛み止め「NSAIDs」用法を守って 胃や腎臓に負担	1,443
2025.4.13	落雷事故のメカニズムと防ぐための対策	1,444
2025.4.21	暑熱順化	1,445
2025.4.28	亜鉛不足で広がる不調 魚介類やレバー、豆で補給を	1,446
2025.5.5	連休中にご注意！虫刺され	1,447
2025.5.12	かかとにズキッと痛み 足底腱膜炎を疑って早めに対処	1,448
2025.5.19	「オーバー70歳」の人材活用	1,449
2025.5.26	多発性骨髄腫	1,450
2025.6.2	靴は「身体の使い方を映す鏡」	1,451
2025.6.9	生まれながらの高コレステロール放置なら心筋梗塞などリスク大	1,452
2025.6.16	梅雨入りで高温多湿カビによる皮膚炎を防ぐには	1,453
2025.6.23	頭皮のにおいを防ぐ皮脂は増やさず、取り過ぎず	1,454
2025.6.30	顔の片側が動きづらい顔面神経まひ、耳鼻咽喉科で治療	1,455
2025.7.7	緊急アラート	1,456
2025.7.14	脳と腸の深い関係 腸内細菌がメンタル左右、食生活改善で心身健康	1,457
2025.7.21	感染症とがん	1,458
2025.7.28	しつこい咳、ぜんそくかも 3週間続いたら受診を	1,459
2025.8.11	血管の若さ保つには 酸化・糖化を食い止めて	1,460
2025.8.18	4人に1人が悩む胃食道逆流症 胸やけや咳、再発多く	1,461
2025.8.25	光がまぶしくてつらい 生活や仕事に支障も、原因は複数	1,462
2025.9.1	夏に起きやすいぼうこう炎 猛暑疲れや冷えて免疫力低下	1,463
2025.9.8	鼻づまりが1か月続き、臭いを感じにくいなら 副鼻腔炎疑い耳鼻科へ	1,464
2025.9.15	縄跳びで心肺・骨を丈夫に 食欲も抑制、最初は5分から	1,465
2025.9.22	春だけじゃない花粉症 風邪などと見分けて対策を	1,466
2025.9.29	見過ごしやすい心臓弁膜症、聴診で早期発見 高齢者の1割罹	1,467
2025.10.6	高齢者のための「+1,000歩」健康提案 ― 無理なく続ける、一歩ずつの健康づくり ―	1,468
2025.10.13	口臭と病気の関係 ―「におい」は体のサインです ―	1,469
2025.10.20	重症化しやすい脳梗塞 心原性脳塞栓症に注意、脈の確認を	1,470
2025.10.27	背中に響く痛み、続けば内臓の病気かも 原因特定難しく	1,471
2025.11.3	「尿ナトリウム比」、高血圧予防の新指標 減塩以外の食事管理も促す	1,472
2025.11.10	日本人の1割は胆石症 多様な痛み伴う、緊急手術要する例も	1,473
2025.11.17	脾炎（すいえん）について ～脾臓を守るために～	1,474
2025.11.24	日本人は座りすぎ がんや認知症のリスク増大	1,475
2025.12.8	おしりから出血、痔じゃないかも… 大腸が原因の疾患増	1,476
2025.12.15	日本人の大半が塩分取り過ぎ 脳や心臓の病、減塩で防ぐ	1,477
2025.12.22	のどケアで感染症防ぐ 粘膜の作用、免疫支える水分補給	1,478
2026.1.5	不安な時代だからこそ、心の向きを変える	1,479
2026.1.12	切り傷やすり傷、湿潤治療で手当て 水道水で洗い圧迫・乾かさず覆う	1,480
2026.1.19	高齢男性の習慣的な納豆摂取は死亡リスクの低下に関係する 日本の65歳以上男性1500人余りを追跡した観察研究の結果	1,481
2026.1.26	円形脱毛症、引き金は自己免疫応答 重症化どう防ぐ	1,482
2026.2.2	臓器や細胞に情報伝えるホルモン 味方につけて健康増進	1,483
2026.2.9	コレステロールは血管だけでなく、実はアキレス腱にも溜まります。アキレス腱が太く硬い方は、心臓の病気に注意	1,484
2026.2.16	インフル・風邪はやる時期、肺炎にも要注意 高齢者は重症化リスク	1,485
2026.2.23	カルシウムを効率よく取る 生命活動支える司令塔	1,486
2026.3.2	带状疱疹ワクチンを打とう	1,487
2026.3.9	マグネシウムと認知症の関係	1,488
2026.3.16	肥満と肥満症の違い～治療すべき肥満とは？～	1,489
2026.3.23	夕方になると足パンパン…治らないむくみに注意 心臓や腎臓の病気も	1,490
2026.3.30	ストレッチの効果アップ「痛み持ちいい」より強めに伸ばす	1,491

テレビ放送

放送年月日	放送内容	放送番組
2025.4.10	恵寿総合病院がコンビニと災害時の物資調達で協定	北陸朝日放送
2025.6.19	スマートウォッチ活用 患者と医療従事者 負担軽減へ	MRO北陸放送 Atta
2025.7.28	高校生が学ぶ“看護の仕事” 石川・七尾市の病院で職場体験	テレビ金沢 テレビ金沢NEWS
2025.7.28	震災後の担い手確保へ "若い力"に期待	MRO北陸放送 Atta
2025.7.29	通院者用の“乗り合い送迎サービス”新たに開始	テレビ金沢 テレビ金沢NEWS
2025.8.4	地域医療は崩壊寸前 病院閉鎖相次ぐワケ	テレビ朝日 羽鳥慎一モーニングショー
2025.8.4	【特集】“能登で生みたい”厳しさ増す奥能登の周産期医療の現在地	テレビ金沢 テレビ金沢NEWS
2025.11.11	石川 七尾「介護の日」病院で職員が啓発活動	NHK NHKニュース
2026.3.18	石川・能登唯一「リハ栄養」拠点でチーム医療	MRO北陸放送 Atta
2026.3.18	「医療功労賞」地域医療に貢献の理学療法士・諏訪勝志氏	テレビ金沢 テレビ金沢NEWS
2026.3.26	日本の医療どうなる？病院経営者が医療の未来に緊急提言	読売テレビ 情報ライブミヤネ屋

その他

【受賞】第5回日本サービス大賞 地方創生大臣賞	社会医療法人財団 董仙会
【受賞】READYFOR ファンドレイジングクラウドファンディング インパクトアワード2026 特別賞「審査員賞」	社会医療法人財団 董仙会
【受賞】第26回日本免震構造協会賞 -2025-普及賞	恵寿総合病院
【受賞】Success of the Year Award 2024	恵寿総合病院
【受賞】日本経営財団賞受賞	恵寿総合病院
【受賞】WORLD'S BEST HOSPITAL 2026	恵寿金沢病院
【受賞】令和7年度介護職員の働きやすい職場環境づくり 厚生労働大臣表彰奨励賞	介護老人保健施設 和光苑 ローレルハイツ恵寿
【受賞】経営難時代の病院広報戦略の重要性 ～率先垂範し能登の復興に全力で関わる～ 病院広報アワード（経営者部門）2025 優秀賞	理事長補佐 神野 正隆
【受賞】日本眼科学会特別貢献賞 受賞	恵寿総合病院 北陸緑内障センター 杉山 和久
【受賞】2025年度（第31回）金沢医科大学医学会論文表彰	恵寿総合病院 皮膚科 内山 恵理
【受賞】予約外患者の受付業務を見直し、待ち時間を短縮する仕組みづくり 第66回全日本病院協会 in 北海道 優秀論文表彰	恵寿総合病院 事務部 北野 茉依、山下 優子、川腰 晃弘
【受賞】Malnutrition and 1-Year All-Cause Mortality in Older Residents at an Integrated Facility for Medical and Long-Term Care 一般社団法人日本リハビリテーション栄養学会 日本リハビリテーション栄養学会論文賞 2025	恵寿総合病院 臨床栄養課 小蔵 要司
【受賞】石川県医師会医療功労賞表彰/第54回医療功労賞 地方表彰・中央表彰	恵寿金沢病院 理学療法課 諏訪 勝志
【受賞】公益社団法人 石川県看護協会 協会長表彰	恵寿金沢病院 看護部 前大道 綾子
【受賞】キッザケあいかわ「介護技能グランプリ」 食事部門 技能賞（適切なコミュニケーション）	在宅複合施設 ほのぼの 林 明香

恵寿MBA研修 第2期生 29名

石島 宏彰、大森 圭子、岡崎 美穂、川江 辰徳、川腰 晃弘、木村 聖子、小蔵 要司、小間 剛、酒井 美奈、左近 みゆき、
佐原 周子、白山 真由子、新崎 千秋、瀬戸 亜矢、戸田 秀之、永井 亜希子、中村 愛、橋 ひとみ、濱崎 圭吾、浜田 信太郎、
真舘 繁子、松尾 りえ、松本 康嗣、松本 優、守田 尚美、八井 聖子、山下 勝、山下 優子、山本 悠介

2025年度 Foot活マイスター研修修了者

董仙会	岩木 智子、小林 かおり、徳光 朱里、橋本 美香、飛騨 幸恵、前田 智巳、水野 夏江、水野 桃佳
徳充会	柿島 栄美子、杉本 健、福島 邦子

2025年度 ノーリフトマイスター研修修了者

董仙会	愛徳 亜矢、藤川 景高、船山 奈々美
徳充会	久保 由美子、竹中 彩乃、刀祢 千恵、西尾 翔

2025年度 K-Fitマイスター研修修了者

董仙会	多賀 絵里香、得能 綾菜、豊田 琴美、升 裕美、山口 真紀、山口 雄二
徳充会	庵 実里、石黒 美咲希、川島 美佳、吉田 摩紀



2025年9月27日 第30回TQM発表大会

第 6 章
KEIJU
MONTHLY
LETTER

地域の存続

けいじゅヘルスケアシステム 理事長 神野正博

最近、以下のような報道を見た。

地方都市で大学が減少し、人口減少と少子化が進む中、地方経済に悪影響を与える懸念が高まっている。例えば、富山県高岡市の高岡法科大学は、学生募集を停止し、閉校の決断を下した。都市部への若者の流出が加速し、地域経済の沈下を招く恐れがある。

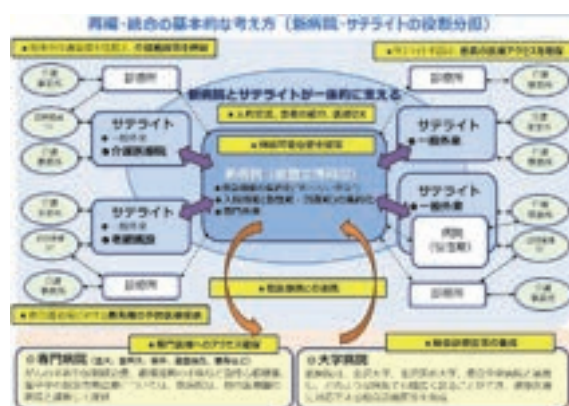
このような状況に対し、地域の大学は新たな学部やプログラムを導入して再生を目指しており、例えば函館大学は環境ビジネス副専攻を設け、地域の産業と連携している。自治体も大学との連携を強化し、若者の流出を防ぐ取り組みを始めている。

大学の淘汰が進む中、地域経済を守るためには、大学と自治体、企業の協力が重要であるとの認識が広がっている。

そういえば、能登唯一の高等教育機関として、石川県、七尾市、商工会議所などが当時20億円を投じて、1988年に経営情報学科（定員300人）で七尾短期大学を創設した。1993年には397人が在学したが、1996年より定員割れとなり、2004年3月末に閉校した。最終年度の卒業生は、留学生14人を含む29人であった。16年間で約1,700人が卒業している。

当時の経営学教授や米国人情報学教授との交流は、私にとっても七尾市民にとっても素晴らしい刺激となったし、その卒業生は、当法人をはじめ行政、金融など多くの企業に就職した。

この学校の存続と地域の衰退が地域の勢いにも関わったし、先の高岡法科大学の閉校が同地区の経済にも関わるに違いない。そういった意味で、ここにこそ、先の記事のように行政や企業が資金を含めての援助が必要だったのではないかと思ってしまう。



七尾市の問題として、次は専門学校だ。七尾看護専門学校も国際医療福祉専門学校七尾校も定員割れが続く。これに対して、私学だからと言って、行政が手をこまねていいものだろうか。これらの人材を供給する学校がなくなれば、地域の衰退がさらに進む。少子化の下での競争の中で、学生確保には、教育環境の整備と学費、住居などの経済的支援が必須である。その支援をしてでも、地域の活性化という果実を得ることができるはずだろう。

さらに、この学校の問題の次の課題は、病院の存続だ。病院の存続の問題は需要と供給のマッチングだ。需要がない、すなわち患者がいなければ、病院は存続できない。一方、供給がない、すなわち病院すらない地域からは住民は安心を求めて去っていく。

県は奥能登統合病院構想を進める。震災後に高齢化した人口が3万程度の地域に新病院を作るといふ。そして、これまでの公立4病院は診療所、介護施設化するという。街中の病院を消していいものか。これは、財政や機能集約の問題ではなく地域の存続の問題だと思えてならない。

復興のための自動運転

けいじゅヘルスケアシステム 理事長 神野正博

4月の末に中国・深圳市をビジネスミーティングで訪問した。そこで、兼ねてから試してみたかった自動運転車に乗ることができた。Huawei社が自動車メーカーと連携して販売する日本では見たこともないブランドだ。すでに、単なるEV（電気自動車）を超えたスマートカーと言える。スマホや家電共有のHarmony OS上で車は動く。内装の機能も驚きだが、ヘッドライトがプロジェクターとなって前面の大画面で映像の投影する機能まである。

そして、そんなことよりも自動運転だ。無数のカメラとミリ波レーダーが埋め込まれて、まるで細心の注意を払う野生動物の目や耳や神経のように環境や周辺のデータを収集する。試乗は、もちろんわれわれのために緊急時対応の運転手が同乗しているものの、スマホと連動したマップアプリで行先を検索し、ルートを承認すればあとは自動だ。信号停止はもちろんのこと、道路を渡ろうとするバイクや歩行者へ気遣いし、となりの車線の車の動きを把握し、路上駐車のを避けるなど、つまらないほど安定していた（右のQRコードで私の驚声と共に動画参照可能）。

実際、ショッピングモールの駐車場で、車が自分で空きスペースを探し出して駐車する機能やホテルの玄関で車を呼べば、無人で駐車場から車が走ってくる機能も実装されている。

表のように自動運転の「レベル」は、SAE（Society of Automotive Engineers：米国自動車技術者協会）が定義した「自動運転レベル0～5」によって分類される。すでに米国西海岸や中国武漢では、場所には限られるようであるが、レベル4の無人の自動運転タクシーが走行しているという。

ここ数年のAIの進歩からすれば、自動運転が進むのはそんなに遠い未来でないような気がする。しかし、これ

自動運転のレベル定義（SAE J3016）

レベル	特徴	運転主体	例
レベル0（無運転）	警告や一部支援はあるが、すべて人が操作	人間	現在車全体
レベル1（運転支援）	一定の条件（例：ニアアラートや車線逸脱防止）のみ支援	人間	アダプティブ巡航コントロール
レベル2（運転者監視）	ニアアラートや車線逸脱防止、渋滞時の自動ブレーキなど、広範囲の支援	人間	Tesla/Autopilot、Waymo/Autosteerなど
レベル3（運転者監視）	決められた条件下で自動運転可能。緊急時には人が介入	車（条件付き）	Waymo/Drive（限定地域）
レベル4（高度自動運転）	特定の条件下で完全自動運転（人が介入不要）	車（条件付き）	Waymo（米国）、Nuro（米国）など
レベル5（完全自動運転）	すべての条件下で無人で運転可能	車	まだ実現されていない



まで実証されている都市部で自動運転が待たれているのだろうか。否！人口減少と高齢化地域、すなわち、公共交通機関が乏しい地域における住民の足という機能を重視すべきではないだろうか。商店が少なく遠方へ買い物に行く必要があり、かつマイカーの免許を返納した高齢者と、学校が遠方へ統合され塾や部活帰りの時間が制限される子供たちの足がいま求められているからだ。

テクノロジーの恩恵を真っ先に受けるのは、このような地域の住民を先にすべきだろう。都会のように便利さの恩恵を受けられない地域でこそ、生活の足として、また物流として自動運転車を使うべきだと思う。震災で傷つき、生業が難しくなった能登の復興にこそ、このテクノロジーの恩恵を享受させてほしいと強く思う。

ブラック・スワン

けいじゅヘルスケアシステム 理事長 神野正博

日本語でSwanという鳥のことを『白鳥』という。そもそも白い鳥が大前提なのだ。冬場の邑知潟や七尾西湾でも白鳥を見る。

実際、古今東西でも『白鳥』だ。古代ローマ時代のラテン語の格言：「黒い白鳥などいない」＝「絶対にありえないこと」の比喻ともされた。しかし、1697年にオーストラリアで黒い白鳥ブラック・スワンが発見されたことで、それまでの「常識」が覆されたという。この発見により、「ありえないと信じられていたことが実際には起こりうる」ことの象徴となり、ナシーム・ニコラス・タレブ（Nassim Nicholas Taleb）が提唱した概念（2007年著書『ブラック・スワン-不確実性とリスクの本質』にて広まる）となった。

ブラック・スワンの3条件として

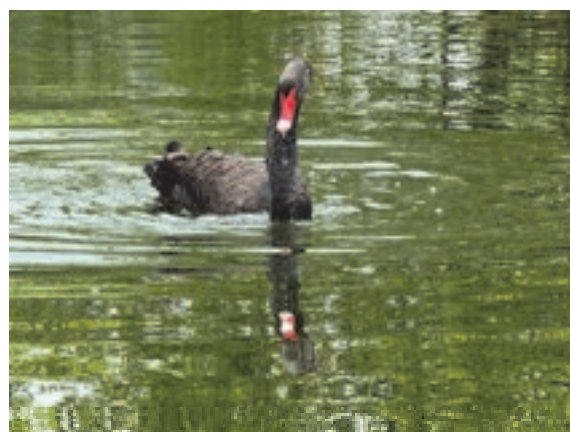
- 予測不能であること（予期されていなかった）
- 甚大なインパクトを持つこと（影響が非常に大きい）
- 後からは説明可能に見えること（事後的合理化）が上げられる。

タレブは、9.11同時多発テロ（2001）、インターネットの爆発的普及、ソビエト連邦の崩壊（1991）をそのブラック・スワンの事例として挙げていると言う。

その後も、ブラック・スワンはたびたび私たちの前に現れる。3.11東日本大震災、リーマンショック、Covid-19の世界的なパンデミック、ロシアによるウクライナ侵略なども挙げられるかもしれない。

そして、2024年1月1日にわが大地を襲った能登半島地震だ。単なる自然災害ではなく、

- 時間的盲点（正月）
- 地理的盲点（過疎・高齢地域）
- 複合的脆弱性（災害×高齢社会×医療資源希薄）



を突いたという点で、「想定外の枠外から襲ってくる事象＝ブラック・スワン」と語り継がれるかもしれない。

そのブラック・スワン対策で、まさに、われわれが『災害でも医療を止めない』ことを実行できた「想定外を想定せよ」という合言葉で進めたBCM（Business Continuity Management）だ。それは、単に建築・構造・設備だけではなく、備蓄、バックアップ協定、人員計画と職員支援、そして災害に強い先進のICT・DXだ。

災害時には、医療に対して、消防や警察、自衛隊と同様に大きな負荷がかかる。その対策としてのBCMにゆとりが必要だ。世は、効率化、適正化という言葉の下、ゆとりをそぎ落とす方向だ。国は、社会保障費ばかりではなく、物価等の高騰にも拘らず、医療費を削減し医療のゆとりを削ぎ落そうとする。

しかし、最近よく現れるブラック・スワンに対して対抗できる手段は「想定外を想定する」だけのゆとりであるような気がしてならない。

“病”院から“健”院へ

けいじゅヘルスケアシステム 理事長 神野正博

病院を英語ではhospitalという。その語源はラテン語の hospes（ホスベス）という語に由来する。この語は「客」や「宿主（ホスト）」を意味し、そこから派生して「もてなし」や「保護を提供する場所」といった意味を持つようになったという。もともとhospital は「病院」というよりも、「巡礼者、旅人、貧しい人々を受け入れる施設（ホスピスのようなもの）」という意味だった。現代的な医療施設としての意味になったのは、中世から近代にかけて医療機能が中心になってからだという。したがって、hotelとかhospitality（おもてなし）という言葉も同じ語源なのである。

また、中国語で病院は医院（yīyuàn）だ。まさに、医療をする場、医者がいる場ということになり、明快だ。

さて、病院だ。“病”は傷病、すなわち創傷（けが）や病気であり、それを治す場が病院ということになるだろう。明治の初期に、この病院という言葉が、旧・長崎養生所を時の明治政府が長崎病院と名付けたところから始まったようだ。

その後、西南の役や日清・日露戦争における傷痍者の救護のために病院が発展した。西南の役で日本赤十字病院が作られ、また今日の国立医療センターの母体となる陸軍病院、海軍病院が各地に作られた。また、日本の国民病ともいえる結核という感染症対策のため、全国に結核療養所が作られた。まさに、戦争と結核が日本の病院の起源だとするならば“病”の場である病院という言葉にその意義があったものと考ええる。

さて、わが国における今日的な課題は、戦争、あるいは交通戦争ともいわれた事故多発の時代ではない。感染症は未だ脅威であり、がんや脳・心臓にかかわる病気の治療も重要であるものの、それだけではない。それよりも人口の急減だ。特に、地方の方が都会よりも急速に進展する。さらに、高齢者の減少は軽微であり、



生産年齢と呼ばれる働き方世代の急減が社会問題となる。

病院の門を叩くけがや病気の患者を診て、速やかに退院させるのが病院の使命であった。しかし、人口が減少するということは、当然患者数も減ってくる。これで、病床を維持し、病院の持続可能性を担保することはあり得ない。また、国に対してこの状況の病院の維持のためだけに診療報酬や補助金を増やせという声は、全くナンセンスだ。

それでは、解決策をどこに見出すべきなかだ。もちろん、自らの法人の特徴と地域性がある以上、全体最適の策はあり得ない。高齢社会の現在、誤嚥性肺炎や心不全、脳卒中、尿路感染症などの繰り返す疾患も多い。また、これら繰り返す疾病により介護保険サービスと病院を「行ったり来たり」する患者も増えてくるだろう。そんな中、病院医療の前後にある生活の場や介護サービスと強固な連携という形を形成する。この輪の中のメンバーとつなげることと情報を共有することが、地域の包括ケア、いや生活を含めると包括ヘルスケアシステムとしてエコシステムを組むことになるだろう（図）。

そういった意味で、私たちは、そろそろ“病”から決別し、医療・健康・生活を支援する場として“健”院をつくるという考え方が必要なのではないだろうか。

連立方程式

けいじゅヘルスケアシステム 理事長 神野正博

本年6月13日に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2025（骨太の方針2025）」は、向こう1年の政府の方向性を規定するものだ。当然、財務省や厚生労働省の施策もこれに従うこととなる。その中で、医療介護の分野では、特に2026年診療報酬について、

医療・介護等の現場の厳しい現状や税収等を含めた財政の状況を踏まえ、これまでの改革を通じた**保険料負担の抑制努力も継続**しつつ、力強い賃上げの実現や昨今の物価上昇による影響等について、経営の安定や現場で働く幅広い職種の方々の賃上げに確実につながるよう、的確な対応を行う。具体的には、**高齢化による増加分に相当する伸びにこうした経済・物価動向等を踏まえた対応に相当する増加分を加算**する。

と明記された。最後の行の「増加分を加算」が、医療関連団体と勝利宣言に似た浮かれ騒ぎを招いている。しかし、その前文における「保険料負担の抑制努力も継続」は気になるところであるし、全文を読めば、浮かれている場合ではないことも想像つく。まして政治状況の不透明感もこの基本方針そのものの実効性とともに気になるところである。財政当局はどこを責めてくるのか？そのヒントは以下の数式にあるのではないだろうか？

医療費 = P（Price 価格）× Q（Quantity 量）

だ、Pは言わずと知れた診療報酬改定率、単価である。これを、物価・賃金の上昇に見合うだけ上げろとわれわれは主張するし、骨太にも書いてある。問題は、Qだ。Qは、外来患者数であり入院患者数など「計れる量」だ。地域医療構想やこれまでの入院料等の診療報酬の算定基準の厳格化で量の減少が図られているのだ。すなわち、財政当局からすると、Pを上げてもQを下げれば、医療費は変わらないということになる。



日テレNEWSより

さらに、

利益 = P × Q - C（Cost 費用）

だ。Cはかかる費用である。高騰する物価としての材料費や光熱費ならば、大きくなる一方だ。ここでもう一つ大きな、費用があることを忘れてはいけない。人件費である。人材は病院にとっては宝である。しかし、今後、日本の人口、特に生産年齢人口は極端に減少する。そして、産業間で人材の厳しい獲得競争となる。そこで必要なことは、一人当たりの生産性向上、すなわち少ない人数で多い人数と同じことができる体制を組むことだ。そのために、DXの導入やロボット、センサーの活用は必須である。

診療報酬、医療制度では、人員配置基準でがんじがらめだ。いくらこれら仕組みを入れたところで、人は必要で、そのために多くの採用コストをかけねばならないのである。ならば、人員配置基準の見直し、Cを下げることになり、またDXの導入原資となるのではないだろうか。

このように、P、QそしてCの連立方程式が、医療の持続可能性に大いにかかわっているのではないだろうか。

手取りを増やす

けいじゅヘルスケアシステム 理事長 神野正博

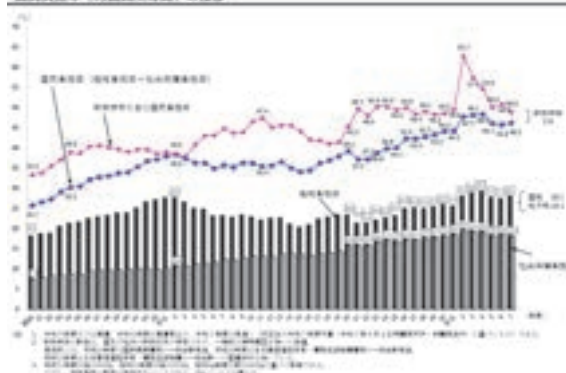
国内の政治が混迷すると為政者は、海外へ国民の目を向けて点数稼ぎをしようとする。日韓、日中で起るトラブルは、彼の国の内政問題に起因する。直近で、わが国は、（これは外圧かもしれないが）アメリカに5,500億ドルの投資パッケージを提示し、8月にはインドの首相来日に合わせて同国に対して68億ドル、TICADの開催に合わせて、アフリカ諸国に55億ドルの投資をするという。また、リターンを求める投資ではなく、アジア、アフリカ諸国に対して、毎年200億ドル以上の援助（ODA）も行う。このように内政は「石破下ろし」の混乱と単独過半数政権がないという混迷の中だが、対外には羽振りのいい発言が目立つのである。この金はどうするのか心配するのは、私だけだろうか。

さて、内政の話である。「国民負担率」という言葉がある。これは、（租税負担＋社会保障負担）／国民所得であらわされる比である。これは右図のような年次推移を取る。直近では幾分下がっている。これは、恐らく賃金上昇で所得が上がったことが影響しているかもしれないが、全体のトレンドとして右肩上がりである。なので、「手取りを増やす！」を旗印にあげる政党は、この中で、社会保障負担を下げることを公約として躍進するのである。

国民からすると、給与の40数%を引かれるのはけしからんという論理はあるものの、わが国の国民負担率はOECD諸外国に比べて決して大きくない。データでは22位ということで、ルクセンブルク84.6%、フランス69.9%、デンマーク65.9%と、いわゆる高福祉国で高い数値を取る。

与野党を問わず、政策には責任が付きまとう。それでは、この国民負担率を下げるにはどうするか。まさに小さな政府を目指し、何でもお上に文句を言えば何とかしてくれるという世界から、自分のことは自分でという世界を

国民負担率（対国民所得比）の推移



作っていかねばならない。震災にあっても、個人の復旧にお上は手を貸さない。それに対応するためには、自分で災害保険に入っておかねばならないということだ。老後の社会保障としての年金に期待できないならば、若いころからせせと貯金するしかない。

医療も全く同じだ。国民皆保険の下で、いつでもどこでも一定水準の質の医療をわずかな自己負担で受けられる世界は、それなりに金がかかっていることを理解せねばならない。医療は50%の保険料という割り勘負担と40%の税からの補填、わずか10%の保険料負担の上に成り立っているのである。国民負担率を下げるために医療の費用の中で、保険料負担と税からの補填を減らすのならば、医療の質とかかりやすさを落とさざるを得ないことを全国民が納得せねばならない。

「手取りを増やし」ながら、行政サービスや医療・介護・福祉サービスを享受していくためには、自腹をどの程度許容するのか。互助の考えをどこまで進めるか、改めての議論が必要のようだ。

インフラの危機と強靱化に残された時間

けいじゅヘルスケアシステム 理事長 神野正博

自由民主党・高市早苗新総裁が10月4日に決まった。多くの皆様と共に応援していただけに感慨ひとしおだ。その後の同日の記者会見の様態をすべて聞き直した。大手マスコミで取り上げられていない医療について力強い答弁だ。全国の病院経営が悪化している最中であり期待したい。以下に医療関連部分を抜粋してみる。

- 急がなきゃいけないのは、病院、介護施設。病院は7割が赤字、介護施設は倒産過去最高だ。診療報酬や介護報酬の改定を待ってられない。ここは補正予算を使って支援を検討。
- 財源は税収の上振れから。
- 財政の健全化の前に困っている人を助けなくて何が国だ。健康・医療も然り。投資をすれば需要増と税収増あり。賢い投資をするワイズスペンディングが方針だ。

埼玉県八潮市で1月に起きた道路陥没事故。突然転落し、犠牲となったトラック運転手のご冥福を祈りたい。これを受け、国土交通省が全国の古くて大きい下水管を調べたところ、計300キロメートルで陥没につながるリスクがあることがわかったと9月17日に報告された。

バブル経済と戦後の復興と共に全国の下水道管が敷設され、それが今、老朽化しているのだ。八潮と同じ事象が全国で起こりえることとなる。この強靱は必須だ。そして、この老朽化という話題は、インフラとしての上水道管も橋も道路も地下道・地下施設も公共施設も、そして病院でもある。

1985年（昭和60年）の第一次医療法改正では地域ごとの医療計画によって、初めて医療施設の設置・病床数の基準、許可制への移行が謳われた。これによって、いわゆる「駆け込み増床」が発生。時はまさに日本のバブル経済期も重なり、旺盛な資金供給もあって病院と病床の大幅な増加を見たのであった。

この病院・病床が築40年以上となるタイミングだ。2023

年の病院機能報告調べで、築年数が30年以上：53%、40年以上：27%、50年以上：9.3%、60年以上：2.4%(151病院)とされる。



特に、40年以上では二次救急病院：748（46%）、三次救急病院：65（4%）、また地域の病院数で東京147、大阪134、北海道96と言われている。

東日本大震災、熊本地震、能登半島地震の他、風水害など災害が頻発、激甚化している。さらには南海トラフによる東南海地震や首都圏直下地震など、それぞれ今後30年以内に、80%、70%の確率で起きると予測されている。必ず来ることを覚悟しなければならないのだ。国民の安全・安心のために、インフラ強化は必須だ。特に、災害発生時から、消防、警察、自衛隊と同様に、サービス要求量が激増し、フル活動しなければならない病院は強靱化が求められるのだ。

救急を担う病院の強靱化が必須だ。全国で救急搬送数の60%は民間病院が受け入れる。さらに大都市部ではこの数字が大きくなる。強靱化のためには、先に示した築年数の病院の耐震化が必要となる。しかし、8月の中医協で示されたように建築単価は2024年で46.5万円/m²と高騰する。急性期病院では、さらにこの倍の単価と聞く。これでは、改築困難な病院による廃業の決断もやむを得ない。

診療報酬を原資とし、わずかな利益率、あるいは赤字病院での耐震化、改築は不可能な状況だ。1993年（平成5年）に、米国のヒル＝バートン法（Hospital Survey and Construction Act, 1946）を参考に、当時の病院団体、日本医師会、行政、政治家がつくりあげた医療施設近代化整備事業という補助金制度の復活を強く求めたい。日本の病院の強靱化のために残された時間はわずかだろう。

3つのデジタル

けいじゅヘルスケアシステム 理事長 神野正博

世の中、DXの話で持ち切りだ。当法人も全国からDXの先兵として注目を浴びている。ここで、再認識することを目的に、あえて次の「3つのデジタル」を右図の画像分野のデジタル化を例に再認識してみたい。

1. デジタイゼーション Digitization

アナログ情報（光・映像）をデジタルデータに変換する段階だ。データ化としてアナログの写真・映像をデジタルデータとして扱えるようにする。目的は「情報をデータ化して保存・再利用しやすくする」こととなる。具体として、フィルムから画像センサー・基盤によるデジタルカメラへの移行やJPEGなどのデジタル画像データとして保管、スキャンによるデータ化などがあげられる。

2. デジタライゼーション Digitalization

デジタル化した画像データを活用して、撮影・編集・共有などのプロセスを効率化することを目的とする。AI補助撮影やデータ化した画像データをクラウド上やSNSなどオンラインで共有するなど、撮影から共有までのプロセスを一元管理することになる。プロセスの効率化による生産性の向上フェーズといっていだろう。

3. デジタルトランスフォーメーション Digital Transformation (DX)

デジタル技術を使って、写真や映像の「意味」や「使われ方」そのものを変えることとなる。目的は「社会や文化の変革」と「新たな価値創出」だ。具体的には、カメラ画像を利用したAI医療診断や自動運転まで広がって、はじめて社会の仕組みが変わるトランスフォーメーションということになるだろう。

さて、医療におけるデジタル化だ。まさにデータ化は、紙カルテから電子カルテへの変更だ。そして、デジタライゼーションはその医療データを診療・検査・看護などの業務をつなぎ、ミス防止、時間短縮を図る段階だといえる。そういった意味で、当院が進めた歴史を振り返ると、



アナログ・デジタル進化の3段階 (カメラ・画像)

1996年のオーダリングシステム導入は紙カルテをデータ化するより前に、処方やオーダー、検査結果の共有で仕事のプロセスを大幅に効率化し、その後、紙のデータ化である電子カルテは2002年に導入したという流れであり、生産性向上からKAIZENが進んだケースかもしれない。

そして、医療DXである。医療の仕組みそのものを再構築する段階ということになる。そういった意味では、当院を含めて日本の医療現場でどこまで進んでいるのだろうか。第2段階の生産性向上のフェーズは、医療の質、安全、連携、働き方改革に寄与している。しかし、この域を超える仕組みができているのかいささか不安を覚えてしまう。

単なるデータ化、デジタル連携を越えて、医療提供の仕組みそのものを変えていく真のDXを求めていく道筋はこれからが正念場だ。

自助・互助・共助・公助、そして「商助」～ 85歳以上人口急増時代に向けて ～

けいじゅヘルスケアシステム 理事長 神野正博

人口問題を考えるとき、同じ統計でも視点を変えると新たな課題が見えてくる。厚生労働省の年齢階級別人口増減率のグラフを見ると、2025年に団塊の世代が全員75歳以上となり、65歳以上人口の伸びが鈍化する一方で、2030年以降に85歳以上人口が急増することが読み取れる。生産年齢人口はすでに減少が続いており、年金受給者数の増加もピークアウトする可能性がある。しかし、この85歳以上人口の急増こそが、今後の日本社会にとって最大の構造変化となる。

85歳以上の約6割は要介護認定者とされ、自力で移動や買い物、通院が難しい層である。したがって、救急車需要の増大、在宅医療・介護の急拡大、生活支援ニーズの爆発的増加など、地域社会の基盤を揺るがす課題が現実味を帯びてくる。これにどう向き合うかは、国だけでなく、自治体が「住みやすい街」か「しぼむ街」かを分ける決定的要因となる。

地域包括ケアシステムの整備は進むが、従来の「自助・

互助・共助・公助」だけでは限界が見え始めている。単身世帯の増加で自助は弱まり、互助は担い手不足、共助は介護人材・特に訪問介護ヘルパーの深刻な不足が続く。公助も人口減少下では財政拡充が難しい。四助すべてが細りつつある中で、近年注目されるのが、民間企業がサービスや製品で高齢者の困りごとを解決する「商助」という概念である。

生活支援・家事代行、介護事業者に加え、小売業、薬局、ドラッグストア、移動サービス、フィットネス、金融など、多様な企業が商助の担い手となりうる。高齢者の生活課題は、企業にとっては新たな価値創出の源泉であり、地域にとっては暮らしを支える重要なインフラにもなり得る。

医療・介護機関が自ら生活支援領域を担うのか、それとも多様な企業との連携を軸に地域を支えるのか。85歳以上人口急増時代に向け、私たちは今まさにその選択が問われている。



2040年に向けた人口構造の変化

NO.285
発行日 2026.1.5

WITH — 地域と、仲間と、未来と。

けいじゅヘルスケアシステム 理事長 神野正博

あけましておめでとうございます。

2026年、日本はすべての団塊の世代が75歳以上となった2025年という大きな節目を越え、高齢者人口は一定規模で推移する一方、生産年齢人口が本格的に減少していく局面に入ります。医療や介護を取り巻く環境は、診療報酬改定や制度見直しに加え、物価・人件費の高騰、医療人材の不足、さらには地域社会そのものの縮小など、これまで以上に複雑で、多層的な課題が同時進行する時代となりました。もはや単一の正解を探す時代ではなく、複数の要素が絡み合う「連立方程式」を解き続けながら前に進む覚悟が、医療機関には求められています。

このような時代認識のもと、2026年、けいじゅヘルスケアシステムは「WITH — 地域と、仲間と、未来と。」を旗印に進もうと考えます。これは、病院が単独で地域医療を支える時代は終わり、患者さん、地域住民、行政、他の医療・介護・福祉機関、そして院内のすべての職員と「共にある」ことが、これからの医療の前提条件であるという強い意思表示です。

医療DXについても、私たちは新たな段階に入っています。導入すること自体が目的であった時代は終わり、現場で使われ、業務を支え、患者さんの安心と医療の質向上につながってこそ、その価値が問われます。2026年は、構想や理念を語る年ではなく、実際の現場で「実るDX」を一つひとつ積み重ね、働き方の改善と持続可能な医療提供体制の構築につなげていきます。

同時に、人材不足が常態化する時代においては、多職種が役割の垣根を越えて連携し、それぞれの専門性を最大限に発揮することが不可欠です。医師、看護師、コメディカル、介護士、事務職が互いを尊重し合い、役割を分担しながら一つのチームとして機能する「ONE



TEAM」の医療こそが、けいじゅヘルスケアシステムの強みであり、地域から信頼され続ける基盤であると考えています。

また、2年前の能登半島地震という未曾有の経験は、医療における「レジリエンス」、すなわち困難に直面しても折れず、回復し、学びを次につなげる力の重要性を私たちに教えてくれました。この経験を過去の出来事として風化させるのではなく、災害対応、事業継続、地域連携の在り方に生かし、未来の医療や介護を守る知恵として昇華させていくことも、私たちの責務です。

けいじゅヘルスケアシステムは、2026年を「共創と実装の年」と位置づけます。地域と、仲間と、そして未来と共に歩みながら、変化の時代においても地域に必要とされ続ける医療・介護サービスを、全職員一丸となって形にしていきたいと思います。

国民会議

けいじゅヘルスケアシステム 理事長 神野正博

2月8日、電撃的に衆議院議員選挙2026が行われた。結果はご承知のとおり、高市早苗自民党による歴史的な大勝であった。2026年度予算が事実上の「人質」となる中、30年ぶりとなる診療報酬改定率3.09%を実現するためには、予算執行力を備えた強い政権の誕生を歓迎したい。

高市自民党の公約の一つに、「2年間の食料品に関する消費税ゼロ」が掲げられている。選挙後の会見では、これは給付付き税額控除の制度設計が整うまでの「つなぎ」の政策であり、その方法や財源については、給付付き税額控除と一貫性を持たせた形で、政府・与野党・有識者による国民会議を設置して検討するとされた。消費税に関する中間報告は、6か月後を目途にまとめられるという。

一方で、消費税収の減少による社会保障財源の確保、赤字国債発行の増大、さらには為替リスクなどについて、多くのマスコミや有識者から疑問の声が上がっているのも事実である。しかし、硬直化した日本の制度に対する強い危機感と、それを打ち破ろうとする明確な意志があるならば、必ずや解を導き出すことは可能であると信じたい。

さて、この「国民会議」という名称に、私は特別な思いを抱いている。2008年、当時の福田赳夫内閣総理大臣の肝いりで「社会保障国民会議」が設置された。戦後のベビーブーマー、いわゆる団塊の世代がすべて75歳以上となる2025年を見据え、社会保障の持続可能なあり方を計画的に見直すという大命題のもと、国民的議論を醸成しようとしたものである。

2008年11月の最終報告では、
第一に、医療・介護・年金・子育てを一体として捉え、社会保障の将来像を初めて体系的に提示し、「高齢者中心」から全世代型社会保障への転換を明確に打ち出した。



第二に、社会保障を「コスト」ではなく、「人への投資」であり、経済成長の基盤であると位置づけ、「安心」と「活力」の両立を掲げた。

第三に、給付と負担の関係を正面から議論し、消費税を含む安定財源の必要性を明言、「負担を避けて制度維持は不可能」であると率直に指摘した。

さらに医療・介護分野では、フリーアクセスの維持、医療提供体制の機能分化と連携、介護における医療との連携強化と在宅・地域重視の方向性が示された。

振り返れば、この提言は、その後の社会保障制度改革や厚生労働行政に極めて大きな方向性を与えたと確信している。この会議に、当時まだ無名であった私、神野正博が委員として抜擢され、担当大臣のもと、今も親しくしている伊藤達也内閣総理大臣補佐官（当時元金融大臣）、香取照幸内閣官房社会保障国民会議事務局参事官（後の厚生労働省年金局長）らと議論を重ねたことは、今も鮮明に記憶している。その際、私から提示した「医療のトリレンマ（コスト・質・アクセス）」の考え方が、現在も使われていることを思うと感慨深い。

2026年の今、生産年齢人口が急減する2040年に向かって、新たに設置される国民会議には、消費税や税額控除といった「税」の議論にとどまらず、それをどのように使い、いかなる社会を形づくるのかという、日本の国の仕組み、そして社会保障制度そのものの在り方を、正面から議論してほしいと強く願っている。

TQM2.0 — Well-Beingを目指せ

けいじゅヘルスケアシステム 理事長 神野正博

2月28日に開催した第31回董仙会TQM（Total Quality Management）大会では、年度後期大会として各部署から15題の改善活動の発表がなされた。今回は特別審査員として関西学院大学の森藤ひろ教授をお招きした。森藤教授からは、「DXを用いたミクロ・メソ・マクロのウェルビーイングの相互作用を現場で確認できたことは初めてで、本当に見事であり、美しいと感じました。背景には理念とビジョンの共有、そして思いやりの心が不可欠であることもわかりました。」

という大変うれしい講評を頂戴した。この言葉を受け、改めて、これからの改善活動の方向性を「TQM2.0」として考えてみたいと思う。

人口減少社会において、医療はかつてない制約条件の中に置かれている。人は減り、財源は限られ、医療需要は質的に複雑化している。こうした状況の中で、「いかに少ない人数、小負担で高い質の医療を提供するか」という問いは、もはや理念ではなく経営の前提条件となった。

その解の一つが、TQM（Total Quality Management）の再定義にあると私は考えている。これまでTQMは、ムダの排除、標準化、効率化、コスト削減といった文脈で語られることが多かった。もちろんそれは重要である。しかし人口減少社会の医療において、TQMを単なる効率改善の手法として捉えるだけでは不十分だ。これから必要なのは、「TQM2.0」——すなわち、組織と個人のWell-Beingを高める経営哲学としてのTQMである。

医療の質とは何だろうか。それは医療技術の高度さだけではない。患者が安心して医療を任せられること、職員が誇りとやりがいを持って働けること、そして組織が持続可能であること。この三つがそろって初めて「高い質の医療」と言える。

森藤教授の言葉にあるように、Well-Beingはミクロ・メソ・マクロという三つの階層で相互に関係している。ミクロは個人の幸福であり、患者や職員一人ひとりの安心感や満足感を指す。メソは組織の幸福であり、チーム医療の成熟や職場の心理的安全性、組織の持続可能性といった状態である。そしてマクロは社会の幸福であり、地域から信頼される医療体制や社会全体の安心感である。

TQMの本質は、「ばらつきを減らし、仕組みで支える」ことである。待ち時間が短縮される、医療安全が向上する、説明が標準化される。こうした改善は患者の不安を軽減し、安心という主観的



幸福度を高める。すなわちミクロのWell-Beingの向上である。

一方で、見落としはならないのが職員のWell-Beingだ。業務が見える化され、役割が明確になり、改善提案が組織に反映される文化があれば、職員は「自分たちが組織を良くしている」という自己効力感を持つことができる。心理的安全性が高まり、離職率は低下し、チーム医療は成熟する。これはメソ、すなわち組織のWell-Beingの向上につながる。

そしてその結果として、地域から信頼される医療機関が生まれる。医療事故は減り、経営は安定し、地域に安心を提供する医療体制が維持される。これはマクロ、すなわち社会のWell-Beingの向上である。ミクロ・メソ・マクロのWell-Beingは独立したのではなく、相互に作用しながら高まっていくのである。

ただし重要なのは、TQMを「管理のための道具」にしないことである。チェック項目が増え、書類が増え、評価が締め付けになれば、現場の幸福度はむしろ低下する。TQM2.0は監視の仕組みではなく、自律と創意を引き出す仕組みでなければならない。

ここでDXの役割が大きくなる。データによって改善効果を可視化し、AIが標準化を支援し、人はより創造的な仕事や対話に集中することができる。効率化の先に、人間らしさを取り戻すことができるのである。少人数社会において質を高めるとは、まさにこの構造をつくることにほかならない。

医療は単なるコストではない。社会を支える基盤であり、安心というインフラである。その持続可能性を支えるのは制度改革だけではなく、日々の小さな改善の積み重ねだ。改善活動は数字のためではなく、人を幸せにするためにある。

TQM2.0とは、質の向上と幸福度の向上を同義にする経営である。

少人数社会の医療は、縮小ではなく進化でなければならない。その進化の鍵は、「幸福を生む改善」にある。

第6回日本経営財団賞 贈呈式



2026年1月20日 日本経営財団賞受賞

第 7 章
トピックス
(社会貢献)

董仙会トピックス

日付	内容	施設
2025.4.1	恵寿総合病院「入退院支援課」・「経営戦略室」・「地域包括ケアセンター」新設	恵寿総合病院
2025.4.1	恵寿金沢病院「血栓・止血・血管病センター」新設	恵寿金沢病院
2025.4.1	がんプレミアム検診開始	恵寿総合病院
2025.4.14	第26回日本免震構造協会賞 -2025-普及賞 受賞	董仙会
2025.4.10	ローソンと災害時における物資調達に関する協定を締結	董仙会
2025.4.14	AIを活用した介護保険施設・病院送迎サービスの実証実験を開始	董仙会
2025.4.21	ミャンマー被災地への支援と（法人内）外国人初介護福祉士誕生を祝う会開催	董仙会
2025.5.16	病院立体駐車場がタイムズパーキングへ切り替え	恵寿総合病院
2025.5.16	プチナース看護体験開催	恵寿総合病院
2025.6.5	「あたま・あしこし元気アップ教室」第1クール開始	鳥屋診療所
2025.6.13	スマートウォッチによる世界初の実証試験開始	恵寿総合病院
2025.6.28	神野理事長が全日本病院協会会長に就任	董仙会
2025.7.7	rTMS療法を石川県内で初めて導入	恵寿総合病院
2025.7.16	神野理事長補佐が「病院広報アワード2025」経営者部門優秀賞を受賞	董仙会
2025.7.19	七尾港まつりに6年振りに参加	恵寿総合病院
2025.7.24	公用車の新車入れ替え完了	董仙会
2025.7.27	恵寿総合病院×ノアフィットネスクラブ 小丸山小学校6年生へプール開放を実施	恵寿総合病院
2025.7.28	AIを活用した乗り合い送迎サービス「楽のり君」開始	董仙会
2025.7.28, 30	高校生を対象にした「ふれあい看護体験」開催	恵寿総合病院
2025.7.29, 8.5	こども参観日開催	恵寿総合病院
2025.8.18	外来・入院患者向けAIパートナー「ユビー」の実証実験を開始	恵寿総合病院
2025.8.20	地域医療の未来を考えるスタディツアー in 能登 開催	恵寿総合病院
2025.8.26	けいじゅヘルスケアシステム 介護技能グランプリを開催	董仙会 / 徳充会
2025.9.4	「あたま・あしこし元気アップ教室」第1クール修了式開催	鳥屋診療所
2025.9.11	グルメプラザけいじゅにて創立記念丼フェスを開催	恵寿総合病院
2025.9.11	「あたま・あしこし元気アップ教室」第2クール開始	鳥屋診療所
2025.9.13	けいじゅフェスティバル2025開催	恵寿総合病院
2025.9.25, 10.2	職員向けに全国カラダ年齢測定実施	董仙会
2025.9.27	第30回TQM発表大会を七尾市文化ホールにて開催	董仙会
2025.10.7	介護職員の働きやすい職場環境づくり 厚生労働大臣表彰 奨励賞授与式開催	和光苑 / ローレルハイツ
2025.10.20	けいじゅピンクリボンデー開催	恵寿総合病院
2025.11.8	キッズケアいしかわ「介護技能グランプリ」で食事部門 技能賞受賞	董仙会 / 徳充会
2025.11.10-14	糖尿病週間開催	恵寿総合病院
2025.11.11	介護の日 イベント開催	董仙会
2025.11.15	ケアフェスタ in 鳩ヶ丘 6年振りに開催	恵寿鳩ヶ丘
2025.12.1	ローレル&恵寿 イルミネーション実施	董仙会 / 徳充会
2025.12.3	恵寿MBAコース2025（第2期）修了式	董仙会
2025.12.4	「あたま・あしこし元気アップ教室」第2クール修了式	鳥屋診療所
2025.12.9	「2024年1月1日 能登半島地震 災害でも医療を止めないレジリエンス力」が第5回日本サービス大賞 地方創生大臣賞を受賞	董仙会
2025.12.12	和光苑に保育園児訪問 クリスマスの演奏を実施	和光苑
2025.12.18	ケアマネ事業交流会を開催	恵寿総合病院
2026.1.4	新年互礼会・出初式を開催	董仙会 / 徳充会
2026.1.20	日本経営財団賞受賞	董仙会
2026.2.8	市民公開講座「認知症の最前線 ～治療とケアをつなぐチームアプローチ」を開催	恵寿総合病院
2026.2.18	READYFOR ファンドレイジングクラウドファンディング インパクトアワード2026特別賞「審査員賞」受賞	董仙会
2026.2.28	第31回TQM発表大会を七尾市文化ホールにて開催	董仙会
2026.3.9	健康経営優良法人に9年連続認定	董仙会
2026.3.13	ハタラクエール2026（福利厚生表彰・認証制度）「福利厚生推進法人」認証	董仙会
2026.3.18	恵寿金沢病院 諏訪理学療法課長が第54回医療功労賞受賞（皇居にて天皇陛下と面会）	恵寿金沢病院

2025.6.13
スマートウォッチによる世界初の実証試験開始



2025.9.13
けいじゅフェスティバル2025開催

2025.10.7
介護職員の働きやすい職場環境づくり
厚生労働大臣表彰 奨励賞授与式



2025.12.9
「2024年1月1日 能登半島地震
災害でも医療を止めないレジリエンス力」が
第5回日本サービス大賞地方創生大臣賞を受賞

徳充会トピックス（社会貢献）

日付	内容	施設
毎月	地域サロン（3か所）への送迎車両運行	もみの木苑
2025.6.26	地域連携沿道環境創出事業（いしかわ我がまちアドプト事業） 花苗植栽	ワークセンター田鶴浜
2025.7.10	穴水高校生との交流会（1回目）	石川県精育園
2025.7.17	穴水高校生との交流会（2回目）	石川県精育園
2025.12.10	平和こども園との交流会	石川県精育園

毎月
地域サロン（3か所）への送迎車両運行



2025.6.26
地域連携沿道環境創出事業
（いしかわ我がまちアプト事業） 花苗植栽

2025.7.10,17
穴水高校生との交流会



2025.12.10
平和こども園との交流会



2026年2月8日 市民公開講座を開催